

別紙 2-2-2 系統として機能、性能を
達成する設備
(火災防護設備 (消火設備))

目 次

1. 概要
2. 要求される機能、性能と主流路の考え方
3. 要求される耐震クラスの考え方
4. 抽出結果

添付1：別紙2 機能要求②抜粋(火災防護設備（消火設備）)

- (1) 11条29条：火災等による損傷の防止

添付2：申請対象設備リスト (系統設備) (火災防護設備（消火設備）)

添付3：申請対象設備抽出結果 (火災防護設備（消火設備）)

- (1) 窒素ガス消火装置
- (2) 二酸化炭素消火装置
- (3) グローブボックス消火装置

参考：設計図書に記載に係る留意事項

1. 概要

本資料は、共通09 補足説明資料 別紙「各条における申請対象設備」にて整理した系統として機能、性能を達成する設備について、設計図書等に対して色塗りを行い、安全機能に関する対象範囲や対象機器を抽出したものを示すものである。

また、共通09で実施している設備選定作業により、申請対象とすべき設備を抜け漏れなく抽出していることの説明として、設備選定作業のための色塗り等の作業プロセスを、消火設備の窒素ガス消火装置の作業結果を代表として示すものである。

2. 要求される機能、性能と主流路の考え方

(1) 要求される機能、性能について

火災防護設備の消火設備に要求される機能、性能のうち、系統として達成する機能、性能は、以下のa. 項のとおりであり、要求される機能、性能を踏まえて、火災防護設備の消火設備の設計図書等の系統図を色塗りし、機能が要求される対象範囲や対象機器を抽出する。

火災防護設備の消火設備に係る機能要求②が要求される条文の別紙2 抜粋版を添付1に示す。

a. 11条29条：火災等による損傷の防止

- ・火災区域内の消火機能（窒素ガス消火装置及び二酸化炭素消火装置）
- ・グローブボックス内の消火機能
（グローブボックス消火装置、ピストンダンパ、延焼防止ダンパ）

上記を踏まえ、火災区域内の消火機能及びグローブボックス内の消火機能に関して設計図書の色塗りにより、対象範囲及び対象機器を抽出する。

グローブボックス内の消火において、グローブボックス内を負圧に維持しながら消火を行う特徴があり、消火の際には、グローブボックス排気設備の系統上に設置されたピストンダンパを閉止し、グローブボックスへの給気量を低減することにより負圧を維持する設計としている。このため、ピストンダンパはグローブボックス内の消火機能を果たすために必要な設備として抽出する。ピストンダンパの抽出については、共通09別紙2-2-3にて、グローブボックス排気設備における申請対象設備の抽出に合わせて実施する。

また、消火の際、グローブボックス排気設備の系統上に設置された延焼防止ダンパは、グローブボックス内に消火ガスを可能な限り留めるため、消火ガス放出による消火完了後に閉止する設計としている。このため、延焼防止ダンパはグローブボックス内の消火機能を果たすために必要な設備として抽出する。ピストンダンパと同様に延焼防止ダンパにおいても共通09別紙2-2-3にて、グローブボックス排気設備における申請対象設備の抽出に合わせて実施する。

なお、本資料は、共通09で実施している設備選定作業により、申請対象とすべき設備が抜け漏れなく実施されていることのプロセス等を示すため、窒素ガス消火装置における抽出結果を示す。

(2) 消火設備に係る主流路の考え方

基本設計方針の要求を踏まえ、火災区域内の消火機能に係る機器及びグローブボックス内の消火機能の主流路を抽出する。

火災区域内の消火機能及びグローブボックス内の消火機能を達成するために必要な主流路としては、消火ガスを放出区画まで導くための流路と設定し、消火ガス貯蔵容器から各放出区画までの流路を主流路として設定する。

なお、発電炉においては、「発電用原子炉施設の工事計画に係る手続きガイド」を踏まえ、消火設備の主配管としては、水源やガスボンベ等から火災区画までを母管とし、枝管、弁等については基本設計方針及び系統図において記載している。

上記を踏まえ、固定式ガス消火設備である窒素ガス消火装置、二酸化炭素消火装置及びグローブボックス消火装置の消火ガス貯蔵容器から放出区画（火災区域となる室又はグローブボックス）までを主流路とする。

よって、火災区域内の消火機能及びグローブボックス内の消火機能に係る機器として、主配管、消火ポンベを機器として抽出する。

枝管、弁等については、設工認系統図等で記載することとし、申請対象設備としては抽出しない。

「発電用原子炉施設の工事計画に係る手続きガイド」P26 抜粋

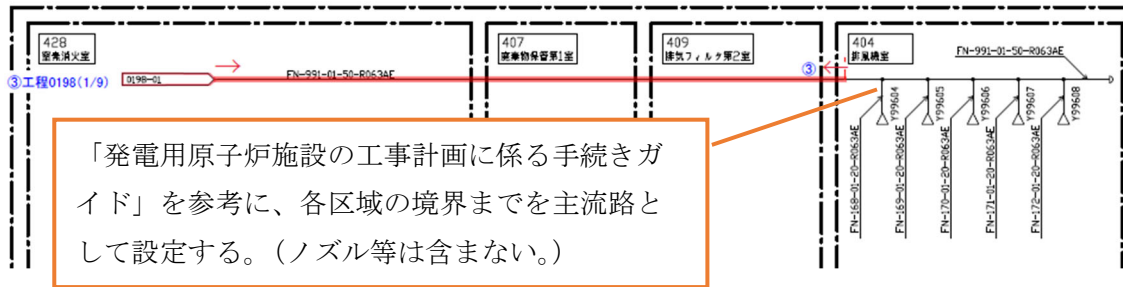
d. 火災防護設備

技術基準規則第11条及び第52条で施設要求されている設備であって、火災区域構造物、火災区画構造物、火災感知設備及び消火設備（水源やガスボンベ等含む。）等とする。消火設備の主配管としては、水源やガスボンベ等から火災区画までの母管とし、枝管、弁等については基本設計方針等及び系統図において記載するものとする。なお、消火設備のうち完成品として一般産業品の規格基準へ適合している汎用の消火器については、基本設計方針において記載するものとする。

a. 火災区域の消火機能

火災区域内の消火機能を有する設備として、火災防護設備の窒素ガス消火装置及び二酸化炭素消火装置が該当する。

主配管の範囲としては、消火ガス貯蔵容器から火災区域が設定される各室の区域境界部までを主配管として抽出する。

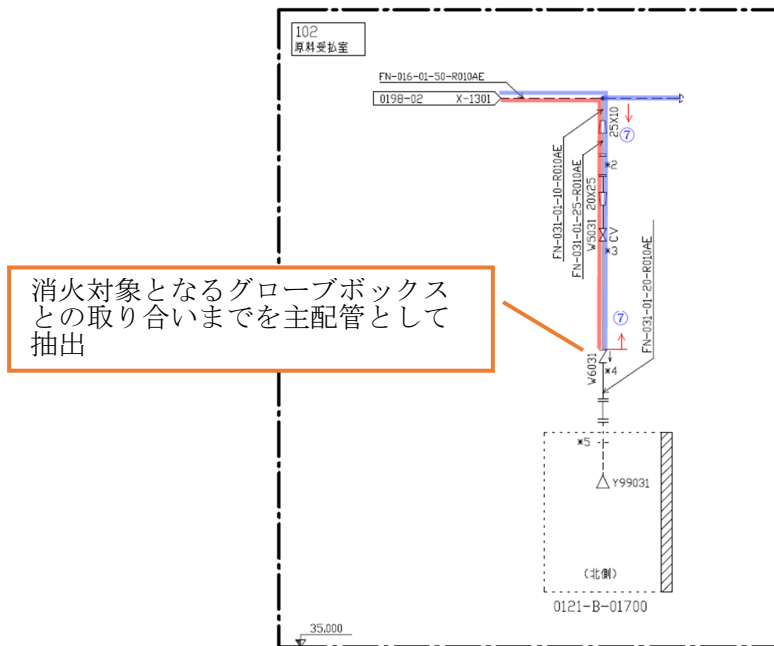


第1図 窒素ガス消火装置に係る主配管の色塗り

b. グローブボックス内の消火機能

グローブボックス内の消火機能を有する設備として、火災防護設備のグローブボックス消火装置が該当する。

主配管の範囲としては、消火ガス貯蔵容器からグローブボックスとの取り付け部となるグローブボックスの第1弁（逆止弁）までを主配管として抽出する。



第2図 グローブボックス消火装置に係る主配管の色塗り

(3) 主配管名称の設定の考え方

消火設備の主配管名称の設定するにあたり、放出区画が多く、一つの選択弁ユニットから複数の放出区画に対して配管が接続されていることを考慮し、各ユニットを支点とし、消火ガス貯蔵容器ユニットから選択弁ユニット、選択弁ユニットから各放出区画となるよう主配管名称を設定する。なお、選択弁ユニット内の配管等については、(4) a. 項に従い、主流路と設定する。

主配管名称の付け方については、添付する「設計図書の記載に係る留意事項」に従い主配管名称を設定し、抽出リストに記載する。

(4) 留意事項

共通09本文に基づき、テストライン、バイパスライン、ベント・ドレンライン等については、主流路の対象としない。

また、主流路上に設置される弁、フィルタ等についても、当該設備に要求される系統として機能、性能を達成するために必要な弁、フィルタ等については、主要機器として抽出し、それ以外の弁、フィルタ等については、主要機器としては抽出しない。

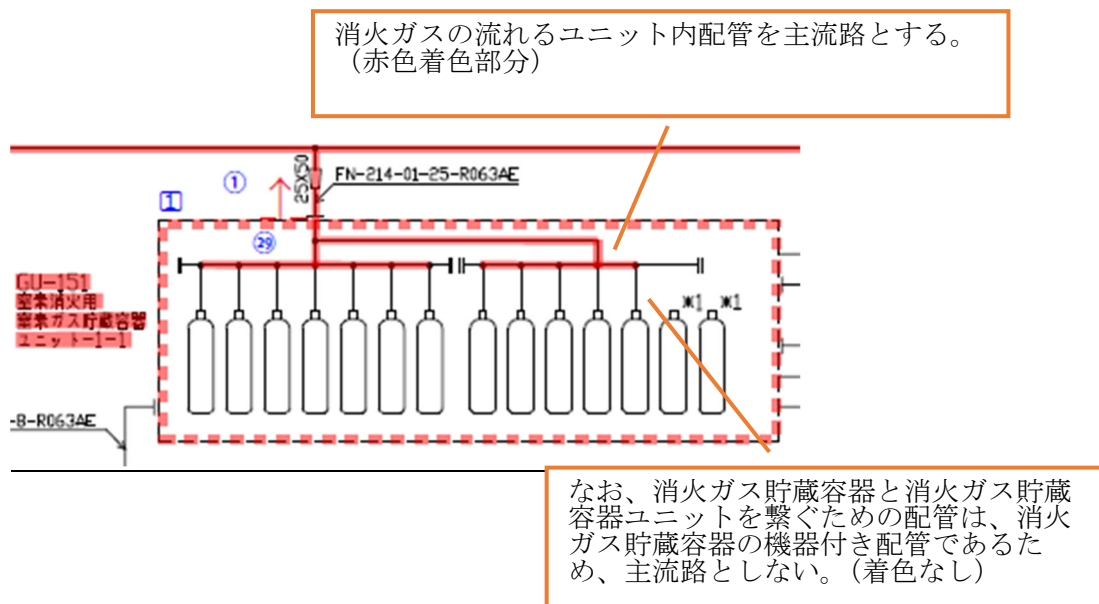
消火設備の特徴を踏まえた主流路を設定する上での留意事項について、以下に示す。

a. ユニット内配管の扱い

消火ガスは、選択弁ユニット等のユニット内の配管を通じて、消火ガス貯蔵容器から放出区画まで流れることから、消火ガスが流れる各ユニット内の配管「ユニット内配管」として主配管に設定する。

主配管として設定するユニット内配管は、BWRの水圧制御ユニット（HCU）を参考に、仕様表等にて仕様を示す。

なお、消火ガス貯蔵容器と消火ガス貯蔵容器ユニット配管を繋ぐための配管は、消火ガス貯蔵容器の機器付き配管であるため、主配管とはしない。

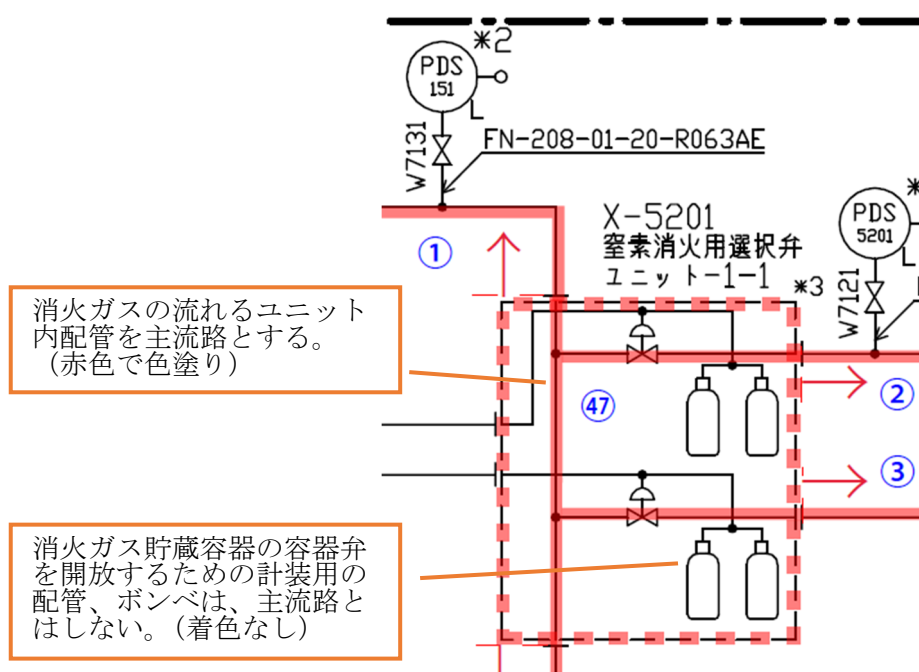


第3図 消火ガス貯蔵容器ユニットにおける色塗り例

b. 消火ポンベの容器弁起動用の計装用配管、ポンベ等の扱い

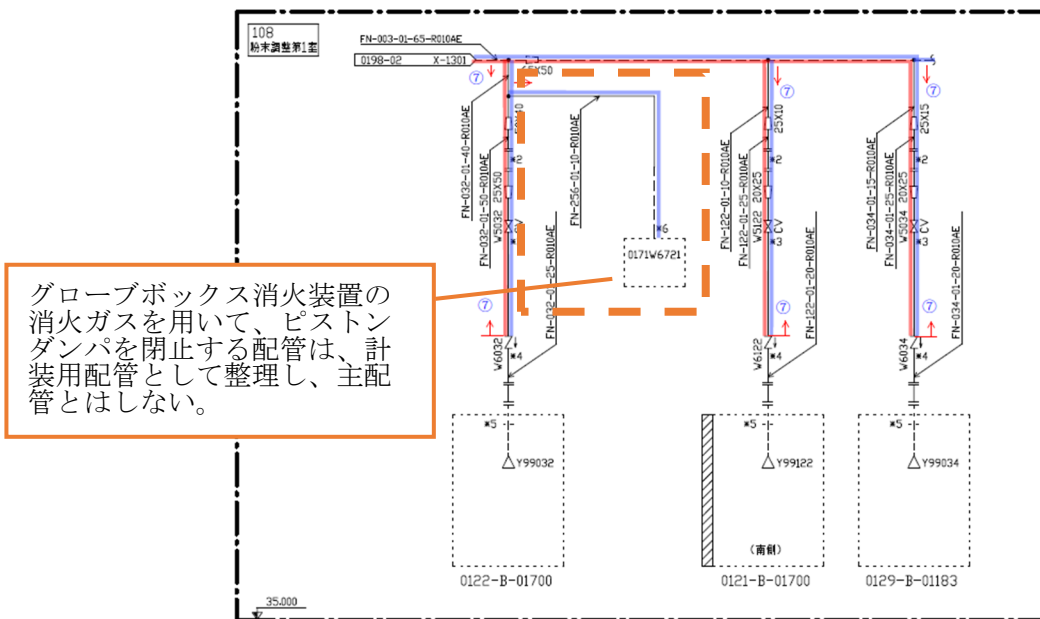
火災区域内の消火機能及びグローブボックス内の消火機能を達成するための主たる機能としては、消火ガス貯蔵容器から放出区画まで導くための流路であり、消火ガス貯蔵容器の容器弁を開放するための計装用の配管、ポンベは、主流路とはしない。

なお、計装用の配管、ポンベにより消火ガス貯蔵容器の容器弁を開放することの方針について、設工認申請書添付書類にて、当該設備の申請時に説明する。



第4図 選択弁ユニットにおける色塗り例

また、グローブボックス排気設備の系統上に設置するピストンダンパの閉止は、グローブボックス消火装置の消火ガスにより閉止する設計としている。グローブボックス消火装置の消火ガスを用いて、ピストンダンパを閉止する配管は、計装用配管として整理し、主配管とはしない。



第5図 計装ライン（ピストンダンパ駆動用）記載例

c. 消火ポンベの抽出に関して

消火装置に係る設計図書における系統図では、消火ポンベはイメージ図としての記載となっており、本数を明示するものではない。仕様表に消火設備を記載するにあたって、ポンベの本数を記載することから、申請対象設備の抽出として、ポンベの本数については、系統図に加えて設置するポンベ本数が記載された当該ポンベの構造図も示した上で申請対象となるポンベを抽出し、抽出リストにまとめる。

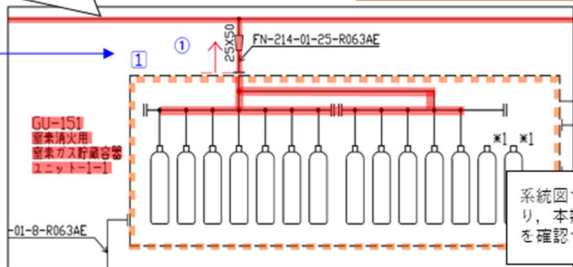
抽出リスト (機器)

【対象機器】	施設区分		設備区分			機器名称 (許可)	機器名称 (許可)												
	その他加工施設		非常用設備	火災防護設備	消火設備														
【主たる機能】	屋内消火					窒素ガス消火装置	対象となる許可の名称の機器と要求される機能、要求を記載												
【機器等の抽出】																			
紐付け番号	施設区分		設備区分			機器名称 (許可)	機器名称	機種	機器番号	設置場所	数量	申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	
1-1	その他加工施設		非常用設備	火災防護設備	消火設備	窒素ガス消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-151	燃料加工建屋	12	2	新設	非安重	-	-	-	-	-
1-2	その他加工施設		非常用設備	火災防護設備	消火設備	窒素ガス消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1 窒素ガス加圧容器	容器	GU-151	燃料加工建屋	2	2	新設	非安重	-	-	-	-	-

系統図の色塗りにより、抽出された機器の情報を記載

図面の①と抽出リストの紐付け番号“1”が紐づいている。

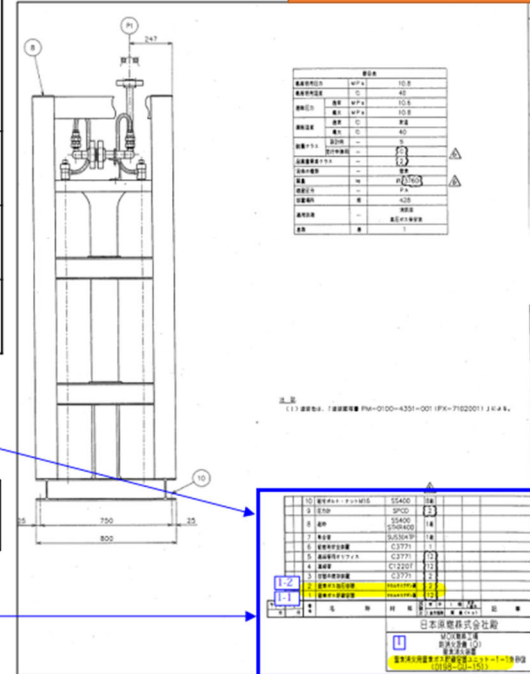
系統図 (設計図書)



ポンベユニットの中に“窒素ガス貯蔵容器”及び“窒素ガス加圧容器”の2種類があるため、枝番号で表記。それぞれを抽出リストにも展開する。

系統図では、消火ポンベのイメージのシンボルであり、本数が明確にならないため、構造図にて、本数を確認する。

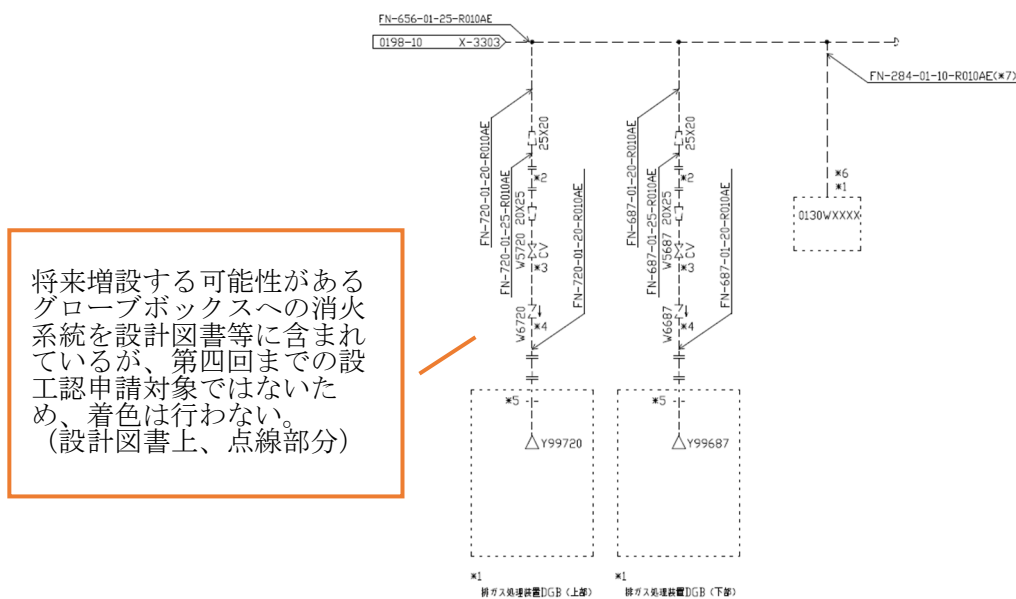
構造図 (設計図書)



第6図 消火ガス貯蔵容器の抽出

d. 将来増設計画の機器の扱い

設計図書等には、今後の設備運用や設備拡張の可能性を考慮し、将来の設備改造を容易にするための構造（今回の工事計画において予め設置する枝管や管台等）が存在する。これらは、今回の工事計画における主配管には該当しないため、設備抽出の対象外とする。



第7図 将来増設を計画している系統の記載例

3. 要求される耐震クラスの考え方

事業変更許可申請書を踏まえ、窒素ガス消火装置、二酸化炭素消火装置及びグローブボックス消火装置に要求される耐震クラスを踏まえ、申請対象設備の抽出を行う。要求される耐震クラスを整理するにあたって、事業変更許可申請書の「添付書類五 添5第11表 クラス別施設」及び「添付書類五 添5第12表 重大事故等対処設備（主要設備）の設備区分」を踏まえて、対象範囲が明確になるよう、設備を抽出する。

(1) 窒素ガス消火装置及び二酸化炭素消火装置

窒素ガス消火装置及び二酸化炭素消火装置は、耐震Cクラスである。なお、窒素ガス消火装置及び二酸化炭素消火装置に重大事故等対処設備の要求はない。

(2) グローブボックス消火装置

グローブボックス消火装置は、安全上重要な施設のグローブボックスの消火に関する範囲を耐震Sクラス、それ以外の範囲は耐震Cクラスである。なお、グローブボックス消火装置に重大事故等対処設備の要求はない。

グローブボックス消火装置は、設備内に複数の耐震クラスの機器が存在することから、耐震クラスを踏まえ、申請対象設備を抽出する。

添5第11表 クラス別施設 (14/16)

耐震クラス	クラス別施設	主要設備等 ^{※1}		補助設備 ^{※2}		直接火消滅設備 ^{※3}		間接火消滅設備 ^{※4}		既及び影響を考慮すべき設備 ^{※5}	
		施設名	適用範囲	耐震クラス ^{※6}	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	耐震クラス	適用範囲	適用範囲	適用範囲
C	Sクラスに属する施設及びBクラスに属する施設以外の一般産業施設又は公共施設と同等の安全性が要求される施設 (つづき)	放射線管 照射装置	放射線管照射装置	C	非常用照明・電源設備 第1非常用ディーゼル発電機	C	設備・機器の支持構造物	C			
		その他加工設備の附属施設	火災防煙設備 火災防煙設備のうち、Sクラス以外の範囲	C			設備・機器の支持構造物	C			
			発電機設備	C							
			送電機設備	C							
			分圧設備	C							
			分圧設備のうち、Bクラス以外の範囲	C							
			計量設備	C							
			グローブボックス奥圧・温度監視設備	C							
			設水の循環設備 ^{※7}	C							
			冷却水設備 ^{※8}	C							
			冷却水ポンプ設備 ^{※9}	C							
			空調用冷媒回収設備 ^{※10}	C							
			空調用冷媒回収設備 ^{※11}	C							
			空調用冷媒回収設備 ^{※12}	C							
			窒素ガス設備 ^{※13}	C							
			窒素ガス設備 ^{※14}	C							
			水素・アルゴン混合ガス設備 ^{※15}	C							
			アルゴンガス設備	C							
			水素ガス設備	C							
			非管轄可燃性ガス設備	C							
	有気設備	C									
	遮断・保護設備	C									
	ヘリウムガス設備	C									
	酸素ガス設備	C									
	圧縮空気供給設備	C									

第8図 事業変更許可申請書 添5第11表抜粋（その1）

添5第11表 クラス別施設 (4/16)

耐震 クラス	クラス別施設	主要設備等 ^{※1}			補助設備 ^{※2}		高度支持構造物 ^{※3}		間接支持構造物 ^{※4(※5)}		波及影響を考慮すべき 設備 ^{※6}	
		施設名	適用範囲	耐震 クラス (※7)	適用範囲	耐震 クラス	適用範囲	耐震 クラス	適用範囲	耐震 クラス	適用範囲	適用範囲
S	4) その他の施設	その他加工設備の附属施設	火災防範設備 グローブボックス風速監視装置 グローブボックス排火装置 ^{※8} 短絡防止タンク ^{※9} ピストンタンク ^{※10} 水素・アルゴン混合ガス設備 ^{※11}	S S S S S	非常用照明・電報設備 ^{※12}	S	設備・機器の支持構造物	S	燃焼加工装置			

注14 安全上重要な施設のグローブボックスの消火に関する範囲。

第8図 事業変更許可申請書 添5第11表抜粋 (その2)

4. 抽出結果

色塗りにて抽出した機器等のリスト(抽出リスト)、色塗り結果を添付3に示す。

抽出結果を反映した申請対象設備リストを添付2に示す。

設計図書等を確認するにあたり、設計図書の記載に係る留意事項を参考に示す。

設計図書等の色塗りについては、主流路となる部分を明確にし、且つ、設備区分(安全上重要な施設、重大事故等対処設備)を識別できるよう着色する。

複数の耐震クラスを要求されるグローブボックス消火装置の色塗り結果として、主流路を赤色、安全上重要な施設の範囲を青色で着色している。

なお、グローブボックス消火装置の安全上重要な施設の範囲は耐震Sクラスの範囲と同じであることから、青色で着色されている範囲が、耐震Sクラスとして申請する範囲となる。赤色単色の箇所は耐震Cクラスとして申請する範囲となる。

窒素ガス消火装置及び二酸化炭素消火装置については、赤色で着色されている箇所が耐震Cクラスとして申請する範囲となる。

添付 1

別紙 2 機能要求②抜粋
(火災防護設備 (消火設備))

(1) 11条29条：火災等による損傷の防止

項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1回申請			第2回申請				第3回申請				第4回申請		
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更②)	申請対象設備 (1項新規①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	申請対象設備 (1項新規②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更④)	申請対象設備 (1項新規③)
29	d. 燃料加工建屋内へ水素・アルゴン混合ガス受け入れ後も燃料加工建屋内で水素濃度を検出し、万一、水素濃度が水素最高濃度を超える場合には、水素・アルゴン混合ガス濃度異常遮断弁により焼結炉等への水素・アルゴン混合ガスの供給を自動で停止する設計とする。	機能要求① 機能要求②	水素・アルゴン混合ガス設備	設計方針（発生防止）	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-
30	また、焼結炉等では、温度異常に伴う炉内への空気混入を防止するため、熱制制限値を設定し、温度制御機器により焼結時の温度を制御するとともに、炉内温度が熱制制限値を超えないよう過加熱防止回路により炉内の加熱を自動で停止する設計とする。	機能要求②	過加熱防止回路	設計方針（発生防止）	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-
92	b. 水平距離6m以上の離隔距離の確保、火災感知設備及び自動消火設備の設置による分離 互いに相違する系列の火災防護上の系統分離対策を講じる設備は、水平距離間には設置するものを含め可燃性物質が存在しないようにし、系列間を6m以上の離隔距離により分離する設計とし、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置することで系統間を分離する設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	基本方針、GB排風機、火災感知設備、消火設備（窒素消火装置）	基本方針 設計方針（影響軽減）	-	-	-	○	-	GB排風機 【機能要求②】 消火設備 窒素消火装置	<容器> ・容量 ・個数 <主配管> 外径、厚さ	○	-	○	-	-	-	-
93	c. 1時間耐火隔壁による分離、火災感知設備及び自動消火設備の設置による分離 互いに相違する系列の火災防護上の系統分離対策を講じる設備を1時間の耐火能力を有する隔壁で分離し、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置することで系統間を分離する設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求② 評価要求	基本方針、非常用発電機（燃料移送ポンプ）、火災感知設備、消火設備（二酸化炭素消火装置）	基本方針 設計方針（影響軽減）	-	-	-	○	-	消火設備 二酸化炭素消火装置	<容器> ・容量 ・個数 <主配管> 外径、厚さ	○	-	○	-	-	-	-
95	b. 中央監視室床下の影響軽減対策 中央監視室の床下に関しては、「3時間以上の耐火能力を有する隔壁等で分離された設計」、「互いに相違する系列間の水平距離が6m以上あり、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置する設計」、又は「1時間の耐火能力を有する隔壁等で互いの系列間を分離し、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置する設計」とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	基本方針、GB排風機、非常用電源設備、火災感知設備、窒素消火装置	基本方針 設計方針（影響軽減）	-	-	-	○	-	GB排風機 【機能要求②】 消火設備 窒素消火装置	<容器> ・容量 ・個数 <主配管> 外径、厚さ	○	-	○	-	-	-	-

項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1回申請			第2回申請			第3回申請			第4回申請					
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更④)	仕様表			
110	7.1.1.1 火災区域構造物及び火災区画構造物 火災及び爆発の影響軽減対策が必要な火災防護上重要な機器等を設置する火災区域は、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁として、3時間耐火に設計上必要な150mm以上の壁厚を有するコンクリート壁や火災耐久試験により3時間以上の耐火能力を有する耐火壁(耐火隔壁、耐火シーリング、防火扉、延焼防止ダンパ等)、天井及び床により隣接する他の火災区域と分離する。	機能要求②	施設共通 基本設計方針 火災区域構造物	設計方針(火災区域の設定) 設計方針(影響軽減)	○	施設共通 基本設計方針 火災区域構造物	<火災区域構造物> 主要寸法、主要材料	○	-	火災影響軽減設備 延焼防止ダンパ等 【機能要求②】 火災区域構造物	<火災区域構造物> 主要寸法、主要材料	○	-	火災影響軽減設備 防火シャッター	-	-	-	-	
111	重大事故等対処施設を設置する火災区域は、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁により隣接する他の火災区域と分離する。	機能要求②	施設共通 基本設計方針 火災区域構造物	設計方針(火災区域の設定) 設計方針(影響軽減)	○	施設共通 基本設計方針 火災区域構造物	<火災区域構造物> 主要寸法、主要材料	○	-	火災影響軽減設備 延焼防止ダンパ等 【機能要求②】 火災区域構造物	<火災区域構造物> 主要寸法、主要材料	○	-	火災影響軽減設備 防火シャッター	-	-	施設共通 基本設計方針(耐火シーリング等)等	-	
129	a. 消火設備の消火剤の容量 消火設備の消火剤は、想定される火災の性質に応じた十分な容量として、消防法施行規則に基づき算出した消火剤容量を配備する設計とする。	設置要求 機能要求②	消火設備	設計方針(火災の消火)	-	-	-	○	-	消火設備 GB消火装置 窒素消火装置 二酸化炭素消火装置	<容器> ・容量 ・個数 <主配管> 外径、厚さ	-	-	-	-	○	-	消火設備 消火用水槽 ろ過水貯槽	-
130	ただし、グローブボックス内の消火を行う不活性ガス消火装置(グローブボックス消火装置)については、グローブボックス排風機の運転を継続しながら消火を行うという特徴を踏まえ、グローブボックスの給気量を下回るように消火ガスを放出するとともに、消火ガス放出開始から所定の時間で放出を完了できる設計とする。 また、複数連結したグローブボックスについては、消火ガスの放出単位を設定し、その放出単位の給気量の合計値を下回るように消火ガスを放出するとともに、消火ガス放出開始から所定の時間で放出を完了できる設計とし、消火剤容量は最も大きな放出単位を消火できる量以上を配備する設計とする。	設置要求 機能要求②	消火設備 GB消火装置 ピストンダンパ、延焼防止ダンパ	設計方針(火災の消火)	-	-	-	○	-	消火設備 GB消火装置 ピストンダンパ 延焼防止ダンパ	<容器> ・容量 ・個数 <主配管> 外径、厚さ <主要弁> 主要寸法	-	-	-	-	-	-	-	-
133	b. 消火設備の系統構成 (a) 消火用水供給系の多重性又は多様性 消火用水供給系の水源として、ろ過水貯槽(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))及び消火用水貯槽(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))を設置し、多重性を有する設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	消火設備	設計方針(火災の消火)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	消火設備 消火用水槽 ろ過水貯槽	-
135	消火用水系の消火ポンプは、電動機駆動消火ポンプ(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))に加え、ディーゼル駆動消火ポンプ(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))を設置することで、多様性を有する設計とする。また、消火配管内を加圧状態に保持するため、機器の単一故障を想定し、圧力調整用消火ポンプ(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))を2基設ける設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	消火設備 ディーゼル駆動消火ポンプ、 電動機駆動消火ポンプ	設計方針(火災の消火)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	消火設備 電動機駆動消火ポンプ ディーゼル駆動消火ポンプ	-
136	また、緊急時対策建屋の消火ポンプは電動駆動消火ポンプを2台設置することで、多重性を有する設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	消火設備 電動機駆動消火ポンプ	設計方針(火災の消火)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	消火設備 電動機駆動消火ポンプ	-

補足説明資料「火防00-02 本文、添付書類、補足説明項目への展開(火防)」の別紙2の項目番号133,135及び136の要求種別に記載している「機能要求②」は誤記であるため、次回適切に訂正する。

項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1回申請			第2回申請			第3回申請			第4回申請				
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	申請対象設備 (1項新規②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更④)	申請対象設備 (1項新規③)	仕様表
166	(3)中央監視室床下の火災影響軽減設備 中央監視室床下の火災防護上の系統分離を講じる設備（ケーブル）の系統分離は、「第1章 共通項目 5.4.1(2)b.中央監視室床下の影響軽減対策」に示す耐火隔壁、火災感知設備及び自動消火設備により行う設計とする。 このうち、火災及び爆発の影響軽減設備については、耐火隔壁により構成する設計とする。 なお、耐火隔壁、火災感知設備及び自動消火設備については、本項(1)、7.1.1.2火災感知設備及び7.1.1.3消火設備に基づく設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	基本方針、GB排風機、非常用 所内電源設備、火災感知設 備、窒素消火装置	基本方針 設計方針（影響軽減）	-	-	-	○	-	GB排風機 【機能要求②】 消火設備 窒素消火装置	<容器> ・容量 ・個数 <主配管> 外径、厚さ	○	-	非常用発電機の系統 火災感知設備 自動火災報知設備	-	-	-	-

添付 2

申請対象設備リスト（系統設備）

（火災防護設備（消火設備））

申請対象設備リスト（系統設備）

(2/2)

番号	施設区分	設備区分	機器（許可）	機器	機種	基本設計方針 紐付け番号	エビデンス 紐付け番号	別紙番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)			
	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット1 二酸化炭素貯蔵容器	容器	11条29条-93 11条29条-129	系統_二酸化炭素消火装置_機器_1	別紙2-2-2	燃料加工建屋	8	2	新設	非安重	—	C/—	—	—
	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット2 二酸化炭素貯蔵容器	容器	11条29条-93 11条29条-129	系統_二酸化炭素消火装置_機器_2	別紙2-2-2	燃料加工建屋	8	2	新設	非安重	—	C/—	—	—
	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット1 二酸化炭素貯蔵容器	容器	11条29条-93 11条29条-129	系統_二酸化炭素消火装置_機器_3	別紙2-2-2	燃料加工建屋	14	2	新設	非安重	—	C/—	—	—
	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット2 二酸化炭素貯蔵容器	容器	11条29条-93 11条29条-129	系統_二酸化炭素消火装置_機器_4	別紙2-2-2	燃料加工建屋	14	2	新設	非安重	—	C/—	—	—
	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	主配管（常設）（二酸化炭素消火装置）	主配管	11条29条-93 11条29条-129	系統_二酸化炭素消火装置_配管_1~15	別紙2-2-2	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/—	—	—
	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条29条-129 11条29条-130	系統_グローブボックス消火装置_機器_1	別紙2-2-2	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	S/—	—	—
	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条29条-129 11条29条-130	系統_グローブボックス消火装置_機器_2	別紙2-2-2	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	S/—	—	—
	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-3 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条29条-129 11条29条-130	系統_グローブボックス消火装置_機器_3	別紙2-2-2	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	S/—	—	—
	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-4 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条29条-129 11条29条-130	系統_グローブボックス消火装置_機器_4	別紙2-2-2	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	S/—	—	—
	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-5 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条29条-129 11条29条-130	系統_グローブボックス消火装置_機器_5	別紙2-2-2	燃料加工建屋	2	2	新設	安重	—	S/—	—	—
	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条29条-129 11条29条-130	系統_グローブボックス消火装置_機器_6	別紙2-2-2	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	S/—	—	—
	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-2 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条29条-129 11条29条-130	系統_グローブボックス消火装置_機器_7	別紙2-2-2	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	S/—	—	—
	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-3 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条29条-129 11条29条-130	系統_グローブボックス消火装置_機器_8	別紙2-2-2	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	S/—	—	—
	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-4 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条29条-129 11条29条-130	系統_グローブボックス消火装置_機器_9	別紙2-2-2	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	S/—	—	—
	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-5 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条29条-129 11条29条-130	系統_グローブボックス消火装置_機器_10	別紙2-2-2	燃料加工建屋	6	2	新設	安重	—	S/—	—	—
	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条29条-129 11条29条-130	系統_グローブボックス消火装置_機器_11	別紙2-2-2	燃料加工建屋	9	2	新設	安重	—	S/—	—	—
	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条29条-129 11条29条-130	系統_グローブボックス消火装置_機器_12	別紙2-2-2	燃料加工建屋	3	2	新設	安重	—	S/—	—	—
	その他加工設備の附属施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	主配管（常設）（グローブボックス消火系）	主配管	11条29条-129 11条29条-130	系統_グローブボックス消火装置_配管_1~45	別紙2-2-2	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S, C/—	—	—

添付 3

申請対象設備抽出結果（火災防護設備（消火設備））

(1) 窒素ガス消火装置

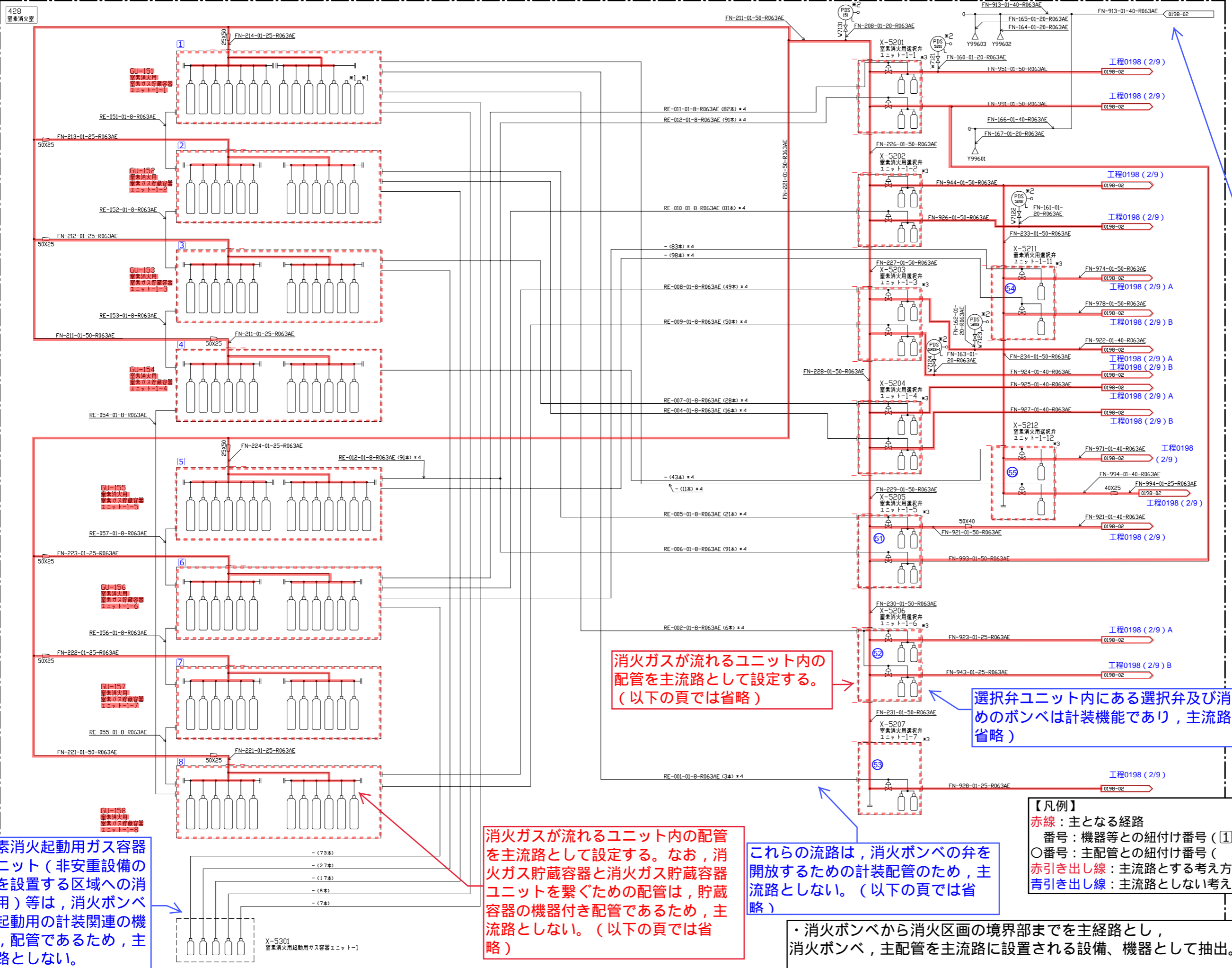
【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器（許可）	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
1	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	—
2	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	—
3	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	—
4	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	—
5	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	—
6	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	—
7	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	—
8	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	—
9	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	—
10	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	—
11	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	—
12	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	—
13	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	—
14	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	—
15	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	—
16	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	—
17	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	—
18	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	—
19	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	—

抽出リスト（配管）（3/4）

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器（許可）	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
20	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	選択弁ユニットX-6202 ～ 321分析第3室、（109点検第1室～110粉末一時保管室～129点検第2室）	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
21	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	選択弁ユニットX-6203 ～ 126ペレット加工第1室、125粉末調整第5室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
22	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	選択弁ユニットX-6204 ～ 102原料受払室、108粉末調整第1室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
23	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	選択弁ユニットX-6205 ～ 111粉末調整第6室、319スクラップ処理室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
24	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	選択弁ユニットX-6206 ～ 117粉末調整第3室、118粉末調整第7室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
25	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	選択弁ユニットX-6207 ～ 121粉末調整第4室、115粉末調整第2室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
26	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	選択弁ユニットX-6208 ～ 156ダンパ駆動用ボンベ第1室、153北第3制御盤室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
27	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3-1、-3-2、-3-3 ～ 428窒素消火室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
28	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4 ～ 522中央監視室フリーアクセスフロア	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
29	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
30	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
31	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-3 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
32	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-4 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
33	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-5 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
34	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-6 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
35	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-7 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
36	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-8 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
37	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
38	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-2 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
39	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-3 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
40	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-4 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
41	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-5 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
42	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-6 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
43	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3-1 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
44	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3-2 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
45	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3-3 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
46	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素ガス消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—



注記
 *1: 窒素ガス加圧容器
 *2: 放気完了信号用
 *3: 選択弁後流に放気信号用圧力スイッチあり。
 *4: 起動用ガス配管等の導圧配管を示す
 例: RE-***-01-8-R063AE (**本) *5
 尚、副管の場合は「-」、(**本)は貯蔵容器開放本数

428室の消火用の流路であるが、(2/9)頁で、すでに428室の境界までを主流路としているため、本ページでは着色しない。

消火ガスが流れるユニット内の配管を主流路として設定する。(以下の頁では省略)

選択弁ユニット内にある選択弁及び消火ポンベの弁を開放するためのポンベは計装機能であり、主流路としない。(以下の頁では省略)

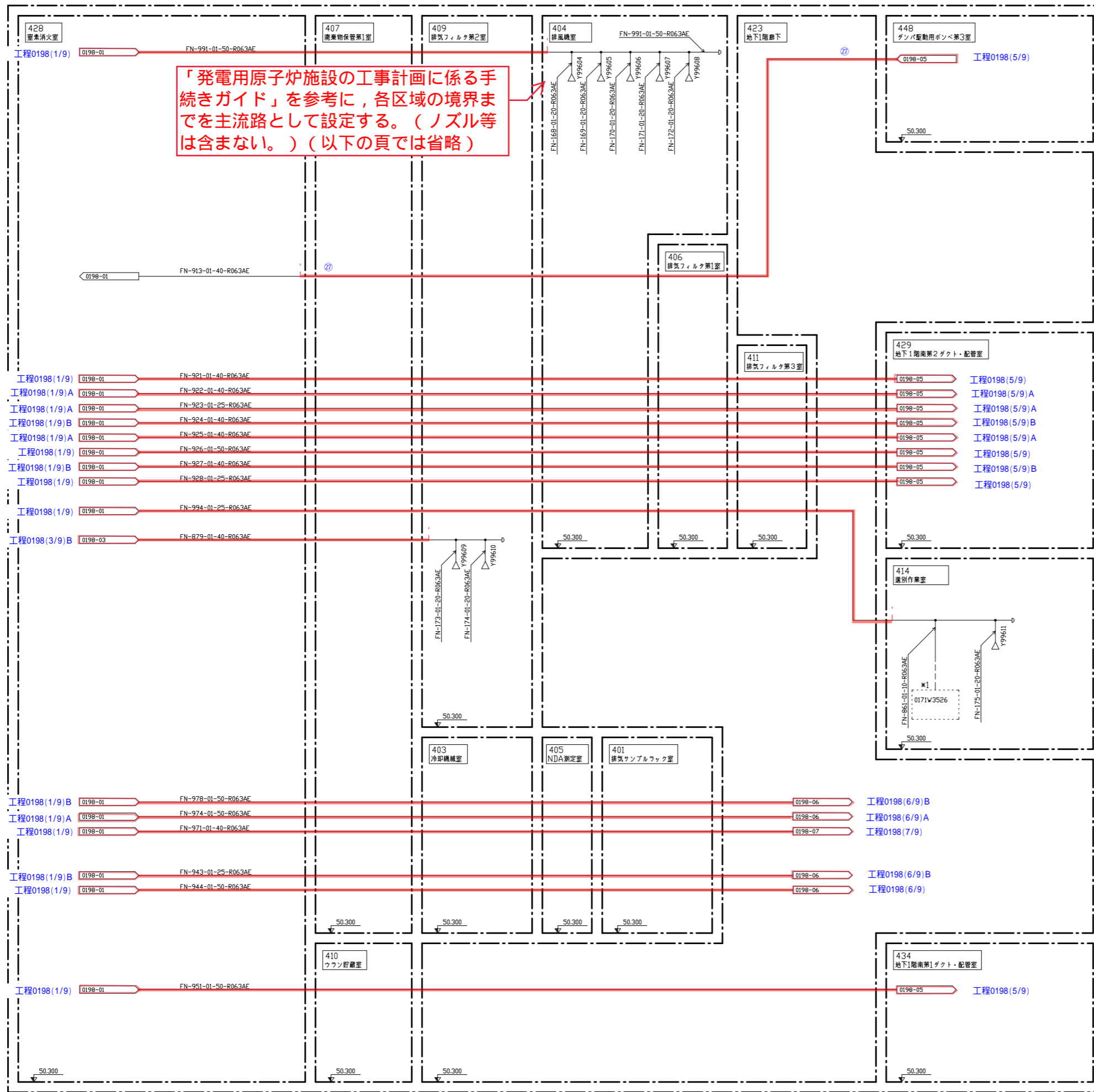
窒素消火起動用ガス容器ユニット(非安重設備のみを設置する区域への消火用)等は、消火ポンベの起動用の計装関連の機器、配管であるため、主流路としない。

消火ガスが流れるユニット内の配管を主流路として設定する。なお、消火ガス貯蔵容器と消火ガス貯蔵容器ユニットを繋ぐための配管は、貯蔵容器の機器付き配管であるため、主流路としない。(以下の頁では省略)

これらの流路は、消火ポンベの弁を開放するための計装配管のため、主流路としない。(以下の頁では省略)

・消火ポンベから消火区画の境界部までを主経路とし、消火ポンベ、主配管を主流路に設置される設備、機器として抽出。

【凡例】
 赤線: 主となる経路
 番号: 機器等との紐付け番号(①, ②, ...)
 ○番号: 主配管との紐付け番号(, , ...)
 赤引き出し線: 主流路とする考え方の補足
 青引き出し線: 主流路としない考え方の補足

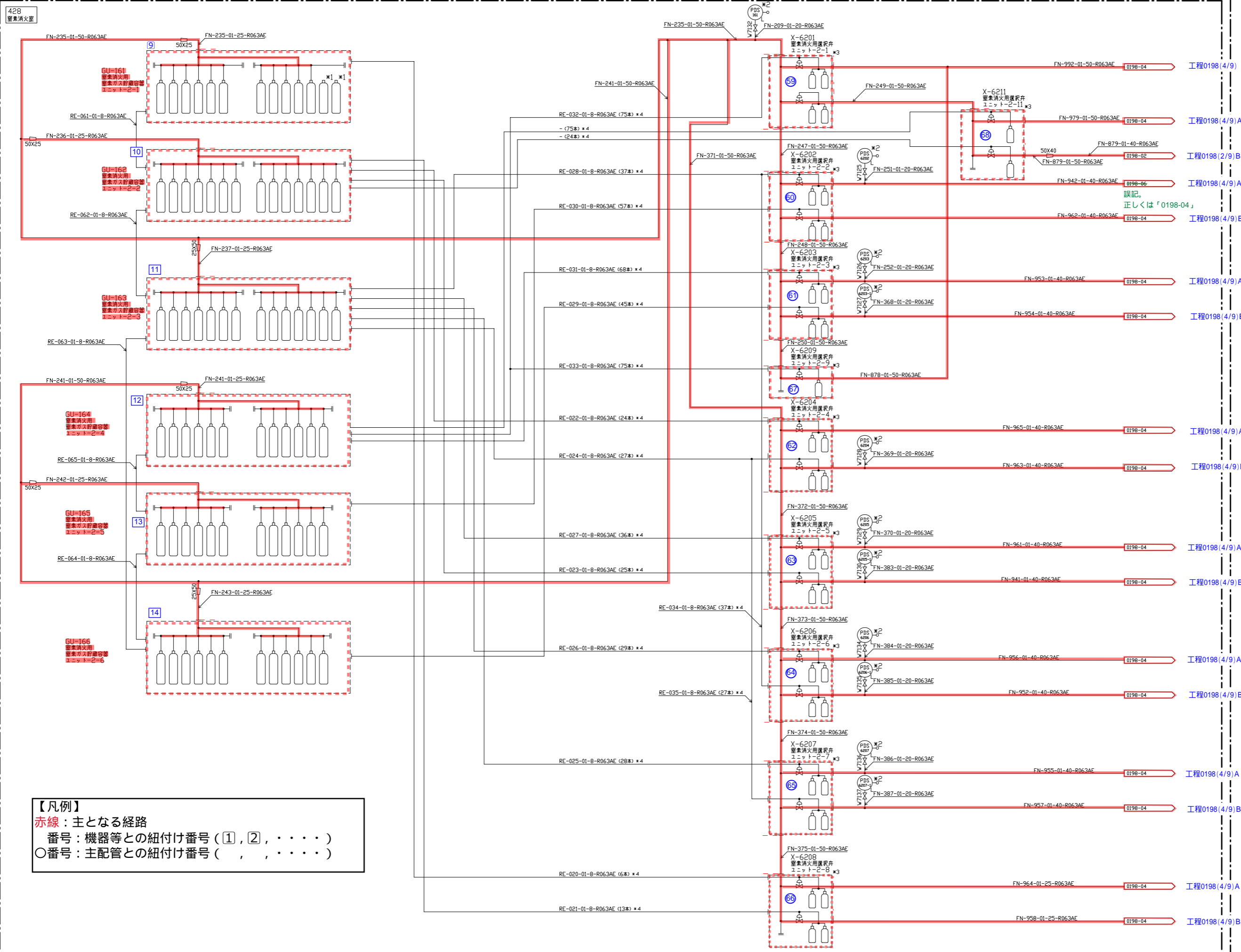


「発電用原子炉施設の工事計画に係る手続きガイド」を参考に、各区域の境界までを主流路として設定する。(ノズル等は含まない。)(以下の頁では省略)

注記
 ※1: 窒素消火装置のピストンポンパ(PD)駆動用導圧管の表示は以下の通り。
 実設: 鋼管(分岐部に設置された短管の端部まで)
 破線: 鋼管(短管の端部〜PD取り合い部まで)

【凡例】
 赤線: 主となる経路
 番号: 機器等との紐付け番号 (①, ②, ……)
 ○番号: 主配管との紐付け番号 (, , ……)
 赤引き出し線: 主流路とする考え方の補足

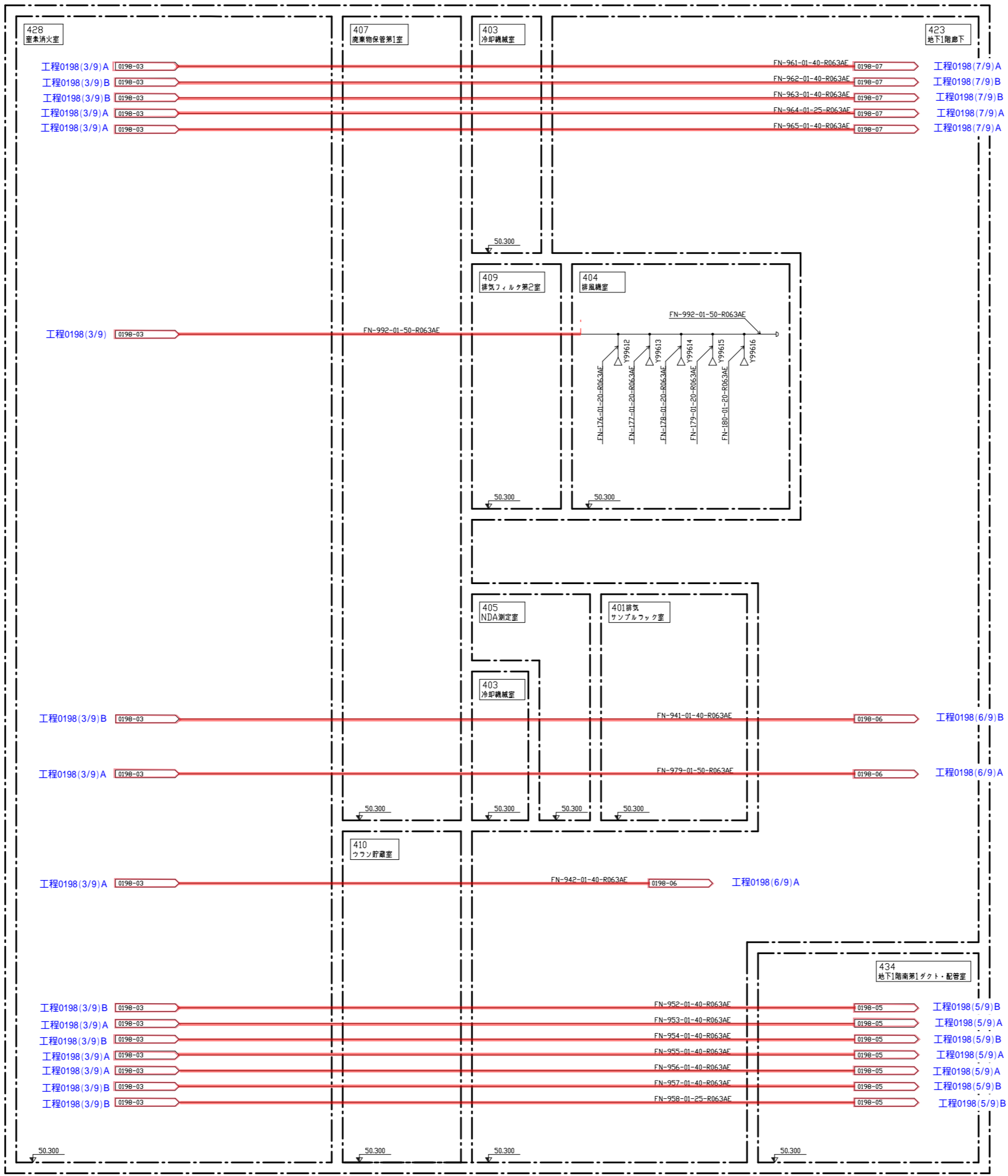
図書名称	燃料加工建屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 新消火設備 (窒素消火装置) エンジニアリングタワー 工程: 0198(N2)(2/9)		
図書番号	PM-0198-4421-068	改訂	0



- 注記
- *1: 窒素ガス加圧容器
 - *2: 放出完了信号用
 - *3: 選択弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。
 - *4: 起動用ガス配管等の増圧配管を示す
例: RE-***-01-8-R063AE (***本) *5
尚、銅管の場合は「-」。(***本)は貯蔵容器開放本数

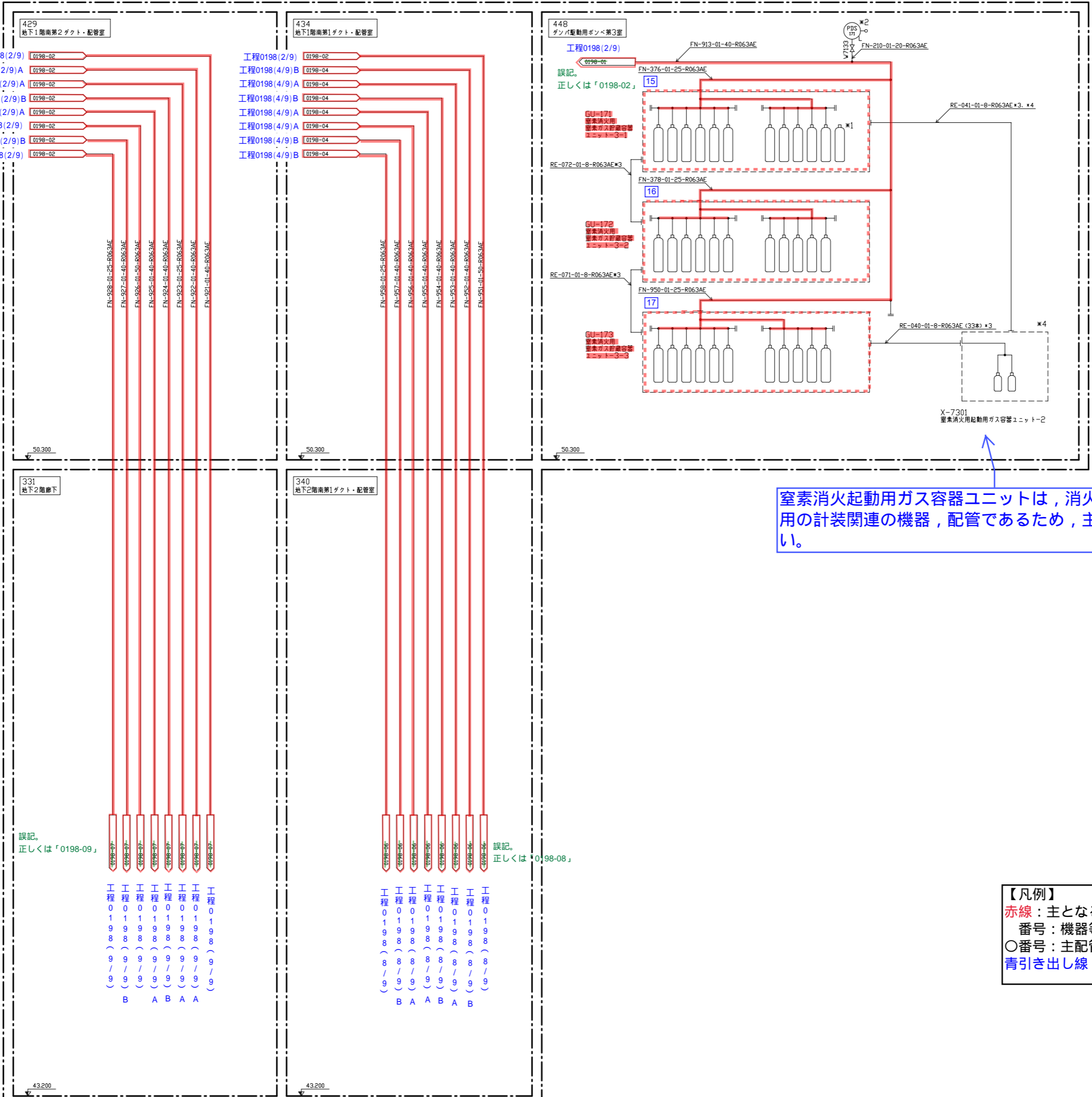
【凡例】
 赤線: 主となる経路
 番号: 機器等との紐付け番号 (①, ②, ...)
 ○番号: 主配管との紐付け番号 (, , ...)

図名	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 消防火設備 (窒素消火装置) エンジニアリングタワー屋 工程: 0198(N2)(3/9)		
※先頭図番	PM-0198-4421-062	改訂	5



【凡例】
 赤線：主となる経路
 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, …)
 ○番号：主配管との紐付け番号 (, , …)

図書名称	燃料加工建屋 (PA) エネルギー設備 (Q) 新消防設備 (室兼消火装置) エンジン・ポンプ・タワー 工程: 0198(N2)(4/9)		
図号	PM-0198-4421-069	改訂	0



- 注記
- *1: 窒素ガス加圧容器
 - *2: 放出完了信号用
 - *3: 起動用ガス配管等の導圧配管を示す
例: RE-***-01-8-R063AE (**本) *3
尚、副管の場合は「-」. (**本) は貯蔵容器開放本数
 - *4: ・窒素消火起動用ガス容器ユニット内に放出信号用圧力スイッチあり。
・当該配管はその圧力スイッチ用の導圧配管。

窒素消火起動用ガス容器ユニットは、消火ポンベの起動用の計装関連の機器、配管であるため、主流路としない。

【凡例】

- 赤線: 主となる経路
- 番号: 機器等との紐付け番号 (①, ②, …)
- 番号: 主配管との紐付け番号 (, , …)
- 青引き出し線: 主流路としない考え方の補足

誤記。
正しくは「0198-09」

誤記。
正しくは「0198-08」

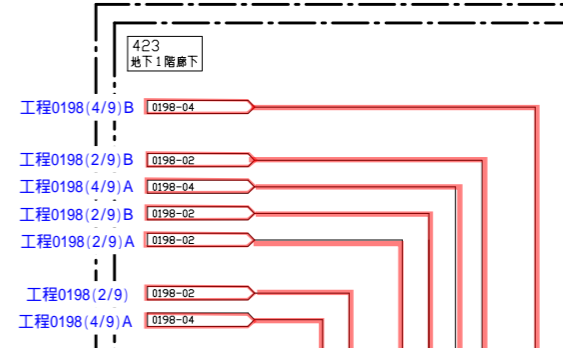
工程 0198-02
工程 0198-04
工程 0198-07
工程 0198-07
工程 0198-07
工程 0198-07
工程 0198-07
工程 0198-07
工程 0198-07

工程 0198-02
工程 0198-04
工程 0198-07
工程 0198-07
工程 0198-07
工程 0198-07
工程 0198-07
工程 0198-07
工程 0198-07
工程 0198-07

工程 0198-02
工程 0198-04
工程 0198-07
工程 0198-07
工程 0198-07
工程 0198-07
工程 0198-07
工程 0198-07
工程 0198-07
工程 0198-07

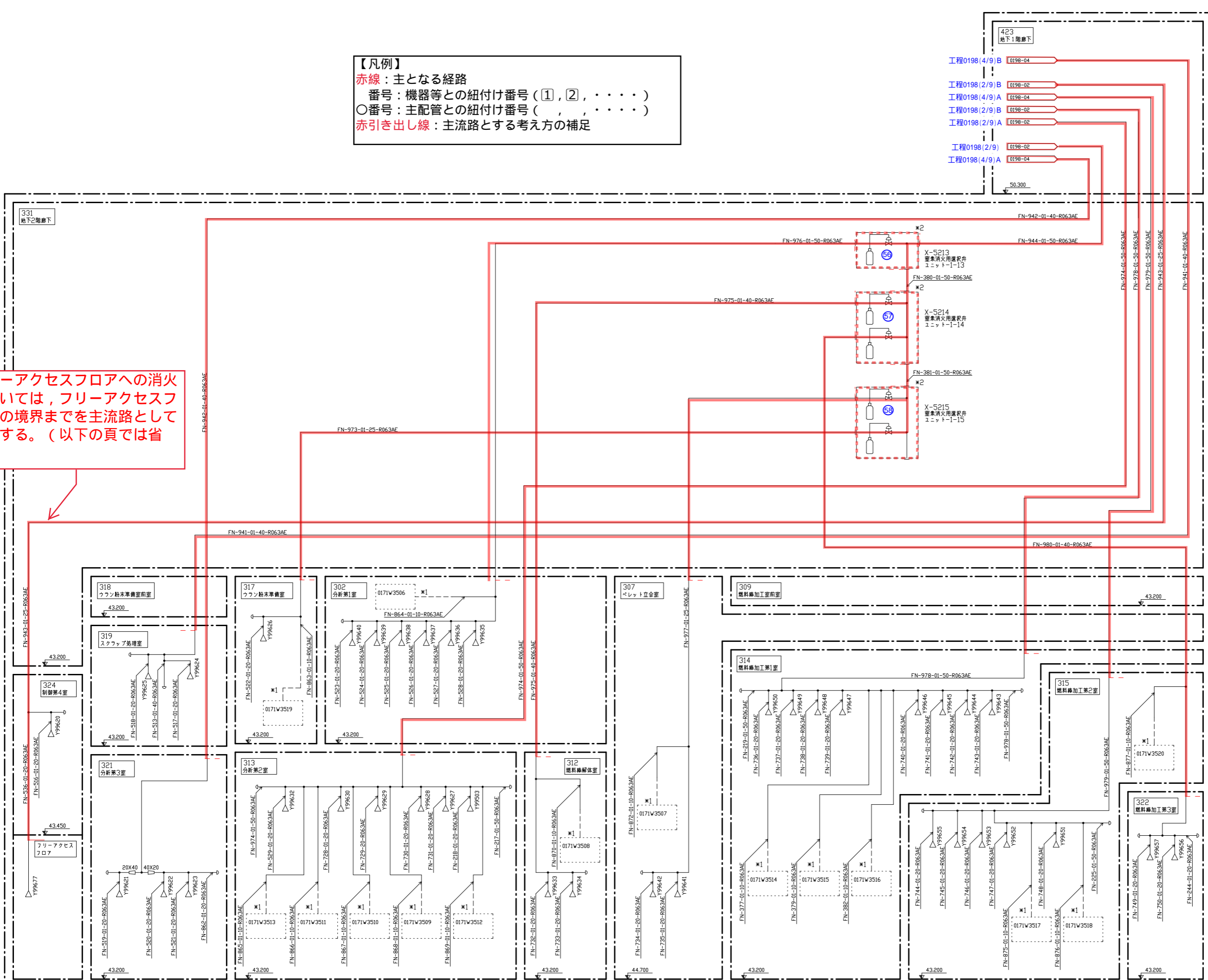
図名	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 新消防設備 (窒素消火装置) エンジニアリングタワー部 工程: 0198(N2)X(5/9)		
図番	PM-0198-4421-063	改訂	6

【凡例】
 赤線：主となる経路
 番号：機器等との紐付け番号（①，②，・・・）
 ○番号：主配管との紐付け番号（・・・・・・）
 赤引き出し線：主流路とする考え方の補足

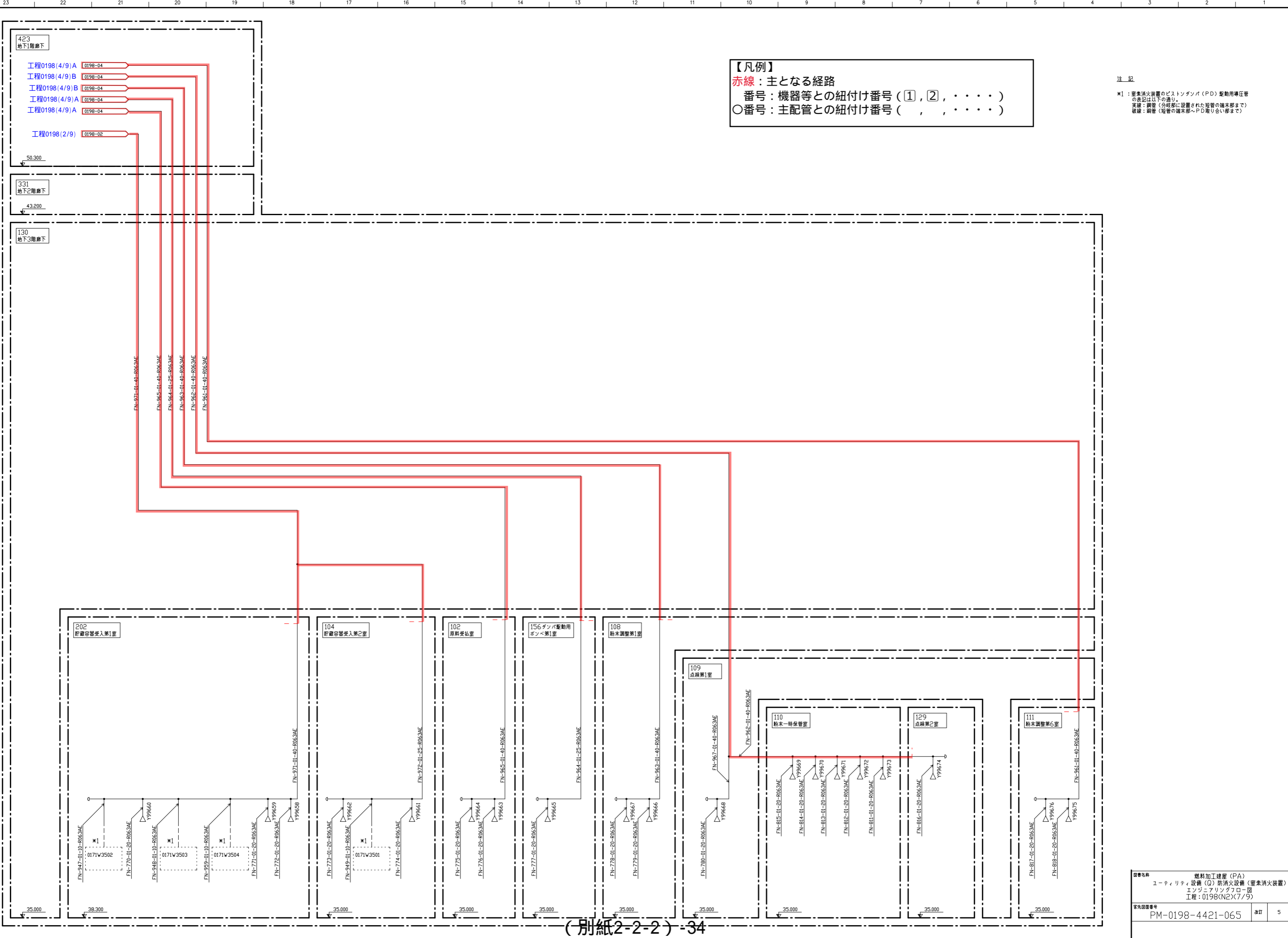


注 記
 ※1：蓄電池装置のピストンバ（PD）駆動用専圧管の表記は以下の通り。
 実線：副管（分岐部に設置された短管の継手まで）
 破線：副管（短管の継手部へPD取り合い部まで）
 ※2：選択弁後流に放出専用圧カスイッチあり。

フリーアクセスフロアへの消火においては、フリーアクセスフロアの境界までを主流路として設定する。（以下の頁では省略）



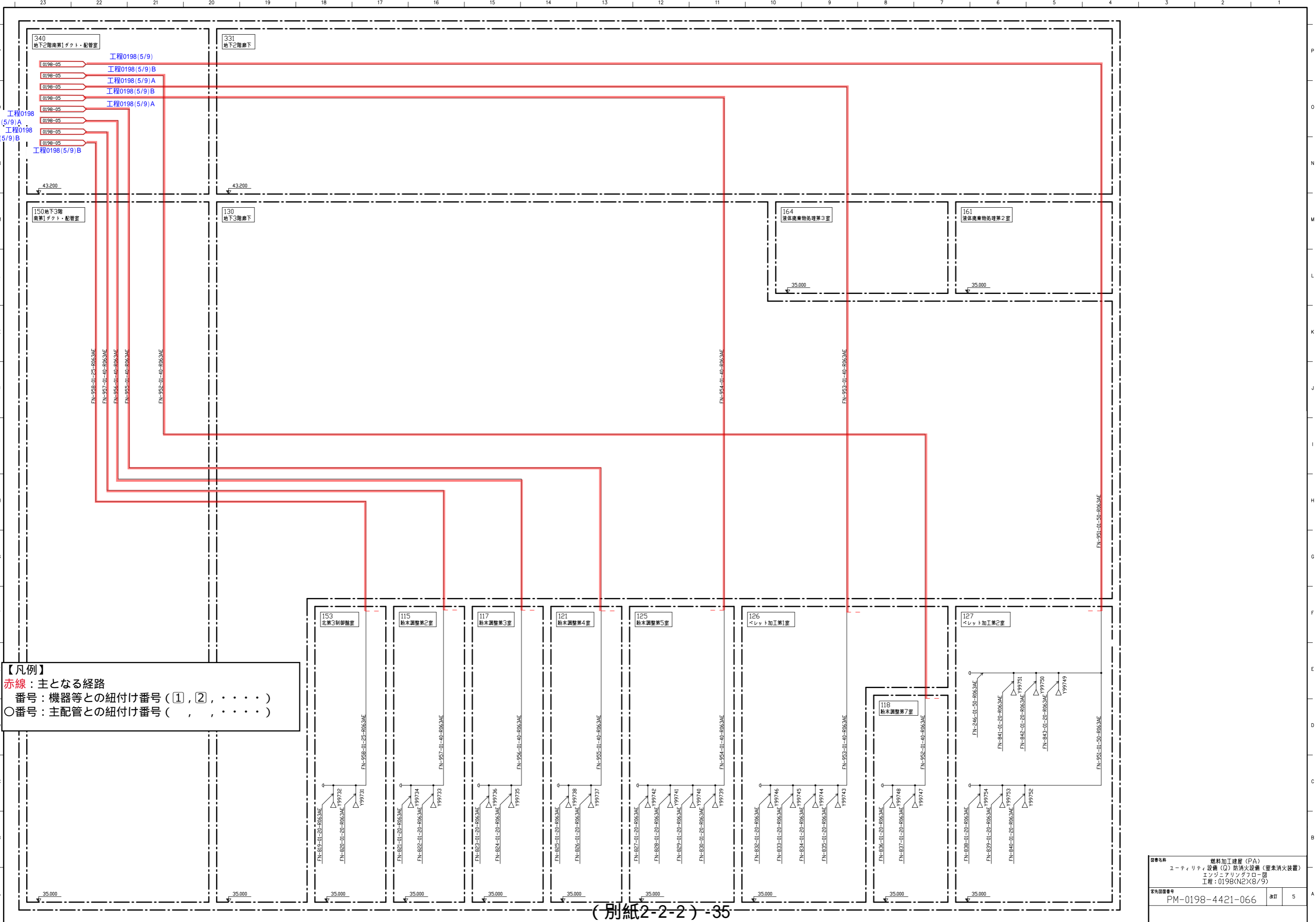
図名	燃料加工棟屋（PA） ユーティリティ設備（Q）新消防設備（蓄電池装置） エンジニアリングフロア部 工程：0198(N)2(X)6/9)
図面番号	PM-0198-4421-064
改訂	6



【凡例】
 赤線：主となる経路
 番号：機器等との紐付け番号 (① , ② , ……)
 ○番号：主配管との紐付け番号 (, , ……)

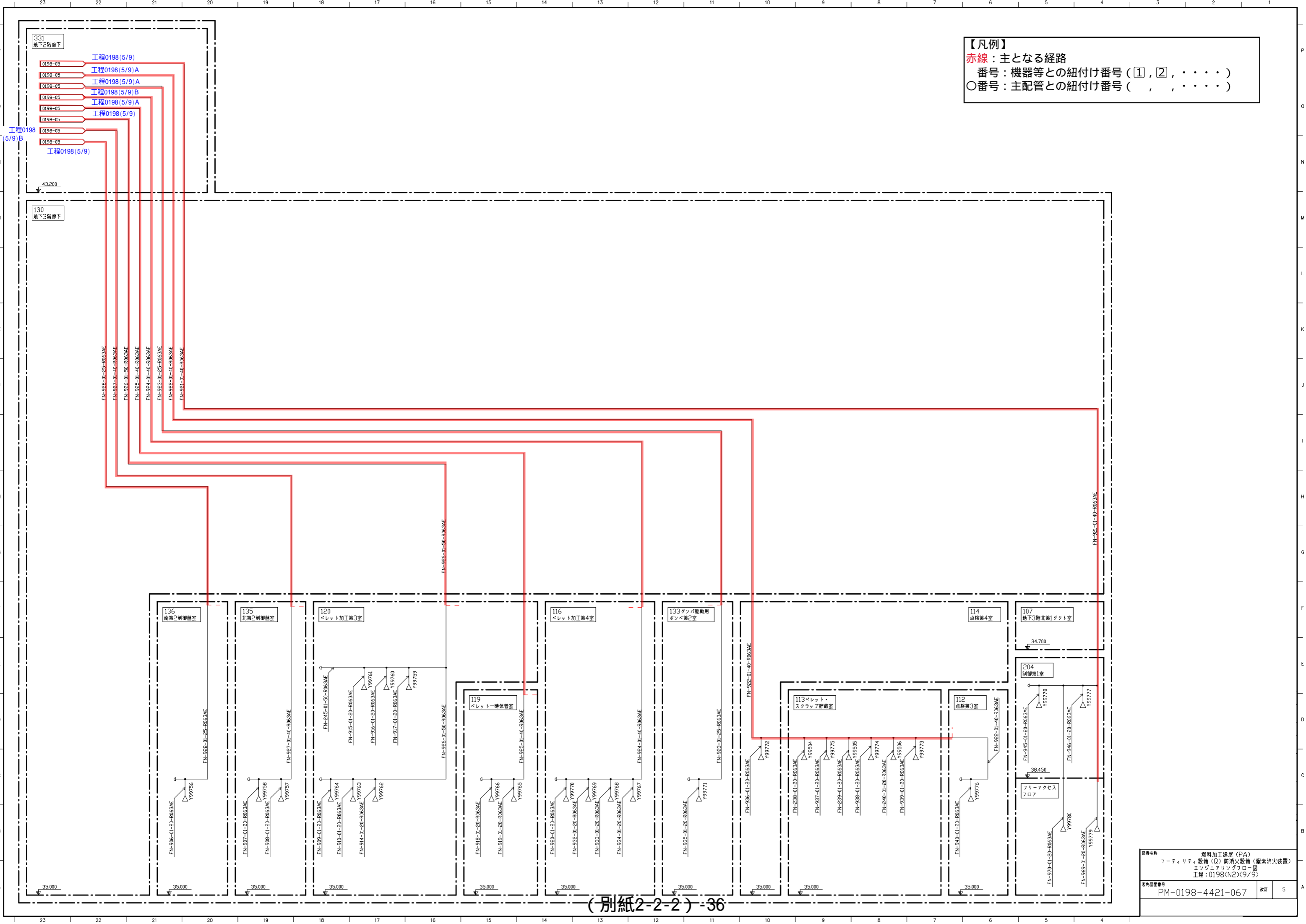
注 記
 *1：密着消火装置のピストンガンパ (PD) 駆動用導圧管の表記は以下の通り
 実線：鋼管 (分岐部に設置された配管の端部まで)
 破線：銅管 (短管の端部〜PD取り付け部まで)

図名	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 新消火設備 (密着消火装置) エンジニアリングフロー図 工程: 0198(N2)(7/9)		
図番	PM-0198-4421-065	改訂	5



【凡例】
 赤線：主となる経路
 番号：機器等との紐付け番号 (① , ② , …)
 ○番号：主配管との紐付け番号 (, …)

図書名称	燃料加工棟屋 (PA)		
	ユーティリティ設備 (Q) 新消火設備 (密着消火装置)		
	エンジンアリアンタフロー扇		
	工程：0198(N2)(8/9)		
図号	PM-0198-4421-066	改訂	5

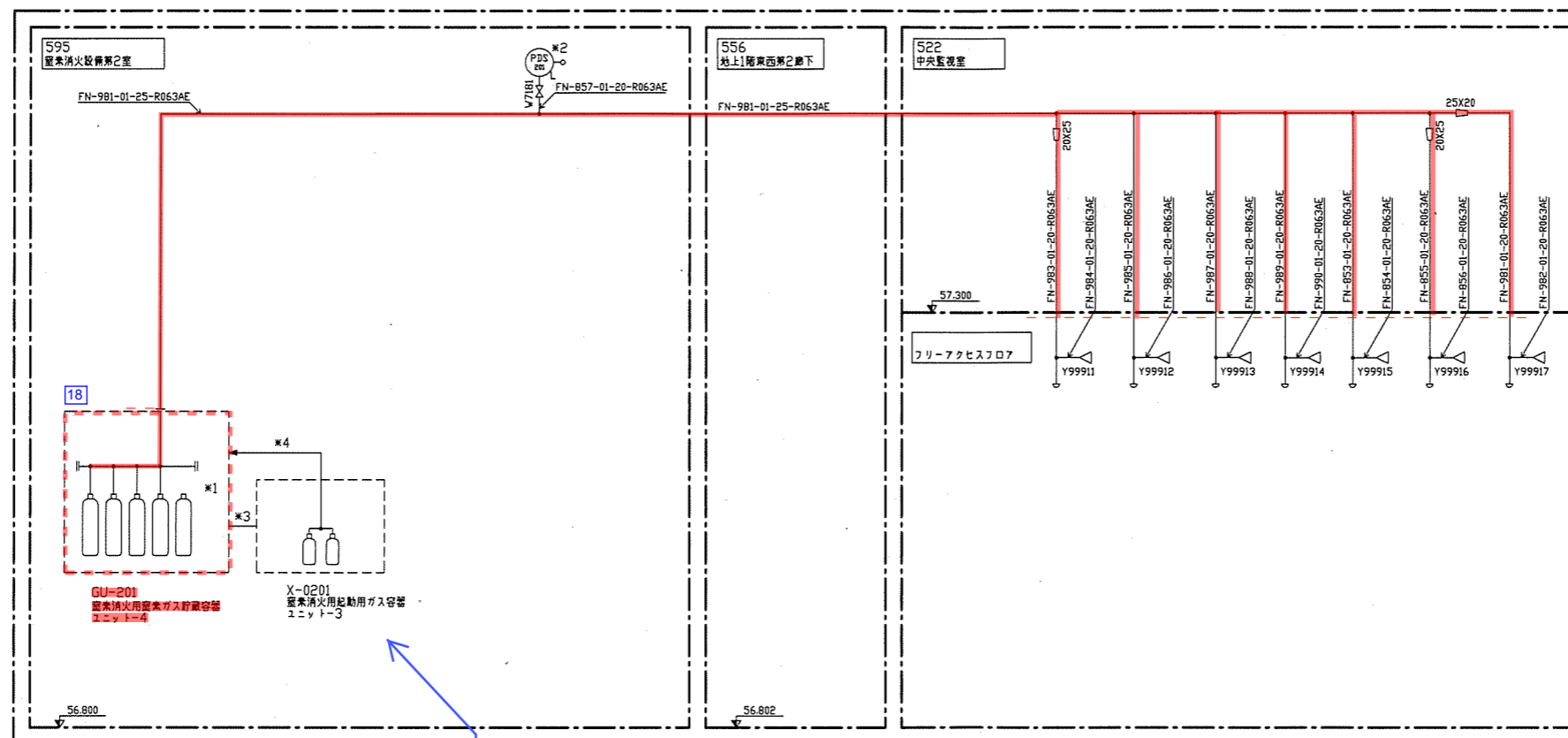


【凡例】
 赤線：主となる経路
 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, ……)
 ○番号：主配管との紐付け番号 (, , ……)

図名	燃料加工棟屋 (PA)		
ユーティリティ設備 (Q) 新消防設備 (室兼消防装置)			
エンジニアリングフロー図			
工程	0198(N2)(9/9)		
図番	PM-0198-4421-067	改訂	5

注記

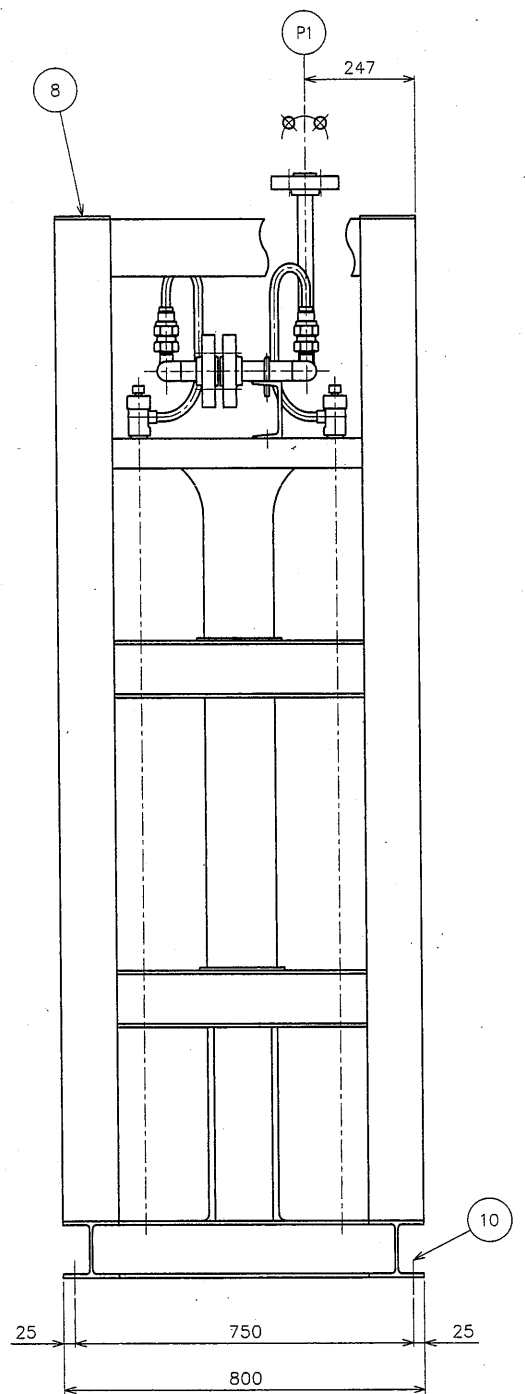
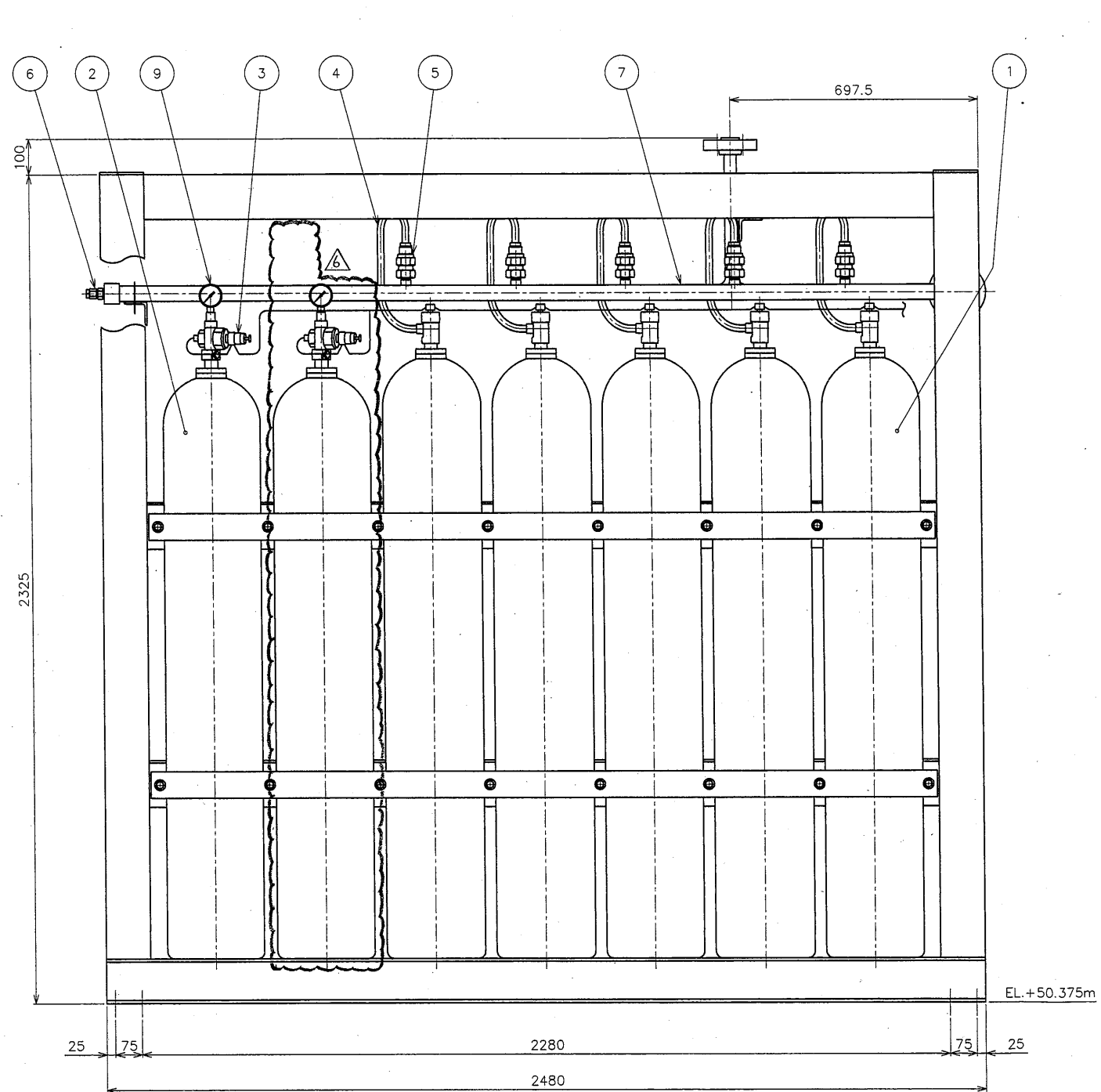
- *1: 窒素ガス加圧容器
- *2: 放出完了作専用
- *3: 窒素消火用起動用ガス容器ユニット内に放出専用圧力スイッチあり。当該配管は圧力スイッチ用の導圧配管
- *4: 起動用ガスの導圧配管を示す。



窒素消火起動用ガス容器ユニットは、消火ポンベの起動用の計装関連の機器、配管であるため、主流路としない。

【凡例】
 赤線：主となる経路
 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, ……)
 ○番号：主配管との紐付け番号 (, , ……)
 青引き出し線：主流路としない考え方の補足

図名	燃料加工棟(PA)ユーティリティ設備(Q) 防火設備(窒素消火装置(中央監視室床下用)) エンジニアリングフロア図 工程:0198(N2<FL>) (1/1)		
図番	PM-0198-4421-070	改訂	HRC



最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常 MPa	10.6
	最大 MPa	10.8
運転温度	通常 ℃	常温
	最大 ℃	40
耐震クラス	設計用	S
	百斤申請用	C
品質重要度クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約3760
建屋区分		PA
設置場所		差 428
適用法規		消防法 高圧ガス保安法
基数		基 1

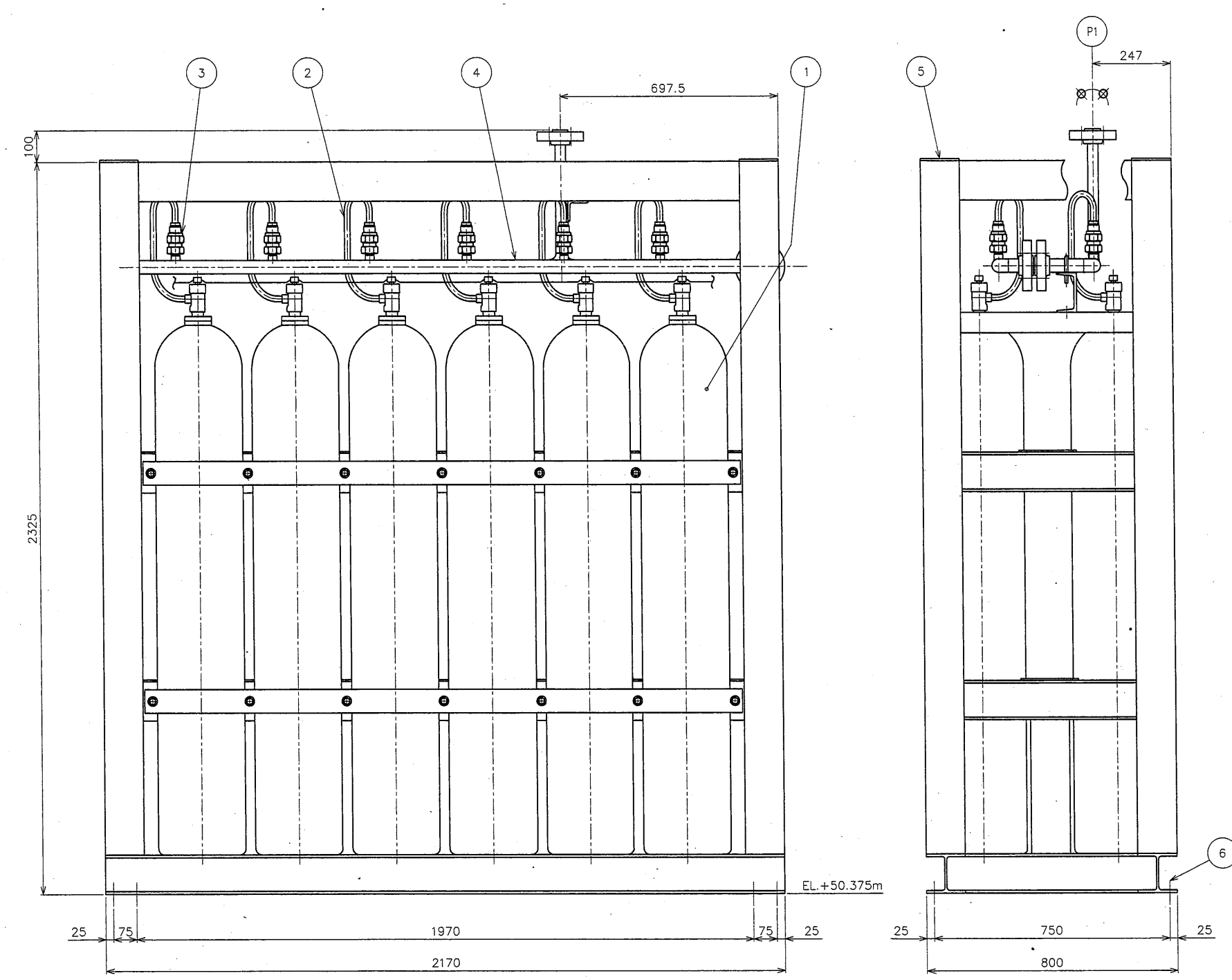
注記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

号	名称	材料	数量	1個重量 (kg)	合計重量 (kg)	備考
10	器付ボルト・ナットM16	SS400	8組			
9	圧力計	SPCD	2			
8	組棒	SS400 STKR400	1組			
7	集合管	SUS304TP	1組			
6	配管用安全装置	C3771	1			
5	連結管用オリフィス	C3771	12			
4	連結管	C1220T	12			
3	容器弁開放装置	C3771	2			
2	窒素ガス加圧容器	クロムモリブデン鋼	2			
1	窒素ガス貯蔵容器	クロムモリブデン鋼	12			

日本原燃株式会社
 MOX燃料工場
 防火設備(Q)
 窒素消火装置
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1外形図
 (0198-GU-151)



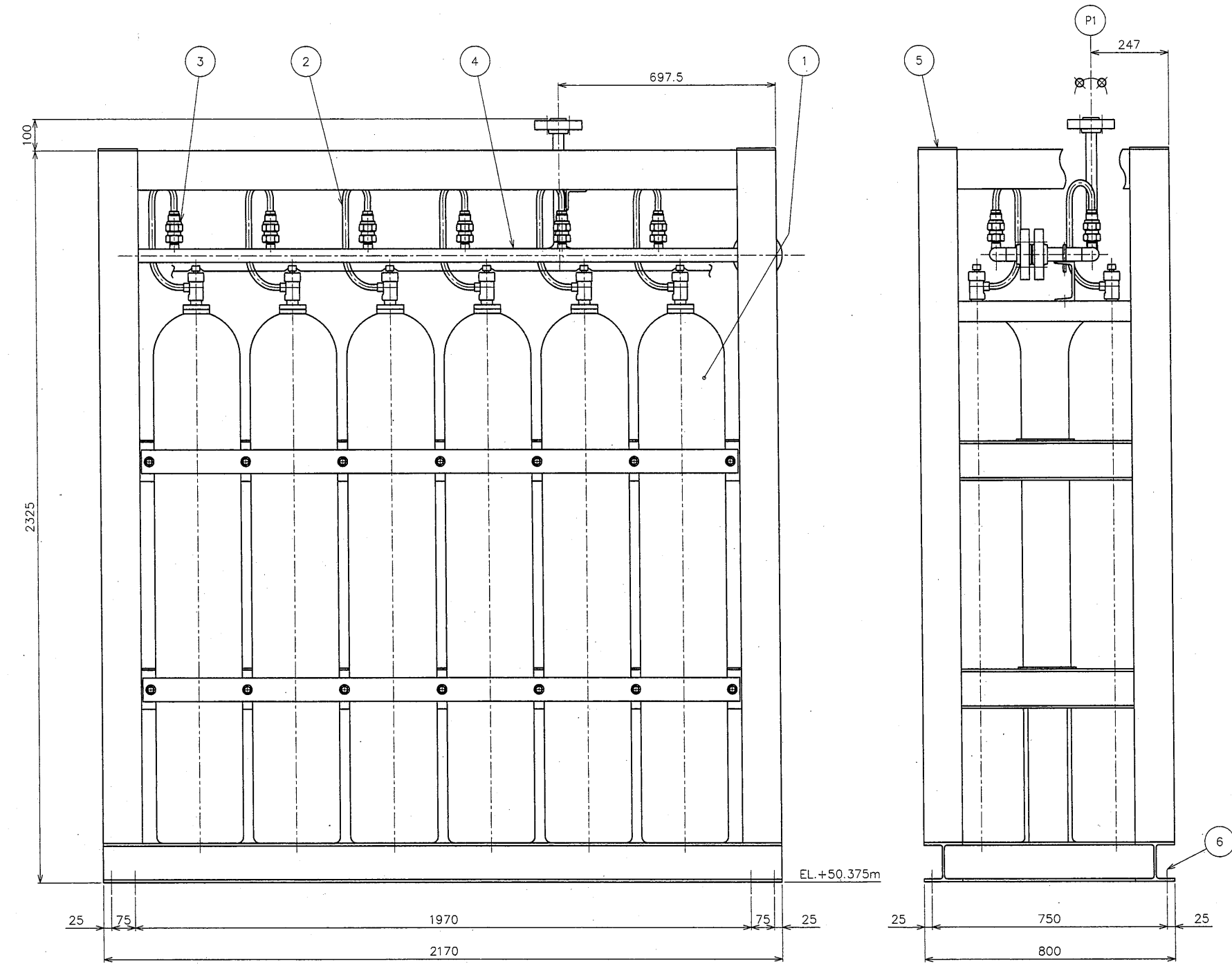
目 録 表		
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 10.6
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	C
必要衝撃度クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3450
建屋区分		PA
設置場所		室
適用法規		消防法
		高圧ガス保安法
基数		1

注 記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

子	子	番	名	材	材	数	備	備	備	備	備
分	分	号	称	料	種	量	考	考	考	考	考
		6	取付ボルト・ナットM16	SS400	8組						
		5	組棒	SS400 STKR400	1組						
		4	集合管	SUS304TP	1組						
		3	連結管用オリフィス	C3771	12						
		2	連結管	C1220T	12						
		1	窒素ガス貯蔵容器	クローキリアン	12						

日本原燃株式会社
 MOX燃料工場
 防火設備 (Q)
 窒素消火装置
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2外形図
 (0198-GU-152)



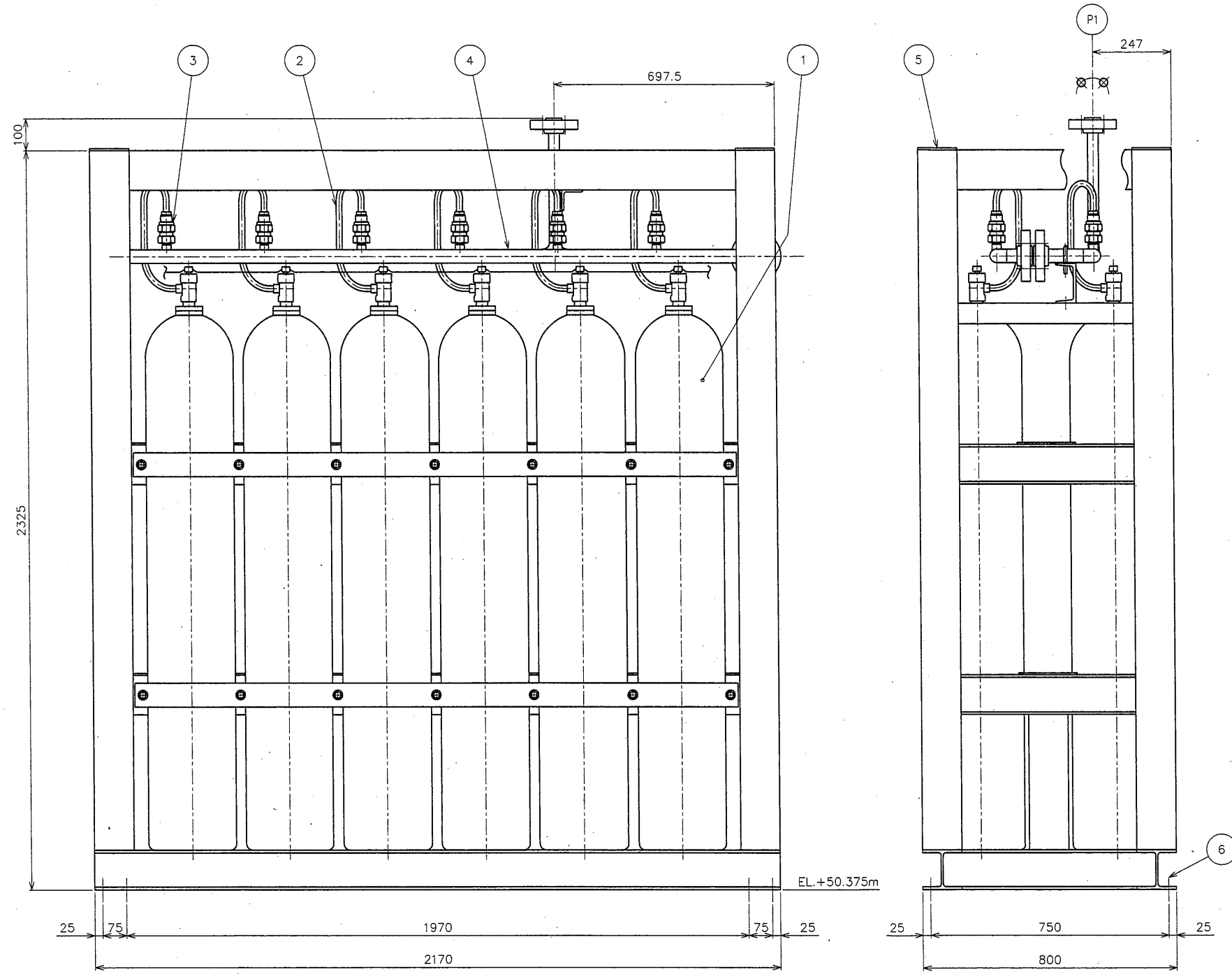
最高使用圧力	MPa	10.8	
最高使用温度	℃	40	
運転圧力	通常	MPa	10.6
	最大	MPa	10.8
運転温度	通常	℃	常温
	最大	℃	40
耐震クラス	設計用	-	S
	百斤申請用	-	C
品質管理度クラス	-	2	
流体の種類	-	窒素	
質量	kg	約 3450	
積層区分	-	PA	
設置場所	-	428	
適用法規	-	消防法 高圧ガス保安法	
番数	基	1	

注記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

品番	名称	材料	仕様	数量	単位	合計数量	重量(kg)	備考
6	締付ボルト・ナットM16	SS400		8組				
5	組棒	SS400 STKR400		1組				
4	集合管	SUS304TP		1組				
3	連結管用オリフィス	C3771		12				
2	連結管	C1220T		12				
1	窒素ガス貯蔵容器	クロムモリブチン鋼		12				

日本原燃株式会社殿
 MOX燃料工場
 防火設備(Q)
 窒素消火装置
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-3外形図
 (0198-GU-153)



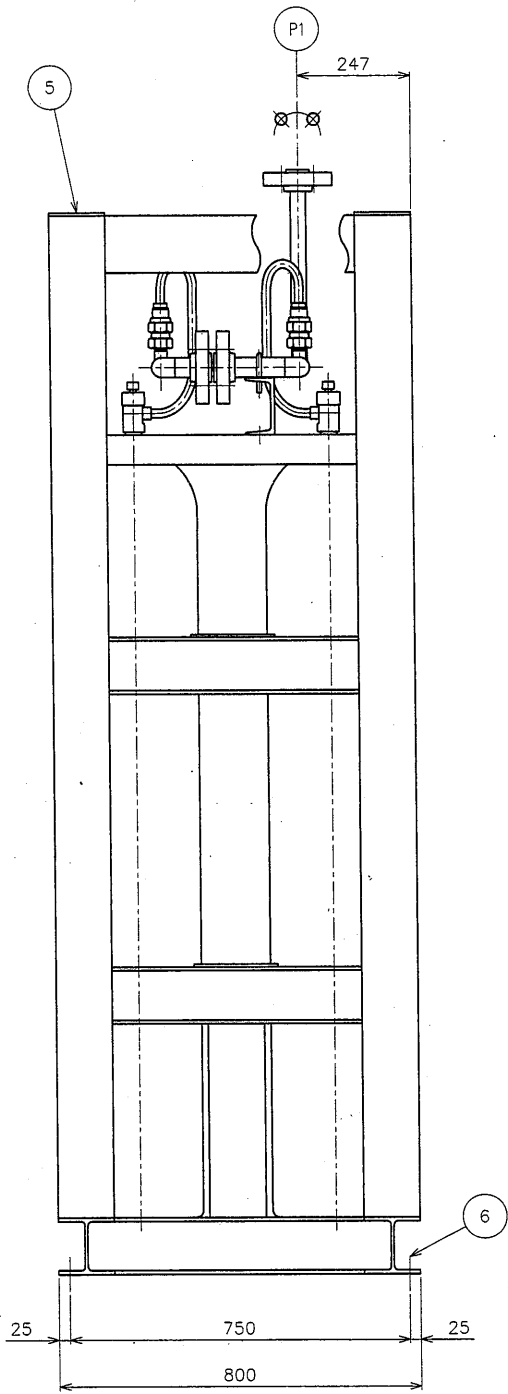
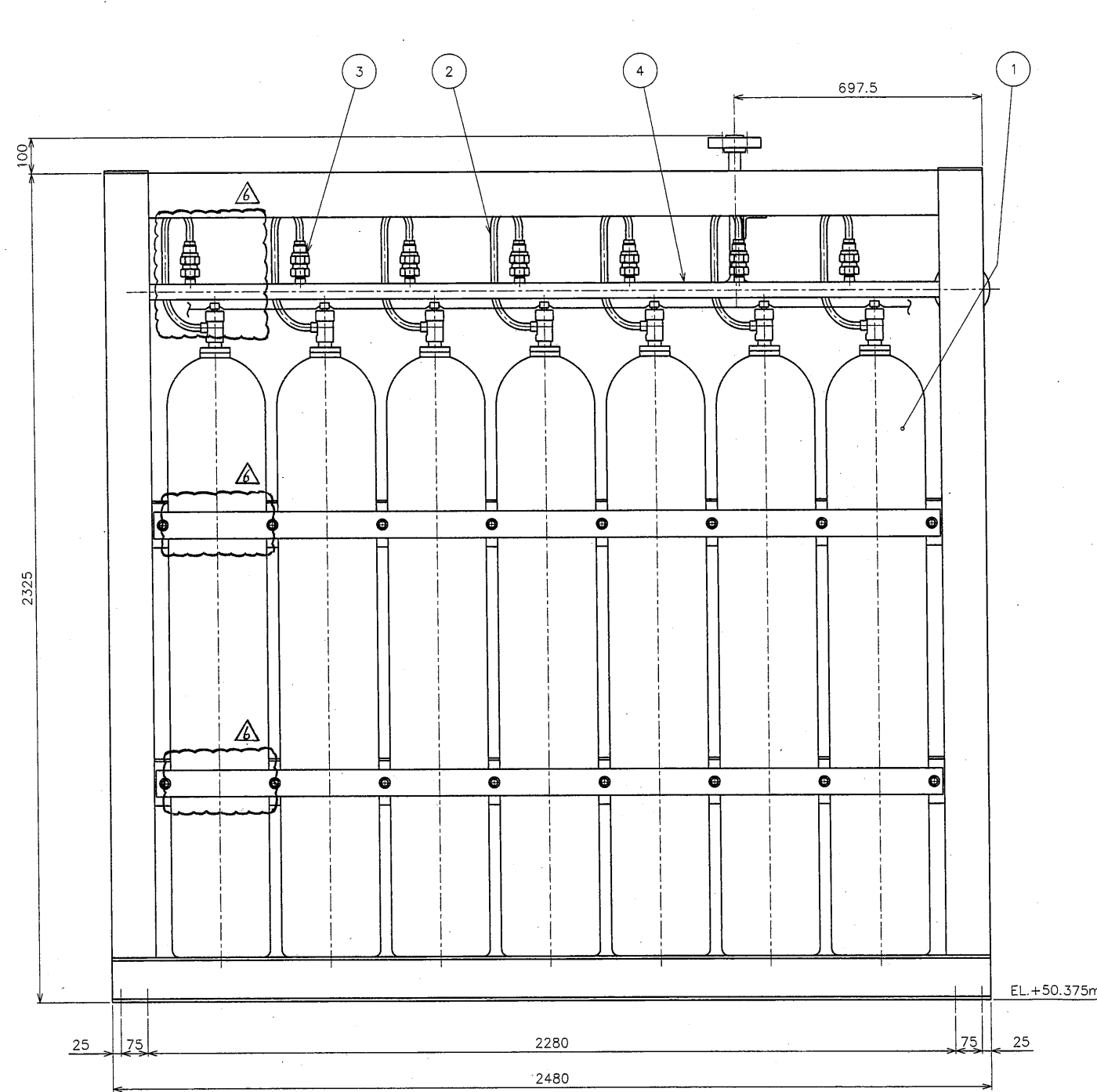
最高使用圧力	M P a	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	M P a 10.6
	最大	M P a 10.8
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	C
品質管理度クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3450
建屋区分		PA
設置場所		室
適用法規		消防法
		高圧ガス保安法
基数	基	1

注 記
(1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

字	分	子	分	名	材	材	試	木	子	1	個	分	記	事
		6		指付ボルト・ナットM16	SS400			8	組					
		5		組棒	SS400 STKR400			1	組					
		4		集合管	SUS304TP			1	組					
		3		連結管用オリフィス	C3771	12								
		2		連結管	C1220T	12								
		4	1	窒素ガス貯蔵容器	クロムモリブデン鋼	12								

日本原燃株式会社
MOX燃料工場
防火設備(Q)
窒素消火装置
窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-4外形図
(0198-GJ-154)



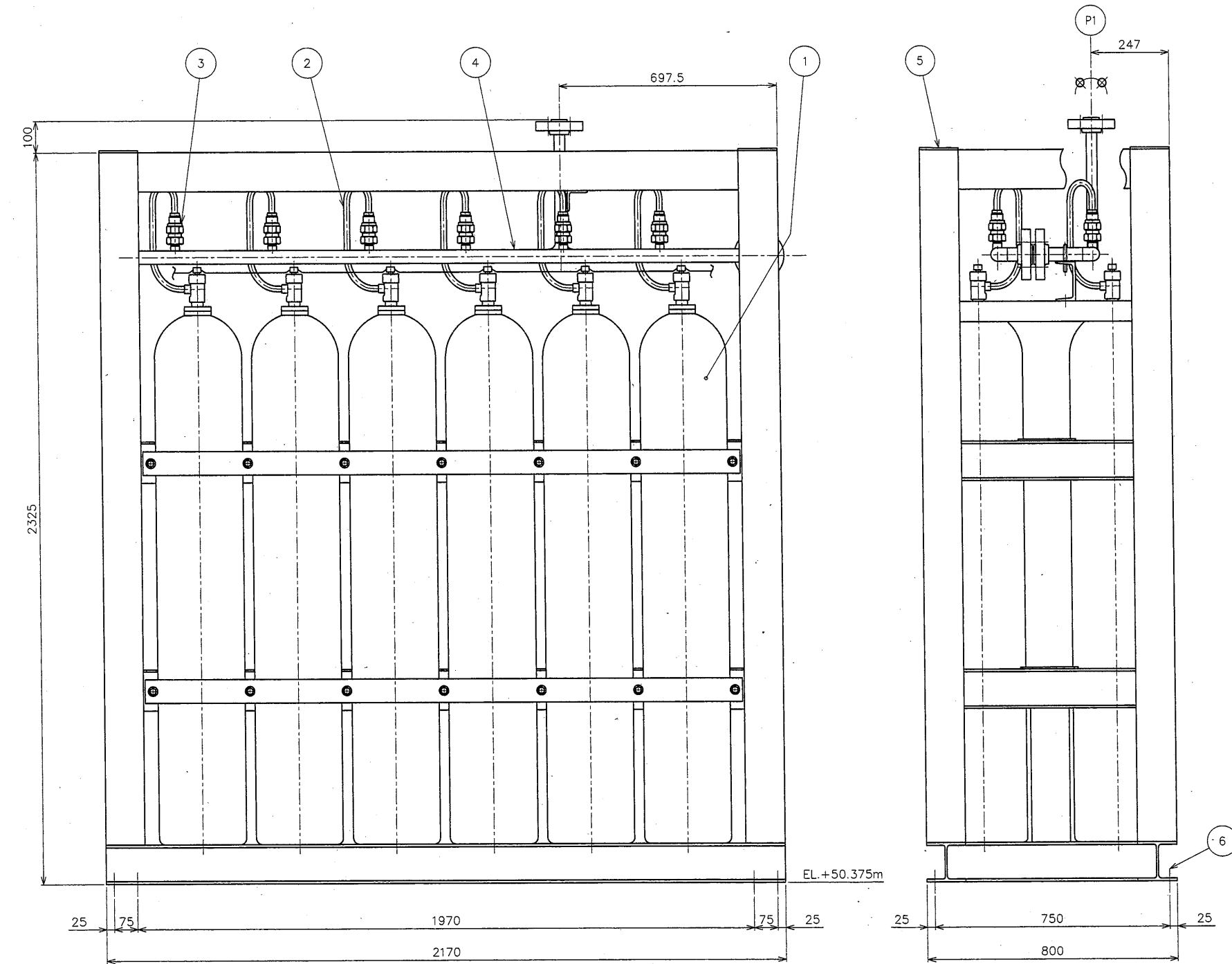
要目表		
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 10.6
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	巨庁申請用	C
品質管理度クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約3870
種別区分		PA
設置場所		42B
適用法規		消防法
		高圧ガス保安法
表数	基	1

注記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

品番	名称	材質	数量	単位	合計	備考
6	据付ボルト・ナットM16	SS400	8	組		
5	組棒	SS400 STKR400	1	組		
4	集合管	SUS304TP	1	組		
3	連結管用オリフィス	C3771	14	個		
2	連結管	C1220T	14	個		
1	窒素ガス貯蔵容器	クロムモリブデン鋼	14	個		

日本原燃株式会社
 MOX燃料工場
 防火設備(Q)
 窒素消火装置
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-5外形図
 (0198-GU-155)



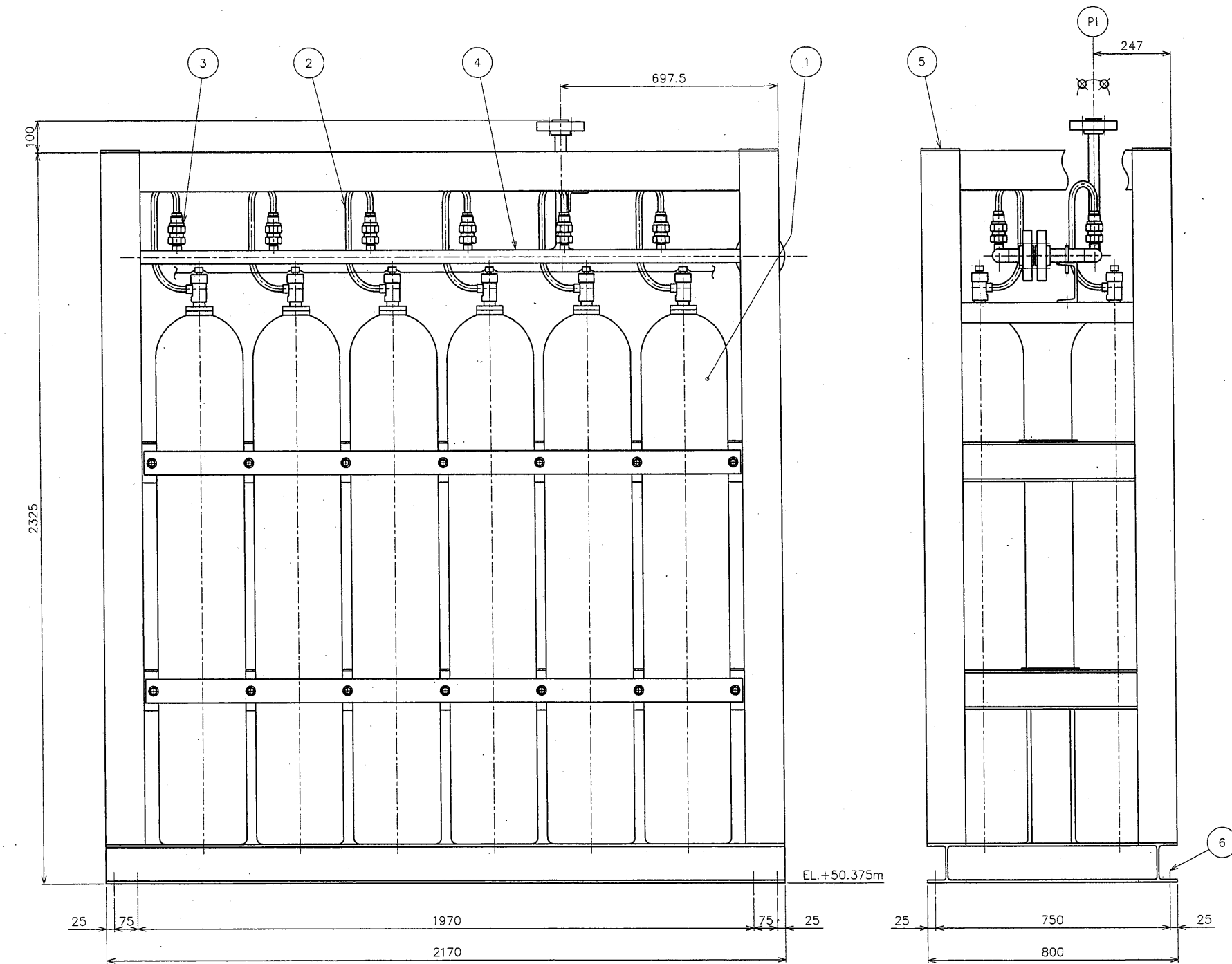
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 10.6
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	C
品質管理クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3450
建屋区分		PA
設置場所		428
適用法規		消防法 高圧ガス保安法
基数	基	1

注記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

品名	数量	材質	単位	備考
6 据付ボルト・ナットM16	8組	SS400		
5 組棒	1組	SS400 STKR400		
4 集合管	1組	SUS304TP		
3 連結管用オリフィス	12	C3771		
2 連結管	12	C1220T		
1 窒素ガス貯蔵容器	12	クロムモリブデン鋼		

日本原燃株式会社
 MOX燃料工場
 防火設備(Q)
 窒素消火装置
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-6外形図
 (0198-GU-156)



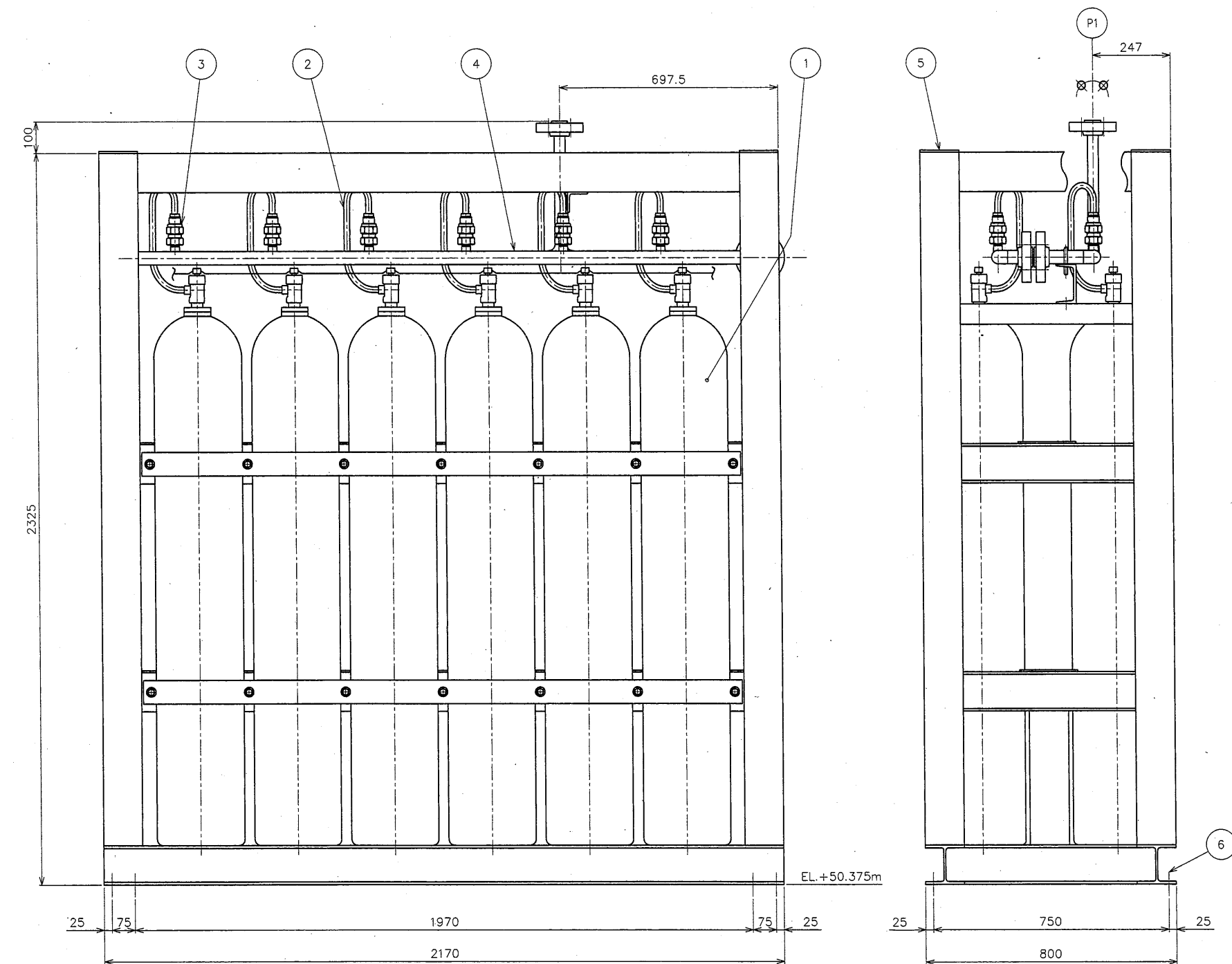
項目表			
最高使用圧力	MPa		10.8
最高使用温度	℃		40
運転圧力	通常	MPa	10.6
	最大	MPa	10.8
運転温度	通常	℃	常温
	最大	℃	40
耐震クラス	設計用		S
	官庁申請用		C
品質検査度クラス			2
流体の種類			窒素
質量	kg		約 3450
建屋区分			PA
設置場所			室内
適用法規			消防法 高圧ガス保安法
基数			1

注記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

子	分	子	分	名称	材	料	試	片	数	重量(kg)	備	注
				6 配付ボルト・ナットM16	SS400				8組			
				5 組棒	SS400 STKR400				1組			
				4 集合管	SUS304TP				1組			
				3 連結管用オリフイス	C3771				12			
				2 連結管	C1220T				12			
				1 窒素ガス貯蔵容器	クロムモリブデン鋼				12			

日本原燃株式会社
 MOX燃料工場
 防火設備(Q)
 窒素消火装置
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-7外形図
 (Q198-GU-157)



要目表

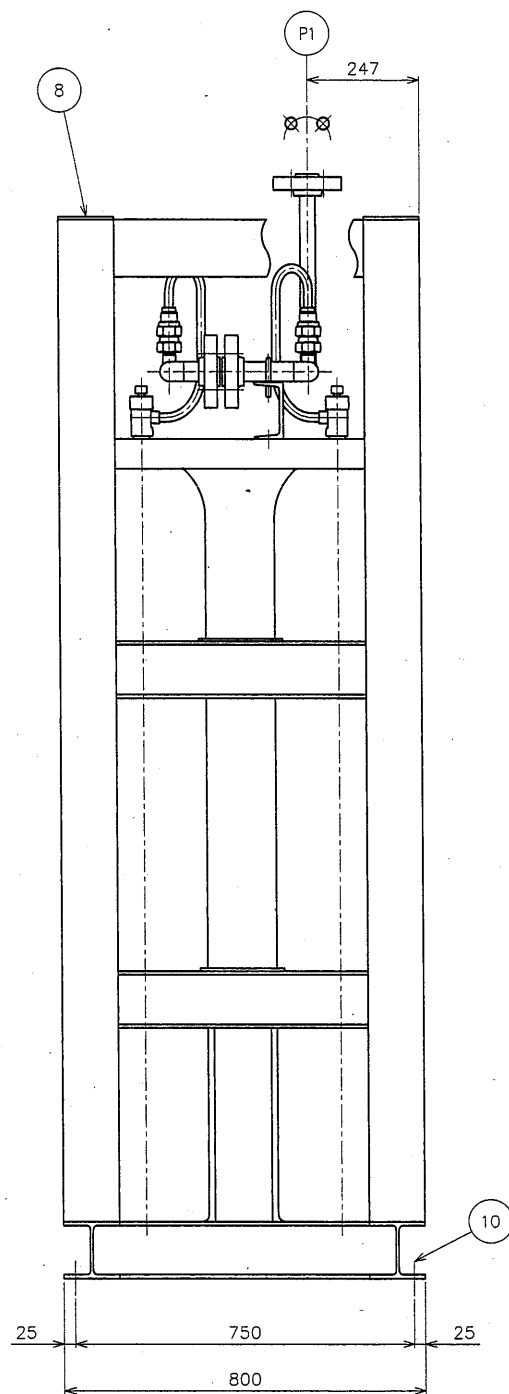
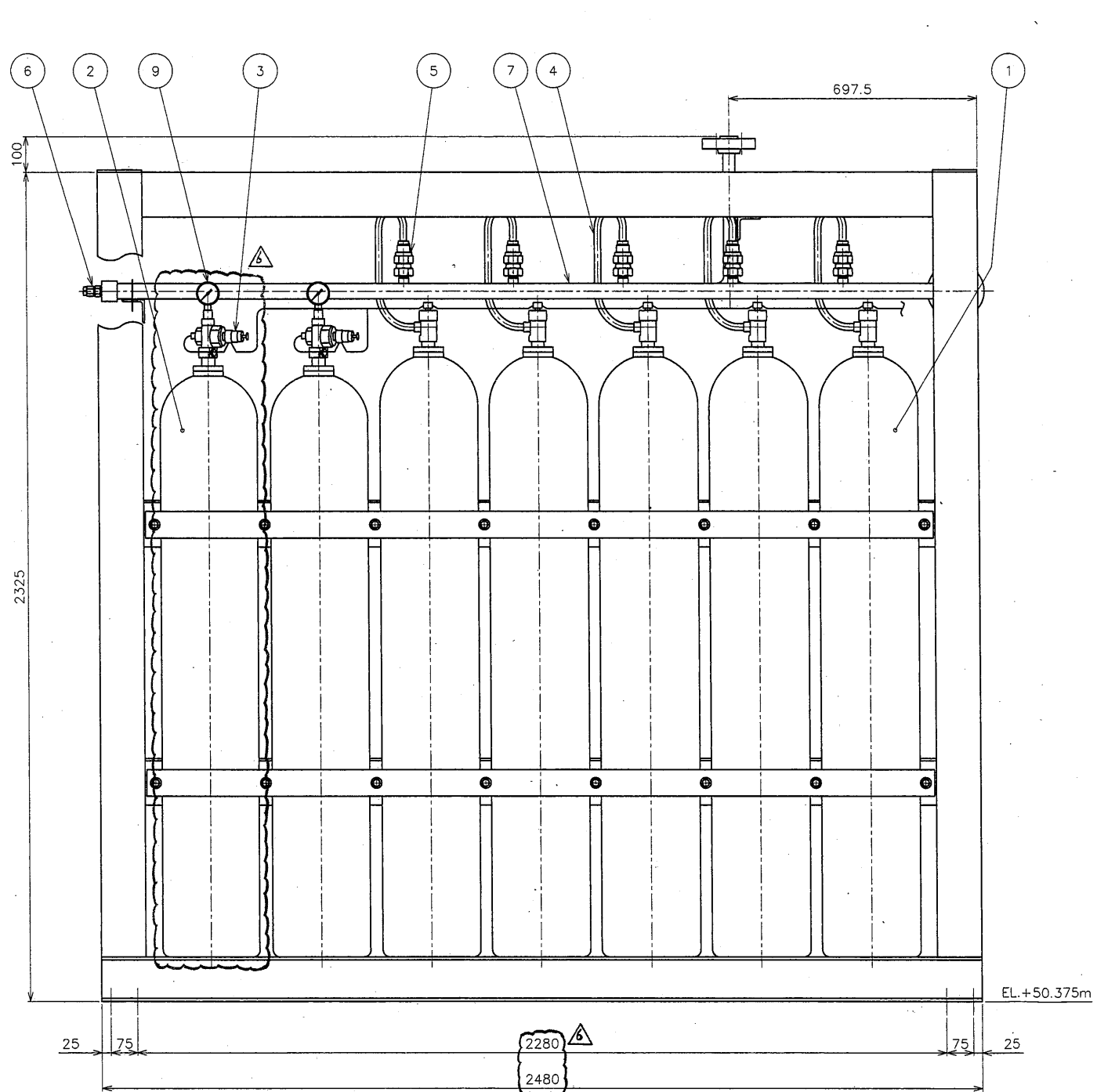
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 10.6
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	5
	官庁申請用	2
品質管理クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3450
建屋区分		PA
設置場所		42B
適用法規		消防法 高圧ガス保安法
基数		1

注 記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

品名	数量	材質	単位	備 考
6 振付ボルト・ナットM16	8組	SS400		
5 組棒	1組	SS400 STKR400		
4 集合管	1組	SUS304TP		
3 連結管用オリフィス	12	C3771		
2 連結管	12	C1220T		
1 窒素ガス貯蔵容器	12	コロムビアチタン製		

日本原燃株式会社殿
 MOX燃料工場
 防火設備 (Q)
 窒素消火装置
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-8外形図
 (0198-GJ-158)



要目表

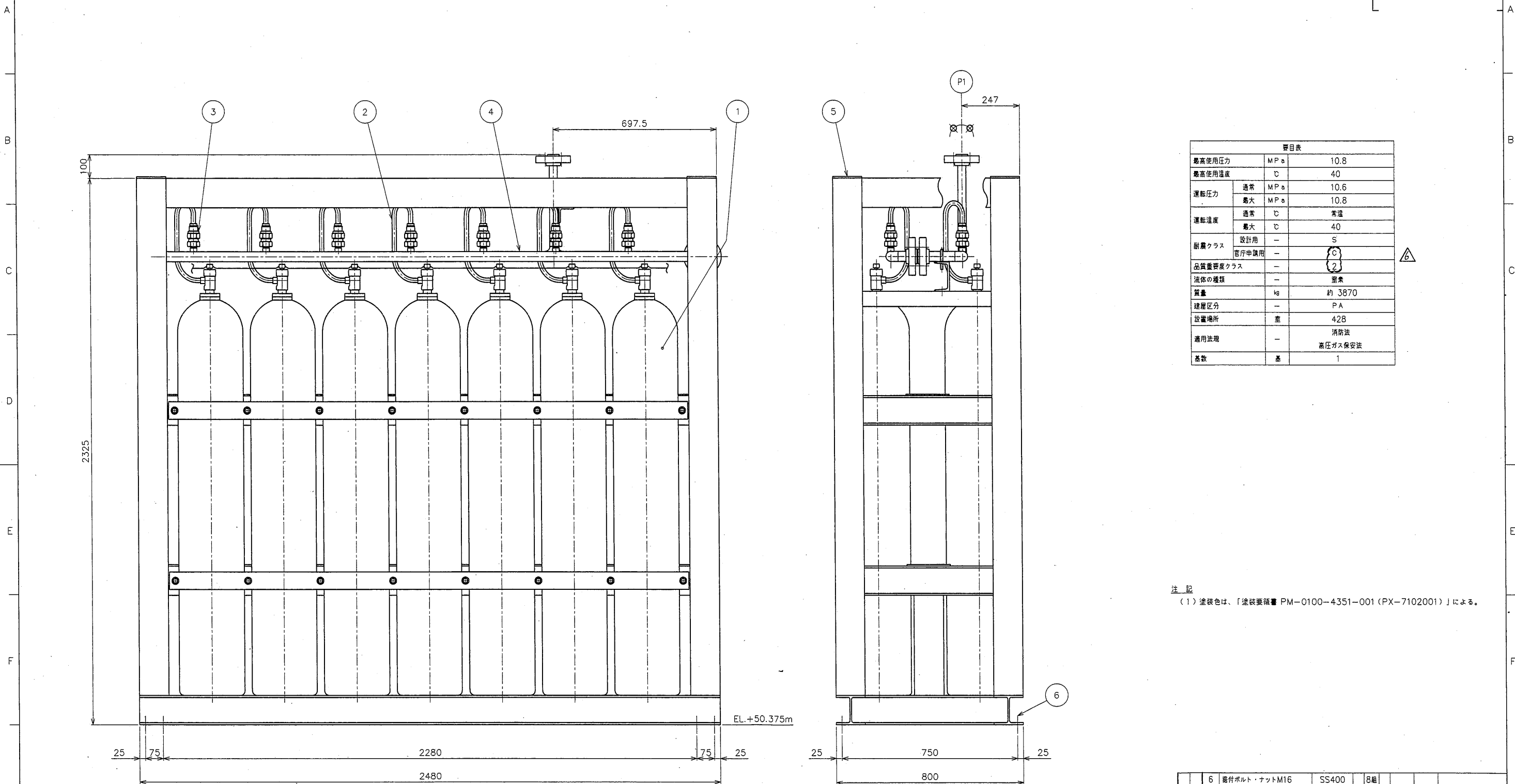
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 10.6
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	C
品質管理クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約3600
建屋区分		PA
設置場所		室 428
適用法規		消防法 高圧ガス保安法
差数		1

注記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

品番	名称	材料	数量	単位	重量 (kg)	備考
10	附件ボルト・ナットM16	SS400	8組			
9	圧力計	SPCD	2			
8	組棒	SS400 STKR400	1組			
7	集合管	SUS304TP	1組			
6	配管用安全装置	C3771	1			
5	連結管用オリフイス	C3771	11			
4	連結管	C1220T	11			
3	容器弁開放装置	C3771	2			
2	窒素ガス加圧容器	クロムモリブデン鋼	2			
1	窒素ガス貯蔵容器	クロムモリブデン鋼	11			

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

日本原燃株式会社
 MOX燃料工場
 防火設備(Q)
 窒素消火装置
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1外形図
 (0198-GU-161)



項目	単位	値
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 10.6
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	許容申請用	C
品質重要度クラス	-	2
流体の種類	-	窒素
質量	kg	約 3870
建屋区分	-	PA
設置場所	室	42B
適用法規	-	消防法 高圧ガス保安法
基数	基	1

注記

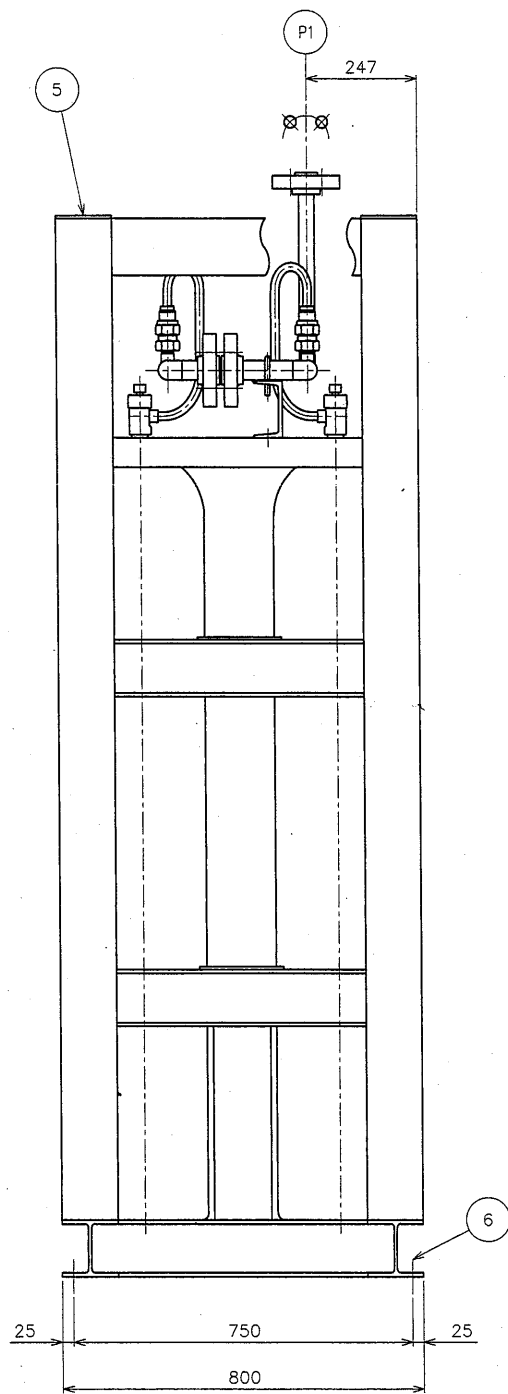
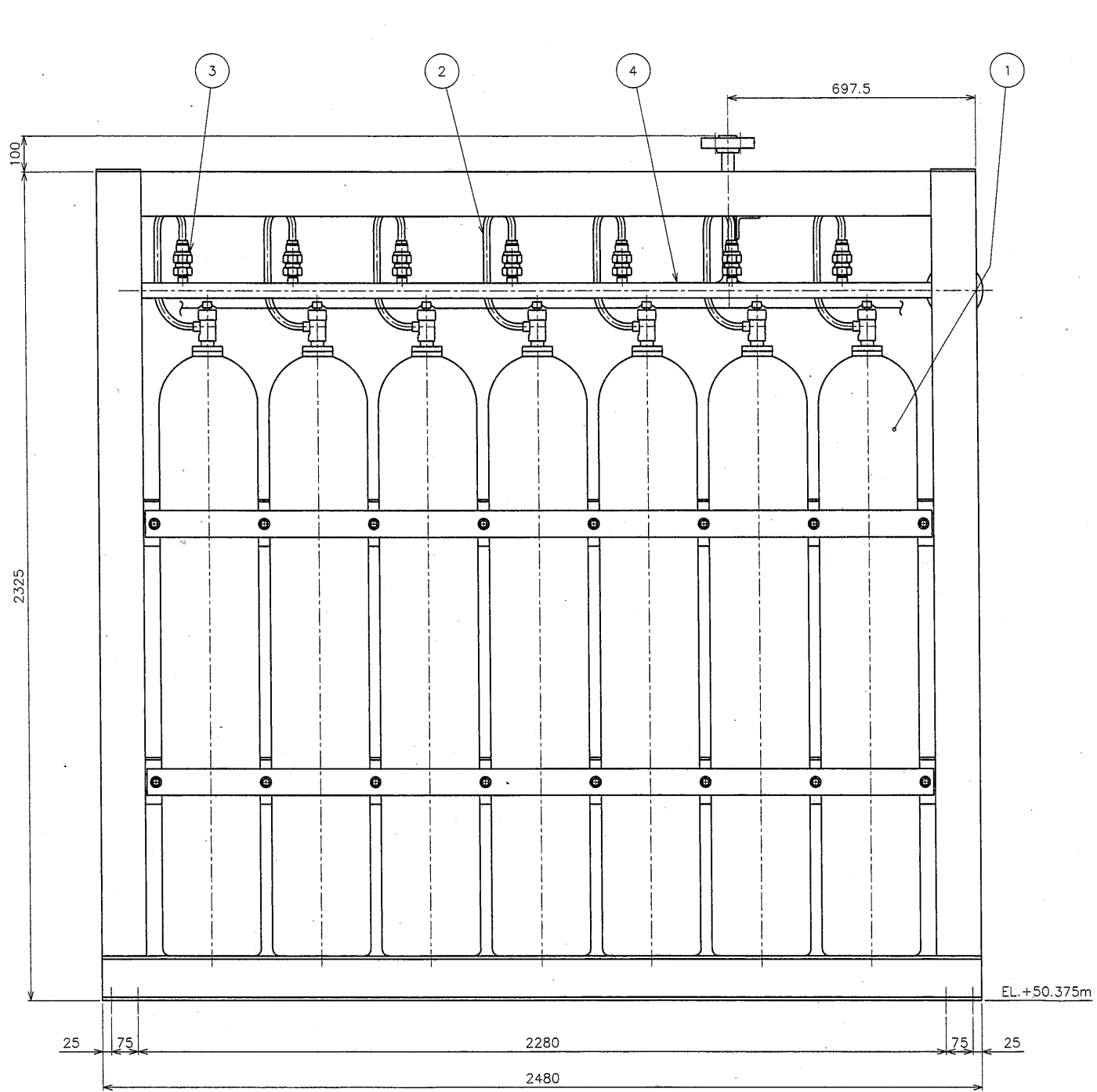
(1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

手	添	予	常	番号	名称	材料	仕様	数量	単位	設計	備考	記事
					6	添付ボルト・ナットM16	SS400	8	組			
					5	組棒	SS400 STKR400	1	組			
					4	集合管	SUS304TP	1	組			
					3	連結管用オリフィス	C3771	14				
					2	連結管	C1220T	14				
					1	窒素ガス貯蔵容器	ステンレス製	14				

日本原燃株式会社殿

10 MOX燃料工場
 防火設備(Q)
 窒素消火装置
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-2外形図
 (0198-GU-162)



要目表

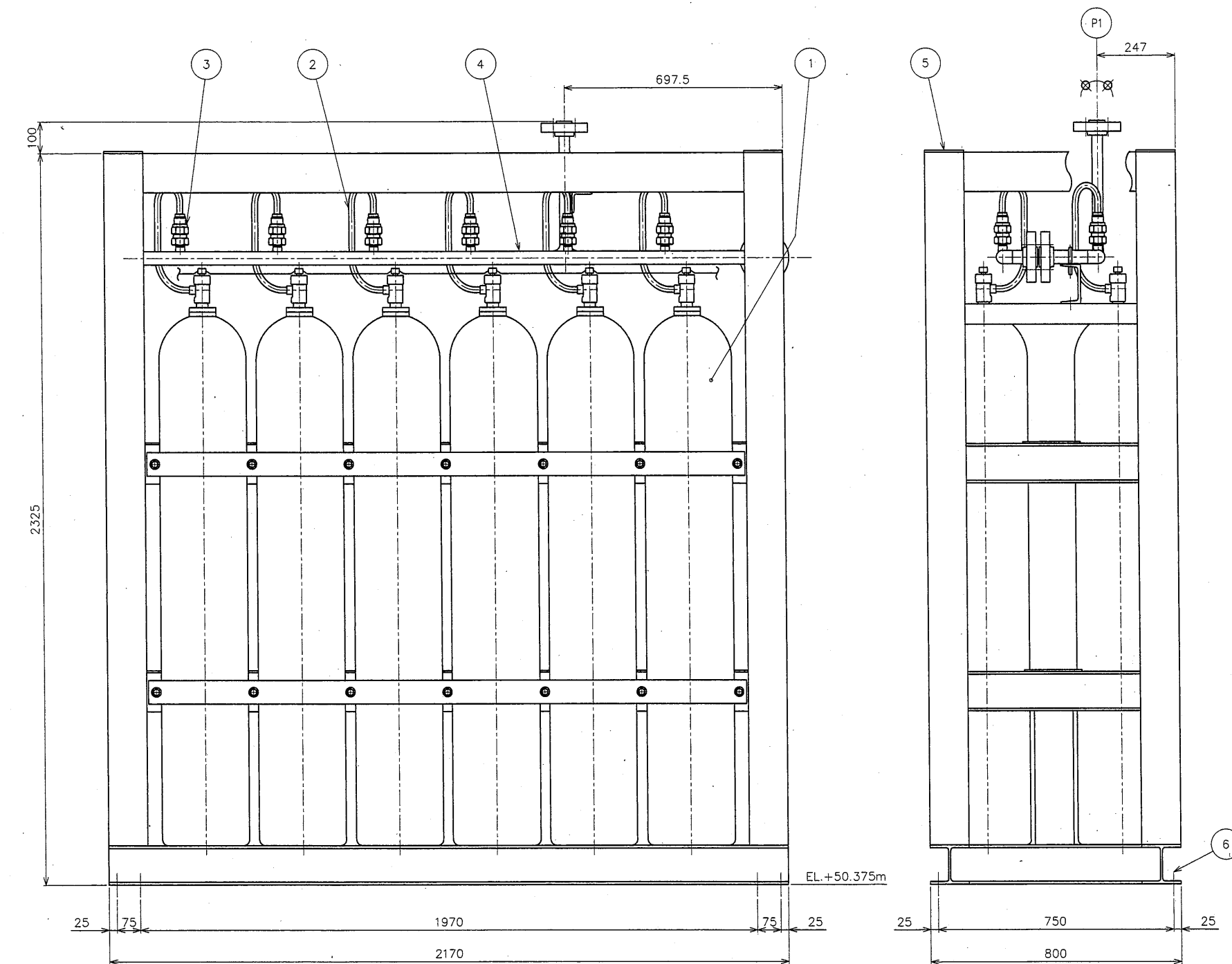
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常 MPa	10.6
	最大 MPa	10.8
運転温度	通常 ℃	常温
	最大 ℃	40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	C
品質重要度クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3870
建屋区分		PA
設置場所		428
適用法規		消防法 高圧ガス保安法
基数		1

注記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500lb-25A RF	SUSF304	

子分	子分	子分	書名	材料	試験片	数量	1個重量	合計重量(kg)	備考
			6	露付ボルト・ナットM16	SS400	8組			
			5	組棒	SS400 STKR400	1組			
			4	集合管	SUS304TP	1組			
			3	連結管用オリフィス	C3771	14			
			2	連結管	C1220T	14			
			1	窒素ガス貯蔵容器	コロンピブレン	14			

日本原燃株式会社殿
 MOX燃料工場
 防火設備(Q)
 窒素消火装置
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-3外形図
 (0198-GJ-163)



項目表		
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 10.6
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	②C
品質要求度クラス		②
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3450
建屋区分		PA
設置場所		至 428
適用法規		消防法 高圧ガス保安法
差枚		1

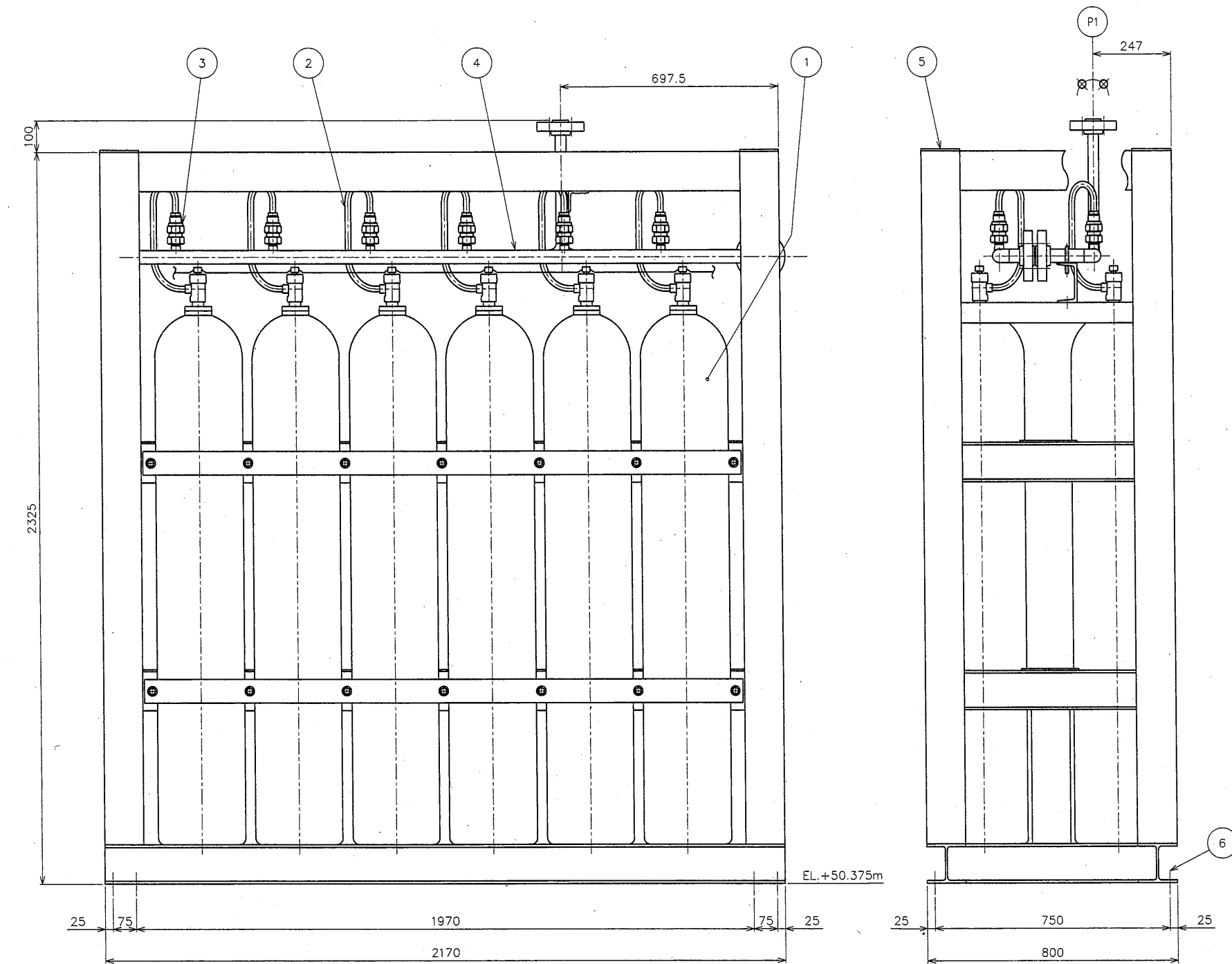
注記
(1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

品番	名称	材質	数量	単位	備考
6	密付ボルト・ナットM16	SS400	8組		
5	組枠	SS400 STKR400	1組		
4	集接管	SUS304TP	1組		
3	連結管用オリフィス	C3771	12		
2	連結管	C1220T	12		
1	窒素ガス貯蔵容器	鋼製	12		

予備	標準	予備	合計	備	記
分	分	分	分	分	分

日本原燃株式会社
MOX燃料工場
防火設備(Q)
窒素消火装置
窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-4外形図
(0198-CU-164)



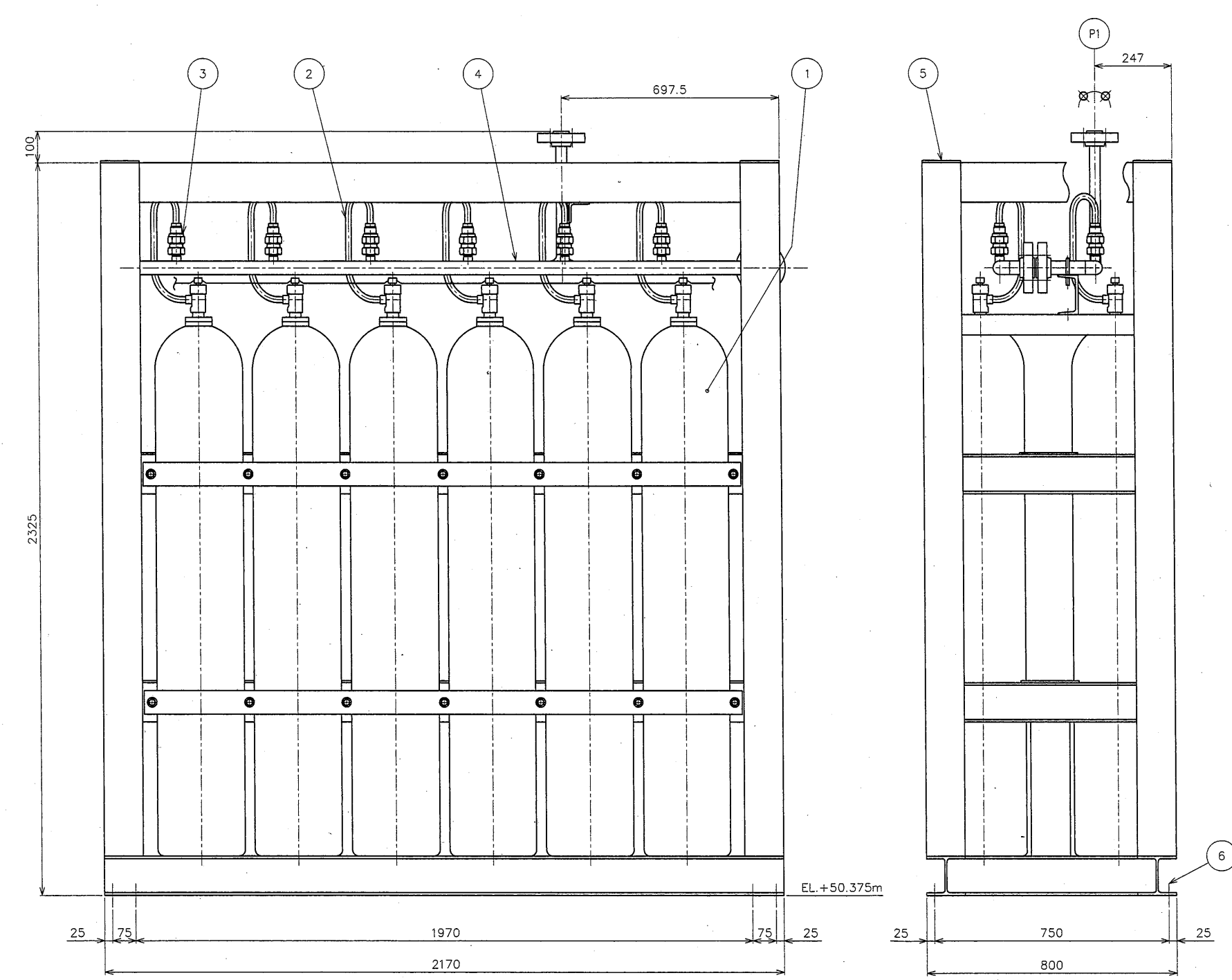
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 10.6
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	百斤申請用	C
品質要求度クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3450
建屋区分		PA
設置場所		428
適用法規		消防法 高圧ガス保安法
基数		1

注記
(1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500lb-25A RF	SUSF304	

番号	品名	材質	数量	単位	重量(kg)
6	六角ボルト・ナットM16	SS400	8	組	
5	組棒	SS400 STKR400	1	組	
4	集合管	SUS304TP	1	組	
3	連結管用オリフィス	C3771	12		
2	連結管	C1220T	12		
13	窒素ガス貯蔵容器	クォリテチン鋼	12		

日本原燃株式会社
 MOX燃料工場
 防火設備(Q)
 窒素消火装置
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-5外形図
 (0198-CJ-165)



最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常 MPa	10.6
	最大 MPa	10.8
運転温度	通常 ℃	常温
	最大 ℃	40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	C
品質重要度クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3450
建屋区分		PA
設置場所		至
適用法規		消防法 高圧ガス保安法
基数		1

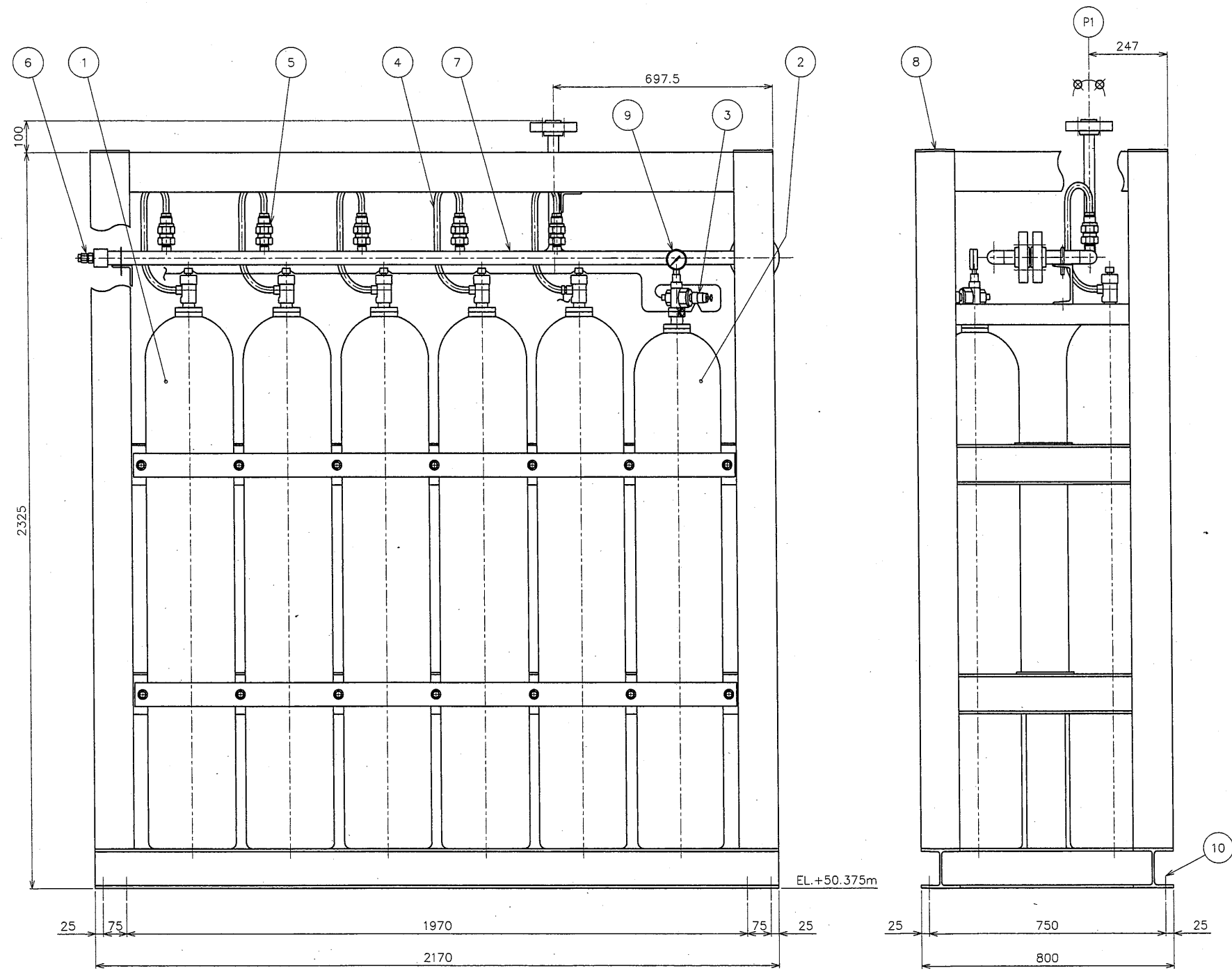
注記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500lb-25A RF	SUSF304	

品名	数量	材質	単位	1個の重量(kg)	合計重量(kg)	備考
6 据付ボルト・ナットM16	8組	SS400	組			
5 組棒	1組	SS400 STKR400	組			
4 集接管	1組	SUS304TP	組			
3 連結管用オリフィス	12	C3771	個			
2 連結管	12	C1220T	個			
1 窒素ガス貯蔵容器	12	クロムシリコン鋼	個			

日本原燃株式会社殿

14 MOX燃料工場
 防火設備(Q)
 窒素消火装置
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-6外形図
 (0198-GU-166)



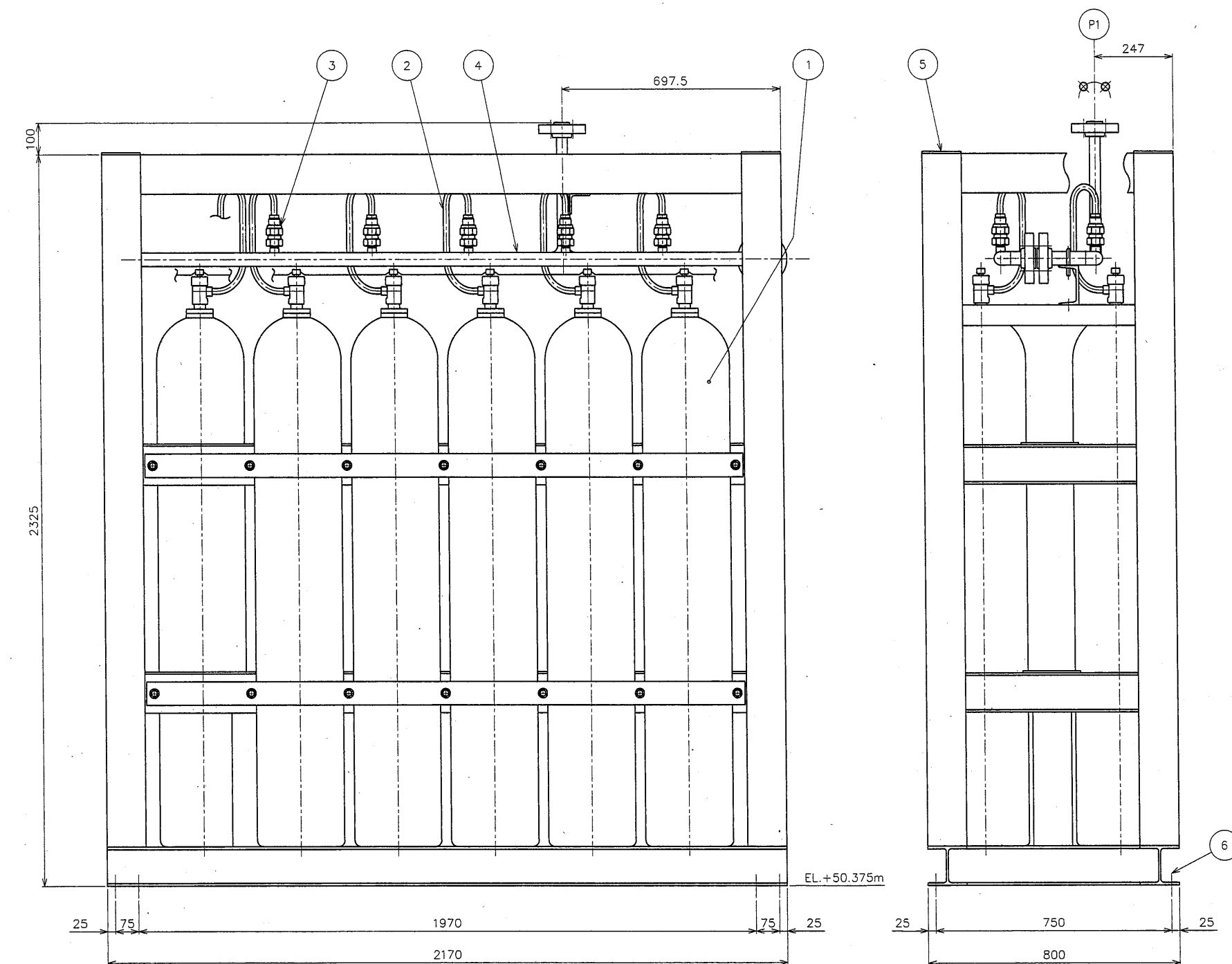
要目表		
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 10.6
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	C
品質管理度クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3390
建屋区分		PA
設置場所		448
適用法規		消防法
		高圧ガス保安法
基数	基	1

注記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

品番	品名	材料	数量	単位	備考
10	備付ボルト・ナットM16	SS400	8	組	
9	圧力計	SPCD	1	個	
8	組棒	SS400 STKR400	1	組	
7	集合管	SUS304TP	1	組	
6	配管用安全装置	C3771	1	個	
5	連結管用オリフイス	C3771	11	個	
4	連結管	C1220T	11	個	
3	容器弁開放装置	C3771	1	個	
2	窒素ガス加圧容器	クロムモリブデン鋼	1	個	
1	窒素ガス貯蔵容器	クロムモリブデン鋼	11	個	

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

日本原燃株式会社
 MOX燃料工場
 防火設備(Q)
 窒素消火装置
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3-1外形図
 (0198-GU-171)



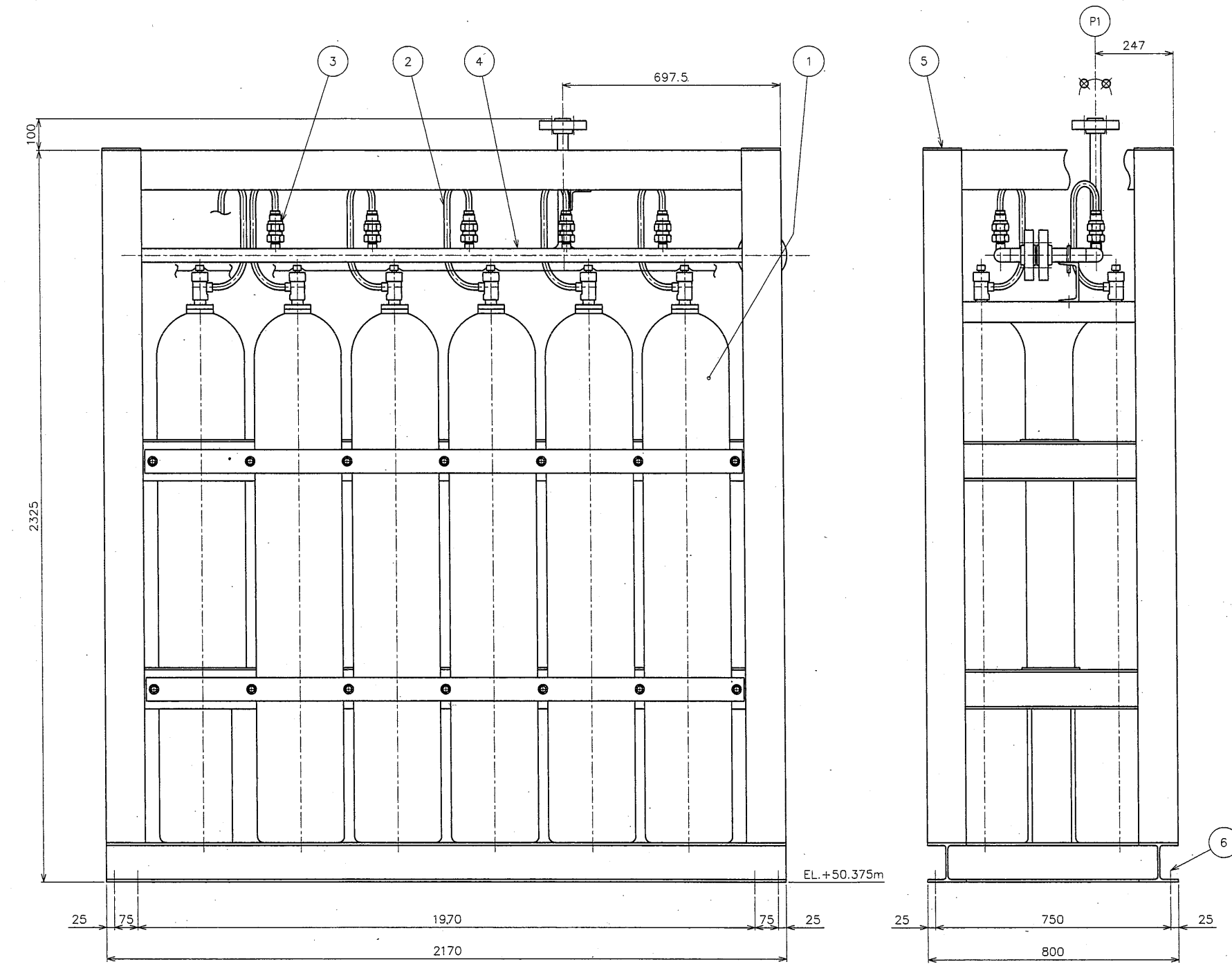
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常 MPa	10.6
	最大 MPa	10.8
運転温度	通常 ℃	常温
	最大 ℃	40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	C
品質重要度クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3280
建屋区分		PA
設置場所		448
適用法規		消防法 高圧ガス保安法
差数		1

注記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

16	部品番号	名称	材料	数量	単位	重量 (kg)	備考
	6	配付ボルト・ナットM16	SS400	8	組		
	5	組棒	SS400 STKR400	1	組		
	4	兼合管	SUS304TP	1	組		
	3	連結管用オリフィス	C3771	11			
	2	連結管	C1220T	11			
	1	窒素ガス貯蔵容器	クロムモリブデン鋼	11			

日本原燃株式会社
 MOX燃料工場
 防火設備(Q)
 窒素消火装置
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3-2外形図
 (0198-GU-172)



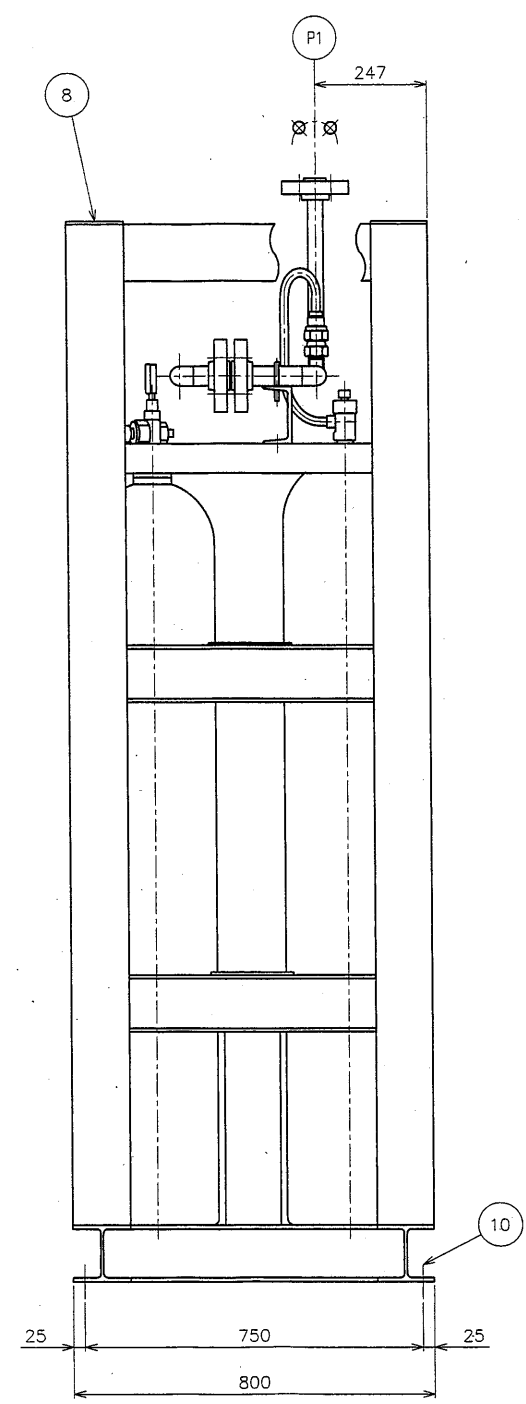
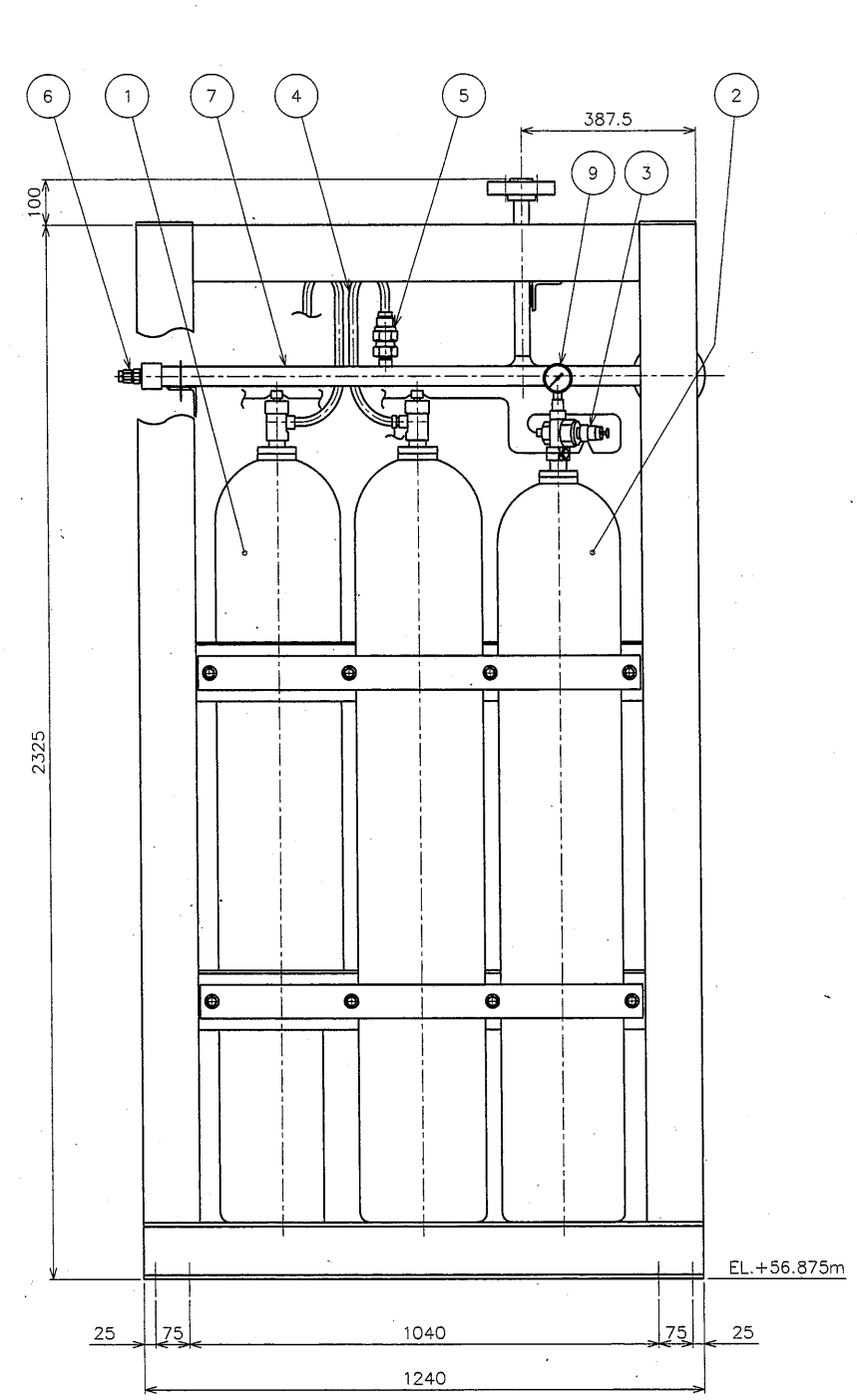
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 10.6
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	C
品質重要度クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3280
設置区分		PA
設置場所		44B
適用法規		消防法 高圧ガス保安法
基数		1

注記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

子番号	子番号	子番号	子番号	名称	材料	数量	単位	合計	備考
				6 取付ボルト・ナットM16	SS400	8組			
				5 継手	SS400 STKR400	1組			
				4 集合管	SUS304TP	1組			
				3 連結管用オリフィス	C3771	11			
				2 連結管	C1220T	11			
				1 窒素ガス貯蔵容器	クォモリブレン	11			

日本原燃株式会社
 MOX燃料工場
 防火設備(Q)
 窒素消火装置
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3-3外形図
 (0198-GJ-173)



最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常 MPa	10.6
	最大 MPa	10.8
運転温度	通常 ℃	常温
	最大 ℃	40
耐震クラス	設計用	C (Ss)
	管庁申請用	C
品質重要度クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 1910
建設区分		PA
設置場所		595
適用法規		-
基数	基	1

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

注記
(1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

数量	品名	仕様	単位	重量 (kg)	備考
8組	撥付ボルト・ナットM16	SS400	組		
1	圧力計	SPCD	個		
1組	組件	SS400 STKR400	組		
1組	集合管	SUS304TP	組		
1	配管用安全装置	C3771	個		
4	連結管用オリフィス	C3771	個		
4	連結管	C1220T	個		
1	容器弁開放装置	C3771	個		
1	窒素ガス加圧容器	クロムモリブデン鋼	個		
4	窒素ガス貯蔵容器	クロムモリブデン鋼	個		

日本原燃株式会社 設
MOX燃料工場
防火設備 (Q)
窒素消火装置 (中央監視室床下用)
窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4外形図
(Q198-GU-201)

(2) 二酸化炭素消火装置

抽出リスト (機器)
(1/3)

【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分	設備区分					機器 (許可)	機器名称	機種	機器番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
1	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置 非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1 二酸化炭素貯蔵容器	容器	GU-181	燃料加工建屋	8	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	工程0198 (C02) (1/2)
2	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置 非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2 二酸化炭素貯蔵容器	容器	GU-191	燃料加工建屋	8	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	工程0198 (C02) (1/2)
3	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置 非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1 二酸化炭素貯蔵容器	容器	GU-001	燃料加工建屋	14	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	工程0198 (C02 (GT)) (1/1)
4	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置 非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2 二酸化炭素貯蔵容器	容器	GU-002	燃料加工建屋	14	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	工程0198 (C02 (GT)) (1/1)

抽出リスト (配管)
(2/3)

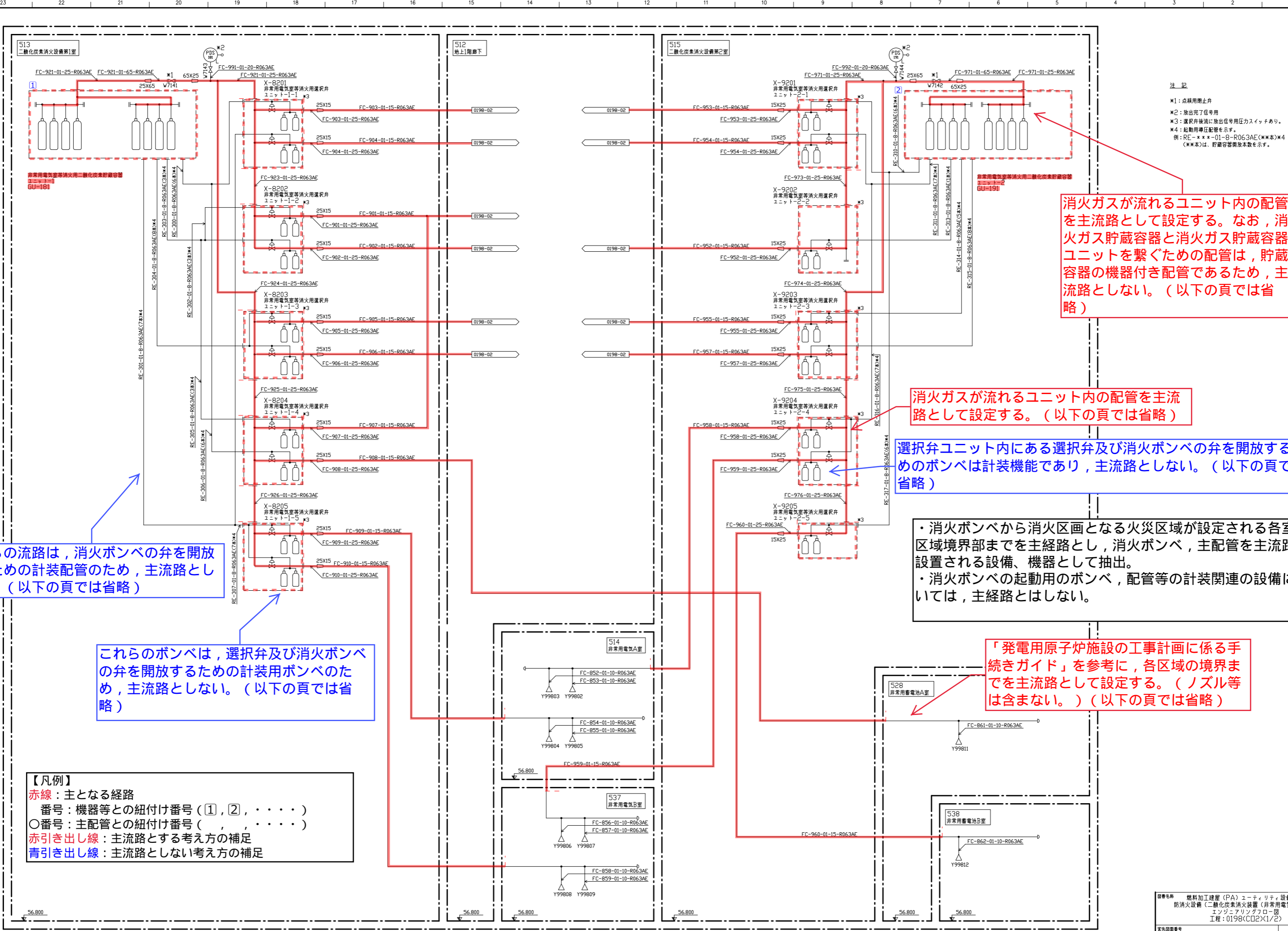
【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器 (許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
1	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1 ~ (選択弁ユニットX-8201~X-8202), (選択弁ユニットX-8203~X-8204~X-8205)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
2	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-8201 ~ 604非常用発電機給気機械A室, 605非常用発電機給気機械B室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
3	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-8202, X-8204 ~ 445非常用発電機燃料ポンプ室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
4	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-8202 ~ 552混合ガス受槽室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
5	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-8203 ~ 581非常用電気E室, 582非常用電気A室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
6	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-8204 ~ 528非常用蓄電池A室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
7	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-8205 ~ 514非常用電気A室, 537非常用電気B室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
8	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2 ~ (選択弁ユニットX-9201~X-9202), (選択弁ユニットX-9203~X-9204~X-9205)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
9	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-9201 ~ 604非常用発電機給気機械A室, 605非常用発電機給気機械B室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
10	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-9202 ~ 553混合ガス計装ラック室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
11	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-9203 ~ 580非常用蓄電池E室, 583非常用制御盤B室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
12	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-9204 ~ 514非常用電気A室, 537非常用電気B室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
13	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-9205 ~ 538非常用蓄電池B室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
14	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1 ~ 526非常用発電機A室 ~ 527非常用発電機A制御室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
15	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2 ~ 535非常用発電機B室 ~ 536非常用発電機B制御室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
16	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
17	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
18	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
19	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
20	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-1 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
21	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-2 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
22	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-3 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
23	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-4 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
24	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-1-5 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
25	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-1 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
26	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-2 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—

抽出リスト (配管)
(3/3)

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分	設備区分					機器 (許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
27	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-3 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
28	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-4 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—
29	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用選択弁ユニット-2-5 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—



注記
 ※1: 点検用閉弁
 ※2: 放出完了信号用
 ※3: 選択弁後流に放出信号用圧カスイッチあり。
 ※4: 起動用補圧配管を示す。
 例: RE-***-01-8-R063AE(***本)※4
 (**本)は、貯蔵容器開放本数を示す。

消火ガスが流れるユニット内の配管を主流路として設定する。なお、消火ガス貯蔵容器と消火ガス貯蔵容器ユニットを繋ぐための配管は、貯蔵容器の機器付き配管であるため、主流路としない。(以下の頁では省略)

消火ガスが流れるユニット内の配管を主流路として設定する。(以下の頁では省略)

選択弁ユニット内にある選択弁及び消火ポンベの弁を開放するためのポンベは計装機能であり、主流路としない。(以下の頁では省略)

・消火ポンベから消火区画となる火災区域が設定される各室の区域境界部までを主経路とし、消火ポンベ、主配管を主流路に設置される設備、機器として抽出。
 ・消火ポンベの起動用のポンベ、配管等の計装関連の設備については、主経路とはしない。

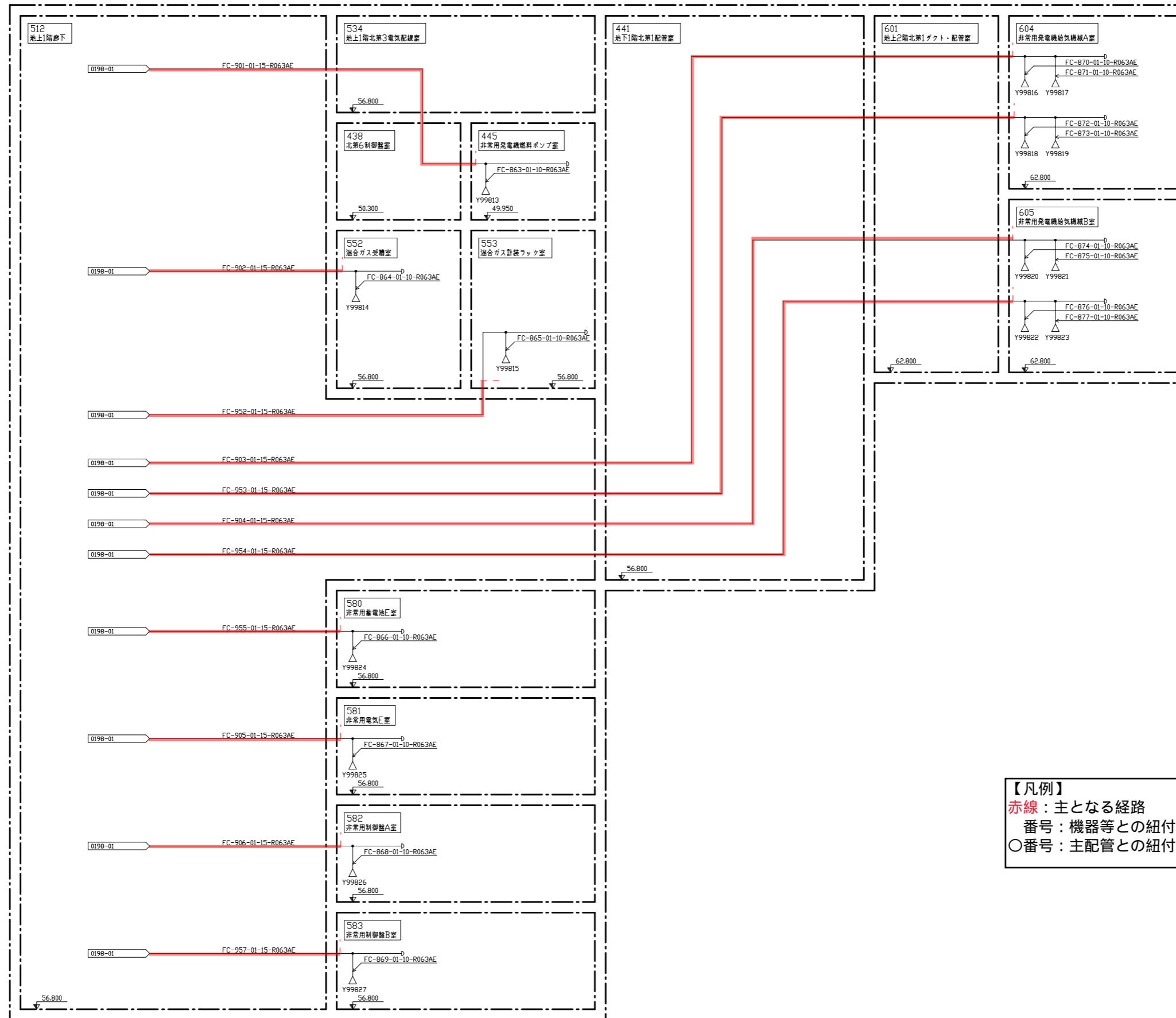
「発電用原子炉施設の工事計画に係る手続きガイド」を参考に、各区域の境界までを主流路として設定する。(ノズル等は含まない。)(以下の頁では省略)

これらの流路は、消火ポンベの弁を開放するための計装配管のため、主流路としない。(以下の頁では省略)

これらのポンベは、選択弁及び消火ポンベの弁を開放するための計装用ポンベのため、主流路としない。(以下の頁では省略)

【凡例】
 赤線: 主となる経路
 番号: 機器等との紐付け番号(①, ②, ……)
 ○番号: 主配管との紐付け番号(, ……)
 赤引き出し線: 主流路とする考え方の補足
 青引き出し線: 主流路としない考え方の補足

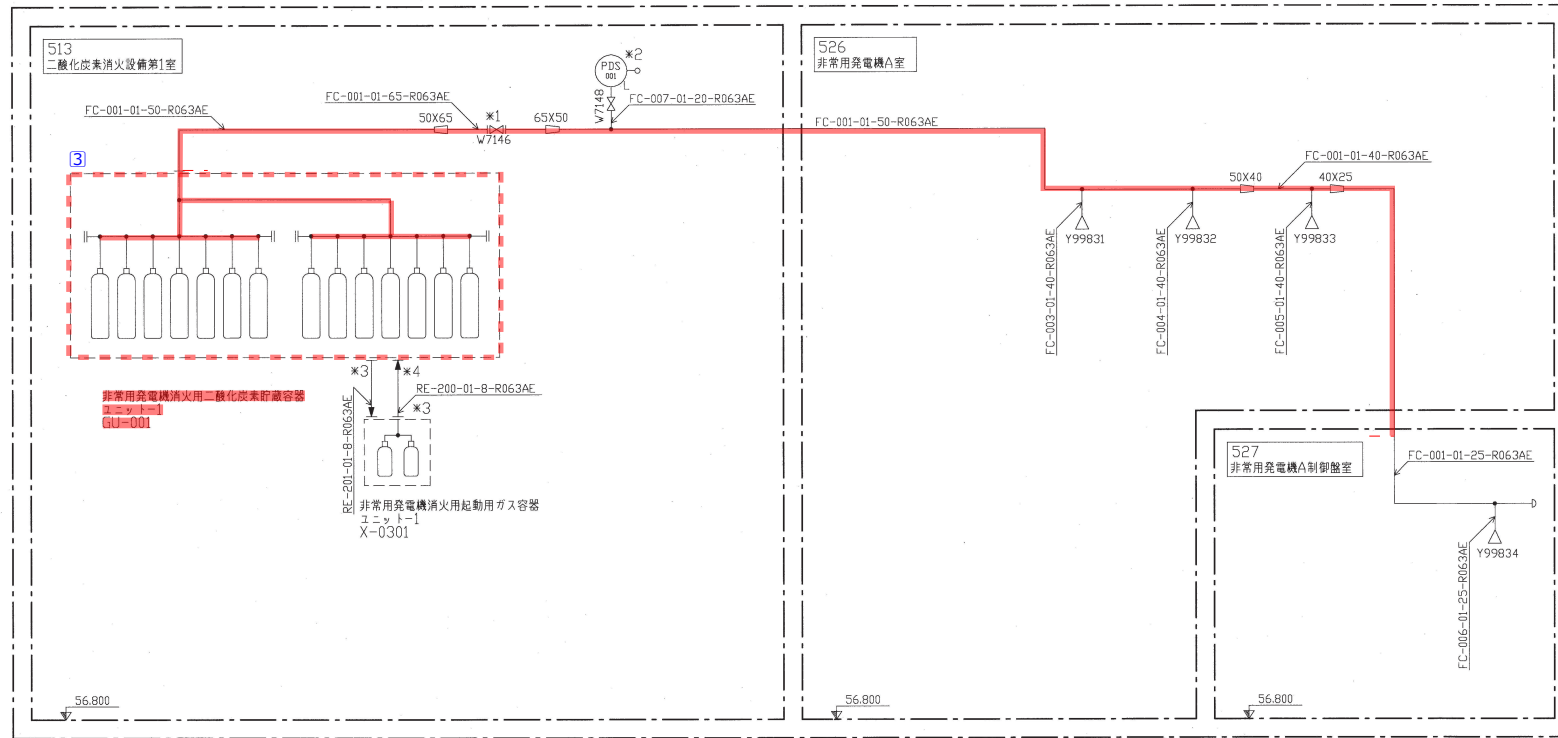
図名	燃料加工建屋 (PA) エネルギーテ、設備 (Q) 防消火設備 (二酸化炭素消火装置 (非常用電気室等)) エンジニアリングフロー図 工程: 0198(CD2)(1/2)		
図号	PM-0198-4421-081	改訂	3



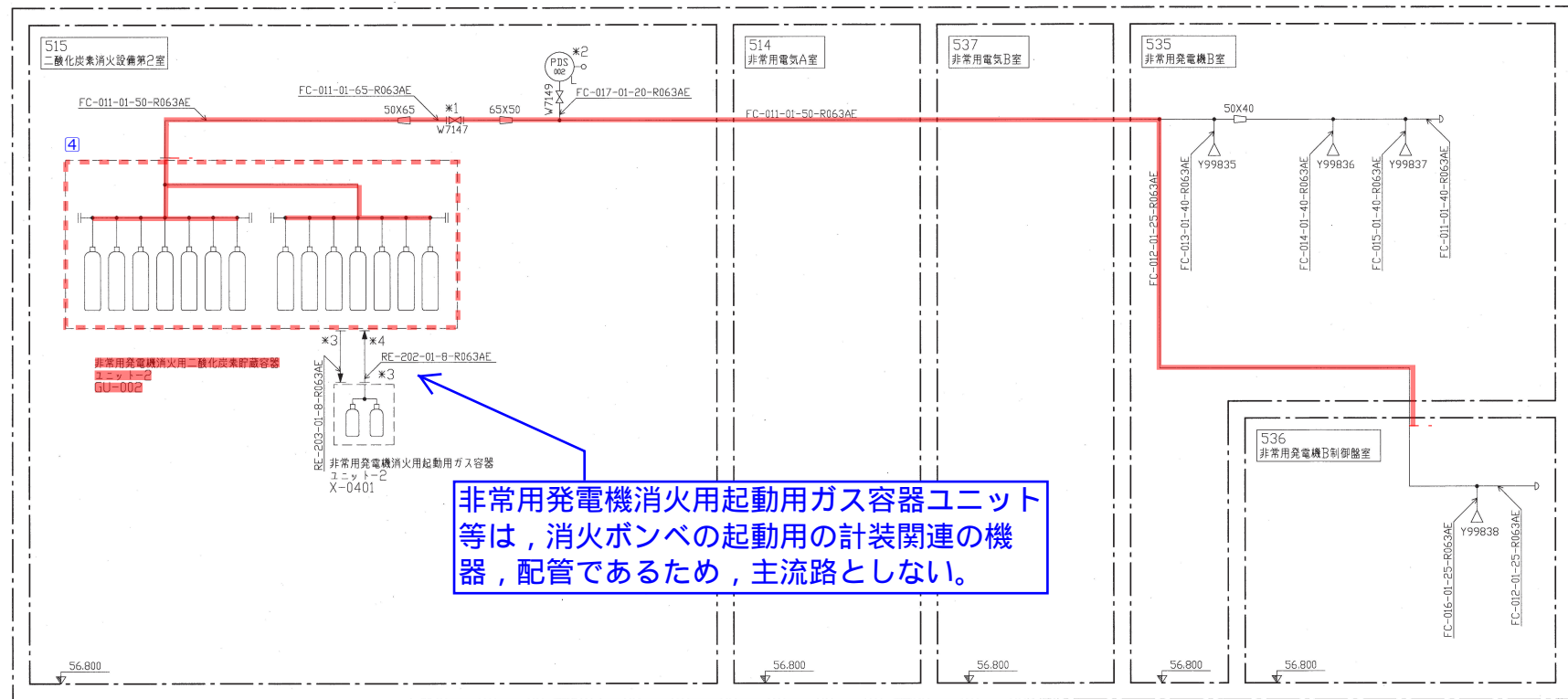
【凡例】
 赤線：主となる経路
 番号：機器等との紐付け番号 (① , ② , ……)
 ○番号：主配管との紐付け番号 (, , ……)

図名	燃料加工建屋 (PA) エネルギーテ、設備 (Q) 防消火設備 (二酸化炭素消火装置 (非常用電気室等用)) エンジニアリングタワー 工程: 0198(C02)(2/2)		
図番	PM-0198-4421-082	改訂	3

- 注 記
- *1: 点検用閉止弁
 - *2: 放出完了信号用
 - *3: 非常用発電機消火用起動用ガス容器ユニット内に放出信号用圧力スイッチあり。当該配管は圧力スイッチ用の導圧配管
 - *4: 起動用ガスの導圧配管を示す。



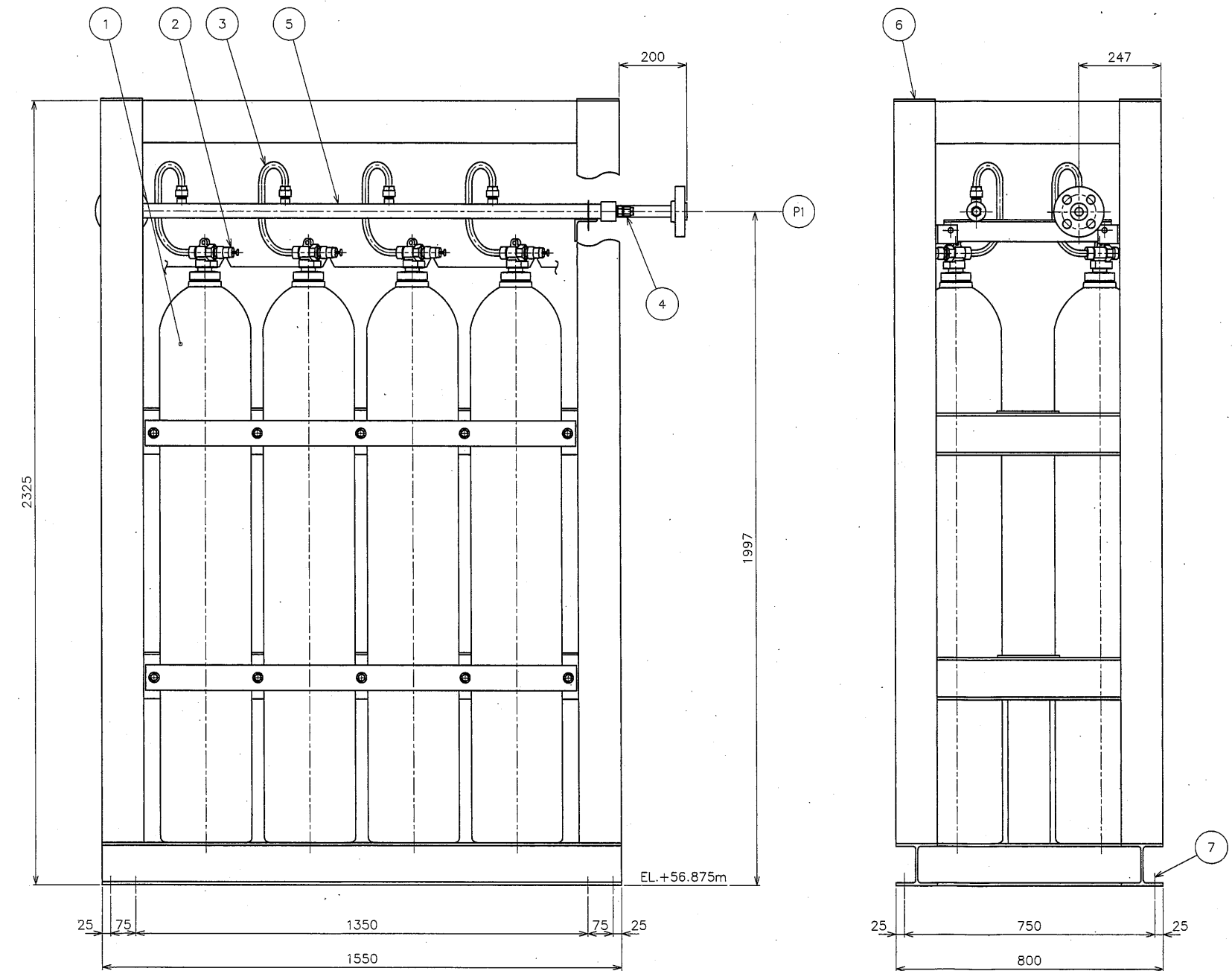
【凡例】
 赤線：主となる経路
 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, ……)
 ○番号：主配管との紐付け番号 (, , ……)
 青引き出し線：主流路としない考え方の補足



非常用発電機消火用起動用ガス容器ユニット等は、消火ポンベの起動用の計装関連の機器、配管であるため、主流路としない。

図名	燃料加工建屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (二酸化炭素消火装置 (非常用発電機用)) エンジニアリングフロー図		
工程	0198(CO2GT) (1/1)		
客先図面番号	PM-0198-4421-083	改訂	4

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。



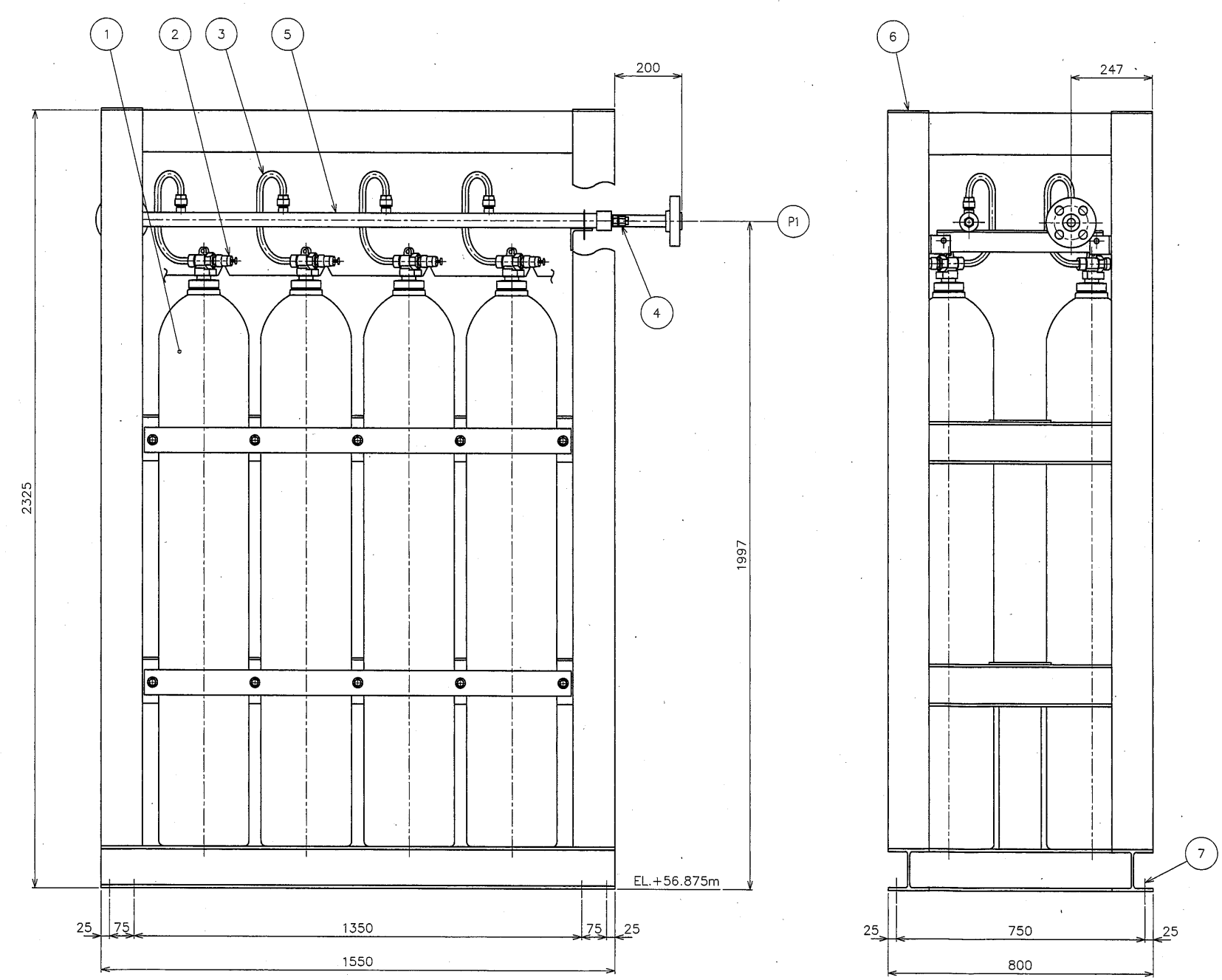
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常 MPa	9.3
	最大 MPa	10.8
運転温度	通常 ℃	常温
	最大 ℃	40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	C
品質重量成クラス		2
流体の種類		二酸化炭素
質量	kg	約 2590
建屋区分		PA
設置場所		室
適用法規		
基数	基	1

注記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

7	継付ボルト・ナットM16	SS400	8組		
6	組棒	SS400 STKR400	1組		
5	集合管	SUS304TP	1組		
4	配管用安全装置	C3771	1		
3	連結管	C1220T	8		
2	容器弁開放装置	C3771	8		
1	二酸化炭素貯蔵容器	クローキリナチウム	8		

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	二酸化炭素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

日本原燃株式会社
 MOX燃料工場
 防火設備(Q)
 二酸化炭素消火装置(非常用電気室等用)
 非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1外形図
 (0198-GU-181)



最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常 MPa	9.3
	最大 MPa	10.8
運転温度	通常 ℃	常温
	最大 ℃	40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	(C) (2)
品質重要度クラス	-	(2)
流体の種類	-	二酸化炭素
質量	kg	約 2590
建屋区分	-	PA
設置場所	-	室 515
適用法規	-	-
基数	基	1

注記
(1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

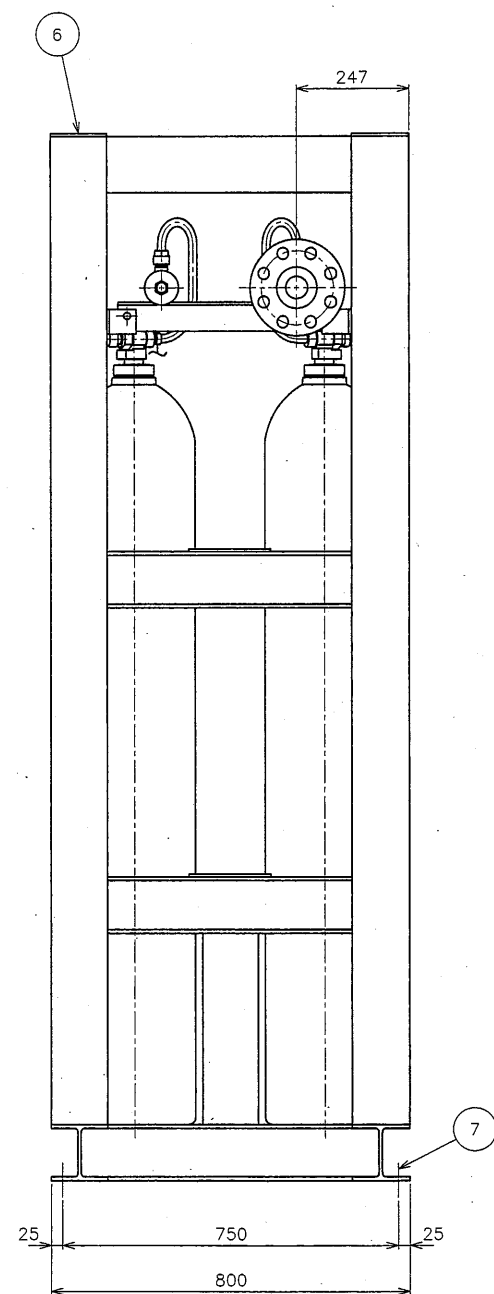
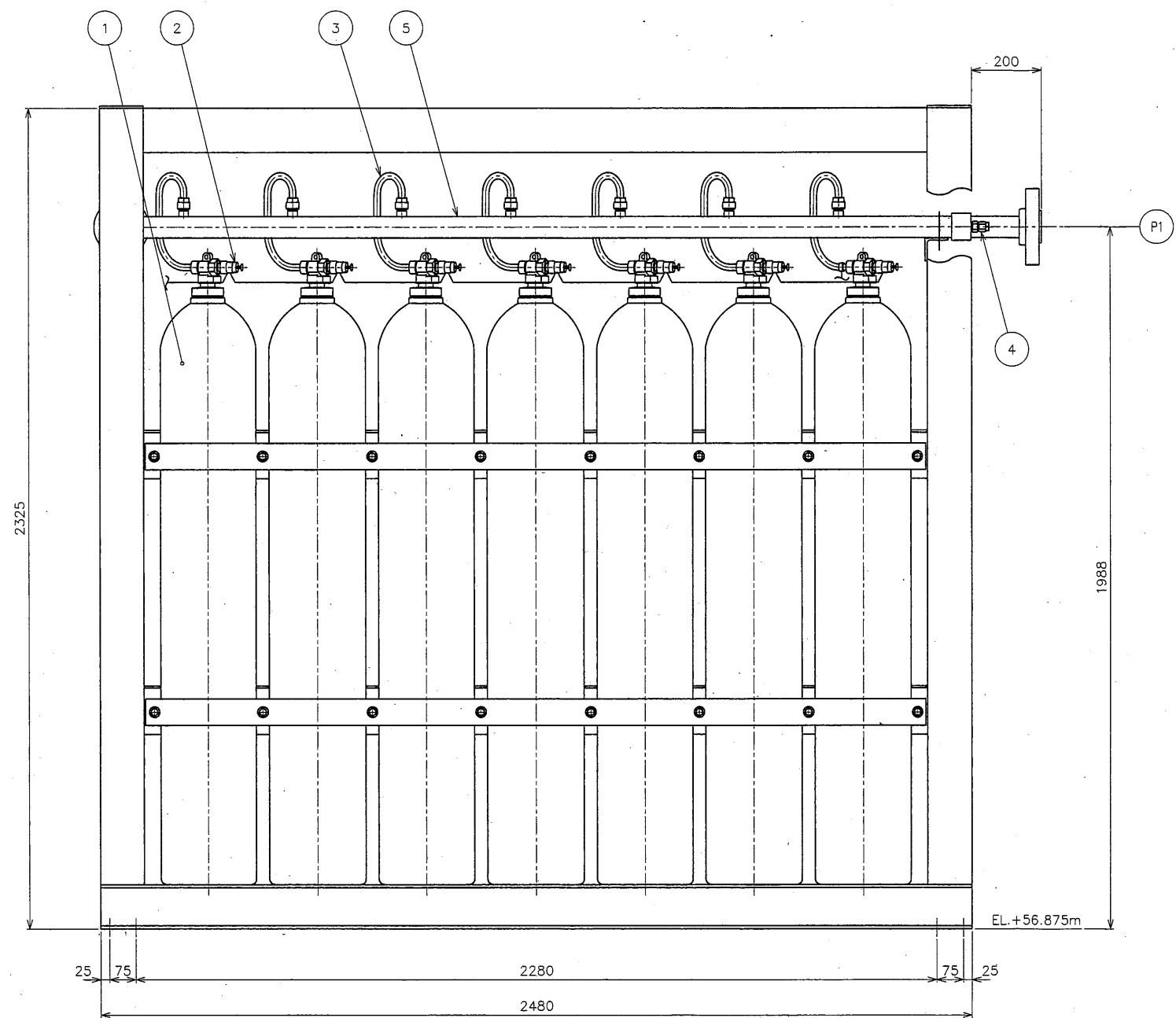
管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	二酸化炭素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

部品番号	名称	材質	数量	単位	備考
7	密付ボルト・ナットM16	SS400	8組		
6	組棒	SS400 STKR400	1組		
5	集合管	SUS304TP	1組		
4	配管用安全装置	C3771	1		
3	連結管	C1220T	8		
2	容器弁閉装置	C3771	8		
1	二酸化炭素貯蔵容器	クロムモリブデン鋼	8		

日本原燃株式会社 日本原燃株式会社
MOX燃料工場
防火設備(Q)
二酸化炭素消火装置(非常用電気室等用)
非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2外附図
(0198-GU-191)

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

要目表		
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 9.3
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	C2
品質重要度クラス	-	2
流体の種類	-	二酸化炭素
質量	kg	約 3890
経路区分	-	PA
設置場所	-	513
適用法規	-	消防法
基数	基	1



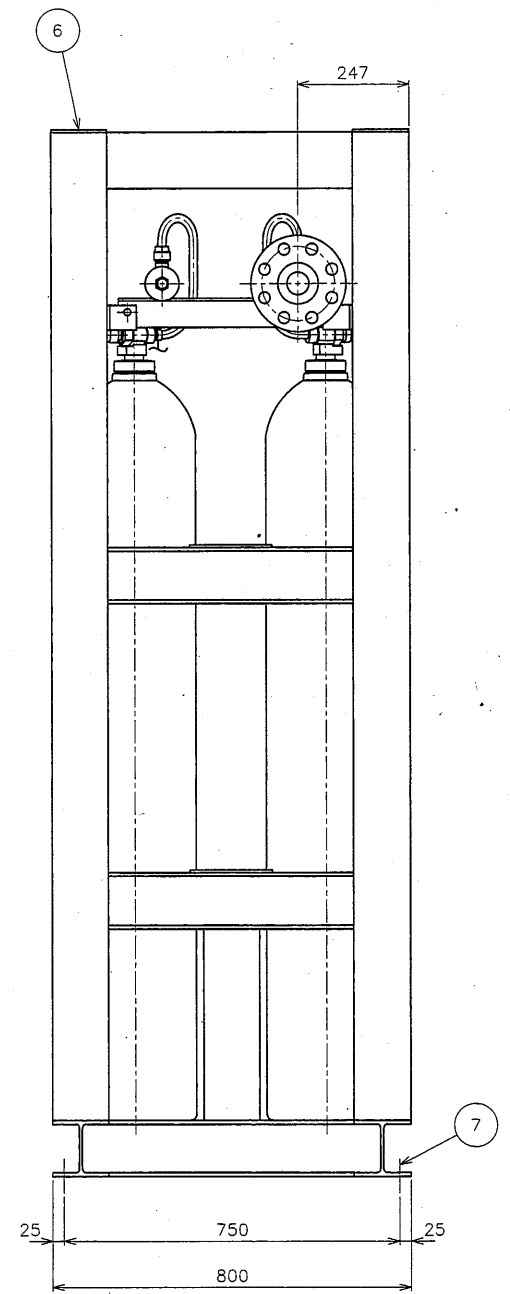
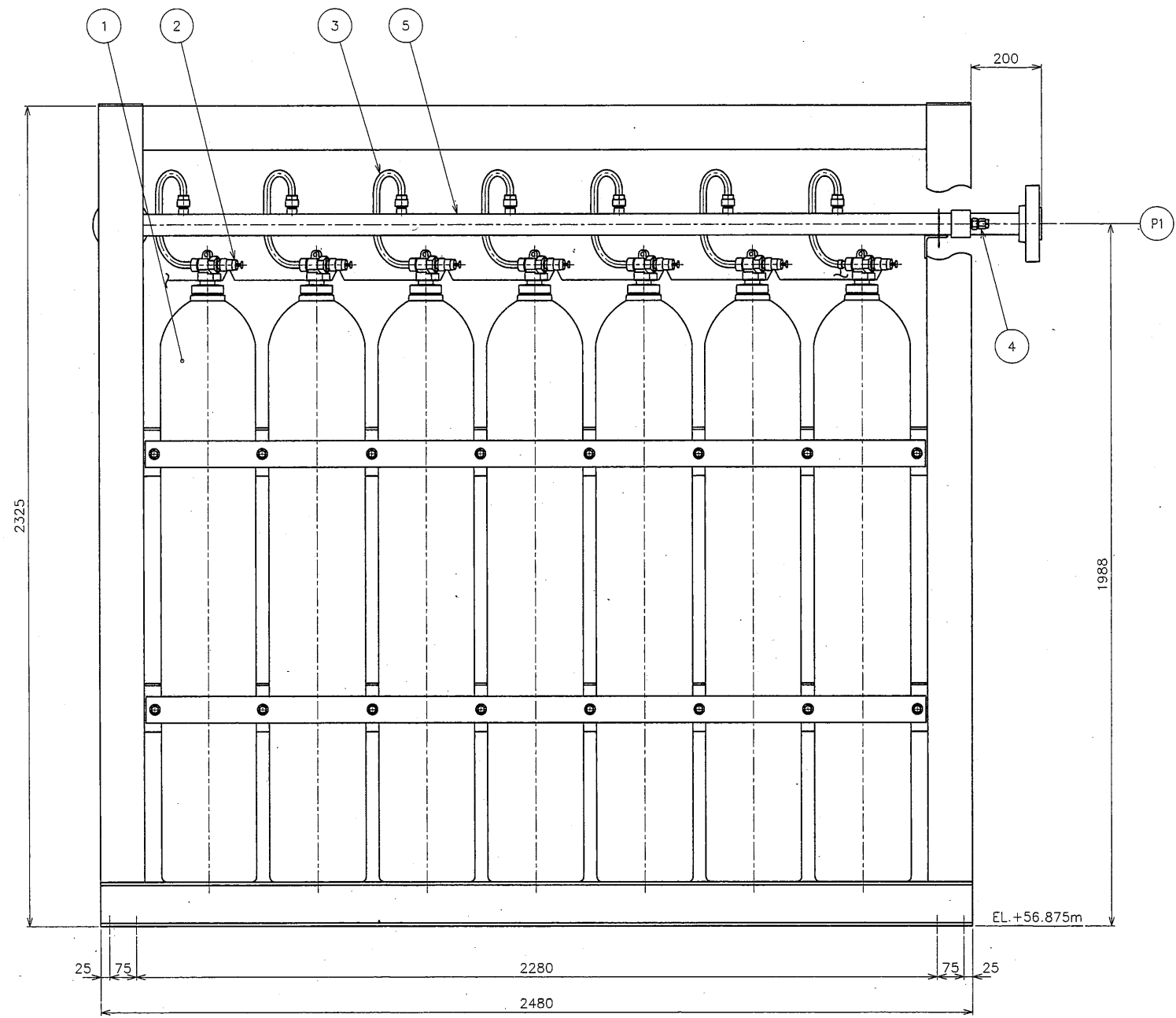
注記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	二酸化炭素	JPI 1500Lb-50A RF	SUSF304	

部品No.	部品名称	材料	数量	単位	重量 (kg)	備考
7	締付ボルト・ナットM16	SS400	8	組		
6	組棒	SS400 STKR400	1	組		
5	集合管	SUS304TP	1	組		
4	配管用安全装置	C3771	1	個		
3	連結管	C1220T	14	個		
2	容器弁開放装置	C3771	14	個		
1	二酸化炭素貯蔵容器	クロム・ニッケル鋼	14	個		

日本原燃株式会社
 MOX燃料工場
 防火設備(Q)
 二酸化炭素消火装置(非常用発電機用)
 非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1外形図
 (0198-GU-001)

要目表			
最高使用圧力	MPa		10.8
最高使用温度	℃		40
運転圧力	通常	MPa	9.3
	最大	MPa	10.8
運転温度	通常	℃	常温
	最大	℃	40
耐震クラス	設計用		S
	官庁申請用		2
品質重要度クラス			2
流体の種類			二酸化炭素
質量	kg		約 3890
建屋区分			PA
設置場所			差
適用法規			消防法
基数	基		1



注記
(1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

品番	数量	名称	材料	単位	合計	備考
7	8組	揚付ボルト・ナットM16	SS400	組		
6	1組	組棒	SS400 STKR400	組		
5	1組	集合管	SUS304TP	組		
4	1	配管用安全装置	C3771			
3	14	連結管	C1220T			
2	14	容器弁開放装置	C3771			
1	14	二酸化炭素貯蔵容器	クハモリブチン鋼			

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	二酸化炭素	JPI 1500Lb-50A RF	SUSF304	

日本原燃株式会社
MOX燃料工場
防火設備(Q)
二酸化炭素消火装置(非常用発電機用)
非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2外形図
(0198-GU-002)

(3) グローブボックス消火装置

抽出リスト (機器)
(1/7)

【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器 (許可)	機器名称	機種	機器番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
1	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-111	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	S/-	—	—	工程0198 (GB) (1/31)
2	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-112	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	S/-	—	—	工程0198 (GB) (1/31)
3	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-3 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-113	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	S/-	—	—	工程0198 (GB) (1/31)
4	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-4 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-114	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	S/-	—	—	工程0198 (GB) (1/31)
5	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-5 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-115	燃料加工建屋	2	2	新設	安重	—	S/-	—	—	工程0198 (GB) (1/31)
6	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-121	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	S/-	—	—	工程0198 (GB) (6/31)
7	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-2 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-122	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	S/-	—	—	工程0198 (GB) (6/31)
8	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-3 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-123	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	S/-	—	—	工程0198 (GB) (6/31)
9	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-4 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-124	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	S/-	—	—	工程0198 (GB) (6/31)
10	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-5 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-125	燃料加工建屋	6	2	新設	安重	—	S/-	—	—	工程0198 (GB) (6/31)
11	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-131	燃料加工建屋	9	2	新設	安重	—	S/-	—	—	工程0198 (GB) (8/31)
12	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-141	燃料加工建屋	3	2	新設	安重	—	S/-	—	—	工程0198 (GB) (11/31)

抽出リスト (配管)
(2/7)

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分	設備区分					機器 (許可)	機器名称(最新)	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
1	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1, -1-2, -1-3, -1-4, -1-5 減圧装置ユニットX-12 (選択弁ユニットX-1303~選択弁ユニットX-1302~選択弁ユニットX-1301), 選択弁ユニットX-1304	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
2	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1301 回収粉末微粉砕装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-1グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
3	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1301出口分岐部1 均一化混合装置グローブボックス, 造粒装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-8, -9グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
4	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1301出口分岐部2 一次混合粉末秤量・分取装置グローブボックス, 分析試料採取・詰替装置グローブボックス, ウラン粉末秤量・分取装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-6グローブボックス, 調整粉末搬送装置-7グローブボックス-1	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
5	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1301 添加剤混合装置A, Bグローブボックス, 添加剤混合粉末搬送装置-3グローブボックス, プレス装置A, B(粉末取扱部)グローブボックス, プレス装置A, B(プレス部)グローブボックス, グリーンペレット積込装置A, Bグローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
6	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1301 焼結ボート搬送装置グローブボックス-46(B2F), 小規模研削検査装置グローブボックス, 小規模粉末混合装置グローブボックス, 小規模プレス装置グローブボックス, 資材保管装置グローブボックス, 小規模焼結処理装置グローブボックス, 容器移送装置グローブボックス-1, -2, -5, 再生スクラップ搬送装置グローブボックス-2, 再生スクラップ受払装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
7	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1301 原料MOX粉末秤量・分取装置A, Bグローブボックス, ウラン粉末・回収粉末秤量・分取装置グローブボックス, 予備混合装置グローブボックス, 原料MOX分析試料採取装置グローブボックス, 原料MOX粉末缶取出装置グローブボックス, 原料MOX粉末缶一時保管装置グローブボックス, 原料粉末搬送装置-3グローブボックス-1, -3, -4(南側), 原料粉末搬送装置-6グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
8	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1302 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-1, -2, -3, ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-1	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
9	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1302 スクラップ貯蔵棚グローブボックス-1, -2, -3, スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
10	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1302 選択弁ユニットX-1305 挿入溶接装置(被覆管取扱部)A, Bグローブボックス, 乾燥ボート取出装置A, Bグローブボックス, 乾燥ボート搬送装置グローブボックス-7, -9, -10, 放射能濃度分析グローブボックス-1, 分析済液中和固液分離グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	

抽出リスト (配管)
(3/7)

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分	設備区分					機器 (許可)	機器名称(最新)	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
11	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1302 ～ 空焼結ボート取扱装置グローブボックス, 焼結ボート供給装置A, B, Cグローブボックス, 焼結ボート搬送装置グローブボックス-7, -8(南側), -10, -11, -13, -14, -18, -19(西側), -20(西側), -21(西側), -33, -35, -37, -45, -46(B3F), -48, 焼結ボート受渡装置グローブボックス-1(南側), -4(北側), ベレット一時保管棚グローブボックス-1, -2, -3	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
12	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1303 ～ 焼結ボート取出装置A, B, Cグローブボックス, 焼結ボート搬送装置グローブボックス-22, -23, -24, -25, -31(西側)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
13	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1303 ～ 焼結ペレット供給装置Aグローブボックス, 研削装置Aグローブボックス, ベレット検査設備Aグローブボックス, 焼結ボート搬送装置グローブボックス-39	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
14	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1303 ～ 焼結ペレット供給装置Bグローブボックス, 研削装置Bグローブボックス, ベレット検査設備Bグローブボックス, 焼結ボート搬送装置グローブボックス-41	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
15	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1304 ～ 研削粉回収装置A, Bグローブボックス, ベレット保管容器搬送装置グローブボックス-1, -3, -5, -8, -10(空気部), -12(台車部)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
16	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1304 ～ 一次混合装置A, Bグローブボックス, 回収粉末処理・混合装置グローブボックス, 回収粉末処理・詰替装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-11, -13, -14, -16グローブボックス(東側), 焼結ボート搬送装置グローブボックス-49, 回収粉末容器搬送装置グローブボックス-1, -3	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
17	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1, -2-2, -2-3, -2-4, -2-5 ～ 減圧装置ユニットX-22 ～ 選択弁ユニットX-2301	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
18	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-2301 ～ スクラップ貯蔵棚グローブボックス-4, -5, スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-2	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	

抽出リスト (配管)
(4/7)

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分	設備区分					機器 (許可)	機器名称(最新)	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
19	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-2301 ～ 粉末一時保管装置グローブボックス-1, -2, -3, -4, -5, -6, 調整粉末搬送装置-3グローブボックス(東側), 調整粉末搬送装置-11, -13, -14, -16グローブボックス(西側), 調整粉末搬送装置-4, -19, -20グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
20	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-2301 ～ 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-4, -5, ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-2, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-12(リフト)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
21	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3 ～ 減圧装置ユニットX-32 ～ 選択弁ユニットX-3301 ～ 選択弁ユニットX-3302	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
22	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3301 ～ 小規模焼結炉排ガス処理装置グローブボックス, 再生スクラップ焙焼処理装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
23	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3301 ～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-10(空気部)(北側)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
24	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3301 ～ 選択弁ユニットX-3305, X-3304	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	
25	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3305 ～ 試料溶解・調製装置-2グローブボックス-1, -2, -3, 炭素・硫黄・窒素分析装置グローブボックス-1, -2, X線回折測定装置グローブボックス, 金相試験装置グローブボックス-1, -2, 塩素・フッ素分析装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	
26	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3305 ～ O/M比測定装置グローブボックス, 水分分析装置グローブボックス, 分配装置グローブボックス, 受払装置グローブボックス, 搬送装置-3グローブボックス-1	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	
27	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3305 ～ 試料溶解・調製装置-1グローブボックス-1, -2, 蛍光X線分析装置グローブボックス, プルトニウム含有率分析装置グローブボックス, 受払・分配装置グローブボックス, 搬送装置-1 グローブボックス-1	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	
28	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3305 ～ スパイク試料調製装置-1グローブボックス-1, -2, スパイク試料調製装置-2グローブボックス-1, -2, スパイク試料調製装置-3グローブボックス-1, -2, イオン交換装置グローブボックス-1, -2, スパイキング装置グローブボックス-1, -2, 質量分析装置B, C, D, E グローブボックス, 搬送装置-2 グローブボックス-3, α線測定装置グローブボックス, γ線測定装置グローブボックス, 試料塗布装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	
29	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3305 ～ 放射能濃度分析グローブボックス-2, ろ過・第1活性炭処理グローブボックス, 第2活性炭・吸着処理グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	

抽出リスト (配管)
(5/7)

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器 (許可)	機器名称(最新)	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
30	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3304 ～ 蒸発性不純物測定装置A グローブボックス, ICP-質量分析装置グローブボックス, 水素分析装置グローブボックス, ペレット溶解性試験装置グローブボックス-1, -2, プルトニウムスポット検査装置グローブボックス, EPMA分析装置グローブボックス, 液浸密度測定装置グローブボックス, 熱分析装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	
31	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3304 ～ 乾燥ボート供給装置Aグローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	
32	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3304 ～ ペレット立会検査装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	
33	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3304 ～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-6, -8, -10, -12, -14 (B2F)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	
34	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3304 ～ 乾燥ボート供給装置Bグローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	
35	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3304 ～ 燃料棒解体装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	
36	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3302 ～ 排ガス処理装置Aグローブボックス(上部), (下部)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
37	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3302 ～ 排ガス処理装置Bグローブボックス(上部), (下部)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
38	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3302 ～ 排ガス処理装置Cグローブボックス(上部), (下部)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
39	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3302 ～ 焼結ボート搬送装置グローブボックス-36, -38, -40, -42	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
40	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4 ～ 減圧装置ユニットX-42 ～ 選択弁ユニットX-4301	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
41	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-4301 ～ (選択弁ユニットX-4302～選択弁ユニットX-4303), 選択弁ユニットX-4307	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	
42	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-4307 ～ 固体廃棄物選別装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	
43	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-4302 ～ 溶接試料前処理装置グローブボックス, 除染装置Aグローブボックス, 乾燥ボート搬送装置グローブボックス-11, -14	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	
44	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-4303 ～ 部材供給装置A, Bグローブボックス, 除染装置Bグローブボックス, 取支試料受払装置グローブボックス, 取支試料調製装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	C/-	—	—	
45	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-4301 ～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-14 (B3F)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
46	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
47	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
48	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-3 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	

抽出リスト (配管)
(6/7)

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器 (許可)	機器名称 (最新)	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
49	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-4 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
50	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-5 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
51	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
52	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-2 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
53	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-3 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
54	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-4 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
55	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-5 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
56	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
57	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
58	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用選択弁ユニット-1-1 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
59	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用選択弁ユニット-1-2 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
60	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用選択弁ユニット-1-3 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
61	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用選択弁ユニット-1-4 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
62	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用選択弁ユニット-1-5 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	C/-	—	—	
63	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用選択弁ユニット-2 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
64	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用選択弁ユニット-3-1 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
65	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用選択弁ユニット-3-2 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
66	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用選択弁ユニット-3-4 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	C/-	—	—	
67	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用選択弁ユニット-3-5 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	C/-	—	—	
68	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用選択弁ユニット-4-1 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
69	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用選択弁ユニット-4-2 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	C/-	—	—	
70	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用選択弁ユニット-4-3 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	C/-	—	—	

抽出リスト (配管)
(7/7)

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分	設備区分					機器 (許可)	機器名称(最新)	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
71	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用選択弁ユニット-4-7 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	C/-	—	—	
72	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用減圧装置ユニット-1 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
73	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用減圧装置ユニット-2 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
74	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用減圧装置ユニット-3 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	
75	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用減圧装置ユニット-4 ユニット内配管	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	S/-	—	—	

- 消火ポンベから消火区画となる火災区域が設定される各室の区域境界部までを主流路とし、消火ポンベ、主配管を主流路に設置される設備、機器として抽出。
- 消火ポンベの起動用のポンベ、配管等の計装関連の設備については、主経路とはしない。
- 耐震重要度分類の境界を考慮し、主配管名称を設定する。

【凡例】

- 赤線：主となる経路
- 青色：安全上重要な施設の範囲
- 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, ...)
- 番号：主配管との紐付け番号 (, , ...)
- 赤引き出し線：主流路とする考え方の補足
- 青引き出し線：主流路としない考え方の補足

注記

- *1: 各安全弁出口管の250A母管への合流角度は45°以内とする。
- *2: 放出完了信号用
- *3: 選択弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。
- *4: 起動用ガス配管等の専圧配管
- (**本) は貯蔵容器開放本数を示す。

消火ガスが流れるユニット内の配管を主流路として設定する。(以下の頁では省略)

消火ガスが流れるユニット内の配管を主流路として設定する。(以下の頁では省略)

安全弁吹き出しラインは、圧力異常時のみ使用するラインのため、主流路としない。(以下の頁では省略)

選択弁ユニット内にある選択弁及び消火ポンベの弁を開放するためのポンベは計装機能であり、主流路としない。(以下の頁では省略)

消火ガスが流れるユニット内の配管を主流路として設定する。なお、消火ガス貯蔵容器と消火ガス貯蔵容器ユニットを繋ぐための配管は、貯蔵容器の機器付き配管であるため、主流路としない。(以下の頁では省略)

これらの流路は、消火ポンベの弁を開放するための計装配管のため、主流路としない。(以下の頁では省略)

これらのポンベは、選択弁及び消火ポンベの弁を開放するための計装用ポンベのため、主流路としない。(以下の頁では省略)

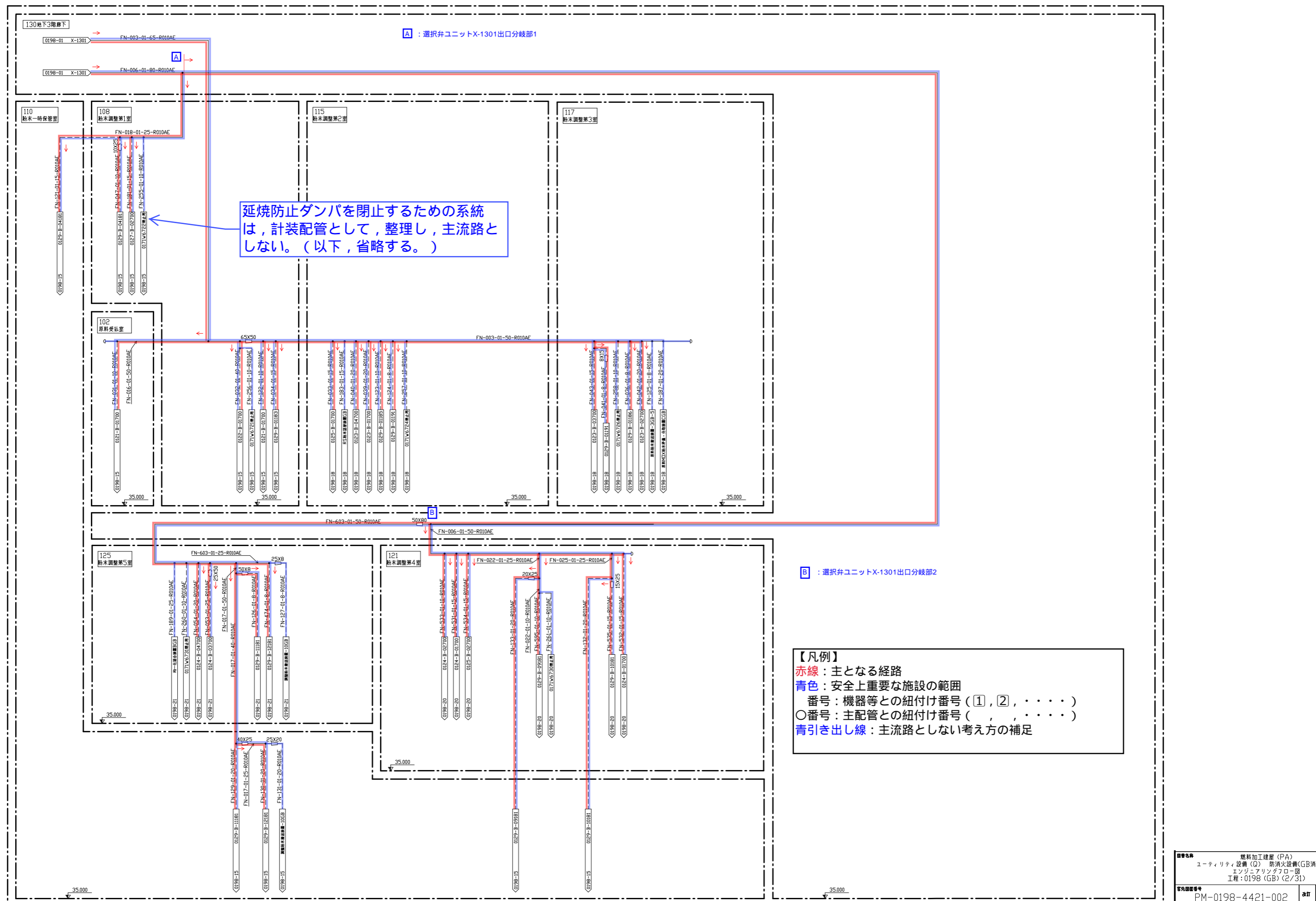
(別紙2-2-2)

A : 選択弁ユニットX-1301出口分岐部1

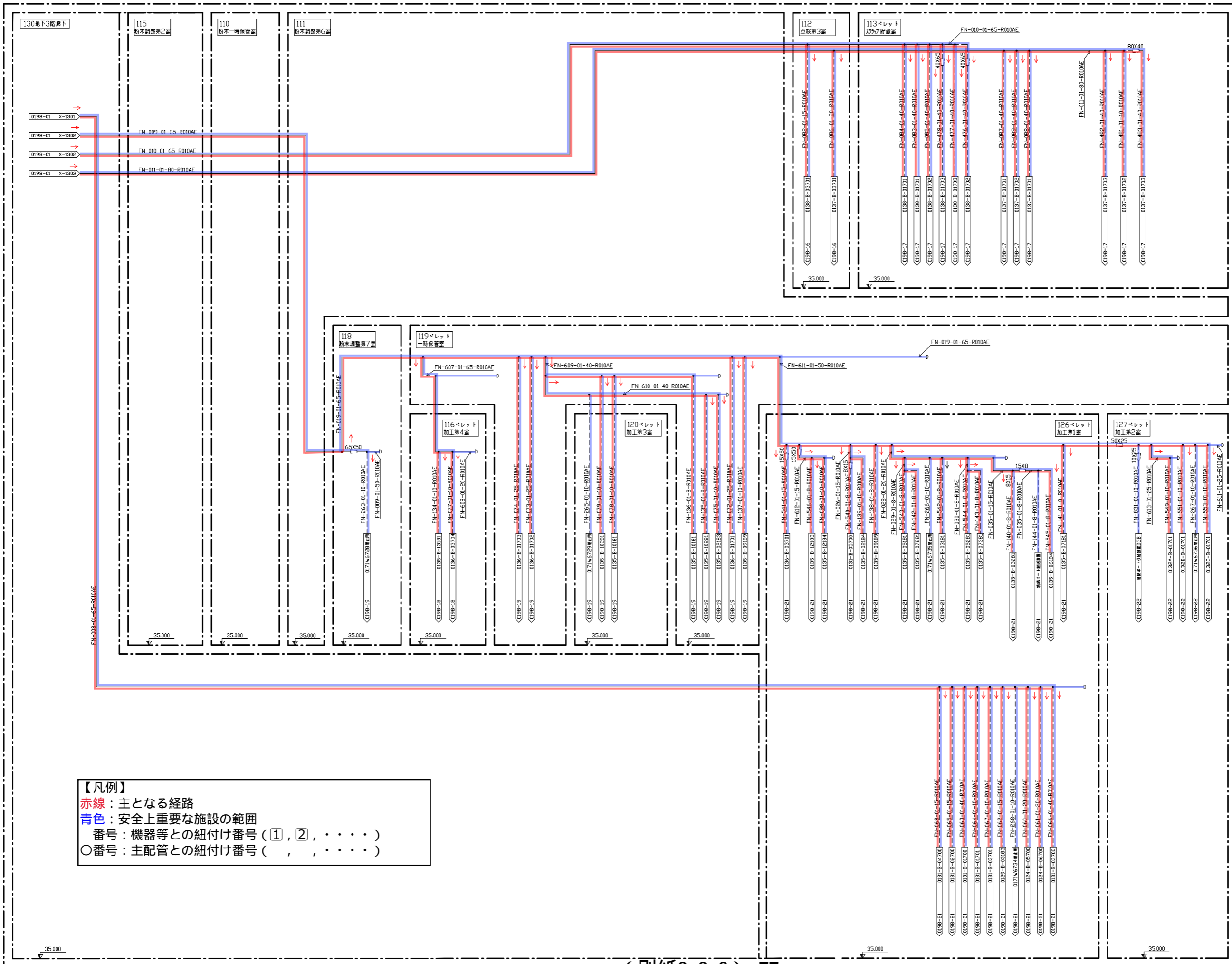
延焼防止ダンパを閉止するための系統は、計装配管として、整理し、主流路としない。(以下、省略する。)

B : 選択弁ユニットX-1301出口分岐部2

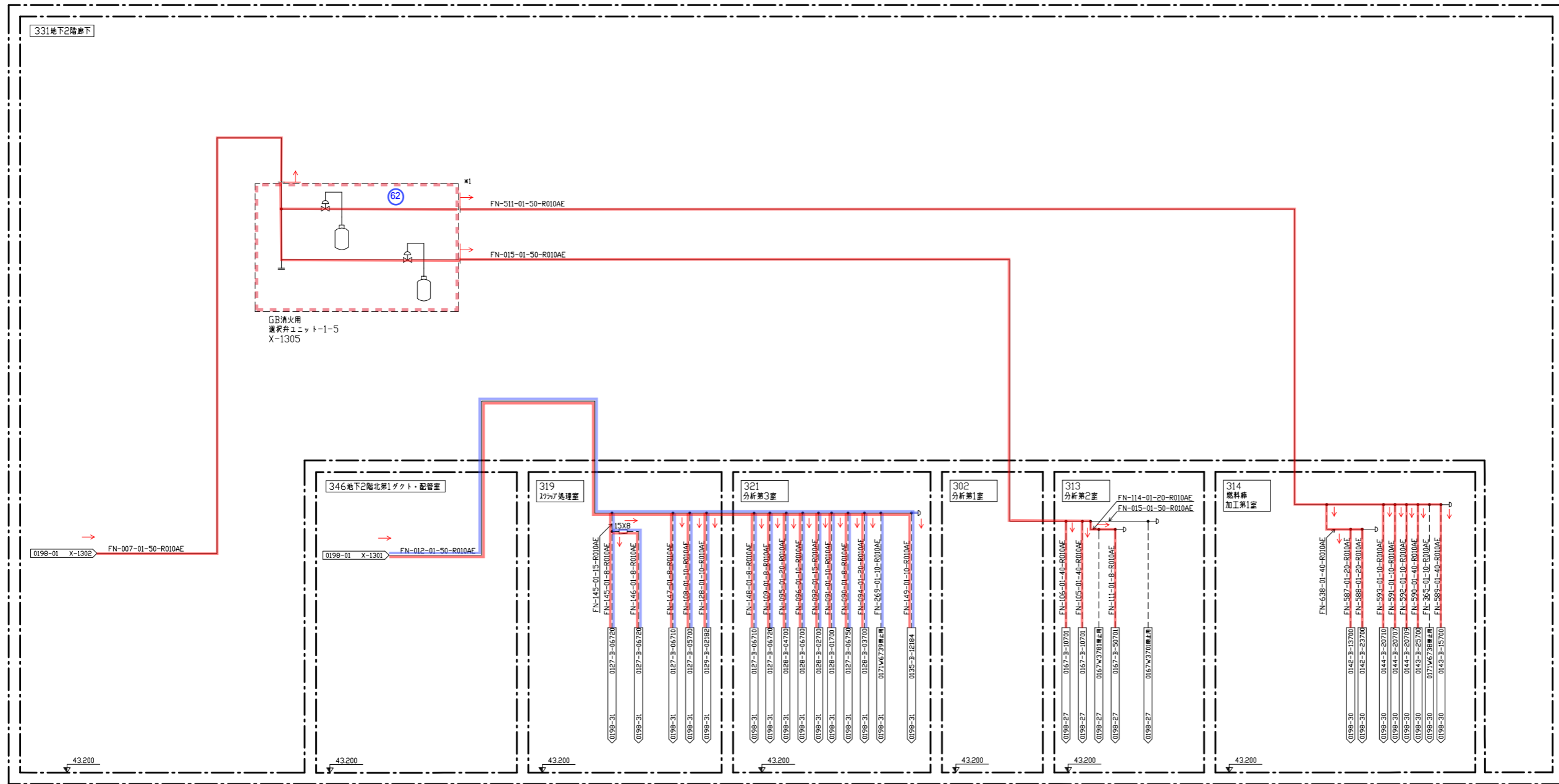
【凡例】
 赤線：主となる経路
 青色：安全上重要な施設の範囲
 番号：機器等との紐付け番号(①, ②, ...))
 ○番号：主配管との紐付け番号(, , ...))
 青引き出し線：主流路としない考え方の補足



図名	燃料加工棟屋 (PA)
ユーティリティ設備 (Q)	防火設備 (GB) 消火装置
エンジニアリングフロー図	工程: 0198 (GB) (2/31)
図番	PM-0198-4421-002
改訂	12



【凡例】
 赤線：主となる経路
 青色：安全上重要な施設の範囲
 番号：機器等との紐付け番号 (① , ② , ……)
 ○番号：主配管との紐付け番号 (, , ……)



注 記
 *1: 選択弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。

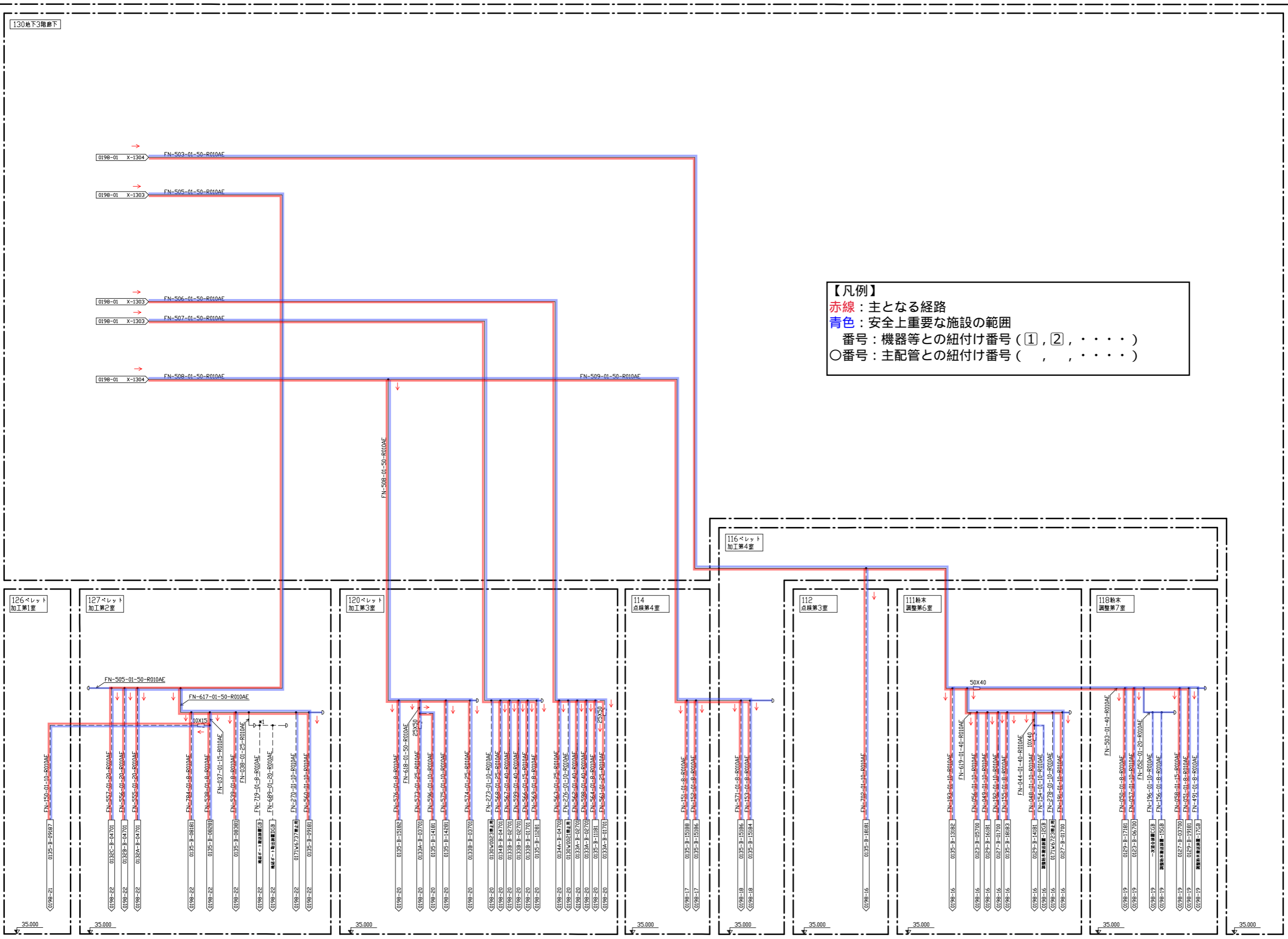
【凡例】
 赤線：主となる経路
 青色：安全上重要な施設の範囲
 番号：機器等との紐付け番号 (① , ② , ……)
 ○番号：主配管との紐付け番号 (, , ……)

図名	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 消防設備 (GB消火装置) エンジニアリングフロア図 工程: 0198 (GB) (4/31)		
客先図番	PM-0198-4421-004	改訂	12

130地下3階廊下

注記
*1: 将来設置

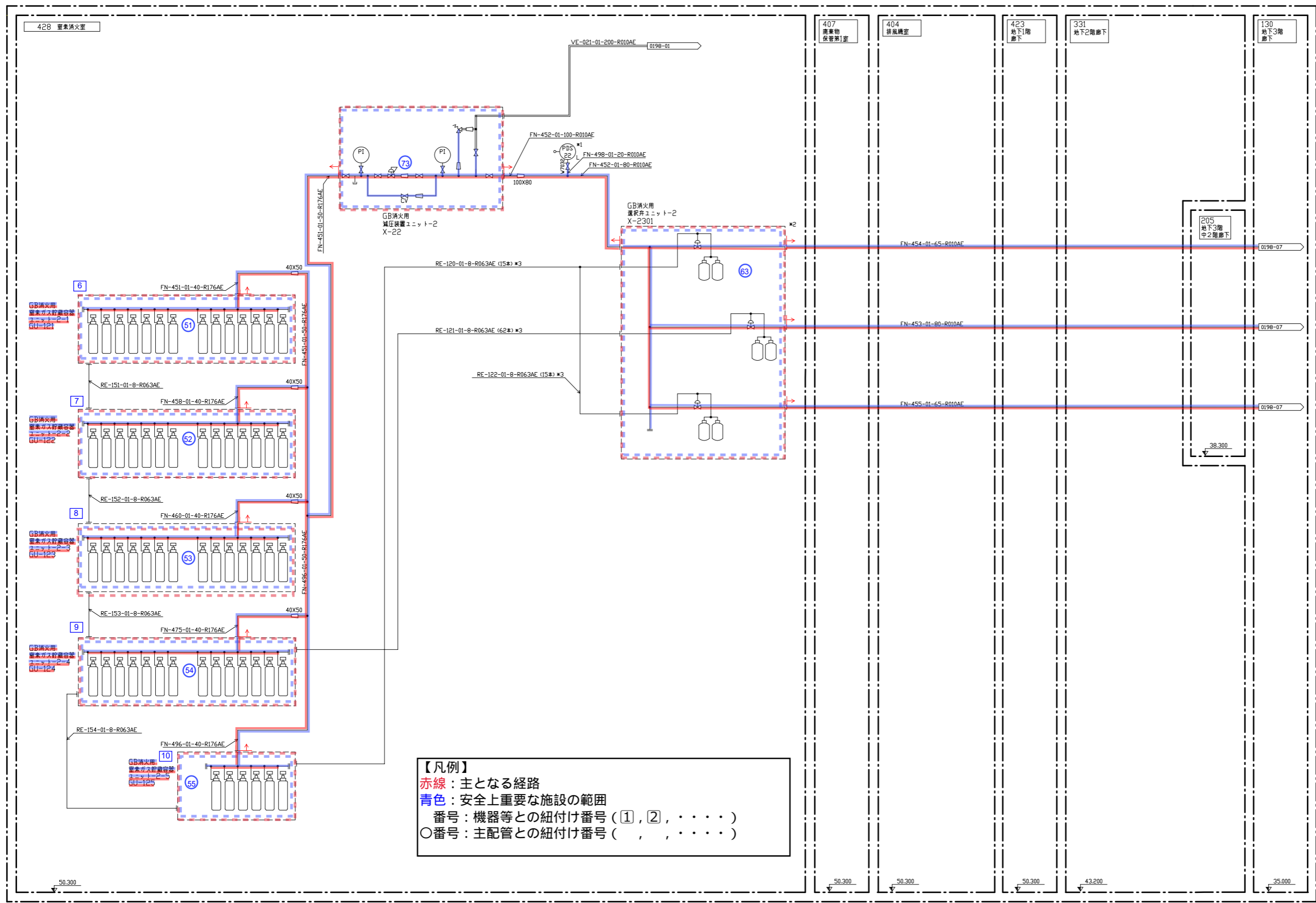
【凡例】
 赤線：主となる経路
 青色：安全上重要な施設の範囲
 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, ……)
 ○番号：主配管との紐付け番号 (, , ……)



図名	燃料加工種屋 (PA)		
設備	エーシティ設備 (Q) 防火設備 (GB消火装置)		
エンジニア	エンジニアリングフロー		
工程	0198 (GB) (5/31)		
※先頭図番	PM-0198-4421-005	改訂	13

注 記

- *1: 放完了信号用
- *2: 選択弁後流に放出信号専用圧力スイッチあり。
- *3: 起動用ガス配管等の導圧配管
(**本)は貯蔵容器開放本数を示す。

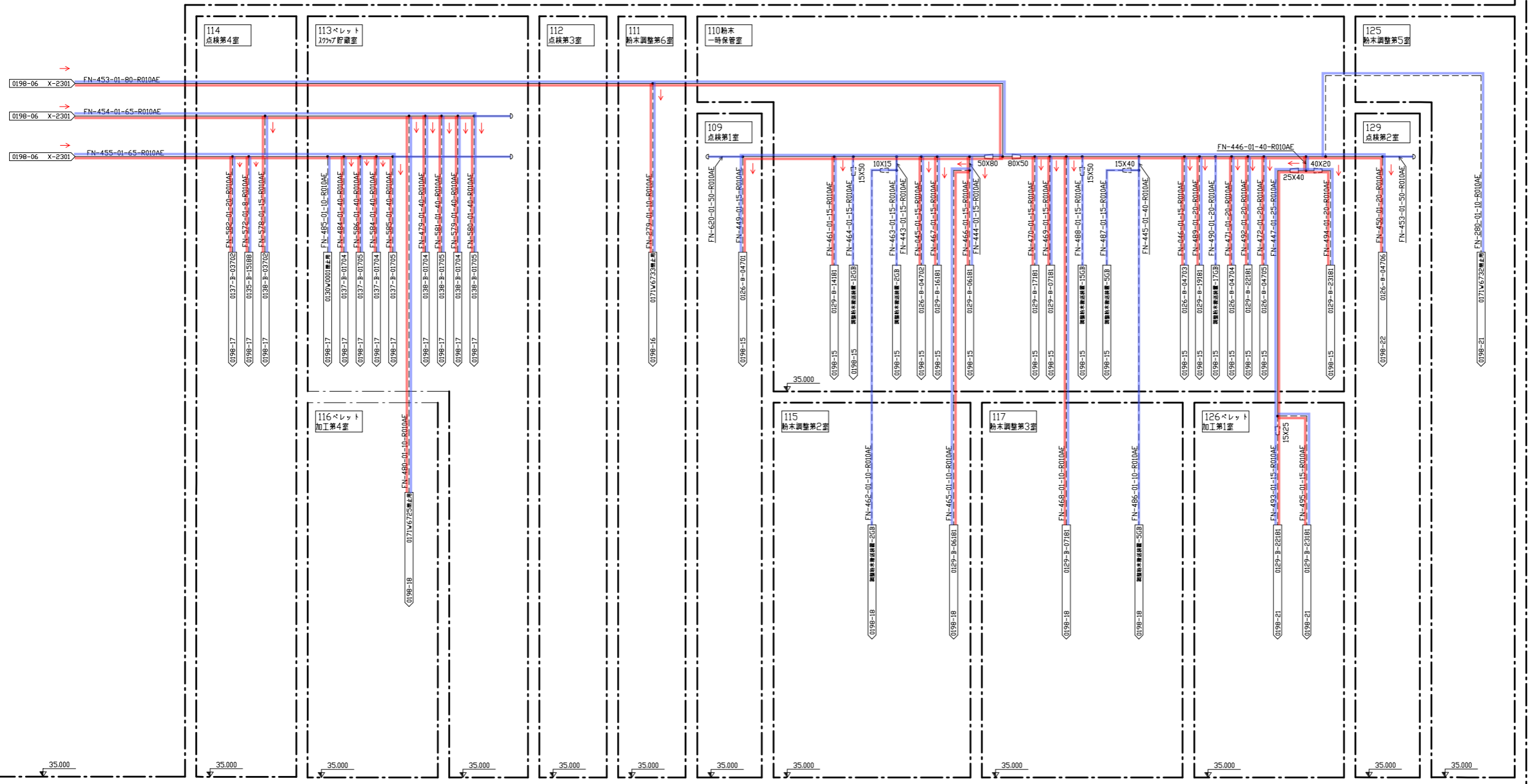


【凡例】
 赤線：主となる経路
 青色：安全上重要な施設の範囲
 番号：機器等との紐付け番号 (① , ② , ……)
 ○番号：主配管との紐付け番号 (, , ……)

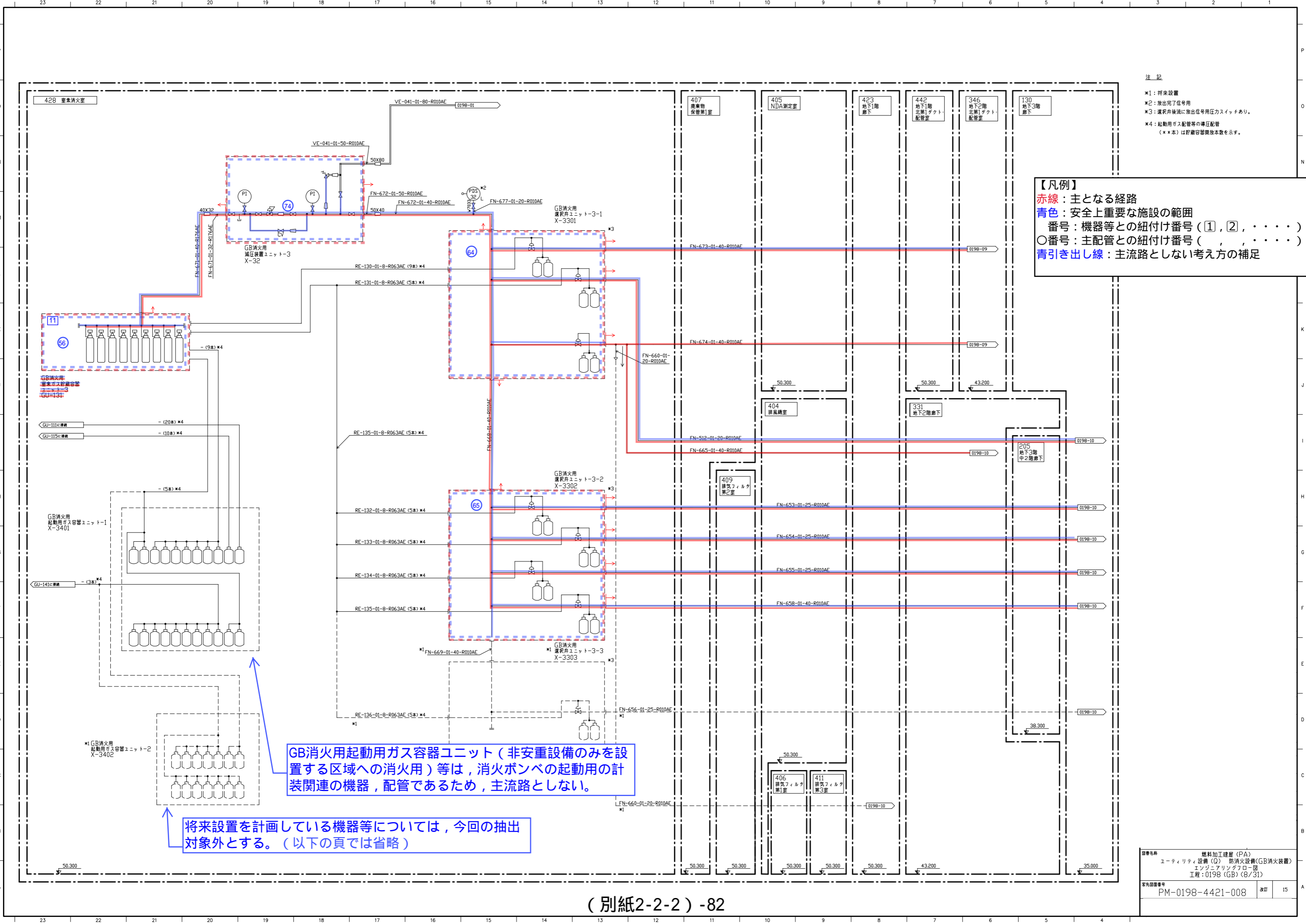
図名	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB消火装置) エンジニアリングフロー図 工程: 0198 (GB) (6/31)		
図番	PM-0198-4421-006	改訂	13

130地下3階廊下

【凡例】
 赤線：主となる経路
 青色：安全上重要な施設の範囲
 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, ……)
 ○番号：主配管との紐付け番号 (, , ……)



図名	燃料加工種屋 (PA)		
種別	ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB) 消防装置		
設計者	エンジニアリングフロー図		
工程	0198 (GB) (7/31)		
図番	PM-0198-4421-007	改訂	10



注記

- *1: 将来設置
- *2: 放完了伝専用
- *3: 選択弁後流に放出信号用圧カスイッチあり。
- *4: 起動用ガス配管等の導圧配管
(**本)は貯蔵容器開放本数を示す。

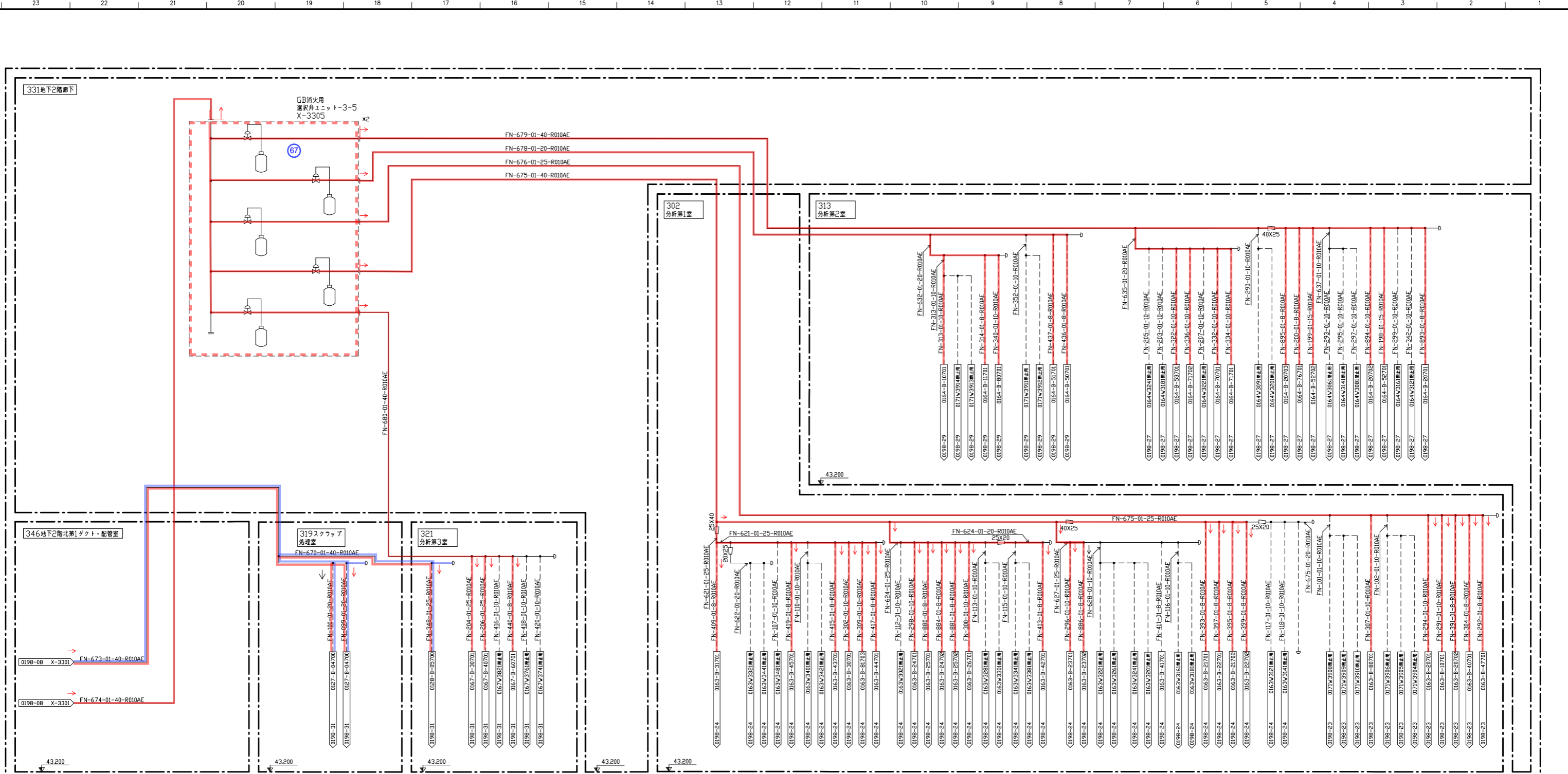
【凡例】

- 赤線：主となる経路
- 青色：安全上重要な施設の範囲
- 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, ……)
- 番号：主配管との紐付け番号 (, ……)
- 青引き出し線：主流路としない考え方の補足

GB消火用起動用ガス容器ユニット（非安重設備のみを設置する区域への消火用）等は，消火ポンベの起動用の計装関連の機器，配管であるため，主流路としない。

将来設置を計画している機器等については，今回の抽出対象外とする。（以下の頁では省略）

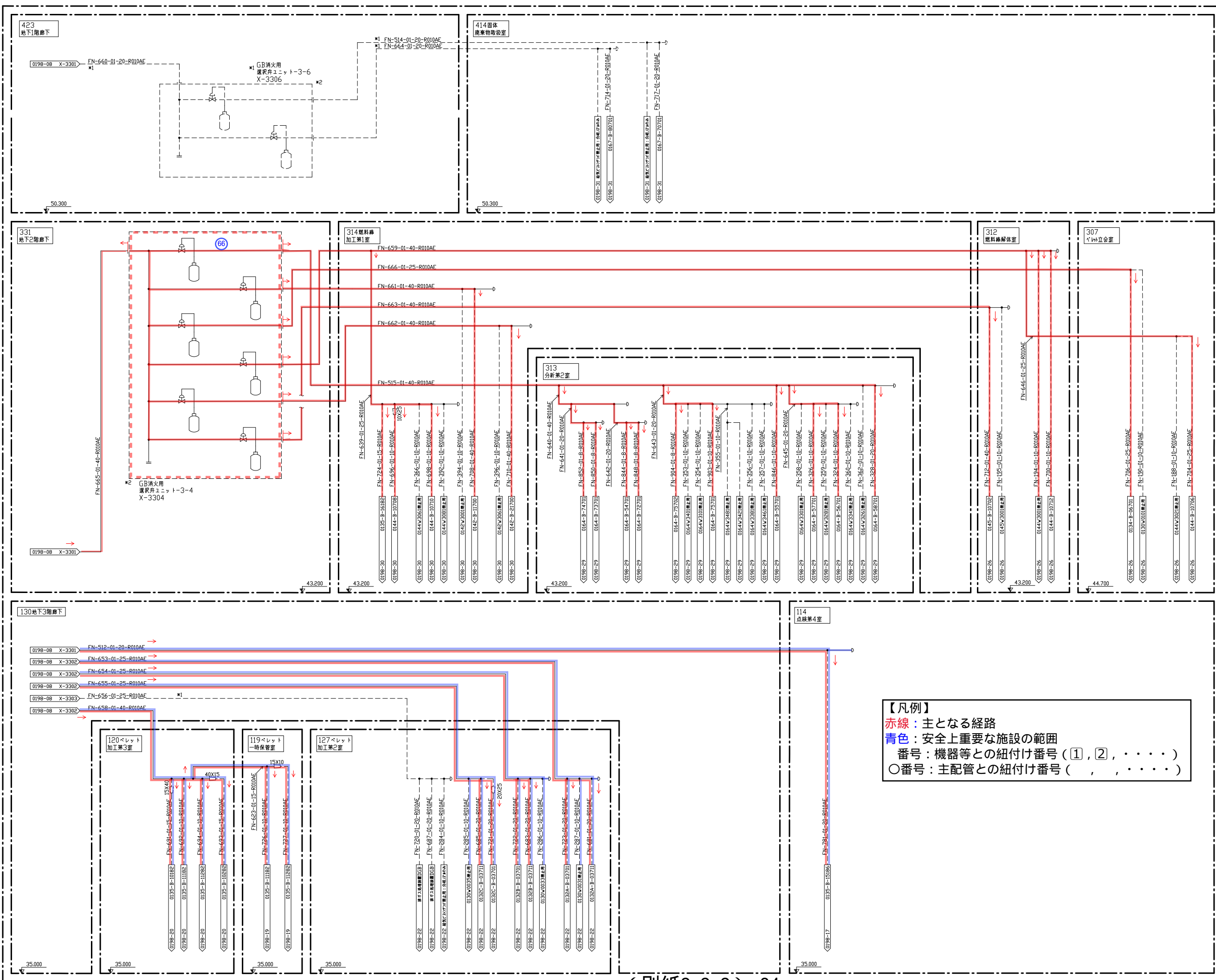
図名	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB) 消火装置		
設計者	エンジニアリングフロー		
工程	0198 (GB) (8/31)		
図番	PM-0198-4421-008	改訂	15



【凡例】
 赤線：主となる経路
 青色：安全上重要な施設の範囲
 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, …)
 ○番号：主配管との紐付け番号 (, , …)

注記
 ※1：将来設置
 ※2：選別弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。

図名	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 消防設備 (GB消防装置) エンジンルームフロア 工程: 0198 (GB) (9/31)		
図番	PM-0198-4421-009	改訂	12



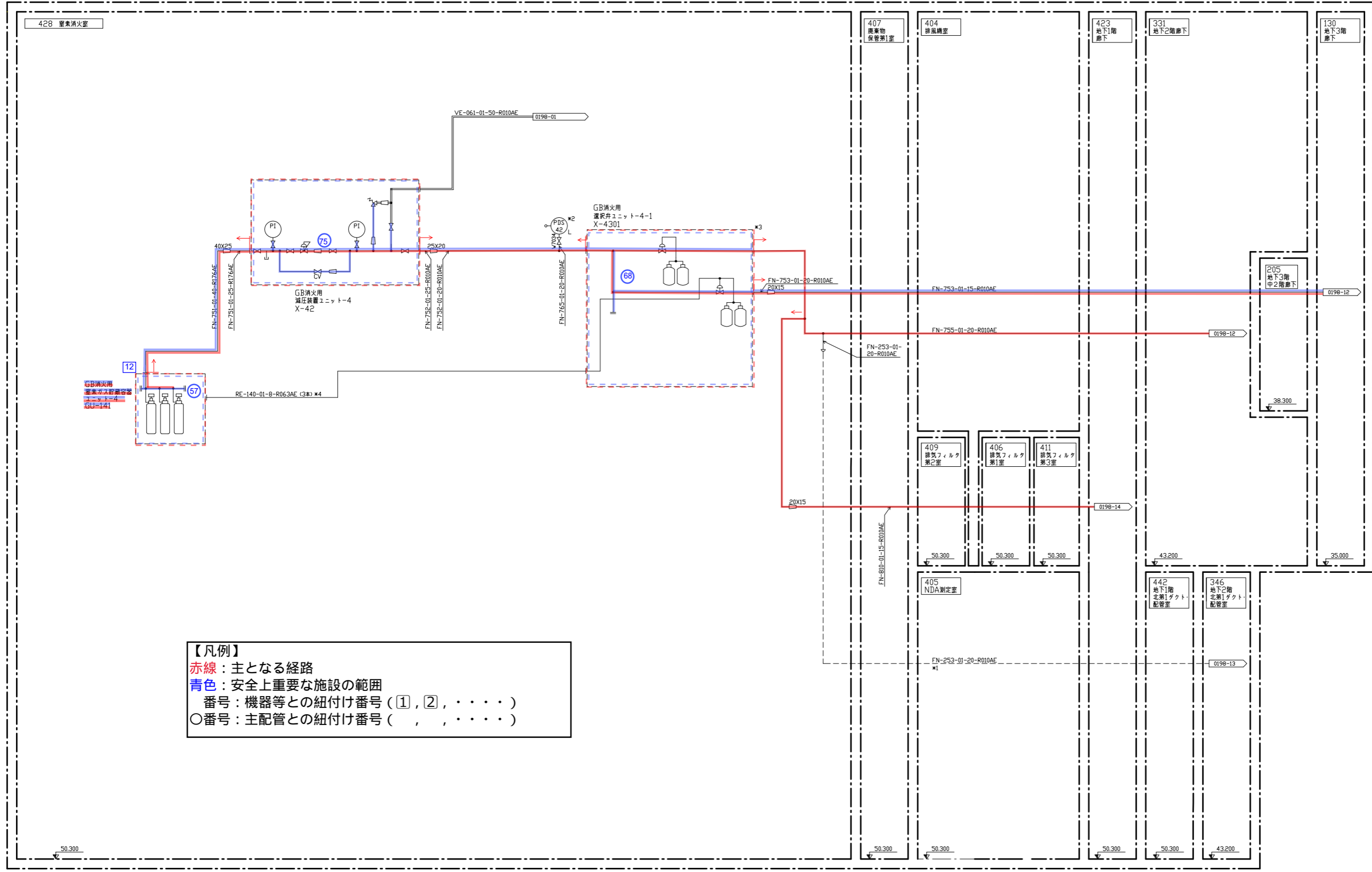
注 記
 *1 将来設置
 *2: 選択弁後流に放出専用圧カスイッチあり。

【凡例】
 赤線：主となる経路
 青色：安全上重要な施設の範囲
 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, …)
 ○番号：主配管との紐付け番号 (, , …)

図名	燃料加工棟屋 (PA)
ユーティリティ設備 (Q)	防火設備 (GB) 消防装置
エンジニアリングフロー	エンジン (10/31)
図面番号	PM-0198-4421-010
改訂	13

注記

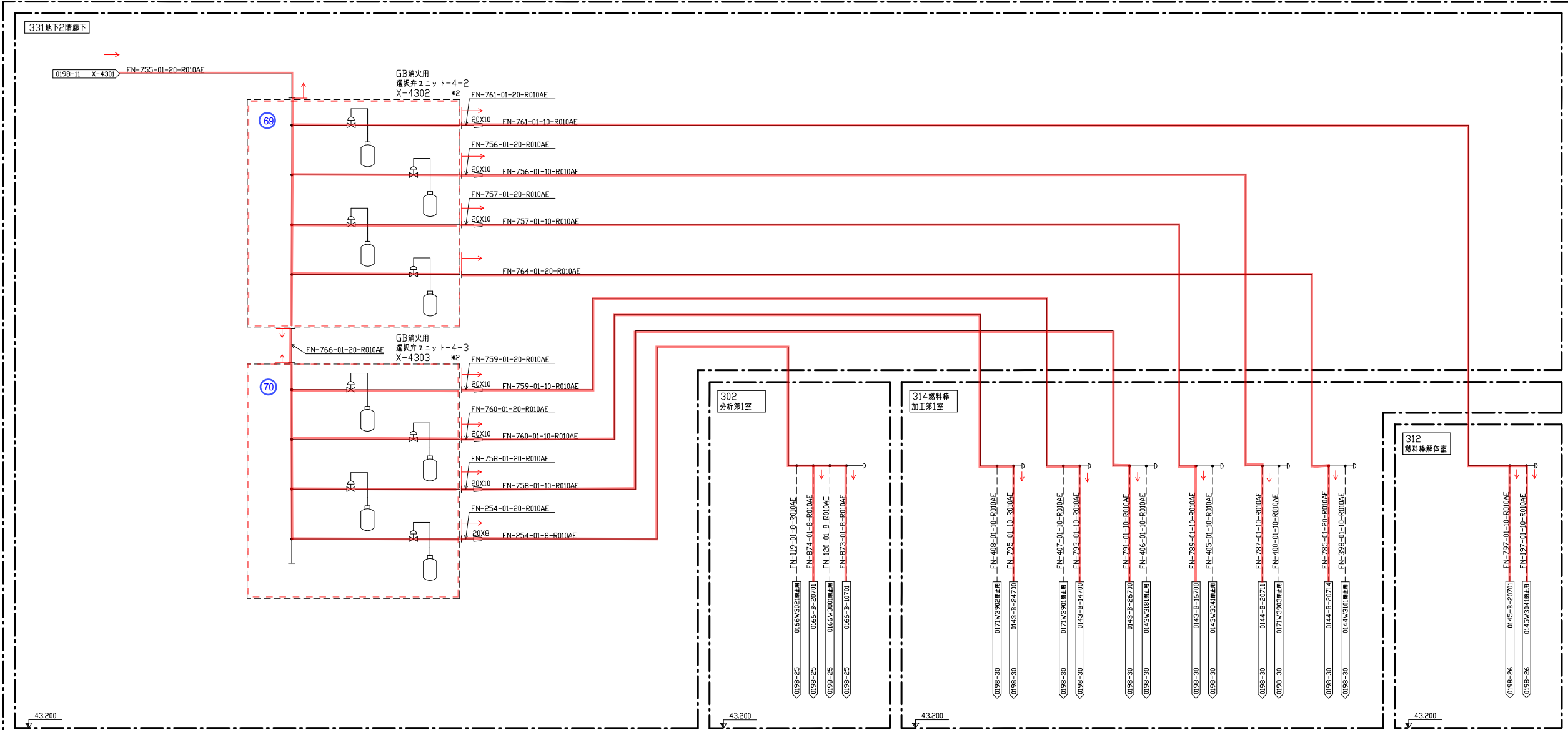
- *1: 将来設置
- *2: 放出完了信号用
- *3: 選択弁後流に放出信号用圧カスイッチあり。
- *4: 起動用ガス配管等の専任配管
(**本)は貯蔵容量開放本数を示す。



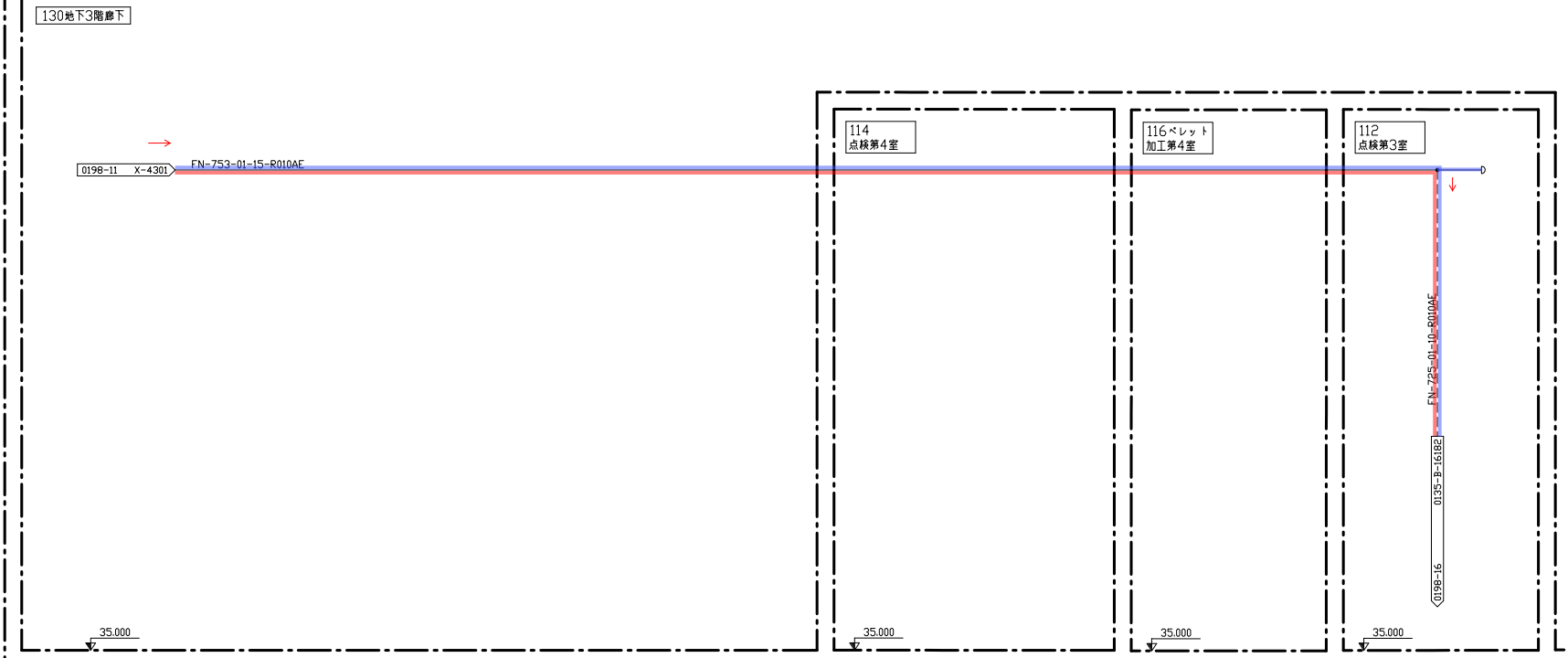
【凡例】

- 赤線：主となる経路
- 青色：安全上重要な施設の範囲
- 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, ……)
- 番号：主配管との紐付け番号 (, ……)

図名	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB消火装置) エンジニアリングフロア図 工程: 0198 (GB) (11/31)		
図号	PM-0198-4421-011	改訂	14



注記
 ※1 将来設置
 ※2 選択弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。

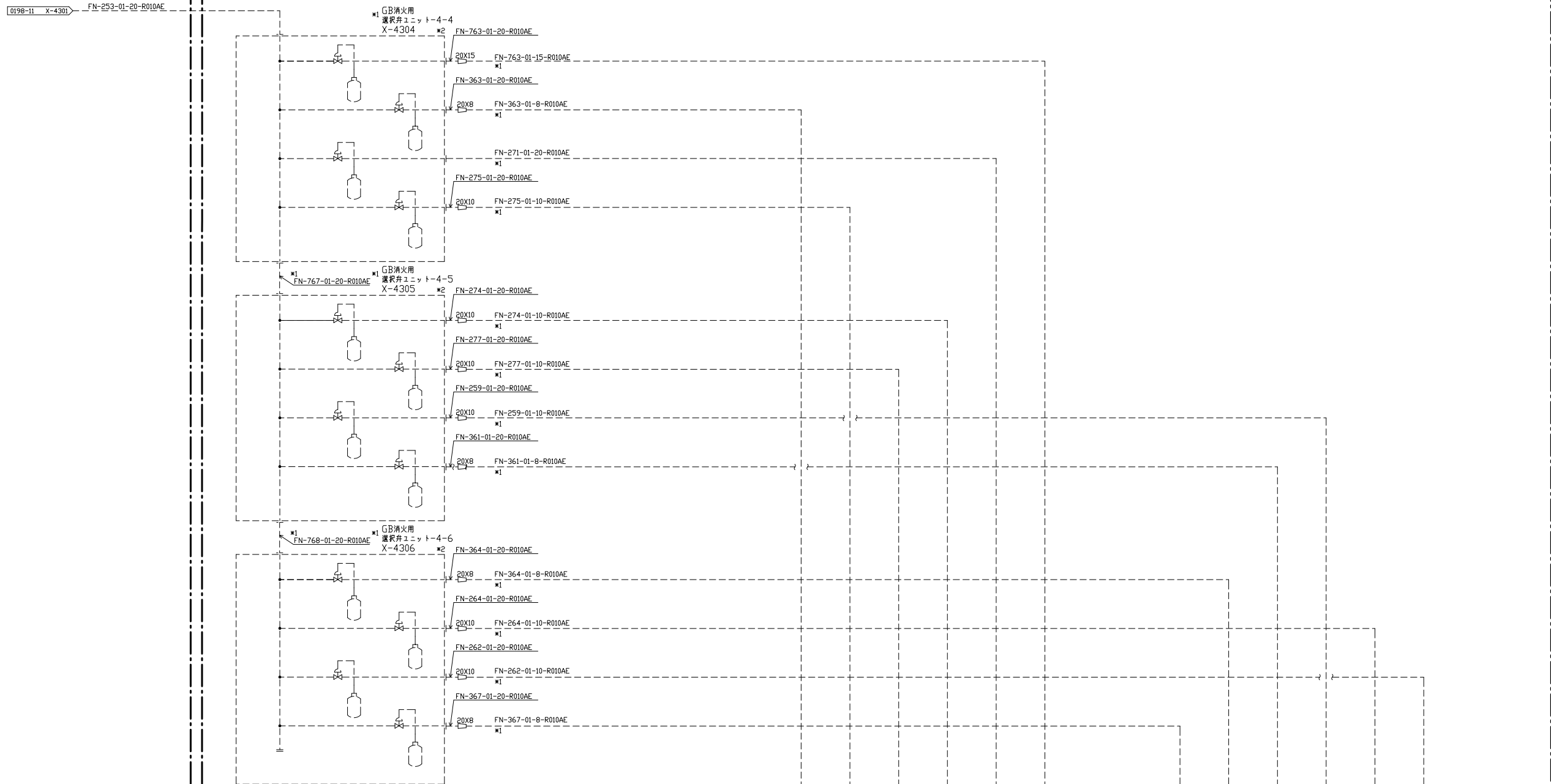


【凡例】
 赤線：主となる経路
 青色：安全上重要な施設の範囲
 番号：機器等との紐付け番号 (① , ② , …)
 ○番号：主配管との紐付け番号 (, , …)

図名	燃料加工棟屋 (PA)
内容	ユーティリティ設備 (Q) 消防設備 (GB消火装置) エンジニアリングタワー 工程: 0198 (GB) (12/31)
図面番号	PM-0198-4421-012

346
地下2階
北第1グリッド配管室

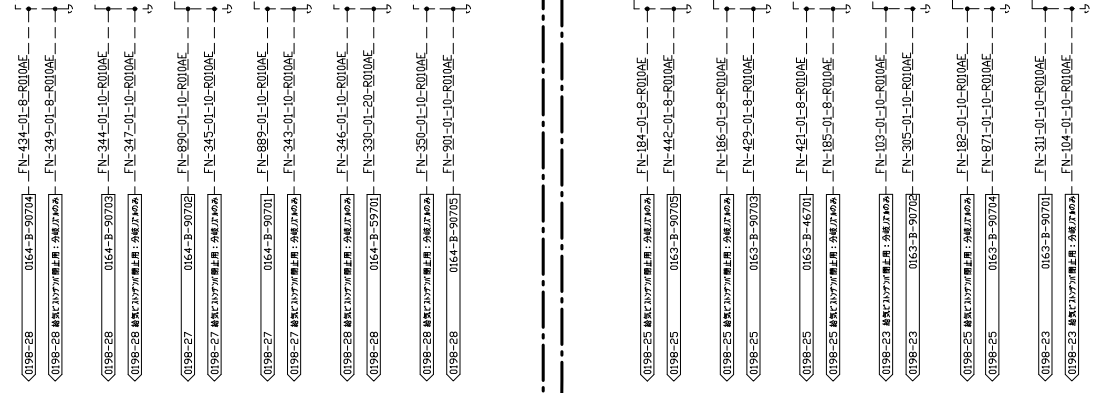
331地下2階廊下



注 記
 ※1 将来設置
 ※2 選択弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。

302
分析第1室

313
分析第2室



43.200

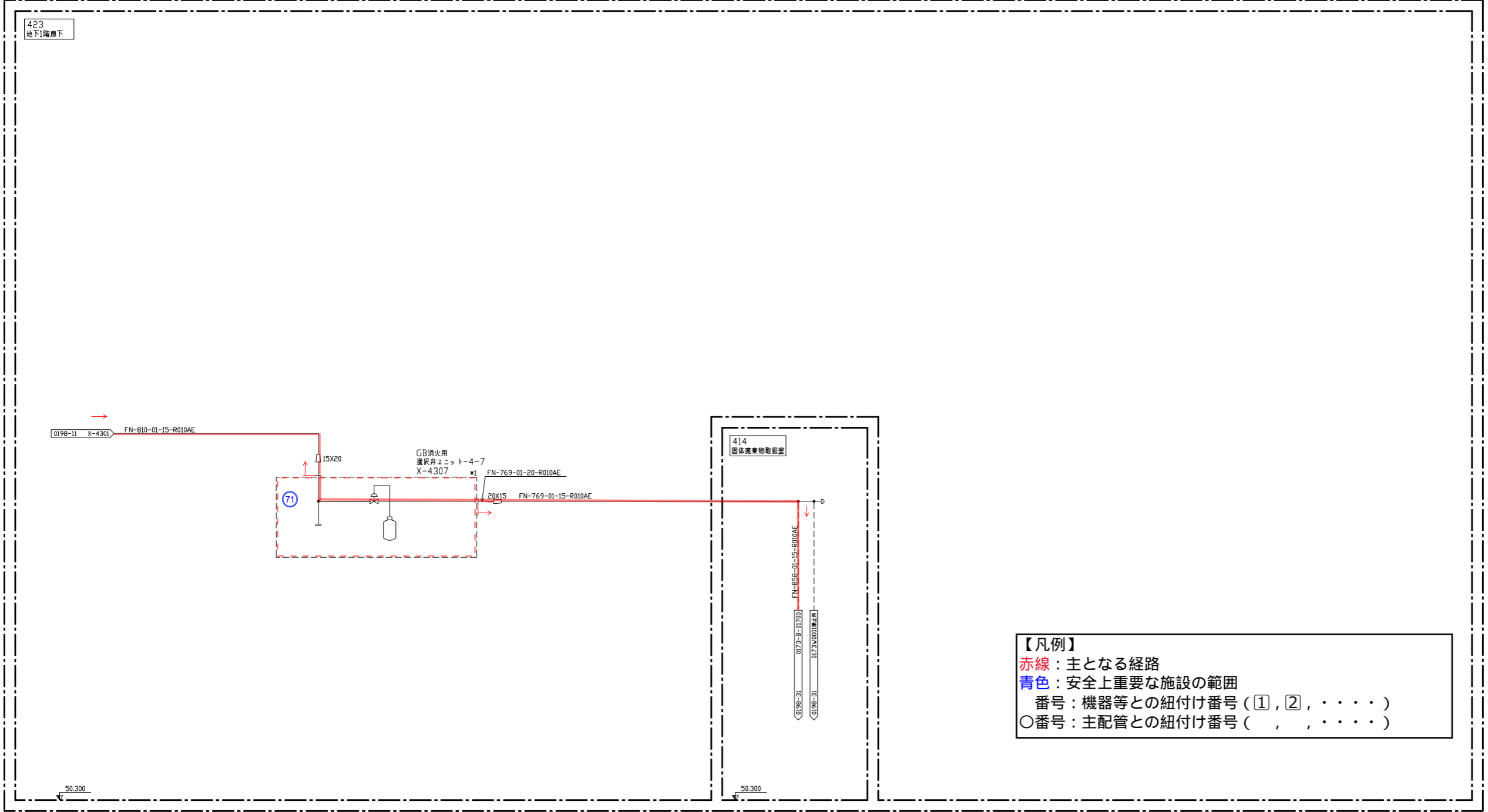
43.200

43.200

43.200

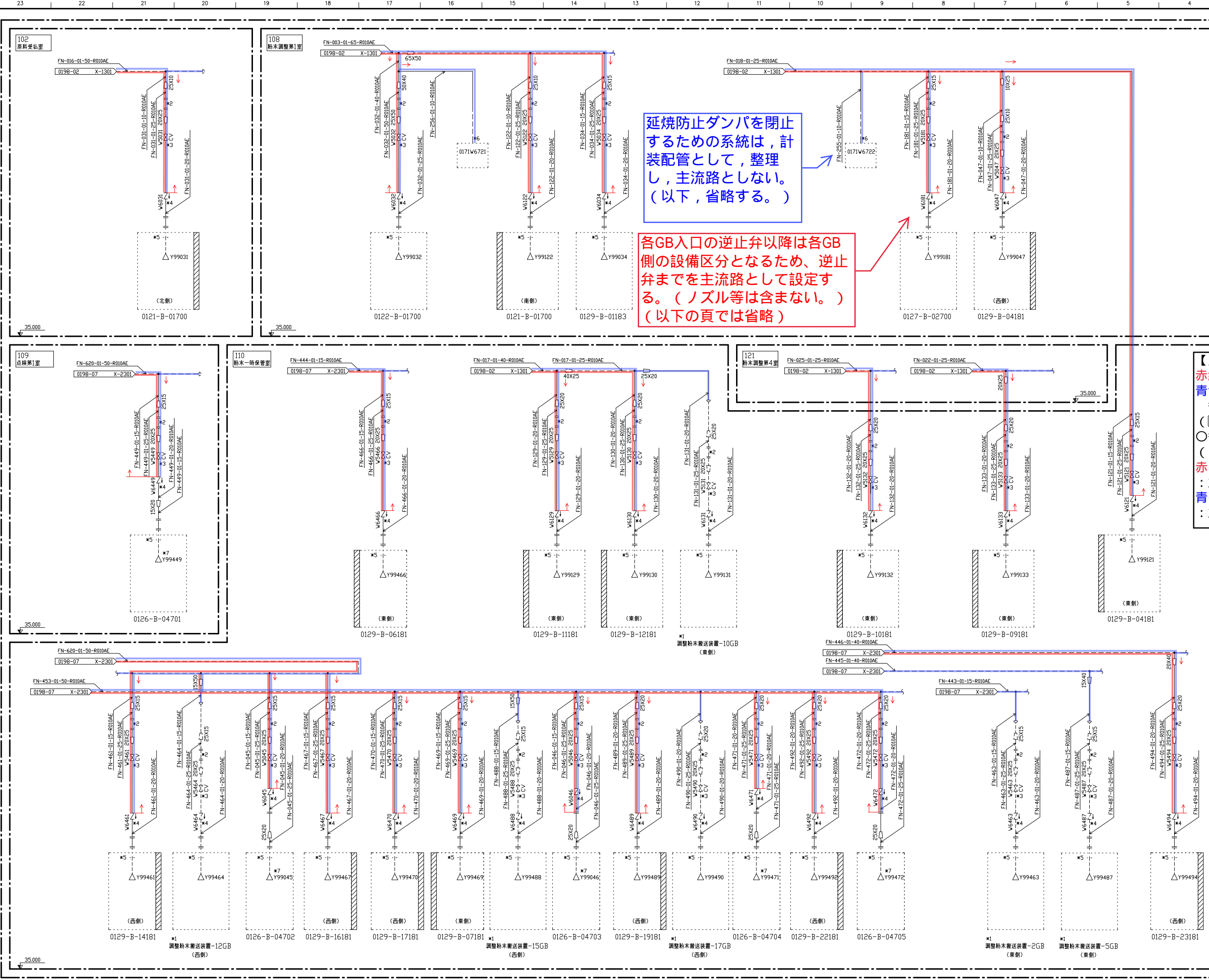
図番名称	燃料加工建屋 (PA)
	ユーティリティ設備 (Q) 消防火設備 (GB 消防装置)
	エンジンルーム
	工程: 0198 (GB) (13/31)
図面番号	PM-0198-4421-013
	改訂 11

注 記
*1 選択弁後流に放出信号用圧カスイッチあり。



【凡例】
 赤線：主となる経路
 青色：安全上重要な施設の範囲
 番号：機器等との紐付け番号 (① , ② ,)
 ○番号：主配管との紐付け番号 (, ,)

図書名称	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 消防火設備 (GB消火装置) エンジニアリングタワー屋 工程: 0198 (GB) (14/31)		
図号	PM-0198-4421-014	改訂	8



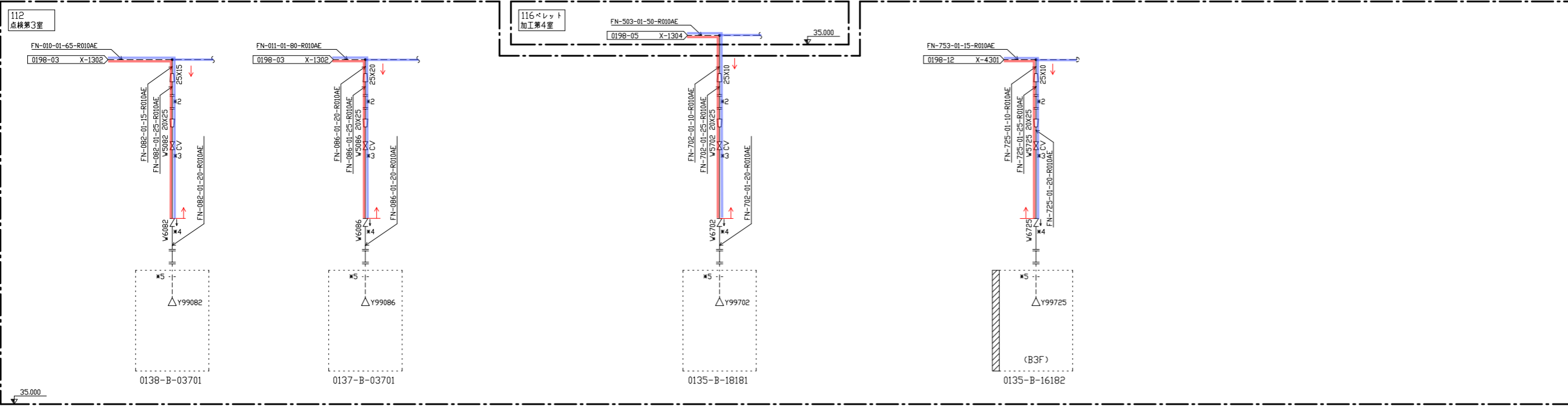
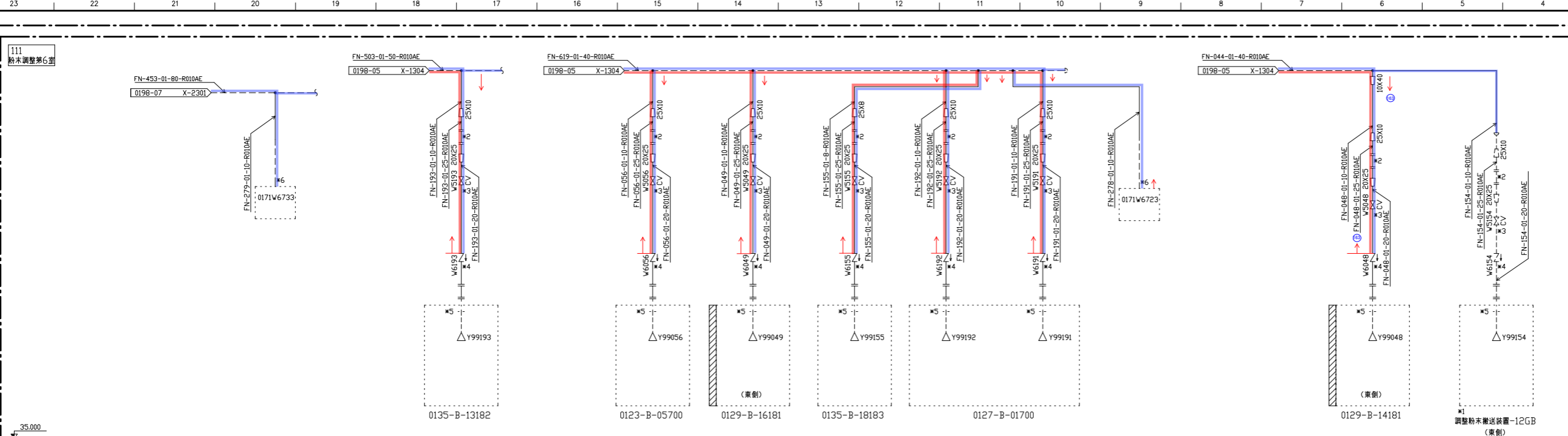
延焼防止ダンパを閉止するための系統は、計装配管として、整理し、主流路としない。(以下、省略する。)

各GB入口の逆止弁以降は各GB側の設備区分となるため、逆止弁までを主流路として設定する。(ノズル等は含まない。)(以下の頁では省略)

- 注記
- *1 将来設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10以上、出口側に5以上の直管部を設けること。
 - *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ(ある場合は)は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ(ある場合は)は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ピストンダンパ用専任配管。
実線：SUS管(分岐部～PD近傍の末端部まで)
破線：鋼管(PD近傍の末端部～PD取り付け合部まで)
 - *7 20Aの噴射ヘッドを設置する。

- 【凡例】
- 赤線：主となる経路
 - 青色：安全上重要な施設の範囲
 - 番号：機器等との紐付け番号(①, ②, ……)
 - 番号：主配管との紐付け番号(①, ②, ……)
 - 赤引き出し線：主流路とする考え方の補足
 - 青引き出し線：主流路としない考え方の補足

図名	燃料加工棟屋(PA)
内容	ユーティリティ設備(Q) 防火設備(GB消火装置) エンジニアリングフロー図 工程:0198-GB(15/31)
図番	PM-0198-4421-015
表訂	13



- 注記
- *1 将来設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。
 - *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ピストンガンバイ用専任配管。
実線：SUS管（分岐部～PD近傍の末端部まで）
破線：鋼管（PD近傍の末端部～PD取り合い部まで）

【凡例】

赤線：主となる経路

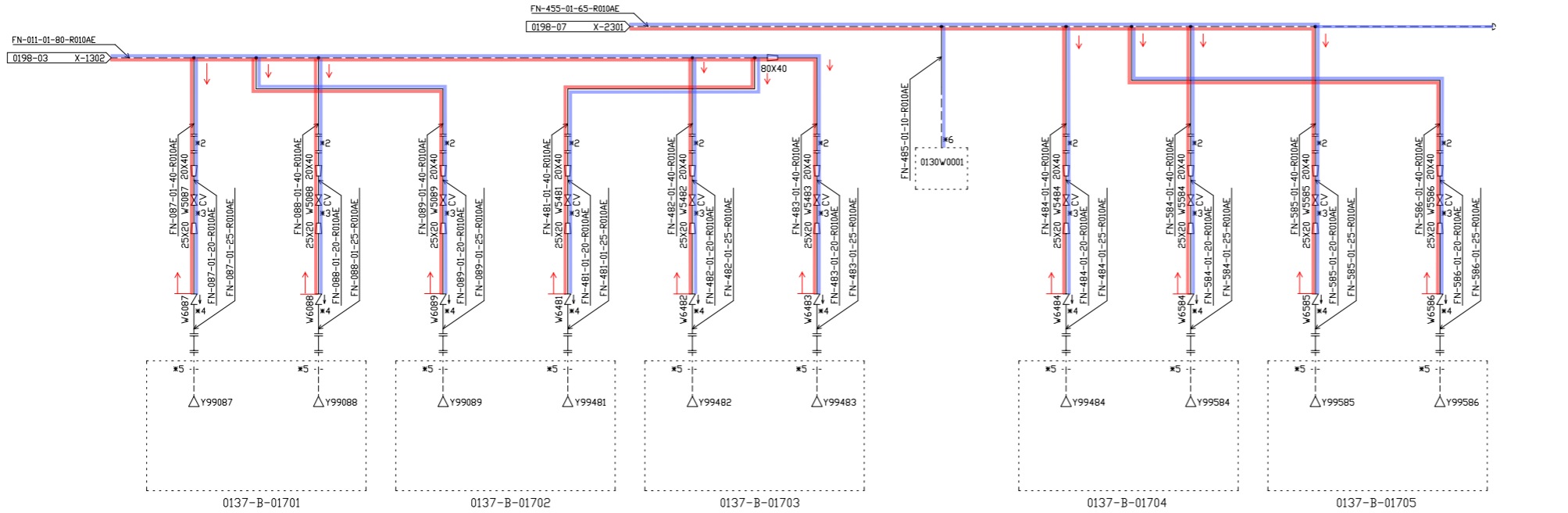
青色：安全上重要な施設の範囲

番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, …)

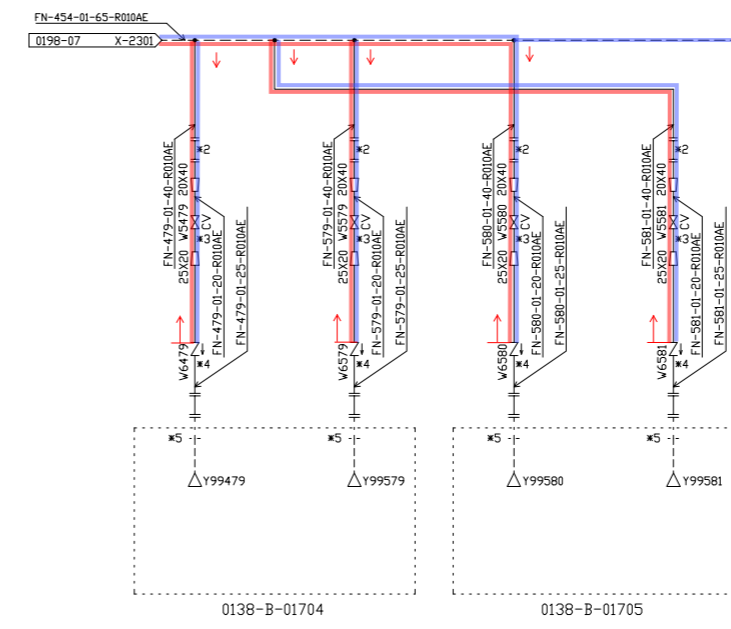
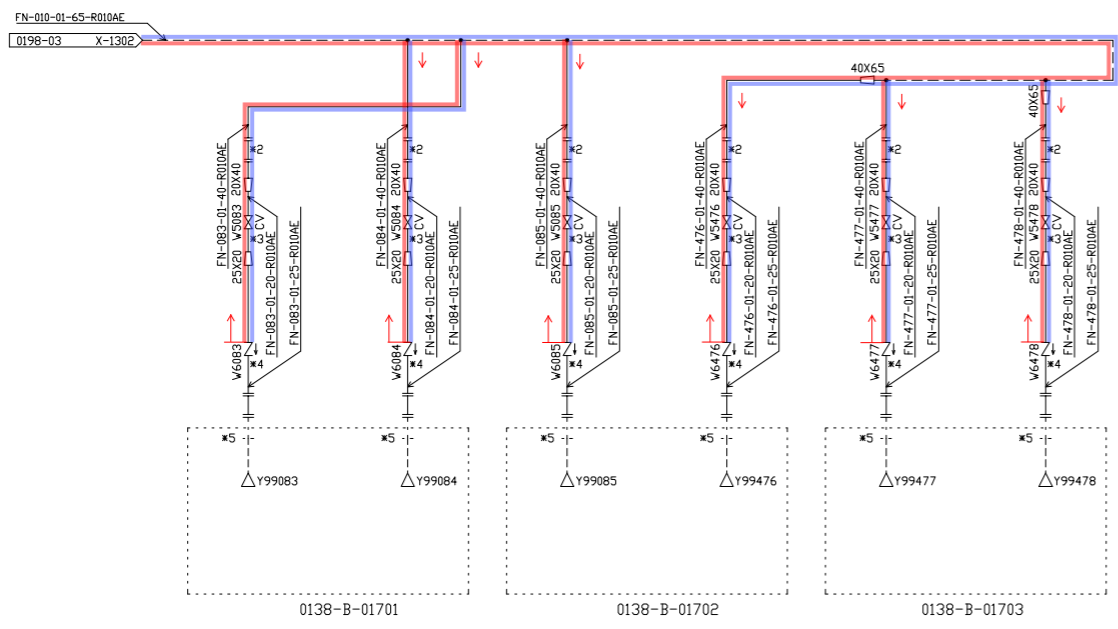
○番号：主配管との紐付け番号 (, , …)

図書名称	燃料加工種屋 (PA)		
	エーティリティ設備 (Q) 防消火設備 (GB消火装置)		
	エンジニアリングフロー図		
	工程: 0198 (GB) (16/31)		
※先頭図書番号	PM-0198-4421-016	改訂	10

113ベレット
メカ7貯蔵室

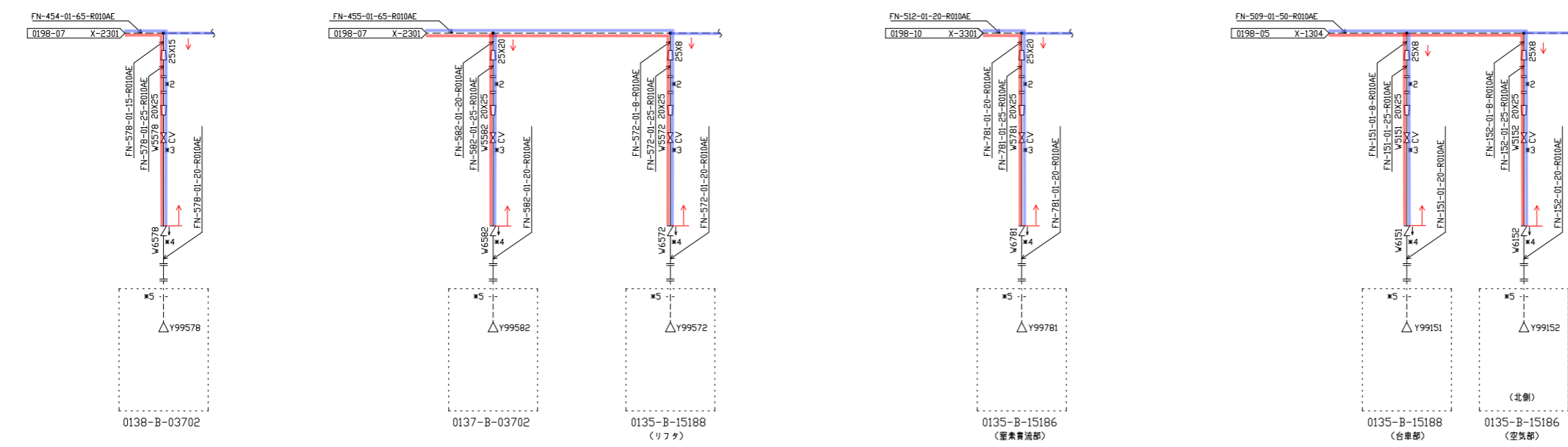


- 注記
- *1 将来設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。
 - *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ビストンダンパ用専圧配管。
実線：SUS管（分岐部～PD近傍の末端部まで）
破線：銅管（PD近傍の末端部～PD取り合い部まで）

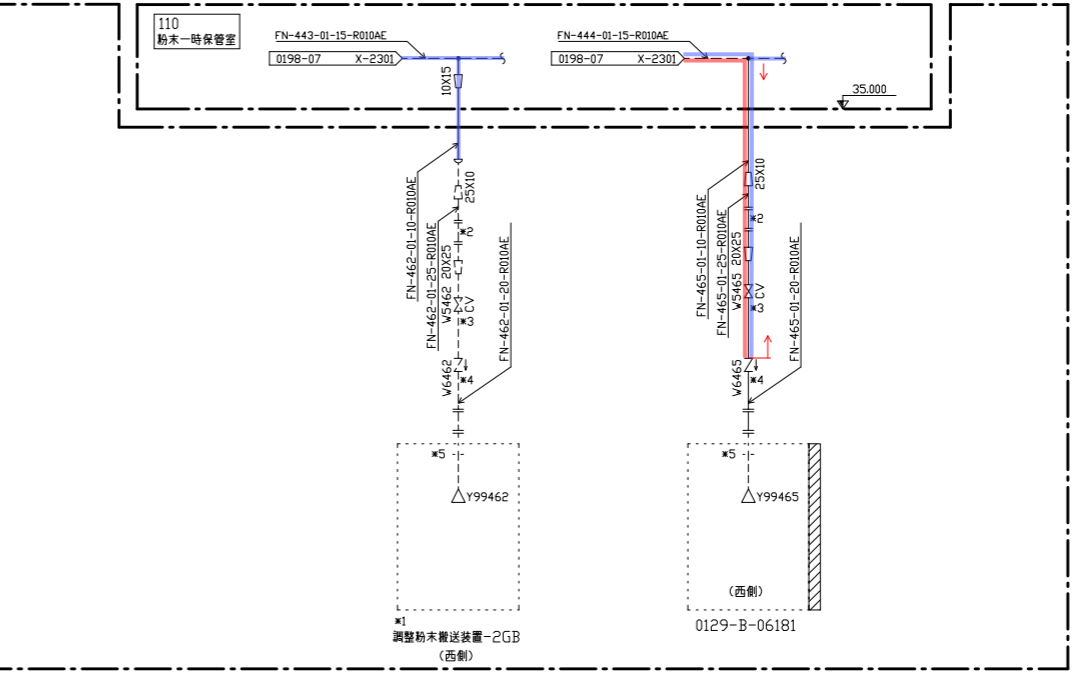
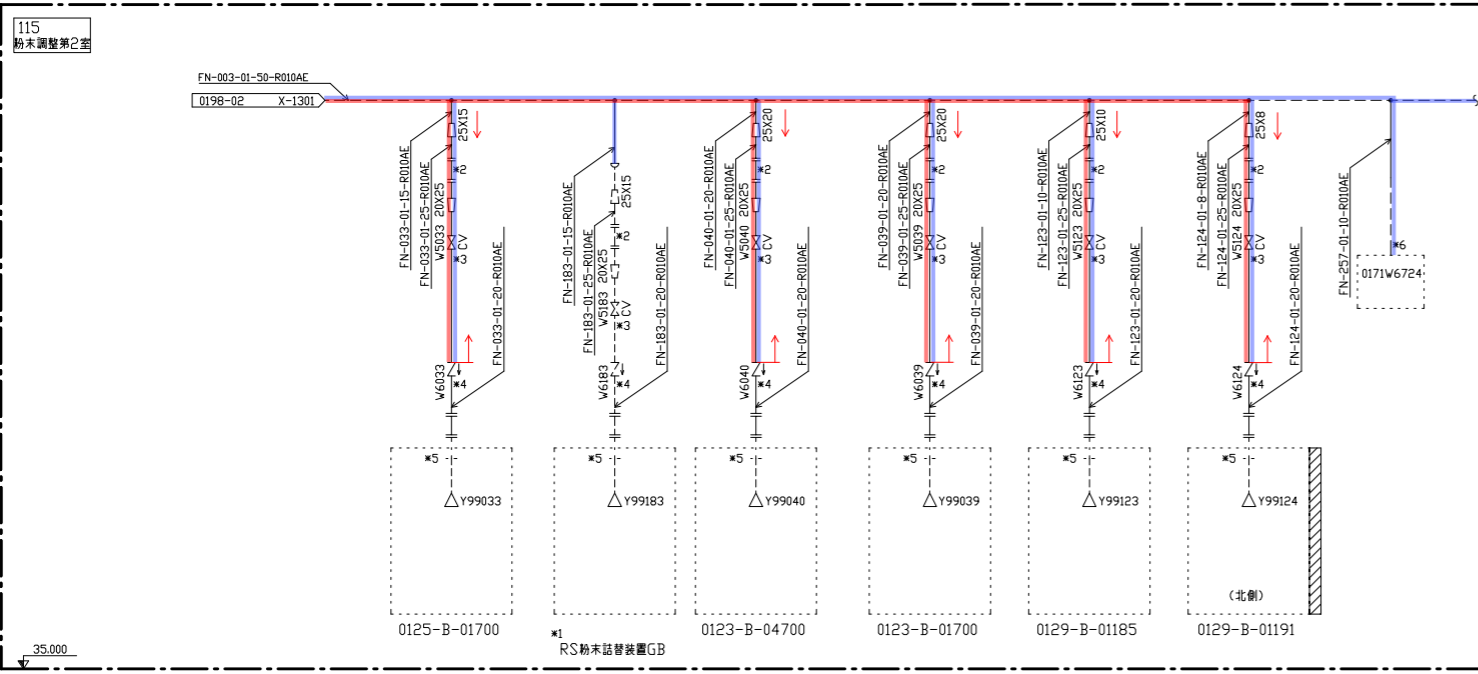


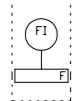
【凡例】
 赤線：主となる経路
 青色：安全上重要な施設の範囲
 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, …)
 ○番号：主配管との紐付け番号 (, , …)

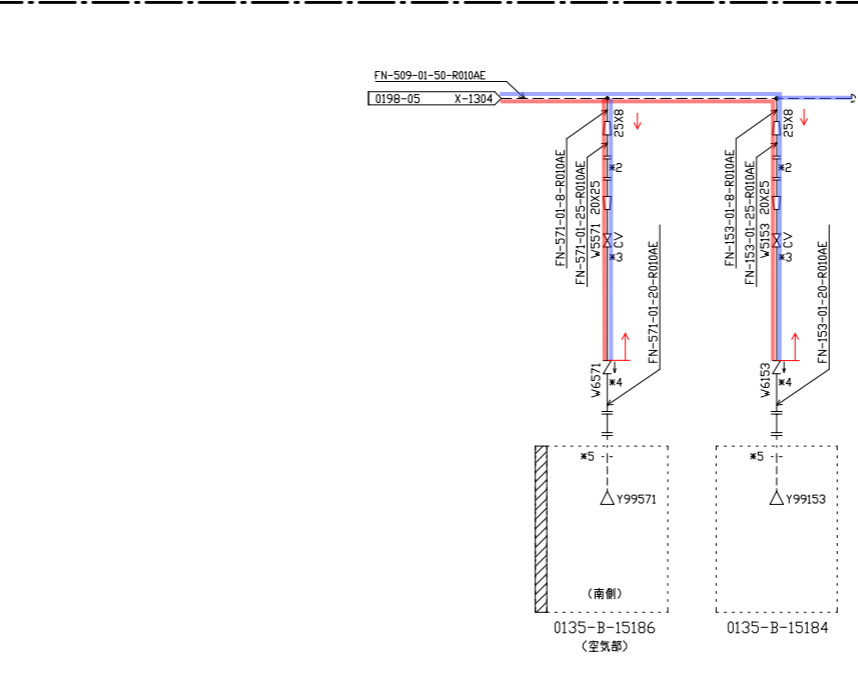
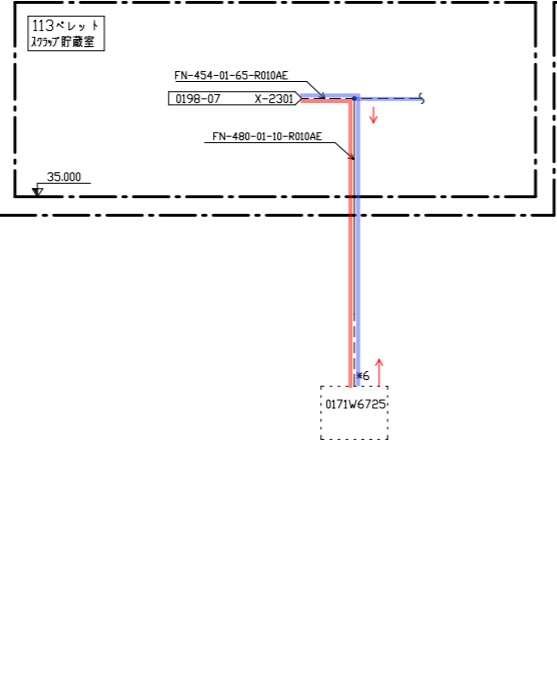
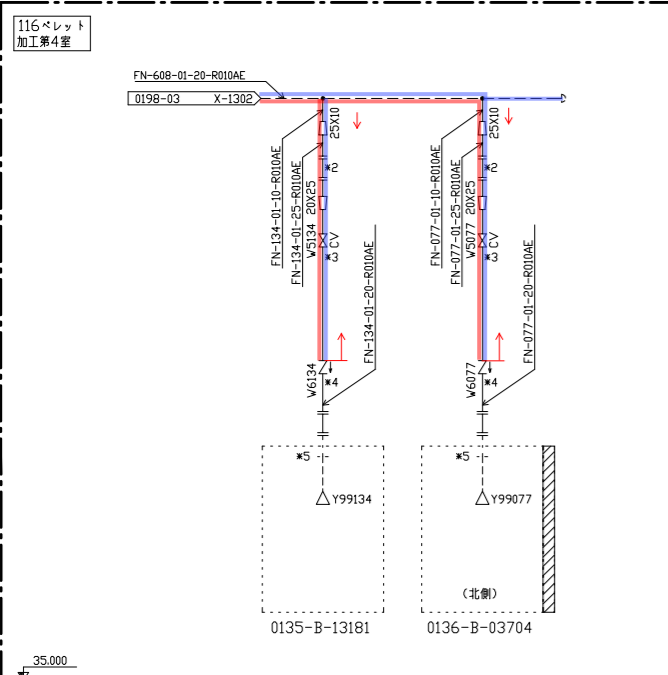
114
点検第4室



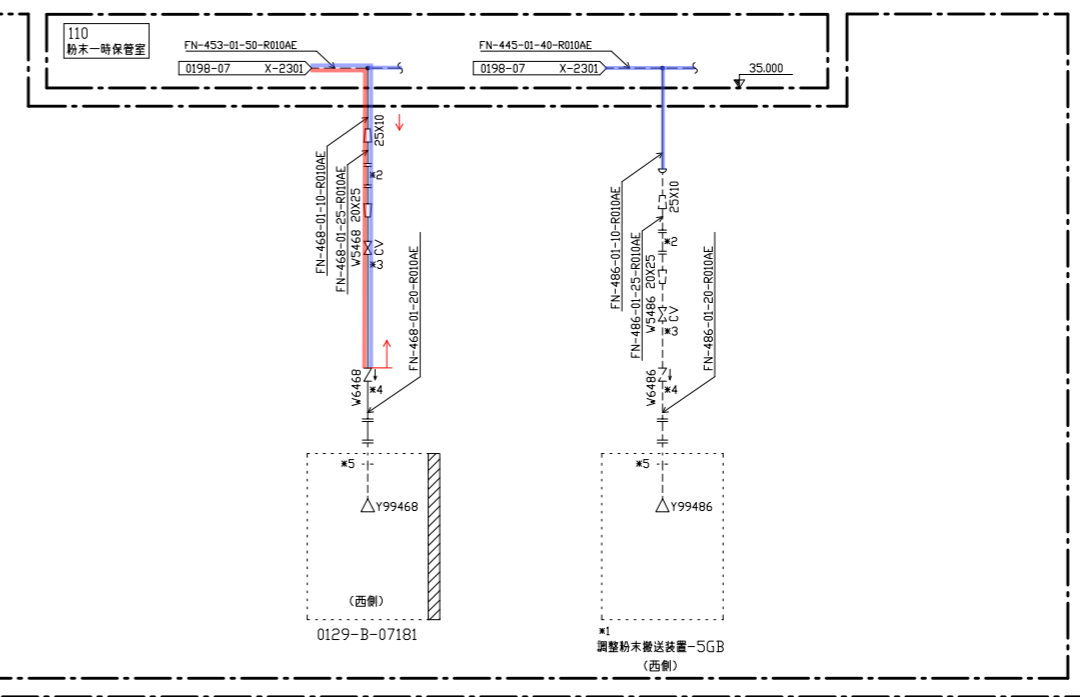
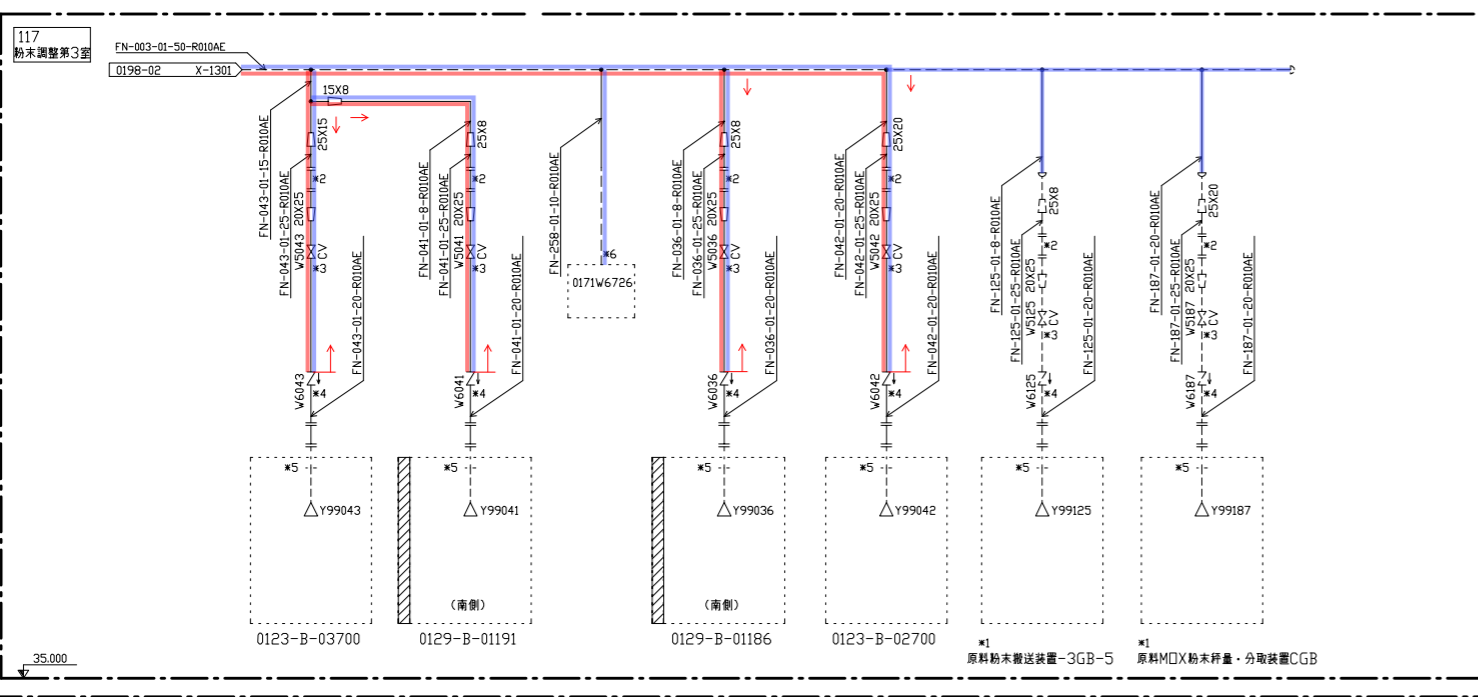
図書名	燃料加工棟屋 (PA)
	ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB消火装置)
	エンジニアリングフロア
	工程: 0198 (GB) (17/31)
図面番号	PM-0198-4421-017
改訂	10



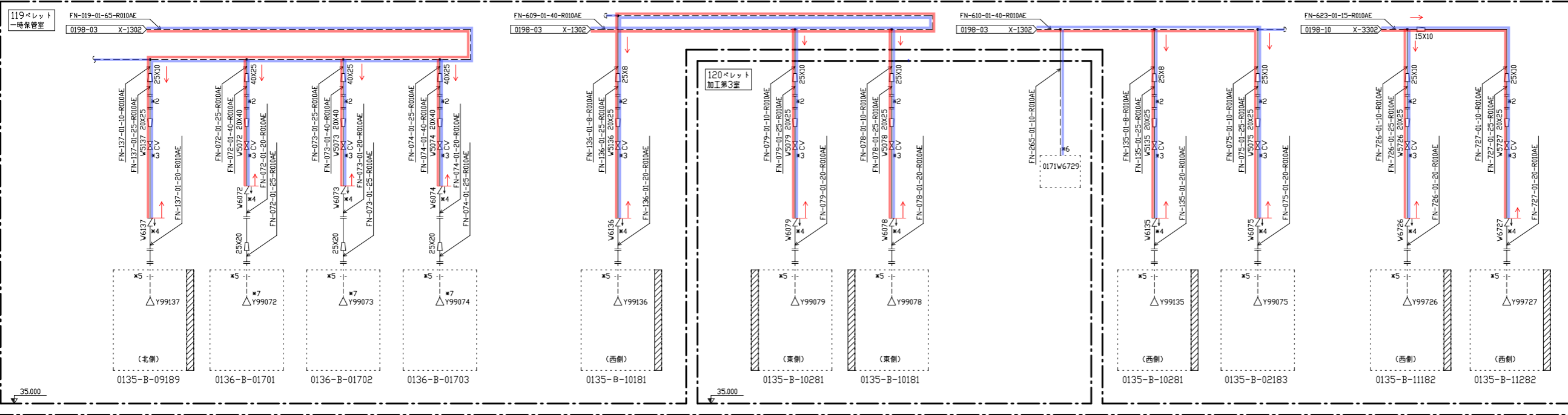
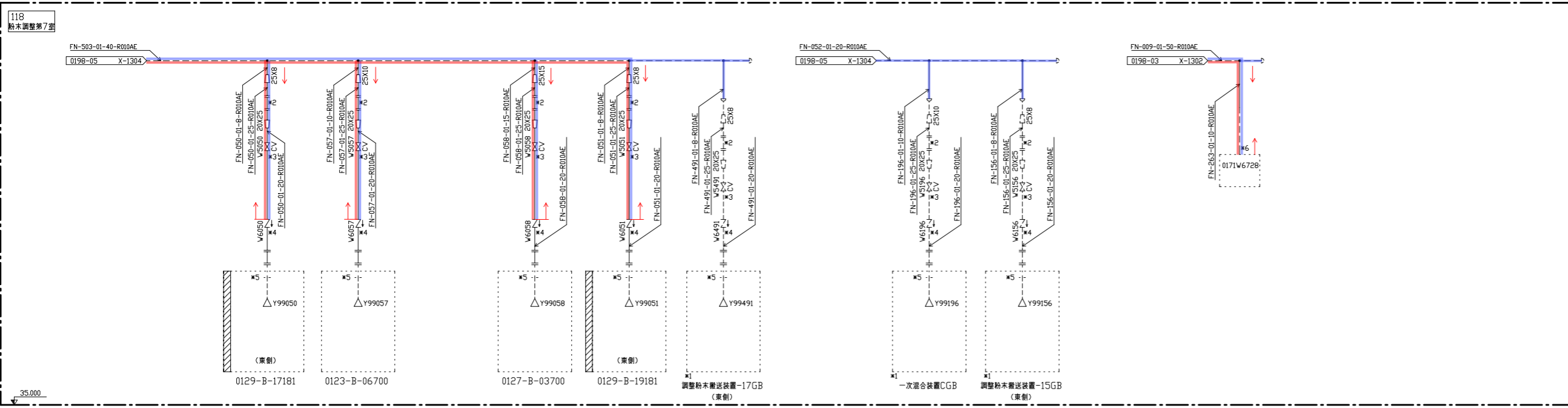
- 注記
- *1 将来設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口座の
- 
- *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ビストンポンプ用専圧配管。実機：SUS管（分岐部へPD近傍の末端部まで）破線：鋼管（PD近傍の末端部へPD取り合い部まで）



【凡例】
 赤線：主となる経路
 青色：安全上重要な施設の範囲
 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, …)
 ○番号：主配管との紐付け番号 (, , …)



図名	燃料加工種番 (PA)
ユーティリティ設備 (Q)	防火設備 (GB) 防火装置
エンジニアリングフロー図	工程: 0198 (GB) (18/31)
※先頭図番	PM-0198-4421-018
改訂	10

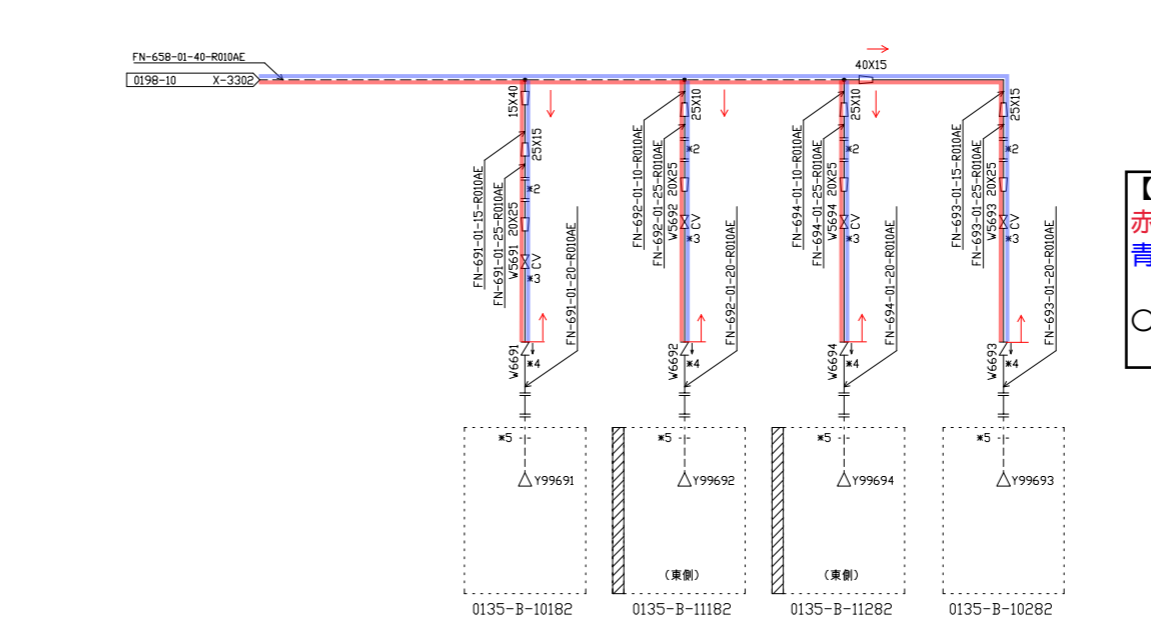
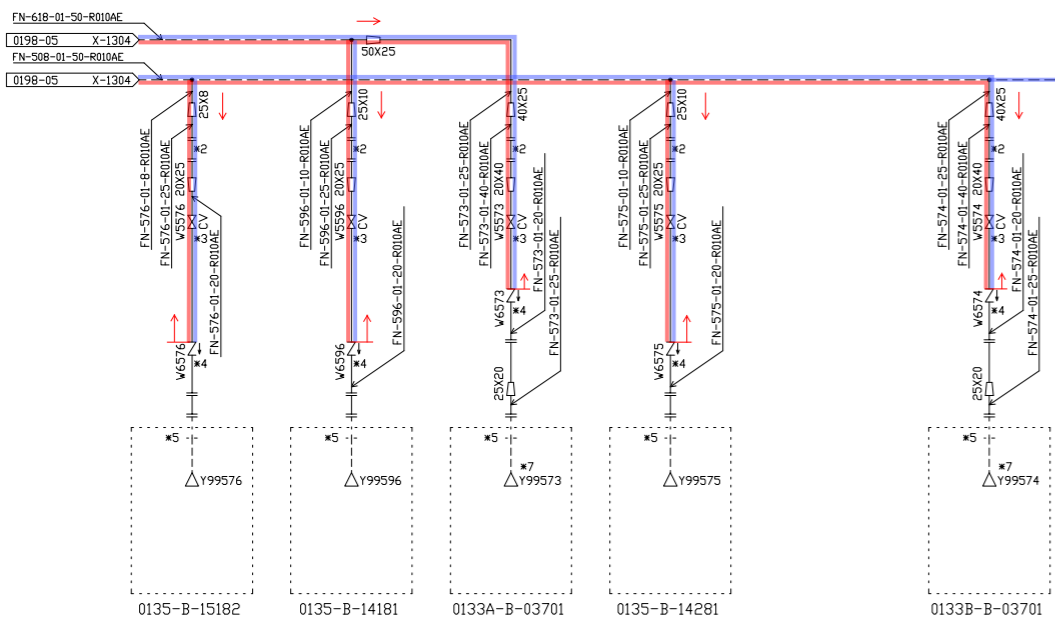
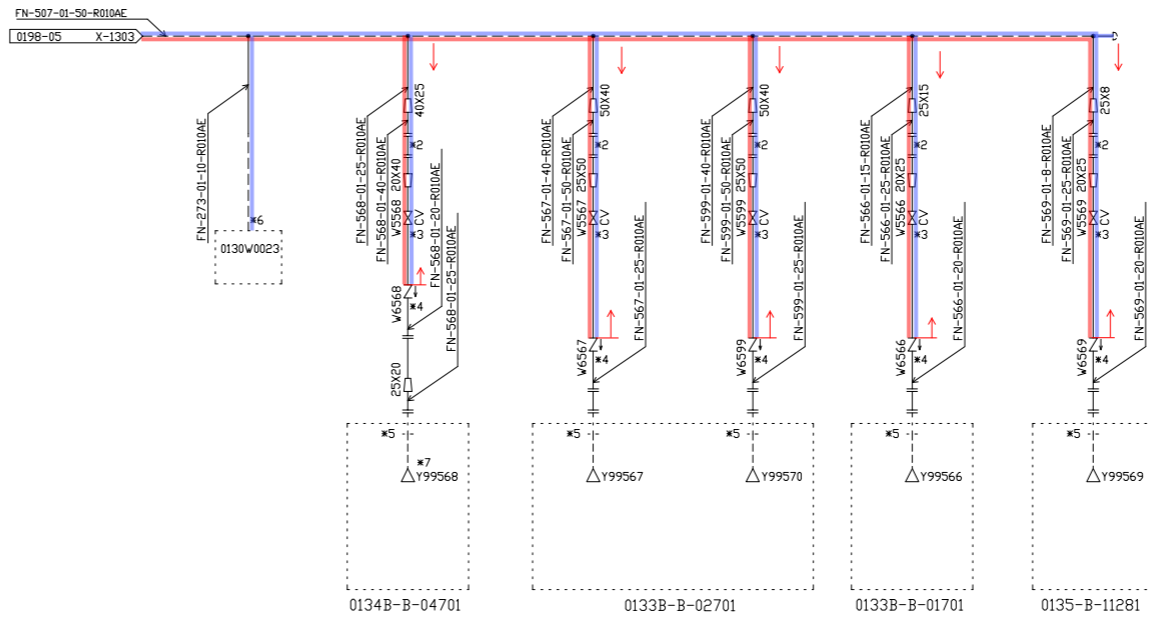
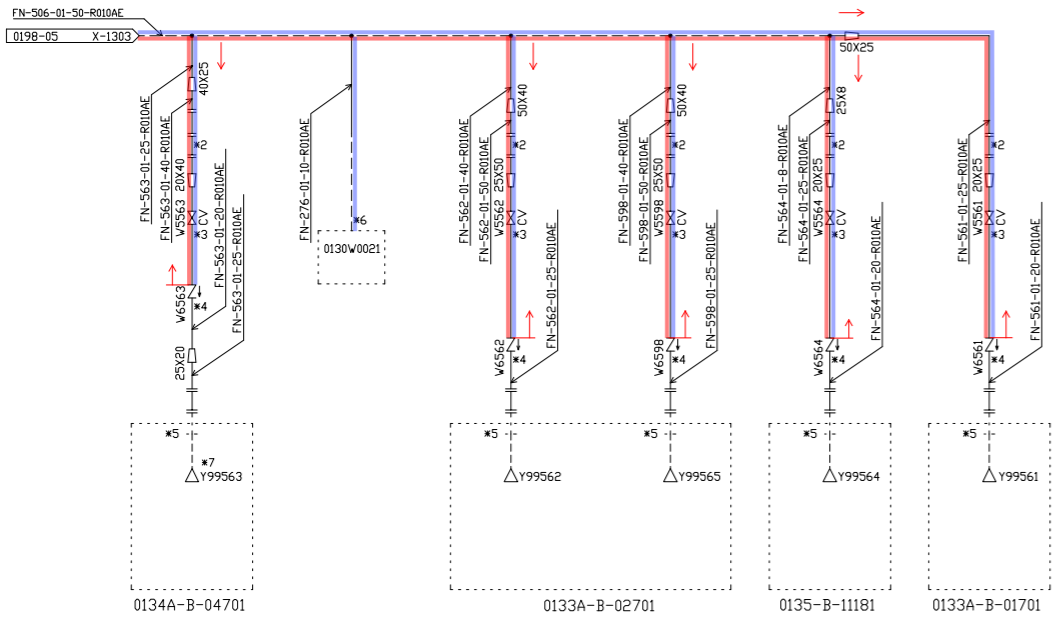


- 注記
- ※1 将来設置
 - ※2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。
 - ※3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - ※4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - ※5 GB給気口の近傍に設置する。
 - ※6 ピストンガン専用導圧管。
実線：SUS管（分岐部～PD近傍の末端部まで）
破線：銅管（PD近傍の末端部～PD取り合い部まで）
 - ※7 20Aの噴射ヘッドを設置する。

【凡例】
 赤線：主となる経路
 青色：安全上重要な施設の範囲
 番号：機器等との細付け番号（①，②，・・・）
 ○番号：主配管との細付け番号（ ， ，・・・）

図書名称	燃料加工種屋（PA） ユーティリティ設備（Q） 防火設備（GB消火装置） エンジニアリングフロー図 工程：0198（GB）（19/31）		
※先頭図書番号	PM-0198-4421-019	改訂	12

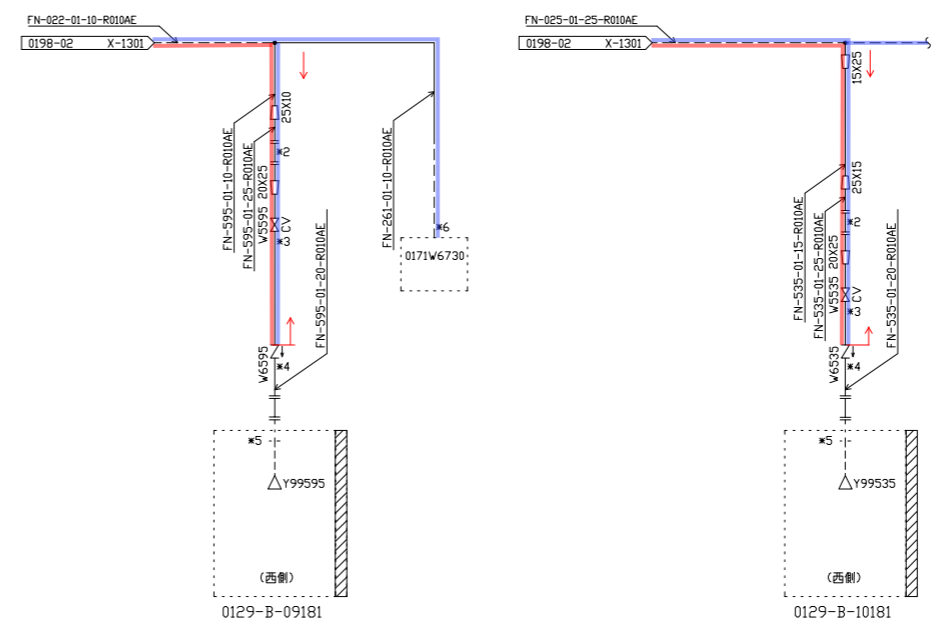
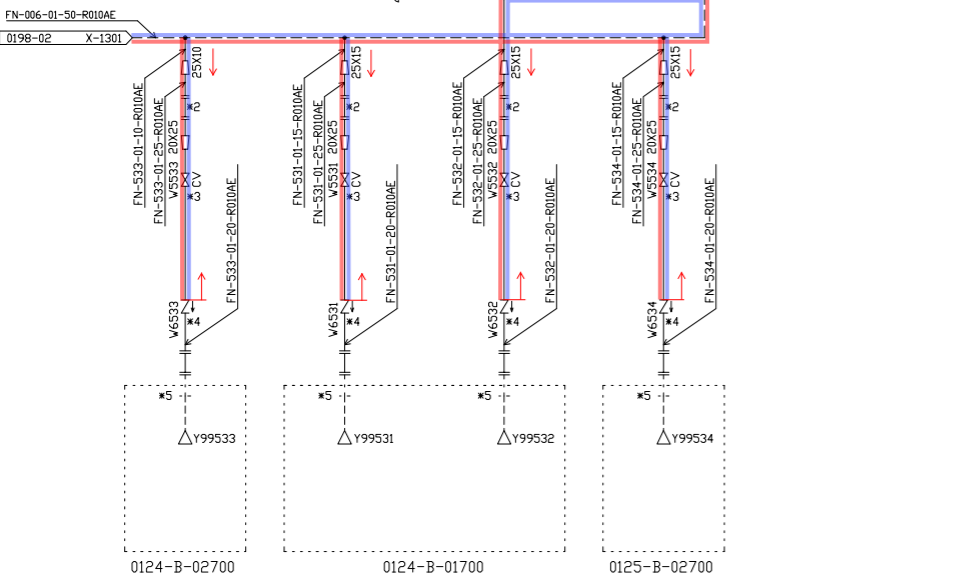
120プレート
加工第3室



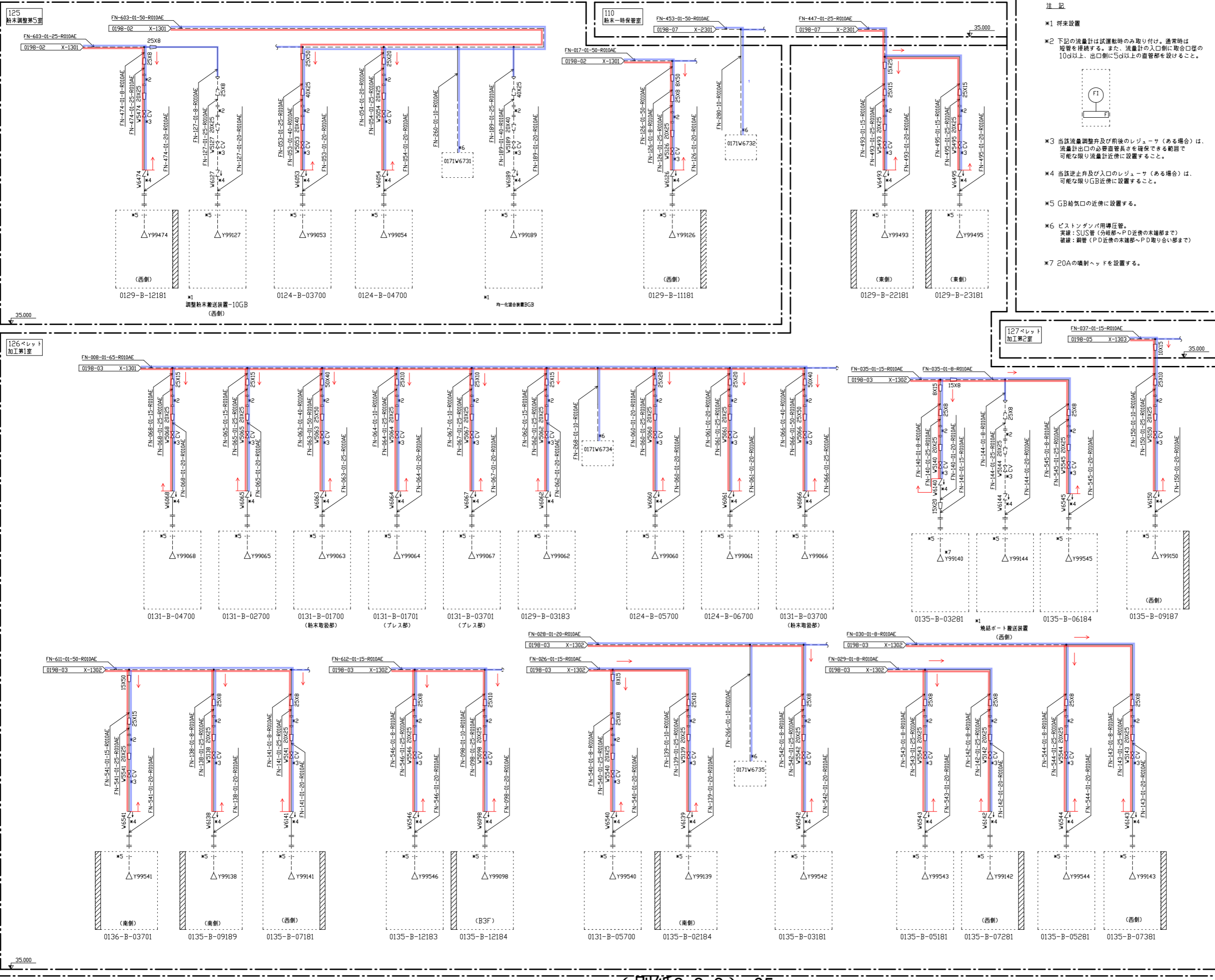
【凡例】
 赤線：主となる経路
 青色：安全上重要な施設の範囲
 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, …)
 ○番号：主配管との紐付け番号 (, , …)

- 注記
- *1 将来設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。
 - *3 当該流量計調整弁及び前後のレギュレータ(ある場合)は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ(ある場合)は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ピストンガン専用導管。
 実線：SUS管(分岐部〜PD近傍の末端部まで)
 破線：銅管(PD近傍の末端部〜PD取り合い部まで)
 - *7 20Aの噴射ヘッドを設置する。

121
粉末調整第4室



図名	燃料加工種番 (PA)
ユーティリティ設備 (Q)	防火設備 (PA)
エンジニアリングフロー図	防火設備 (PA)
工程	0198 (GB) (20/31)
図番	PM-0198-4421-020
改訂	12

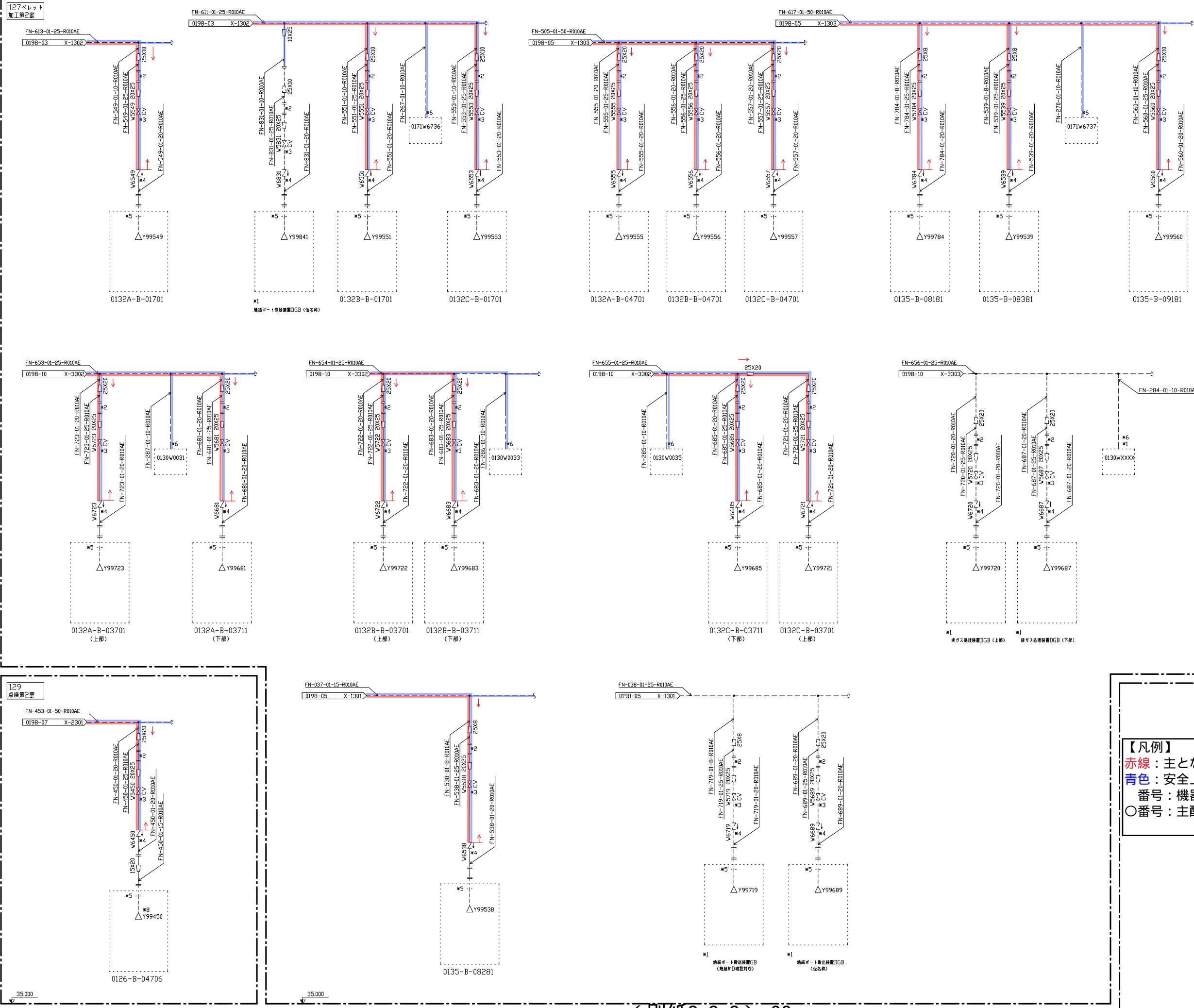


- 注記
- *1 将来設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
 - *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合は、可能な限りUGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ピストンガンパ用導圧管。実線：SUS管（分岐部〜PD近傍の末端部まで）
破線：銅管（PD近傍の末端部〜PD取り合い部まで）
 - *7 20Aの噴射ヘッドを設置する。

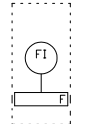
【凡例】

赤線：主となる経路
 青色：安全上重要な施設の範囲
 番号：機器等との紐付け番号
 (1, 2, ...) (○)
 ○番号：主配管との紐付け番号
 (, , ...)

図番名称	焼結加工種屋 (PA)
	ユーティリティ設備 (Q) 防消火設備 (GB消火装置)
	エンジニアリングフロー図
	工程: 0198 (GB) (21/31)
※先頭図番	PM-0198-4421-021
	改訂 12

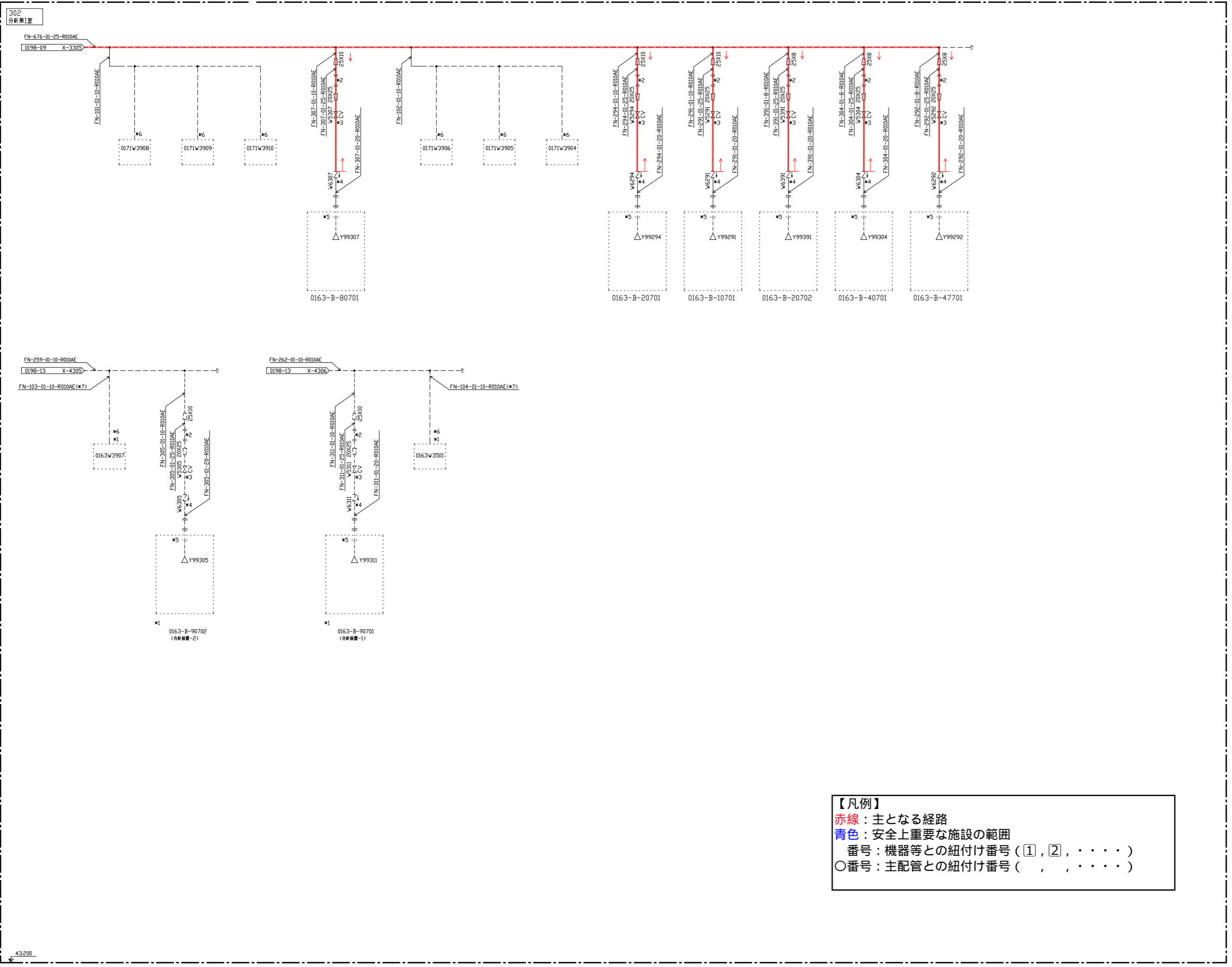


- 注記
- *1 符表設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。
 - *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ピストンダンパ用導圧管。
実線：SUS管（分岐部～PD近傍の末端部まで）
破線：銅管（PD近傍の末端部～PD取り合い部まで）
 - *7 短管部。
 - *8 20Aの噴射ヘッドを設置する。

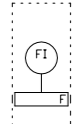


【凡例】
 赤線：主となる経路
 青色：安全上重要な施設の範囲
 番号：機器等との紐付け番号（①，②，・・・）
 ○番号：主配管との紐付け番号（ ， ，・・・）

図番名称	燃料加工棟屋 (PA)
	ユーティリティ設備 (Q) 消防火設備 (GB) 消防装置
	エンジニアリングフロー図
	工程：0198 (GB) (22/31)
客先図番番号	PM-0198-4421-022
	表訂 13



- 注 記**
- *1 将来設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
 - *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ピストンガン専用導管。
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）
破線：銅管（短管の末端部～P D取り合い部まで）
 - *7 短管部。

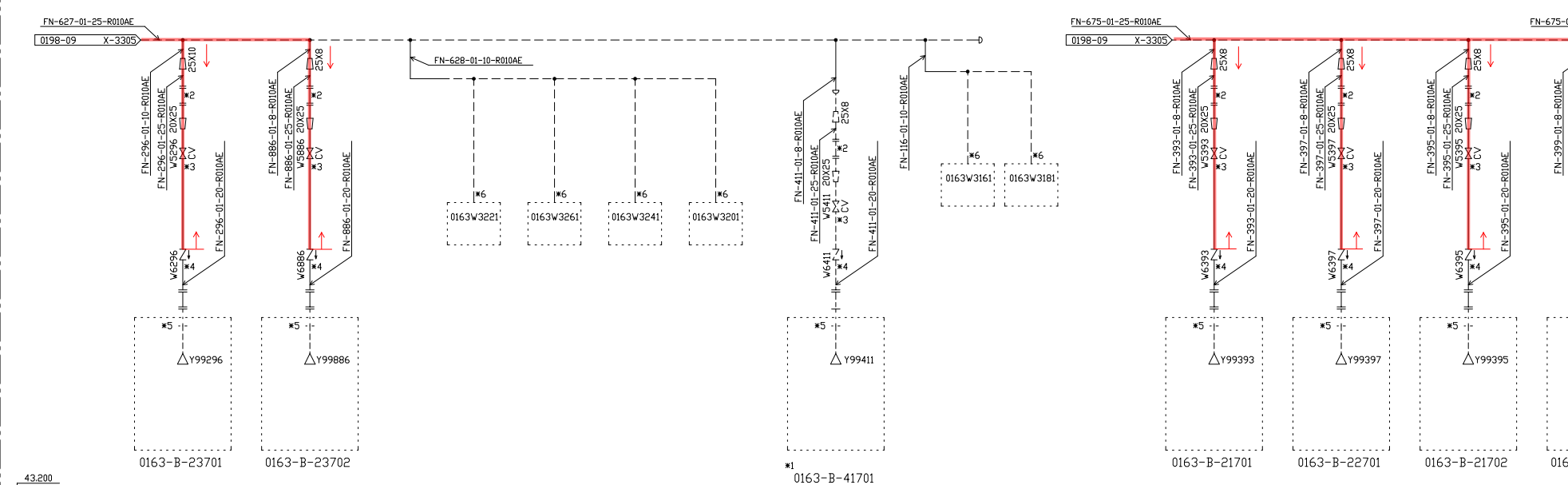
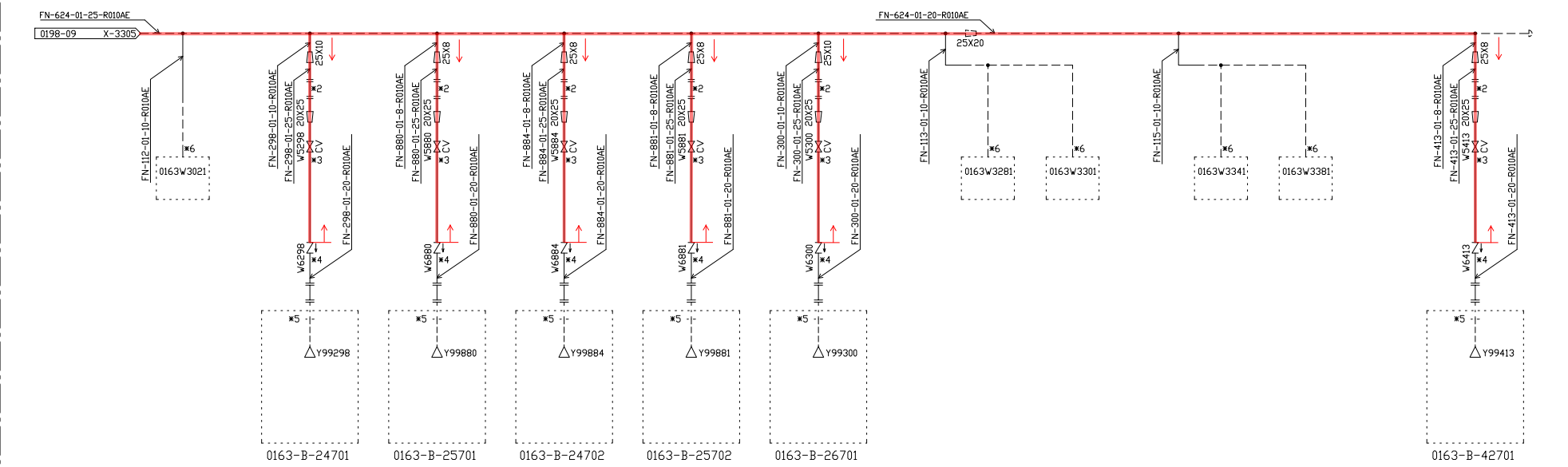
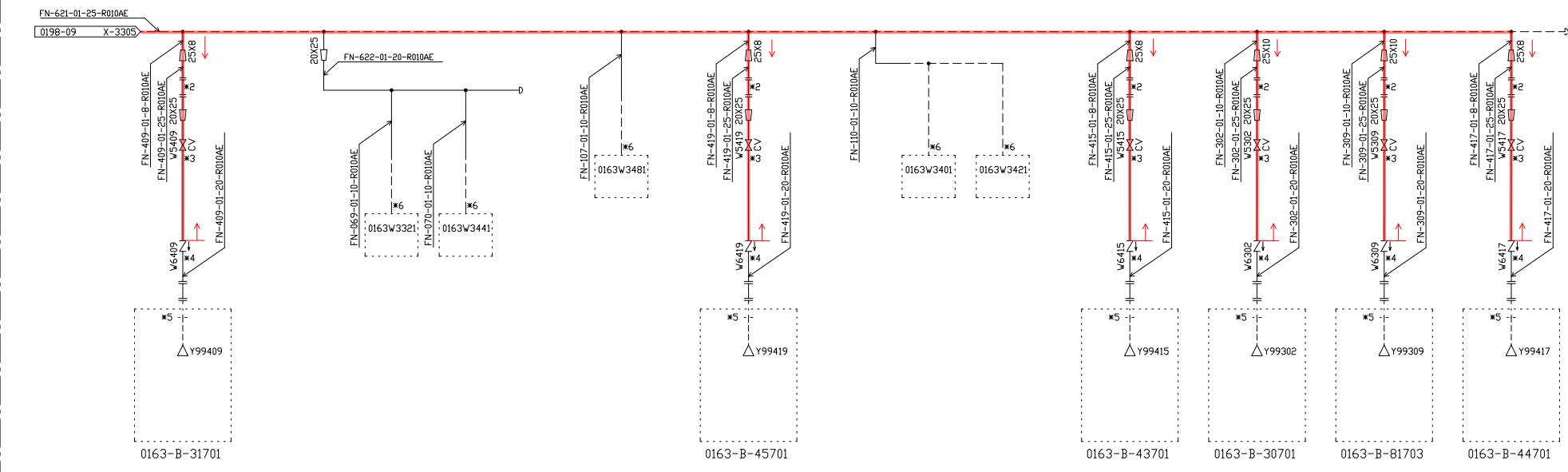


【凡例】

赤線：主となる経路
 青色：安全上重要な施設の範囲
 番号：機器等との紐付け番号（①，②，・・・）
 ○番号：主配管との紐付け番号（ ， ，・・・）

図書名称	燃料加工種屋 (PA)		
	ユーティリティ設備 (Q)	防火設備 (GB消火装置)	
	エンジニアリングフロー図		
	工程: 0198 (GB) (23/31)		
※先頭圖書番号	PM-0198-4421-023	改訂	10

302
分析第1層

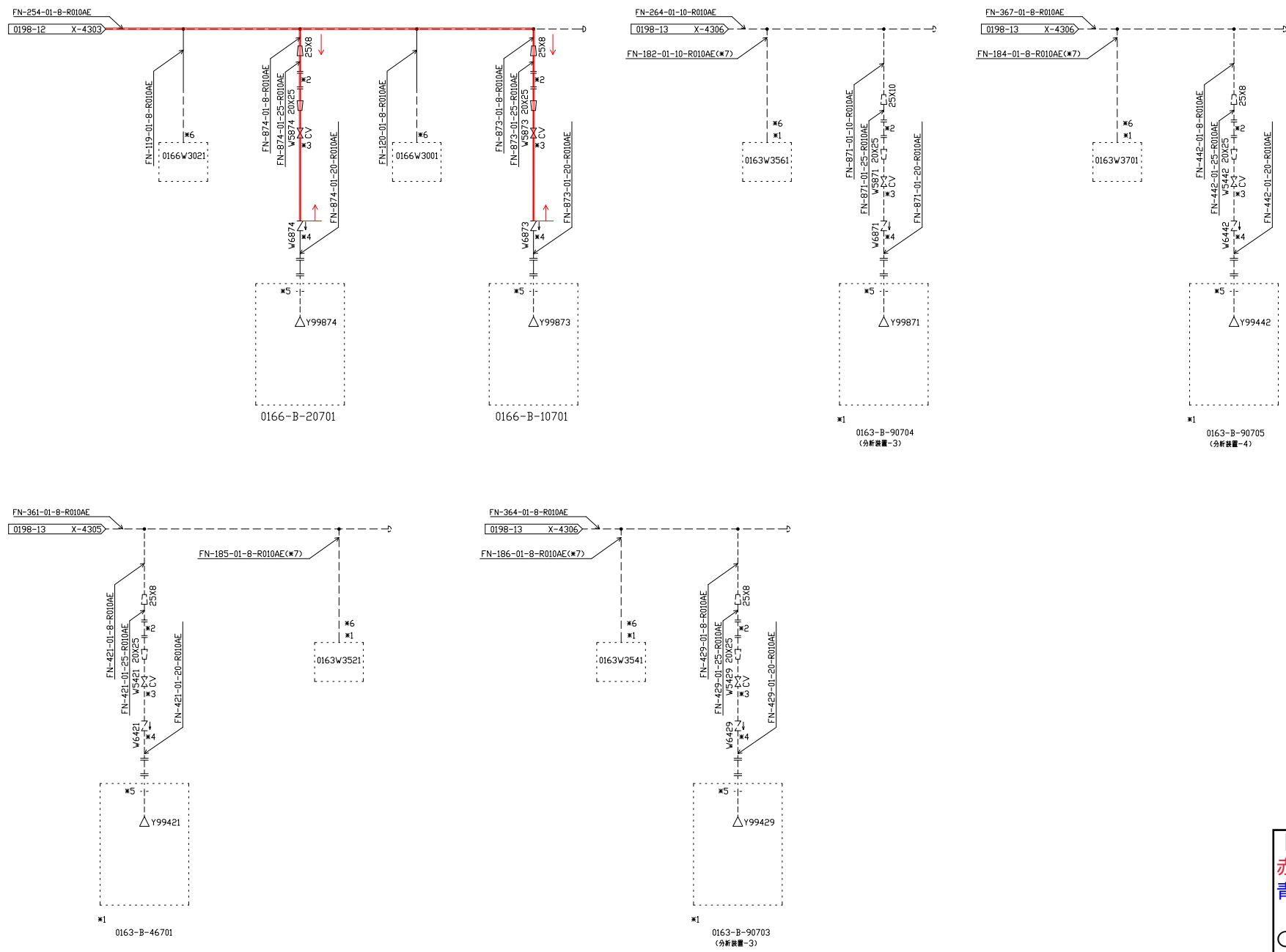


- 注記
- *1 符表設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
 - *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ピストンダンパ用導圧管。
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）
破線：銅管（短管の末端部～PD取り付け合い部まで）

【凡例】
 赤線：主となる経路
 青色：安全上重要な施設の範囲
 番号：機器等との紐付け番号（①，②，・・・）
 ○番号：主配管との紐付け番号（ ， ，・・・）

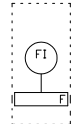
図書名称	燃料加工棟屋（PA） ユーティリティ設備（Q） 防火設備（GB）消火装置） エンジニアリングフロー図 工程：0198（GB）（24/31）
図書原番号	PM-0198-4421-024
表訂	13

302
分析第1室



注記

- *1 符架設置
- *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。

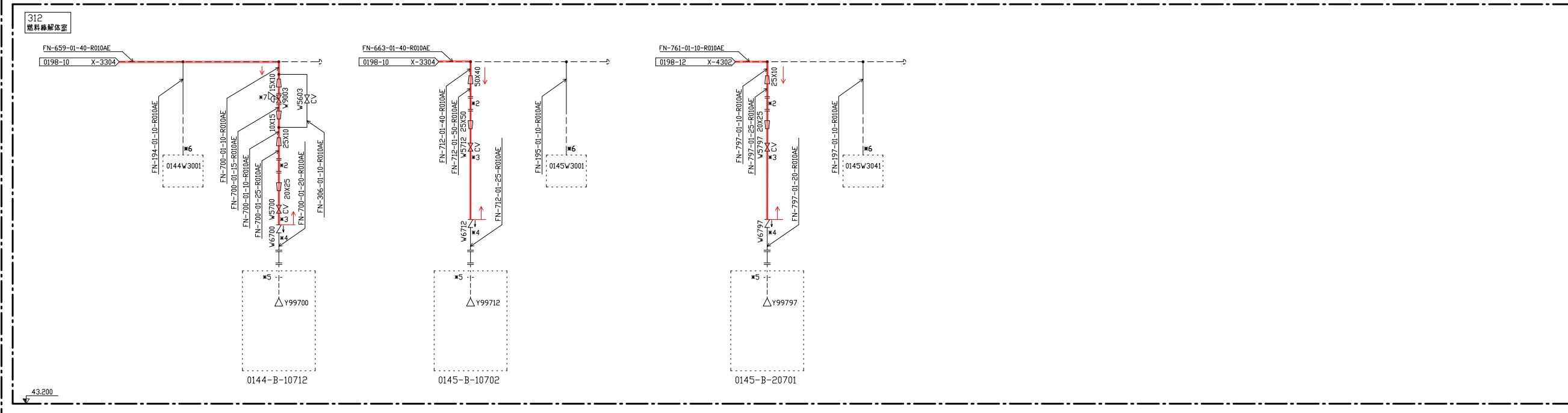
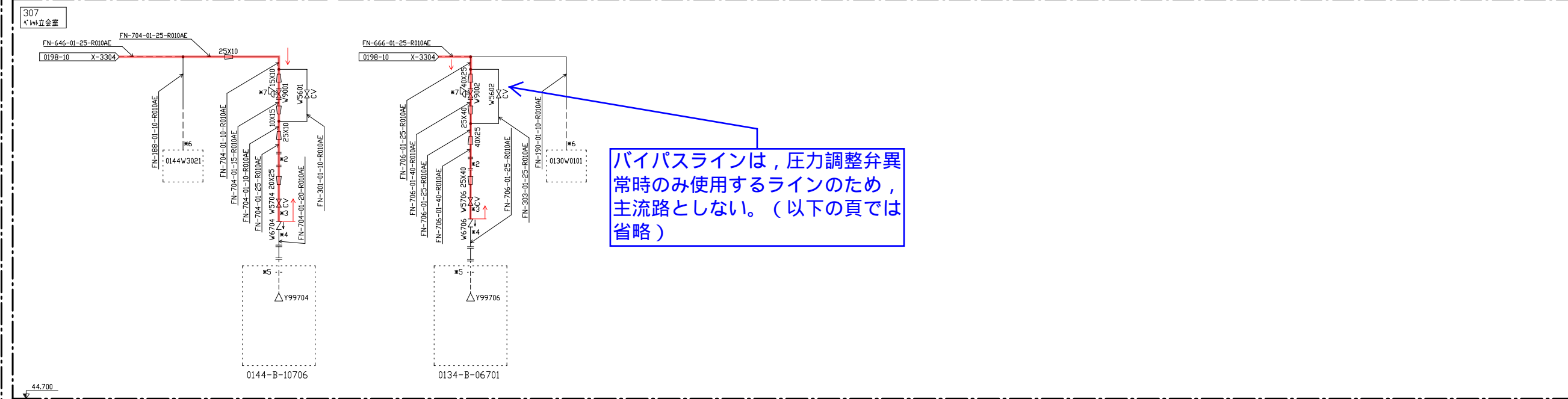


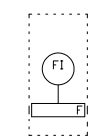
- *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
- *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
- *5 GB給気口の近傍に設置する。
- *6 ビストンガン用導圧管。
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）
破線：銅管（短管の末端部～PD取り合い部まで）
- *7 短管部。

【凡例】
 赤線：主となる経路
 青色：安全上重要な施設の範囲
 番号：機器等との紐付け番号（①，②，・・・）
 ○番号：主配管との紐付け番号（ ， ，・・・）

43,200

図書名称	燃料加工建屋 (PA)		
	ユーティリティ設備 (Q)	防火設備 (GB)	防火設備 (GB)
	エンジニアリングフロー図		
	工程: 0198 (GB) (25/31)		
図面番号	PM-0198-4421-025	改訂	11

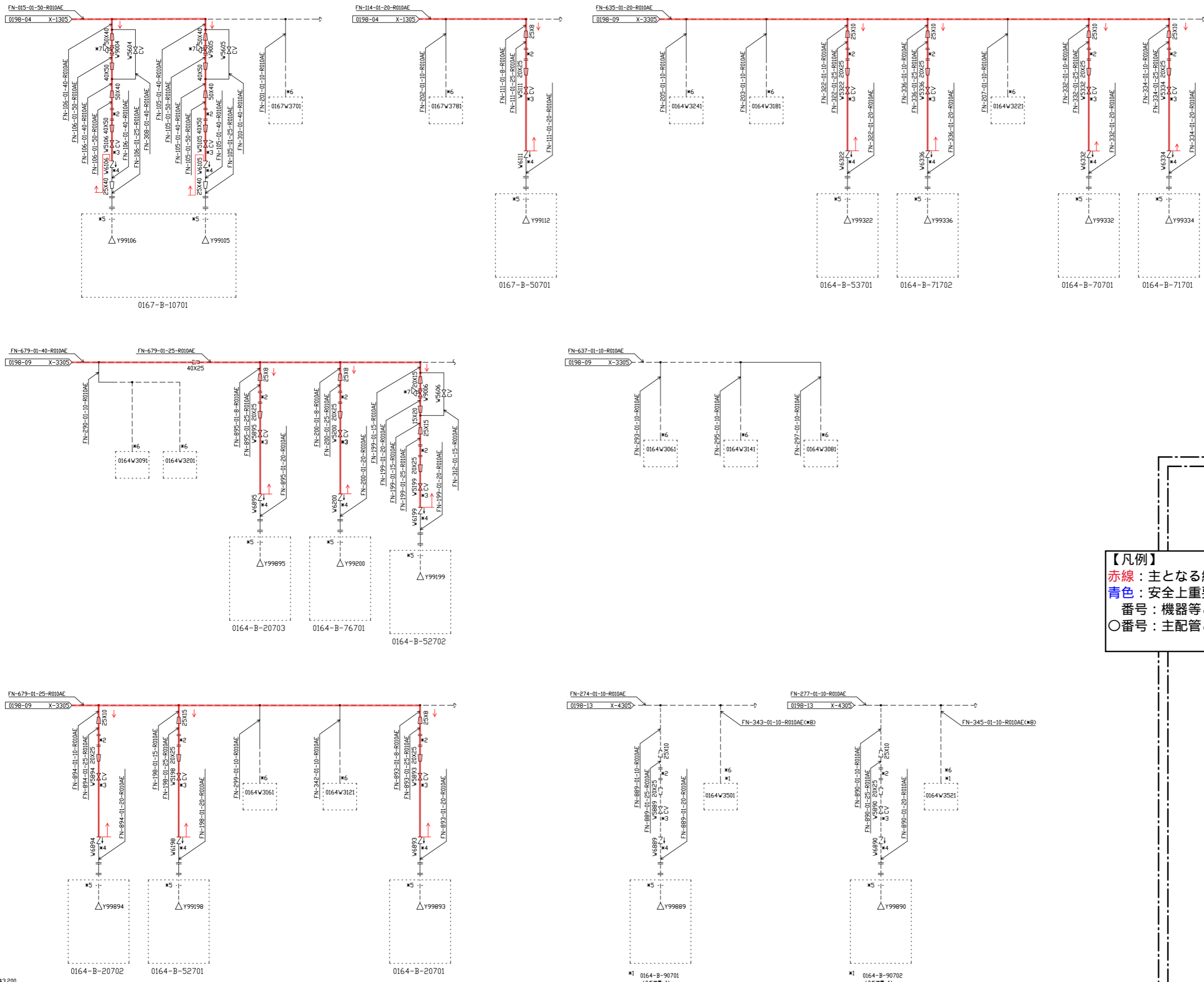



- 注記
- *1 符表設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け、通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
- 
- *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ビストンガン用導圧管。
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）
破線：銅管（短管の末端部～PD取り付け部まで）
 - *7 非安重GBでGB排気系フィルタ上流にCBDがないものに自力式の圧力調整弁を設置すること。

バイパスラインは、圧力調整弁異常時のみ使用するラインのため、主流路としない。(以下の頁では省略)

- 【凡例】
- 赤線：主となる経路
 - 青色：安全上重要な施設の範囲
 - 番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, ...)
 - 番号：主配管との紐付け番号 (, , ...)
 - 青引き出し線：主流路としない考え方の補足

図書名称	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB消火装置) エンジニアリングタワー 工程：0198 (GB) (26/31)		
図面番号	PM-0198-4421-026	改訂	14



- 注記
- *1 将来設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け、通常時は流量計を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
- 
- *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ピストンガン用専任管。
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）
破線：銅管（短管の末端部～PD取り付け部まで）
 - *7 非安全側GBでGB排気系フェルト上流にCBDがないものに自力式の圧力調整弁を設置すること。
 - *8 短管部。

【凡例】

赤線：主となる経路

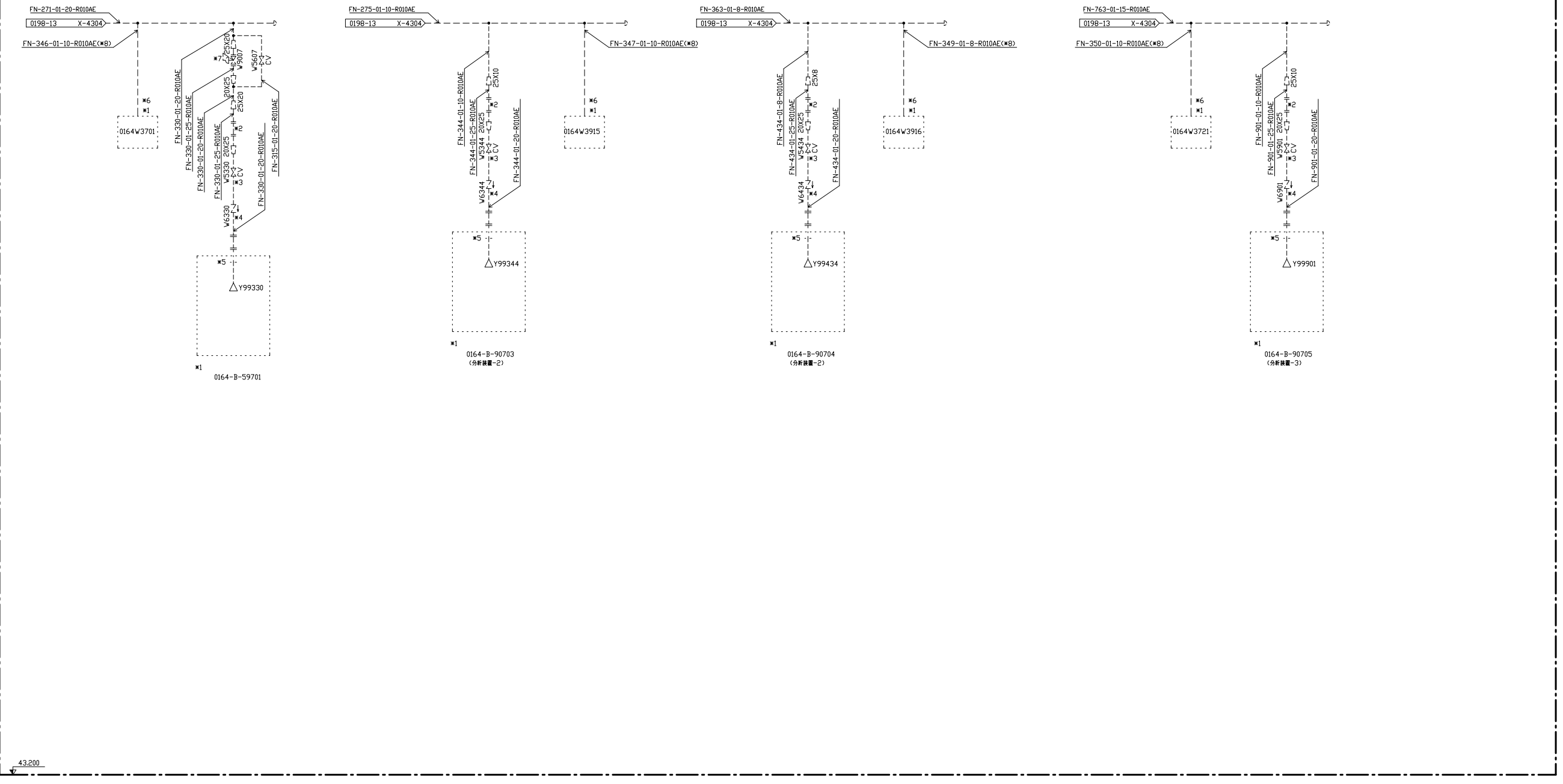
青色：安全上重要な施設の範囲

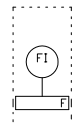
番号：機器等との紐付け番号 (①, ②, …)

○番号：主配管との紐付け番号 (, , …)

図書名称	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB) 消防装置 エンジニアリングフロア 工程: 0198 (GB) (27/31)		
図号	PM-0198-4421-027	改訂	13

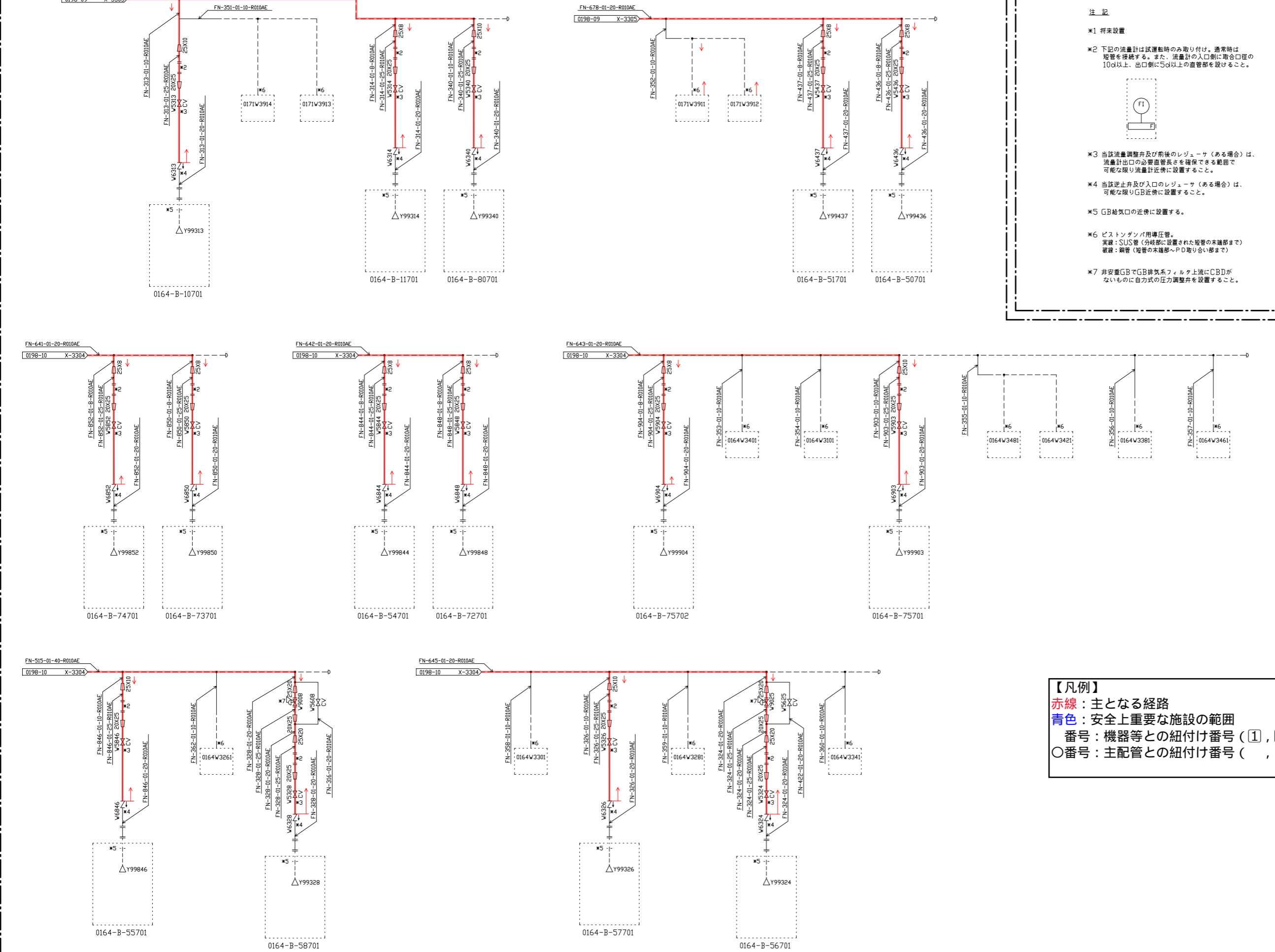
313
分析室



- 注記
- *1 将来設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
- 
- *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ピストンポンプ用導圧管。
銅管（短管の末端部～PD取り合い部まで）
 - *7 非安置GBでGB排気系フィルク上流にCBDがないものに自力式の圧力調整弁を設置すること。
 - *8 短管部。
SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）

図書名称	燃料加工建屋 (PA)		
	ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB消火装置)		
	エンジニアリングタワー		
	工程: 0198 (GB) (28/31)		
客先図番	PM-0198-4421-028	改訂	12

313
分析第2室

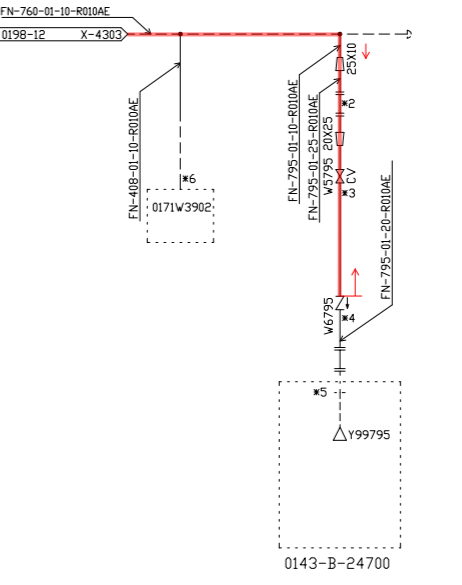
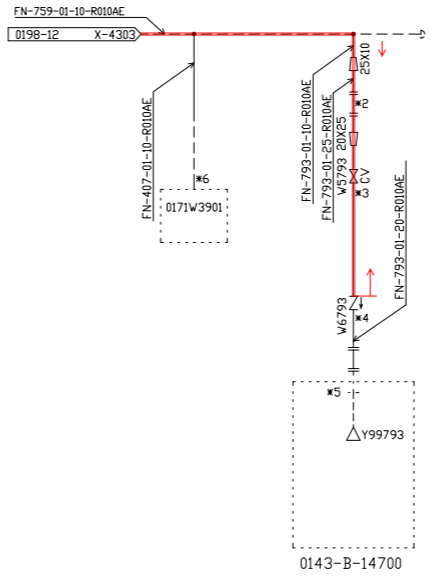
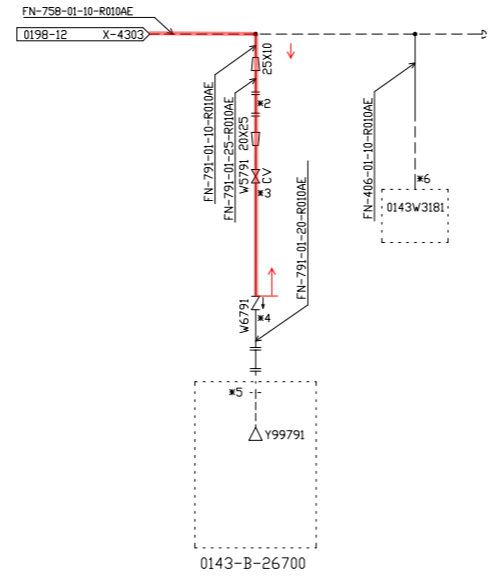
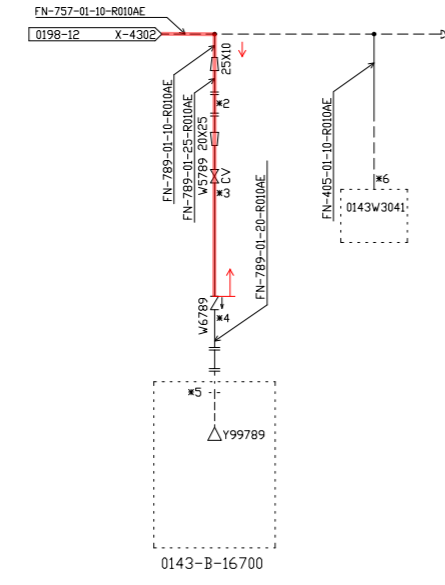
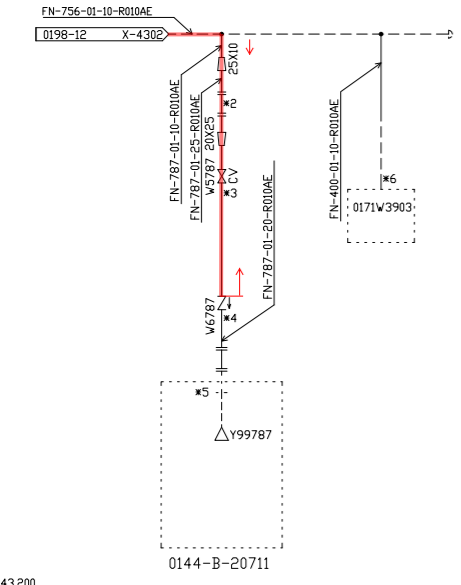
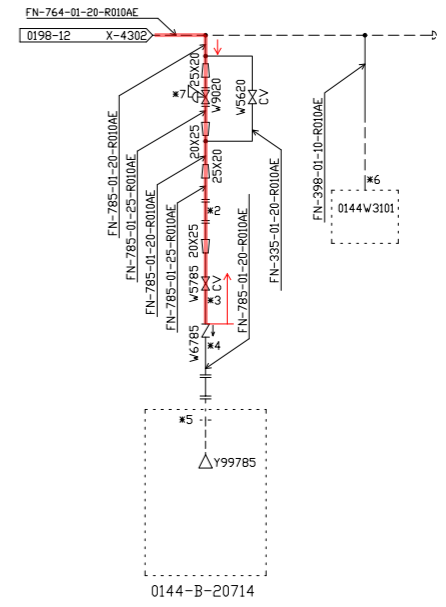
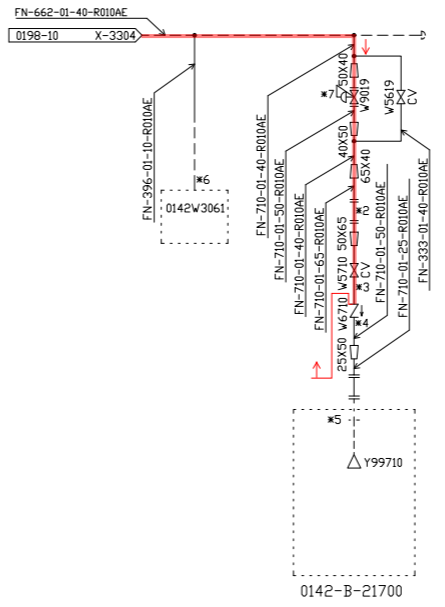
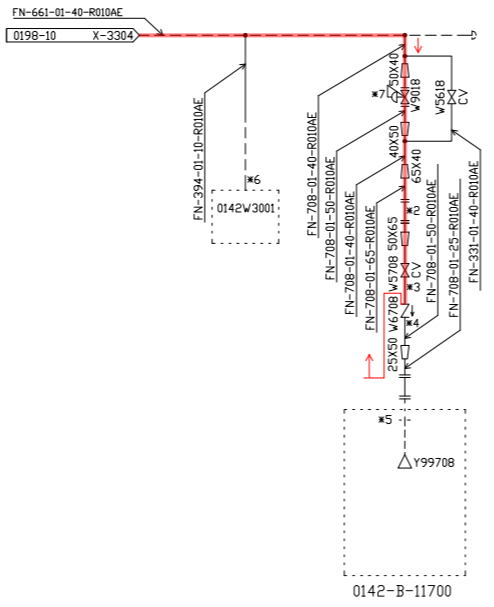
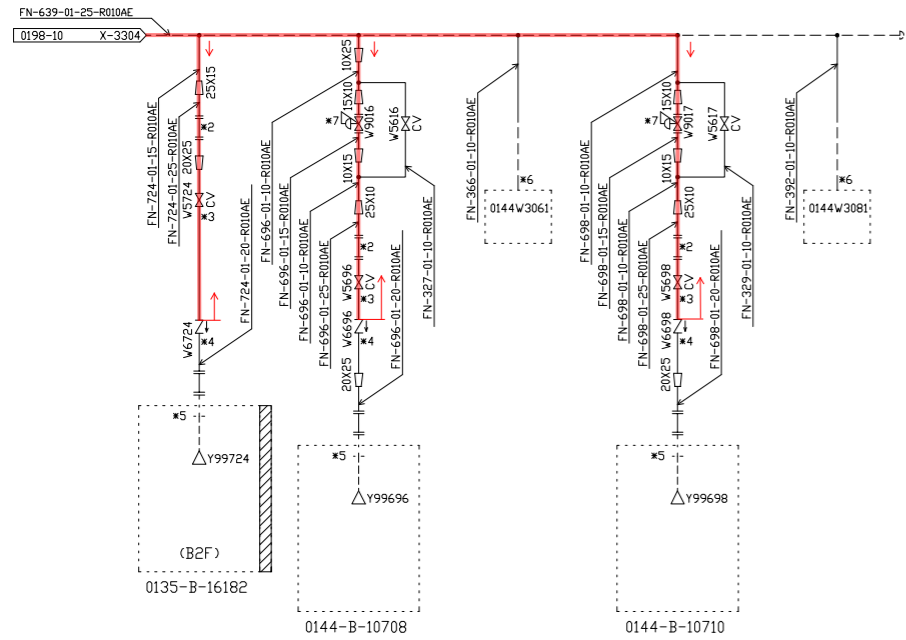
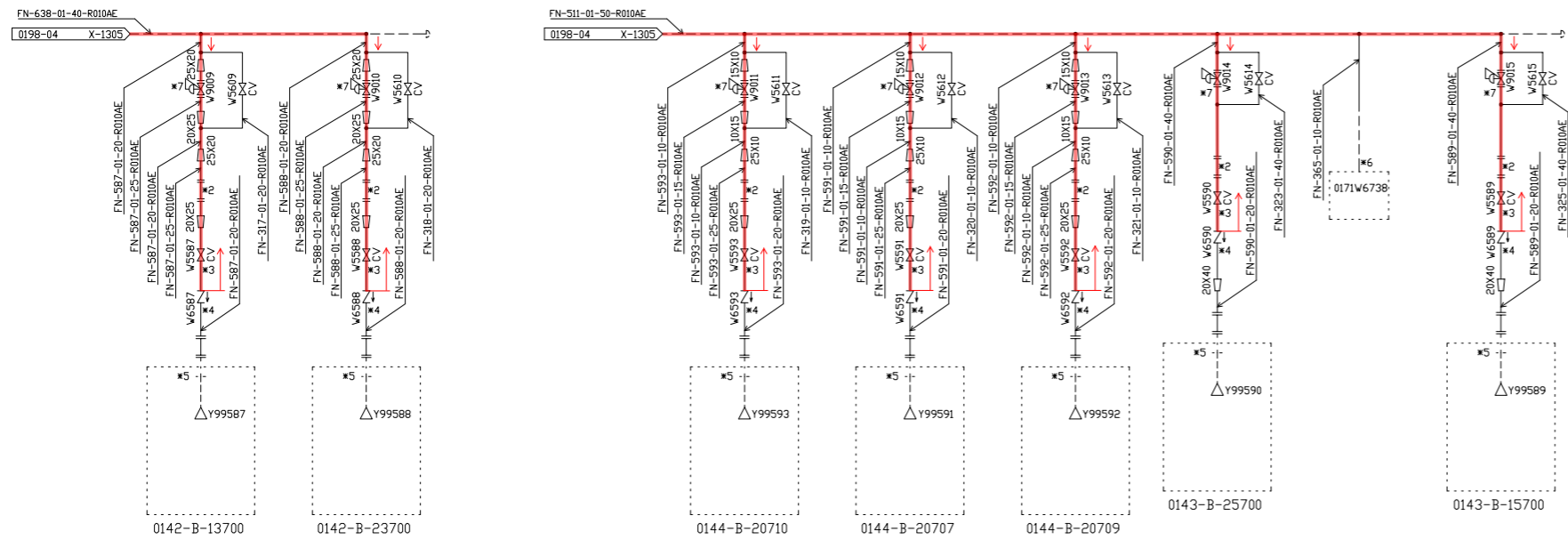


- 注記
- ※1 将来設置
 - ※2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10以上、出口側に5以上の直管部を設けること。
 - ※3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - ※4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - ※5 GB給気口の近傍に設置する。
 - ※6 ピストンガン用導圧管。
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の本端部まで）
破線：銅管（短管の本端部～PD取り合い部まで）
 - ※7 非安重GBでGB排気系フィルタ上流にCBDがないものに自力式の圧力調整弁を設置すること。

【凡例】
 赤線：主となる経路
 青色：安全上重要な施設の範囲
 番号：機器等との紐付け番号（①，②，・・・）
 ○番号：主配管との紐付け番号（ ， ，・・・）

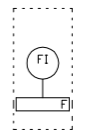
図書名	燃料加工棟屋（PA） ユーティリティ設備（Q） 防火設備（GB消火装置） エンジニアリングフロー図 工程：0198（GB）（29/31）
図号	PM-0198-4421-029
改訂	11

314燃料線
加工第1巻



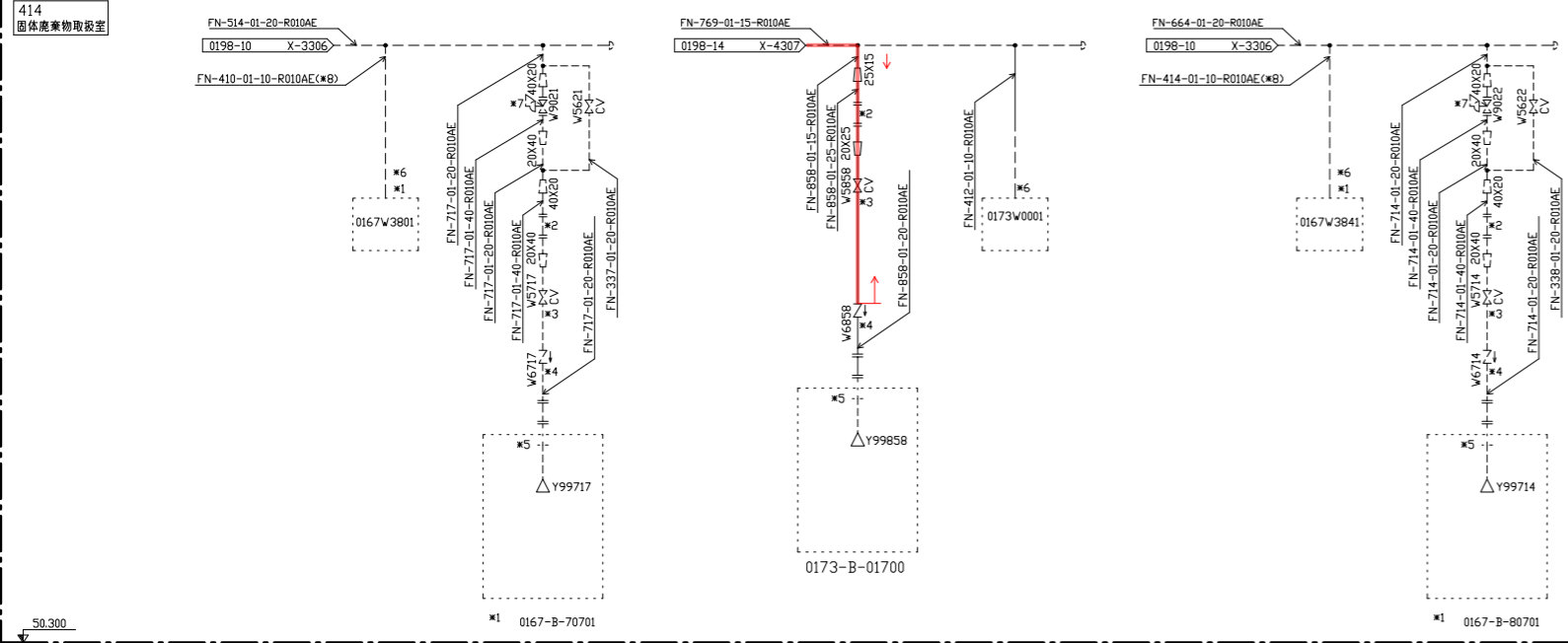
注記

- ※1 将来設置
- ※2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。
- ※3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ(ある場合)は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
- ※4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ(ある場合)は、可能な限りGB近傍に設置すること。
- ※5 GB給気口の近傍に設置する。
- ※6 ピストンガン用導管。
実線：SUS管(分岐部に設置された短管の先端部まで)
破線：銅管(短管の先端部～PD取り合い部まで)
- ※7 非安全重GBでGB排気系フィルタ上流にCBDがないものに自力式の圧力調整弁を設置すること。

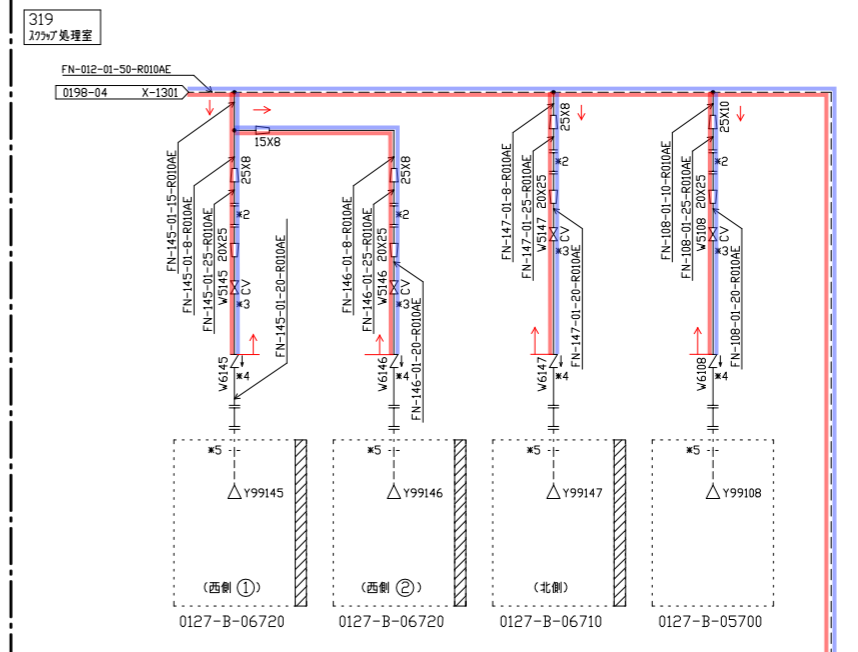
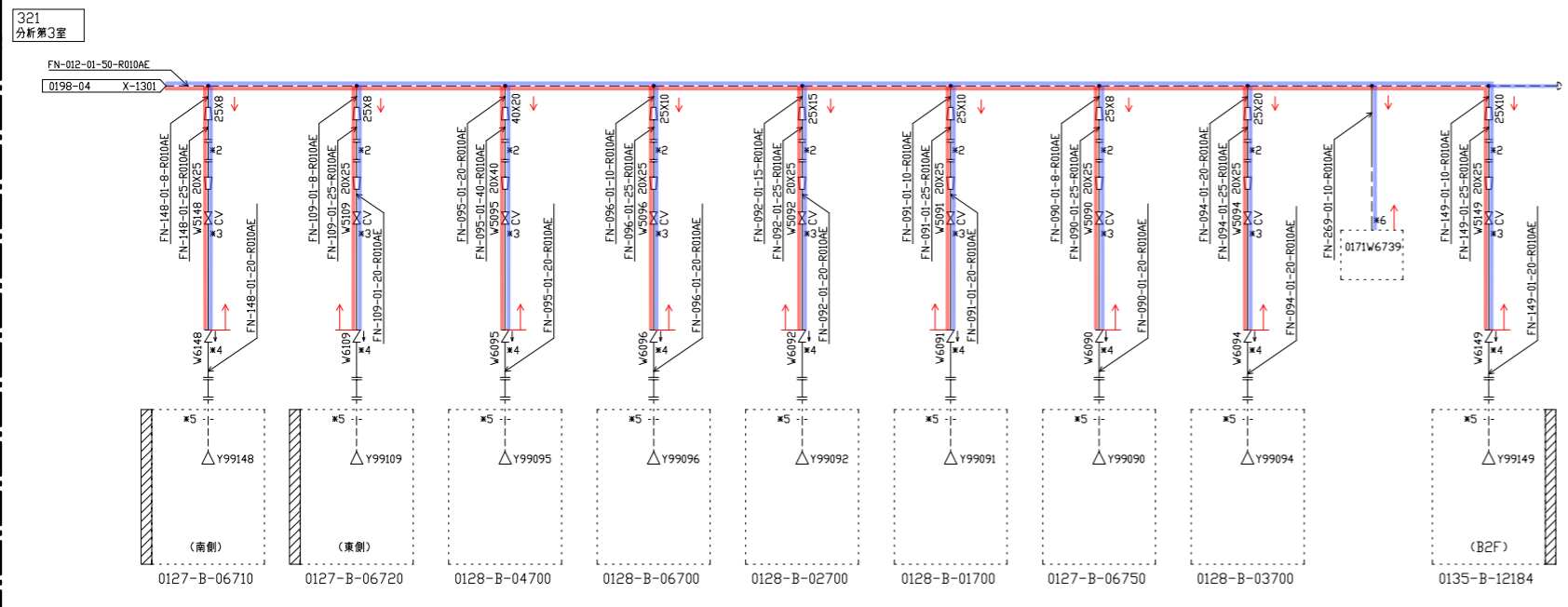


【凡例】
 赤線：主となる経路
 青色：安全上重要な施設の範囲
 番号：機器等との紐付け番号
 (①, ②, ……)
 ○番号：主配管との紐付け番号
 (, , ……)

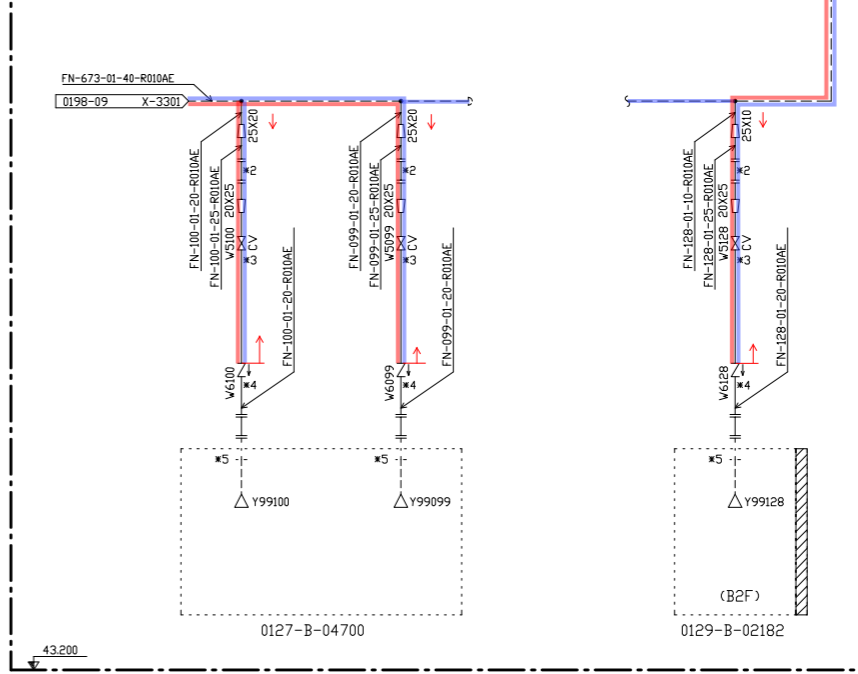
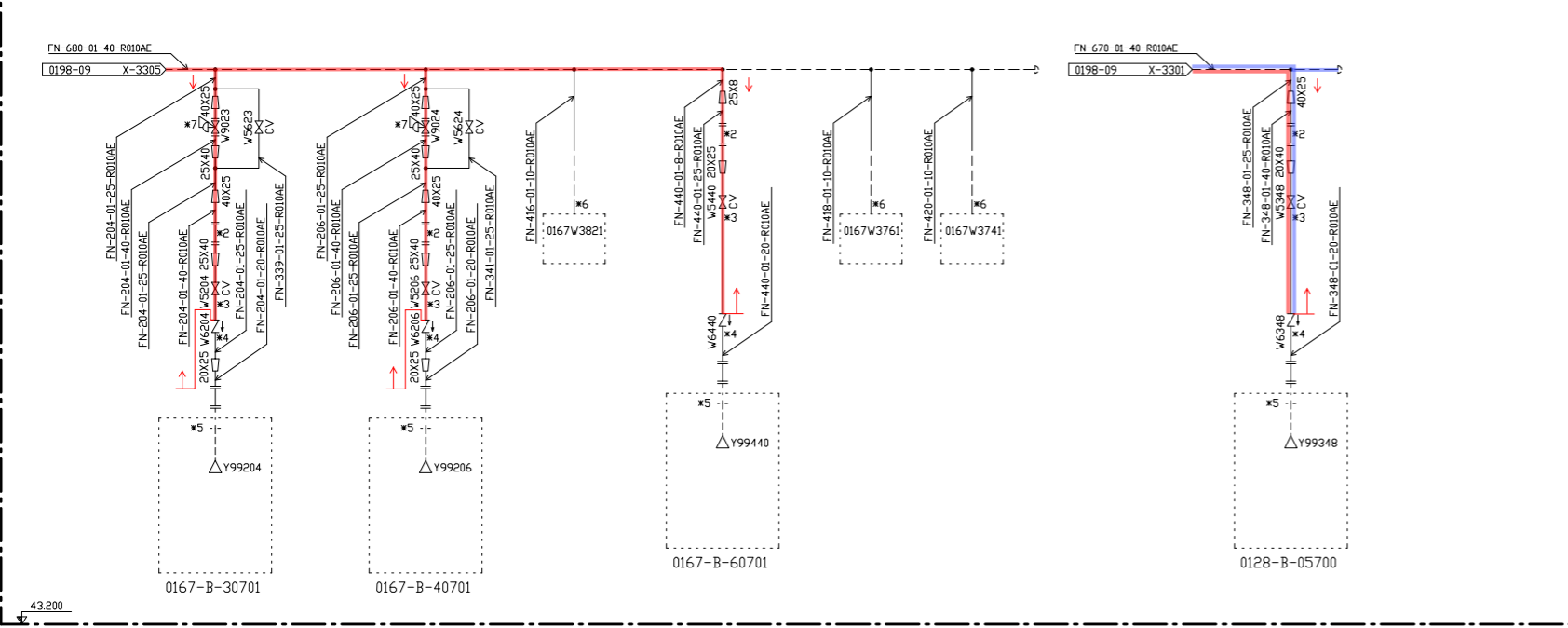
図書名称	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB) 消防装置		
※先頭図番	PM-0198-4421-030	改訂	13



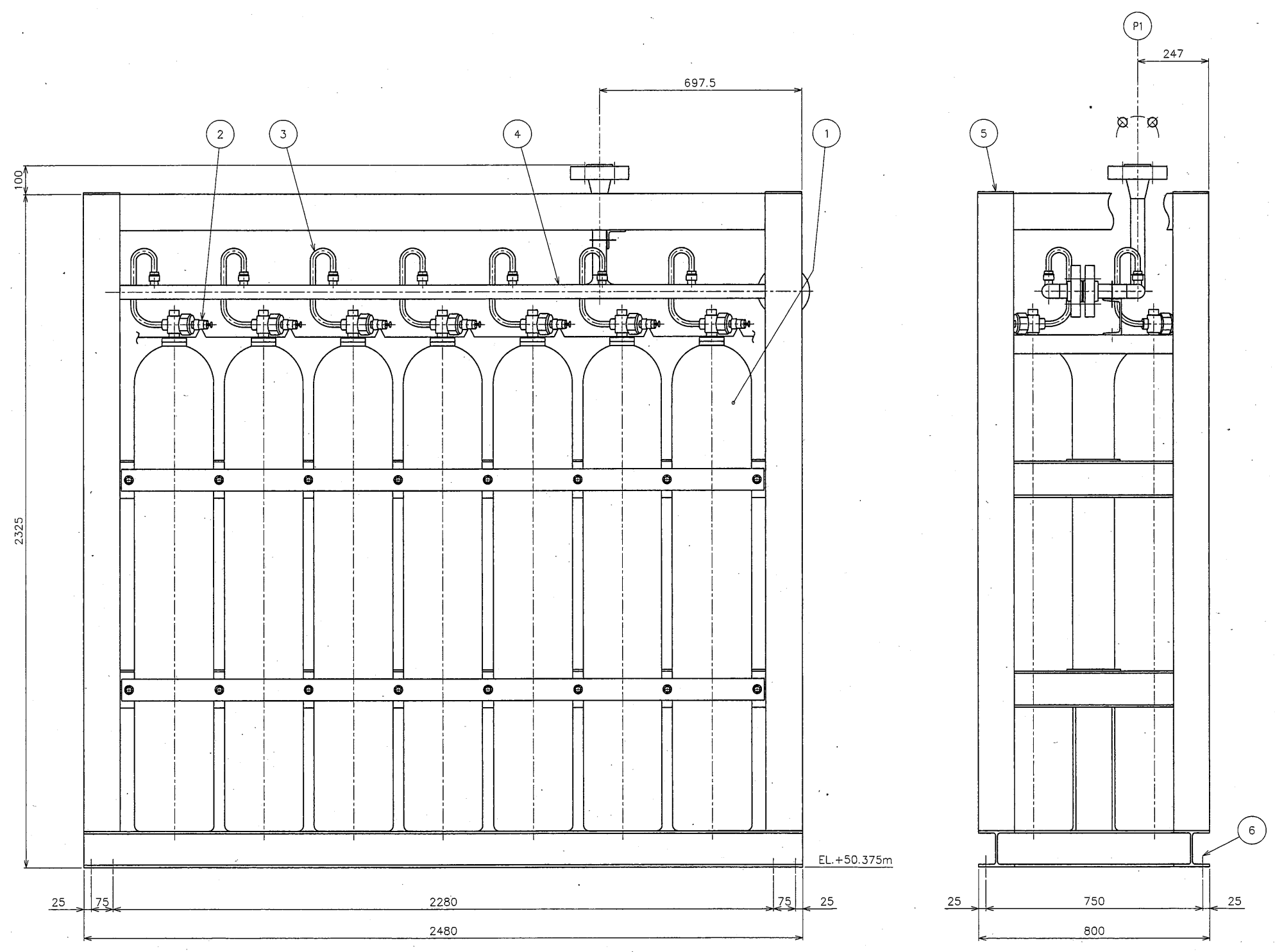
- 注記
- *1 将来設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
 - *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ピストンダンパ用圧接管。
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）
破線：銅管（短管の末端部～PD取り合い部まで）
 - *7 非防爆GBでGB非気系フィルタ上流にCBDがないものに自力式の圧力調整弁を設置すること。
 - *8 短管部。



- 【凡例】
- 赤線：主となる経路
 - 青色：安全上重要な施設の範囲
 - 番号：機器等との紐付け番号
(①, ②, ……)
 - 番号：主配管との紐付け番号
(, , ……)



図名	燃料加工棟屋 (PA)
ユーティリティ設備 (Q)	防火設備 (GB) 消防装置
エンジニアリングフロー図	工程: 0198 (GB) (31/31)
図番	PM-0198-4421-031
改訂	13



最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常 MPa	14.7
	最大 MPa	15.0
運転温度	通常 ℃	常温
	最大 ℃	40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理クラス		1
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3230
建屋区分		PA
設置場所		室内
適用法規		高圧ガス保安法
基数		1

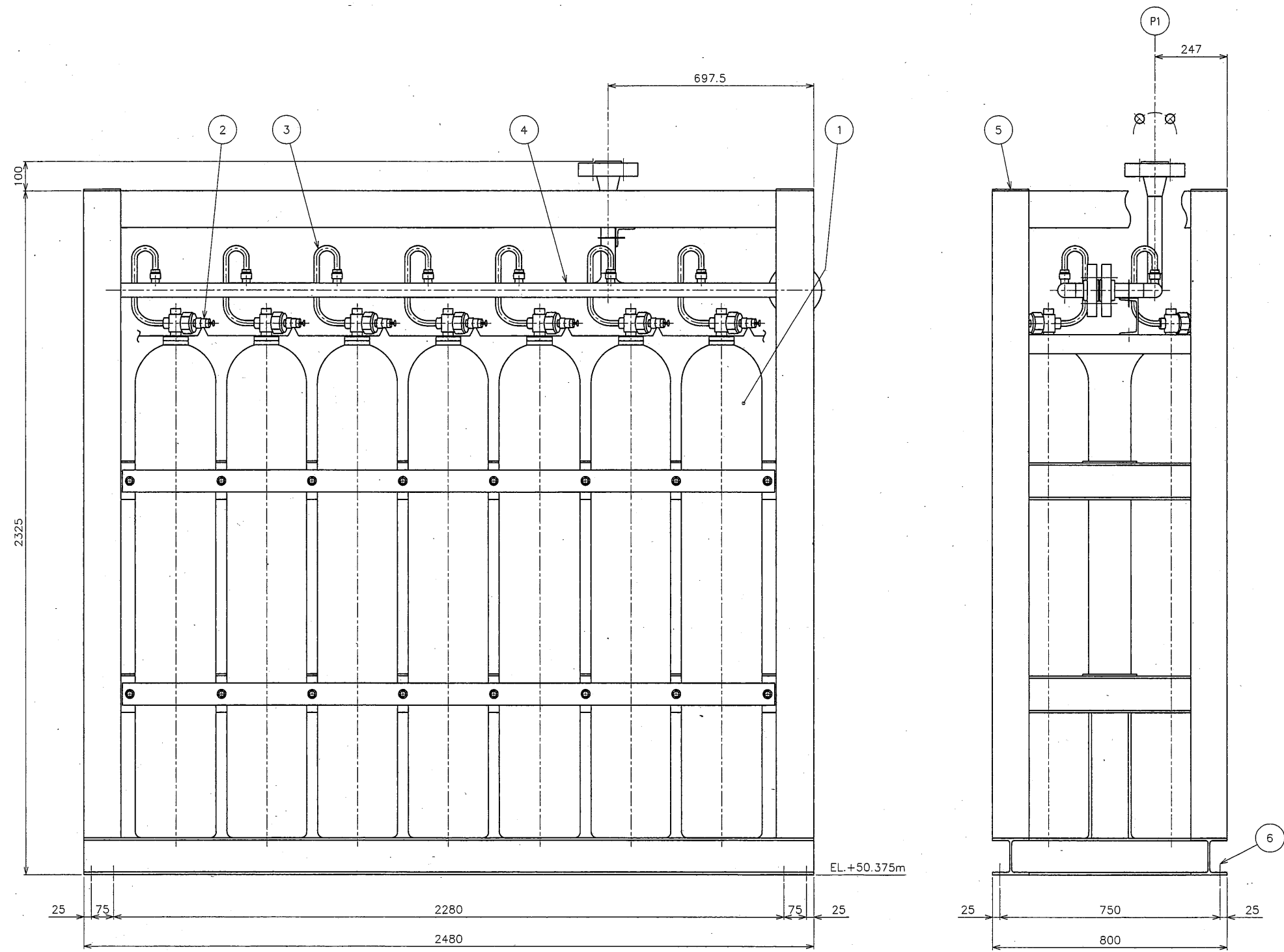
注記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

品番	名称	材料	数量	単位	重量(kg)	備考
6	腕付ボルト・ナットM16	SS400	8	組		
5	組棒	SS400 STKR400	1	組		
4	集合管	SUS304TP	1	組		
3	連結管	C1220T	14			
2	容器弁開放装置	C3771	14			
1	窒素ガス貯蔵容器	クドムリアチン鋼	14			

日本原燃株式会社
 MOX燃料工場
 防火設備(Q)
 GB消火装置
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1外形図
 (0198-GU-111)



最高使用圧力	MPa	15.0	
最高使用温度	℃	40	
運転圧力	通常	MPa	14.7
	最大	MPa	15.0
運転温度	通常	℃	常温
	最大	℃	40
耐震クラス	設計用	-	S
	官庁申請用	-	S
品質要求度クラス	-	-	1
流体の種類	-	-	窒素
質量	kg	-	約 3230
建屋区分	-	-	PA
設置場所	-	-	蓋
適用法規	-	-	高圧ガス保安法
基数	-	-	基

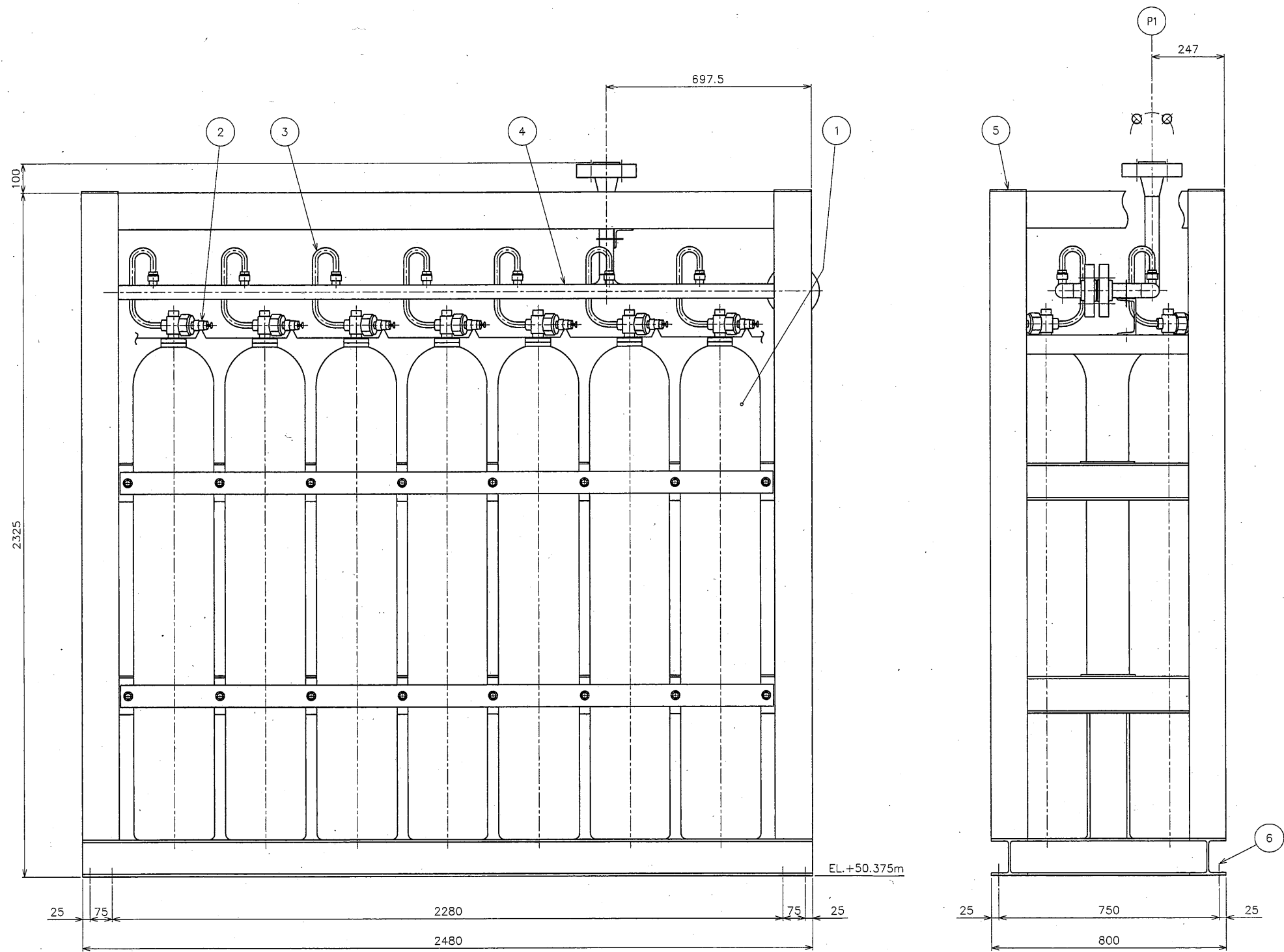
注記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

予備	標準	数量	名称	材料	仕様	単位	数量	重量 (kg)	記事
		6	取付ボルト・ナットM16	SS400		8組			
		5	組棒	SS400 STKR400		1組			
		4	集合管	SUS304TP		1組			
		3	連結管	C1220T		14			
		2	容器弁開放装置	C3771		14			
		1	窒素ガス貯蔵容器	クローリフチン		14			

日本原燃株式会社
 MOX燃料工場
 防消火設備(Q)
 GB消火装置
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2外形図
 (0193-GU-112)



最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 14.7
	最大	MPa 15.0
運転温度	通常	常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理度クラス	-	1
流体の種類	-	窒素
質量	kg	約 3230
建屋区分	-	PA
設置場所	-	428
適用法規	-	高圧ガス保安法
基数	基	1

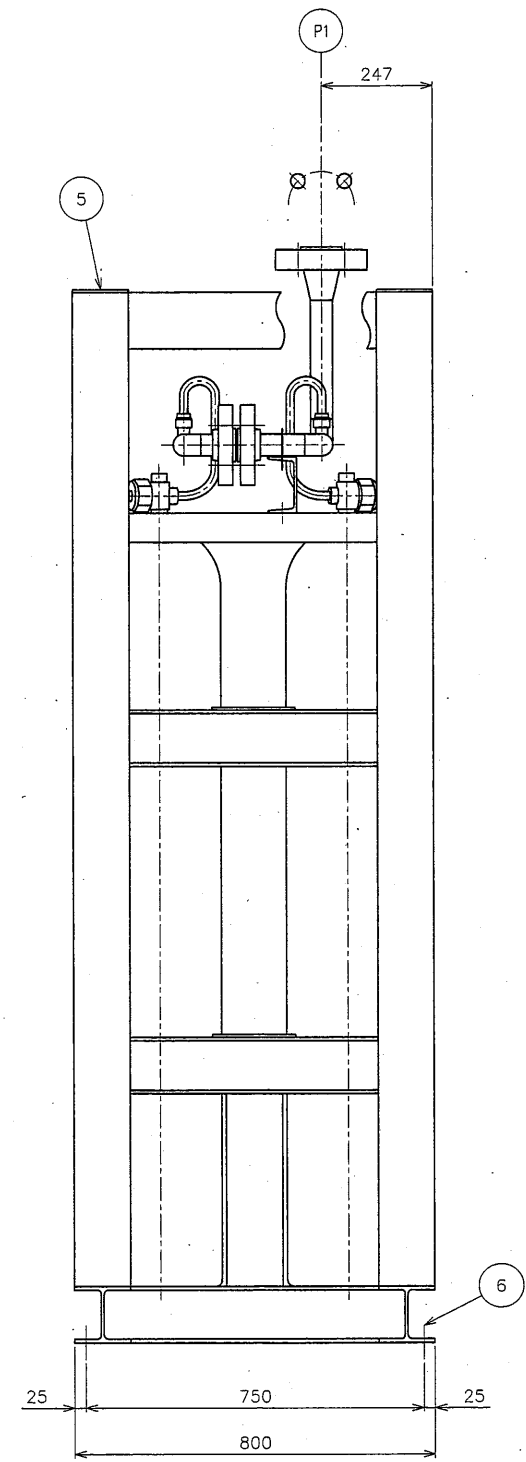
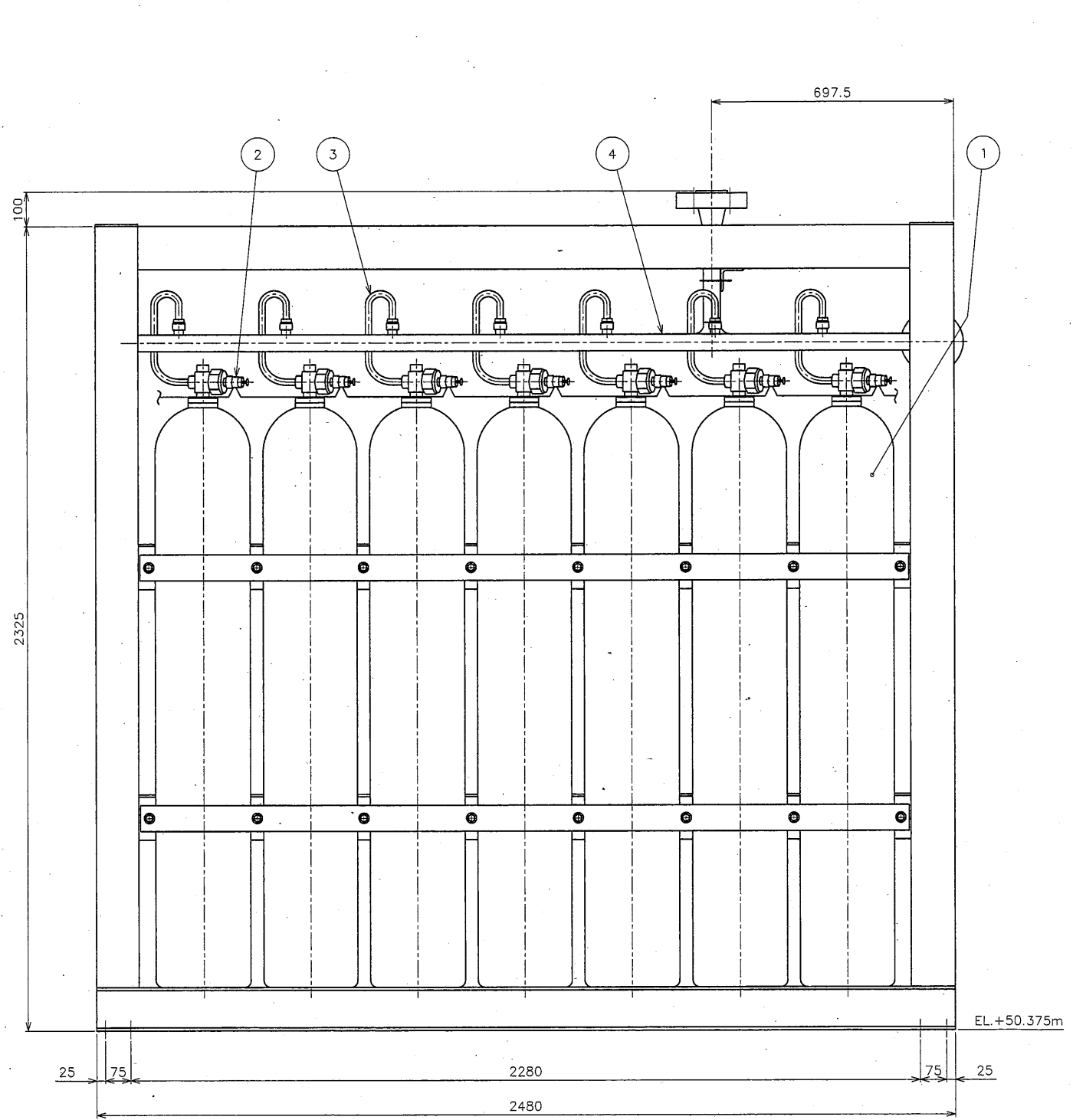
注記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

予備	予備	予備	予備	名称	材料	数量	単位	重量 (kg)	備考
				6 継付ボルト・ナットM16	SS400	8	組		
				5 組棒	SS400 STKR400	1	組		
				4 集合管	SUS304TP	1	組		
				3 連結管	C1220T	14			
				2 容器弁開放装置	C3771	14			
				1 窒素ガス貯蔵容器	プロレキソタンク	14			

日本原燃株式会社
 MOX燃料工場
 防火設備(Q)
 GB消火装置
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-3外形図
 (0198-GU-113)



最高使用圧力	MPa	15.0	
最高使用温度	℃	40	
運転圧力	通常	MPa	14.7
	最大	MPa	15.0
運転温度	通常	℃	常温
	最大	℃	40
耐震クラス	設計用	-	S
	官庁申請用	-	S
品質管理度クラス	-	-	1
流体の種類	-	-	窒素
質量	kg	-	約 3230
建屋区分	-	-	PA
設置場所	-	-	428
適用法規	-	-	高圧ガス保安法
基数	-	-	1

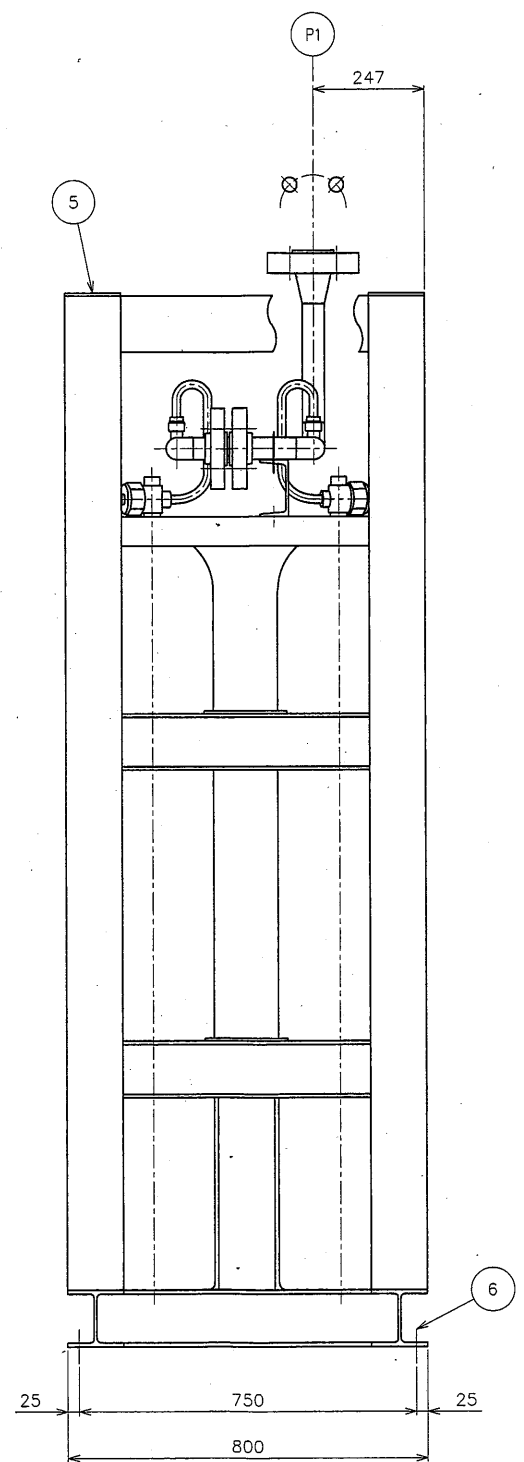
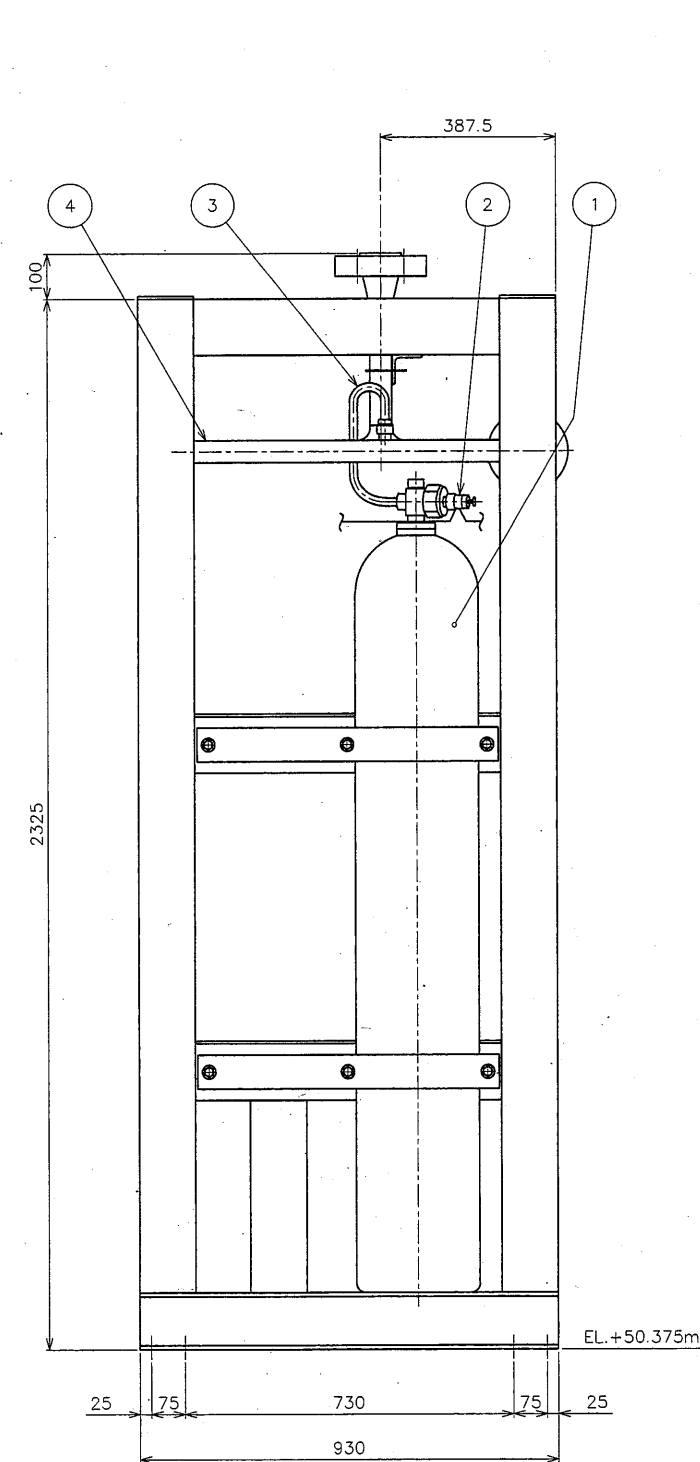
注記
(1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

品名	数量	仕様	単位	備
6 密付ボルト・ナットM16	8組	SS400	組	
5 組件	1組	SS400 STKR400	組	
4 集合管	1組	SUS304TP	組	
3 連結管	14	C1220T	本	
2 容器弁開放装置	14	C3771	本	
1 窒素ガス貯蔵容器	14	70Lモノリシック	本	

日本原燃株式会社
MOX燃料工場
防火設備(Q)
GB消火装置
GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-4外形図
(0198-GU-114)



管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

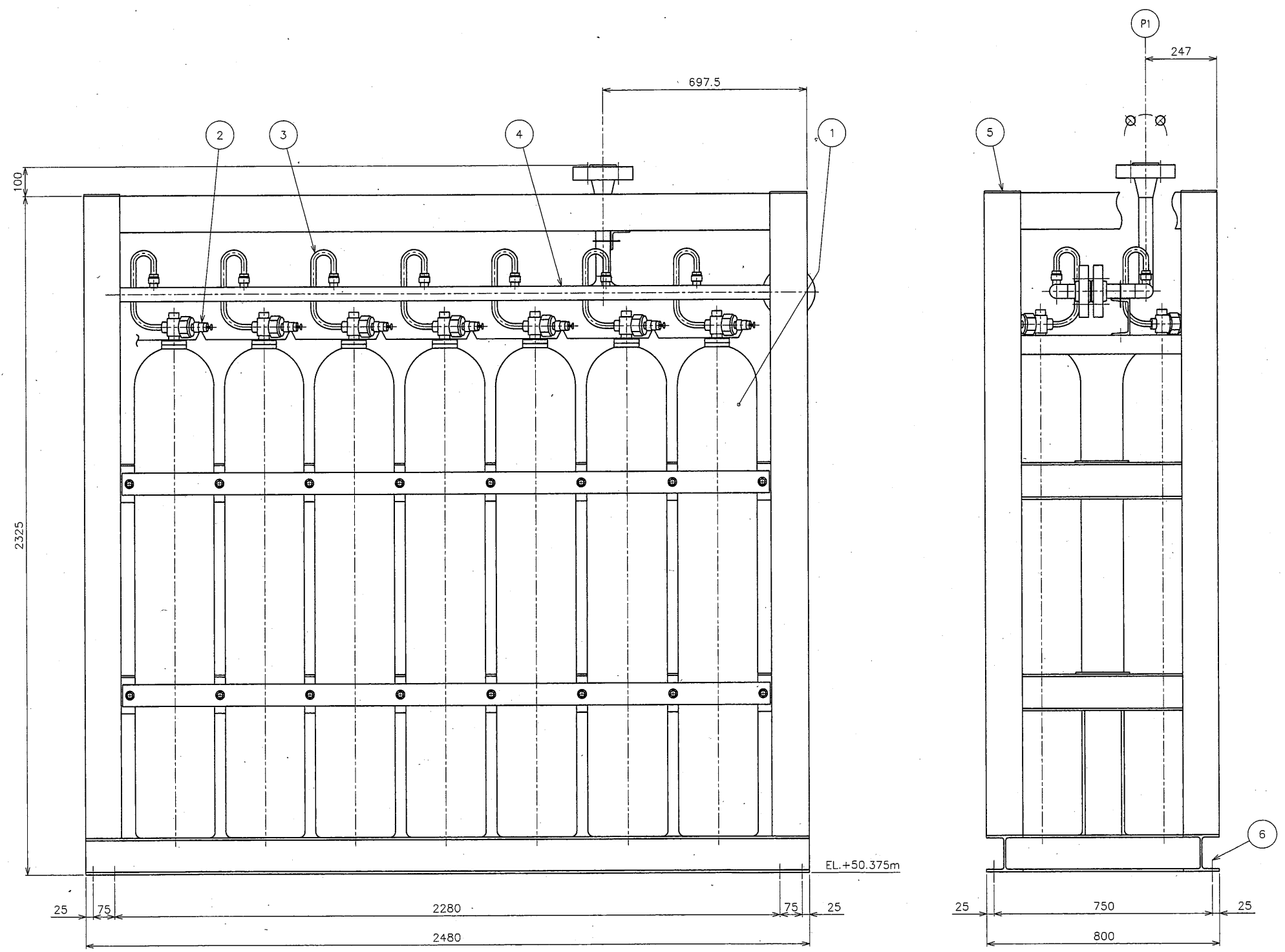
要目表		
最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 14.7
	最大	MPa 15.0
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理クラス		1
流体の種類		窒素
質量	kg	約 1350
建屋区分		PA
設置場所		428
適用法規		高圧ガス保安法
基数		1

注記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

区分	番号	名称	材料	数量	1個重量 (kg)	合計重量 (kg)	備考
	6	継手ボルト・ナットM16	SS400	8組			
	5	組件	SS400 STKR400	1組			
	4	集合管	SUS304TP	1組			
	3	連結管	C1220T	2			
	2	容器弁開放装置	C3771	2			
	1	窒素ガス貯蔵容器	70Lモリブデン鋼	2			

日本原燃株式会社殿
 MOX燃料工場
 防火設備(Q)
 GB消火装置
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-5外形図
 (0198-GU-115)



要目表		
最高使用圧力	M P a	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	M P a 14.7
	最大	M P a 15.0
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
必要重要度クラス	-	1
流体の種類	-	窒素
質量	kg	約 3230
建屋区分	-	PA
設置場所	室	42B
適用法規	-	高圧ガス保安法
基数	基	1

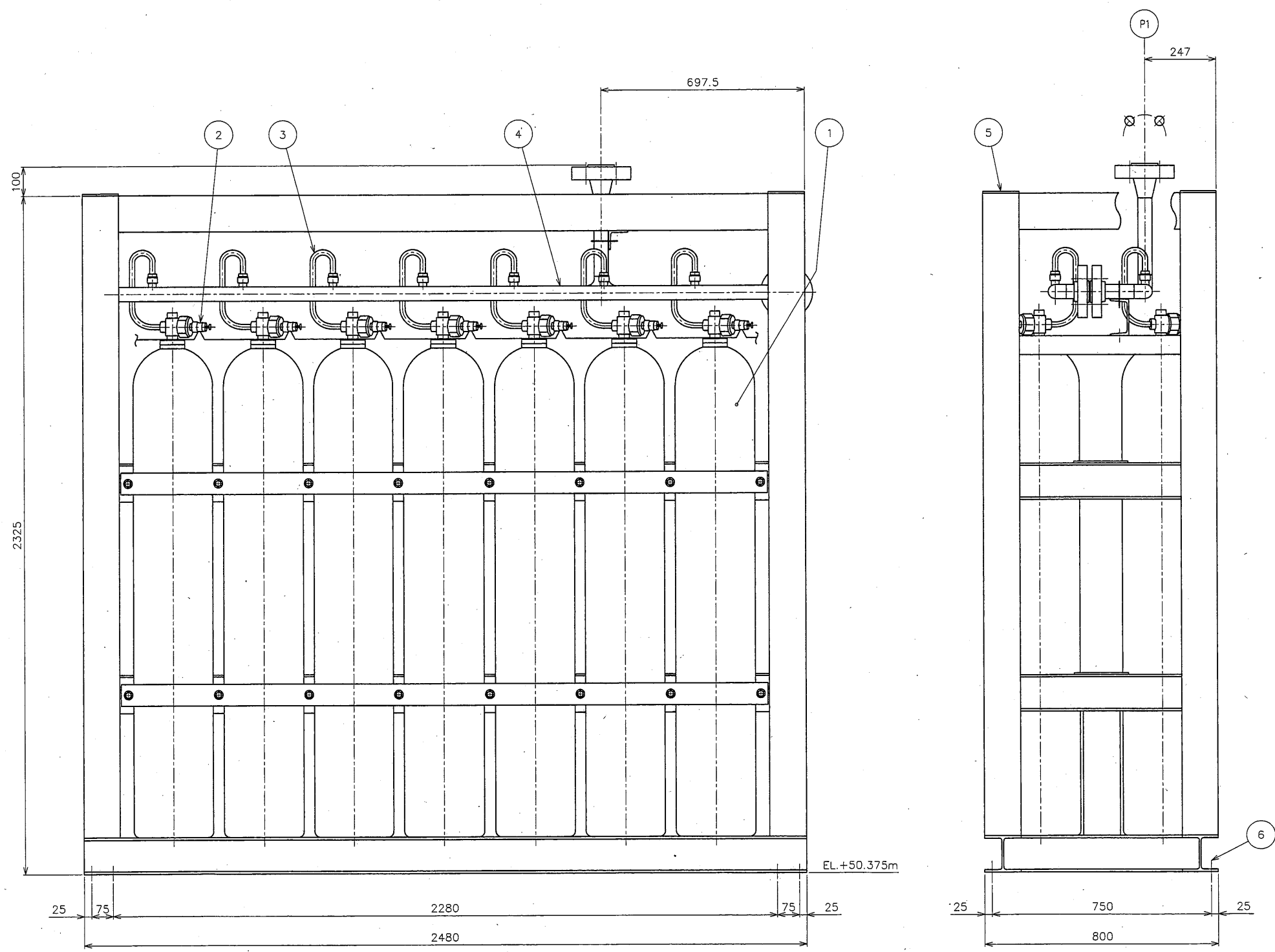
注記
(1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	-

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

子分	子分	番号	名称	材料	数量	1個重量 (kg)	合計重量 (kg)	備考
		6	緩付ボルト・ナットM16	SS400	8組			
		5	根枠	SS400 STKR400	1組			
		4	集合管	SUS304TP	1組			
		3	連結管	C1220T	14			
		2	容器弁開放装置	C3771	14			
		1	窒素ガス貯蔵容器	クロムニッケル鋼	14			

日本原燃株式会社
MOX燃料工場
防火設備 (Q)
GB消火装置
GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1外形図
(0198-GU-121)



要目表		
最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 14.7
	最大	MPa 15.0
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理クラス		1
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3230
積層区分		PA
設置場所		428
適用法規		高圧ガス保安法
頁数	基	1

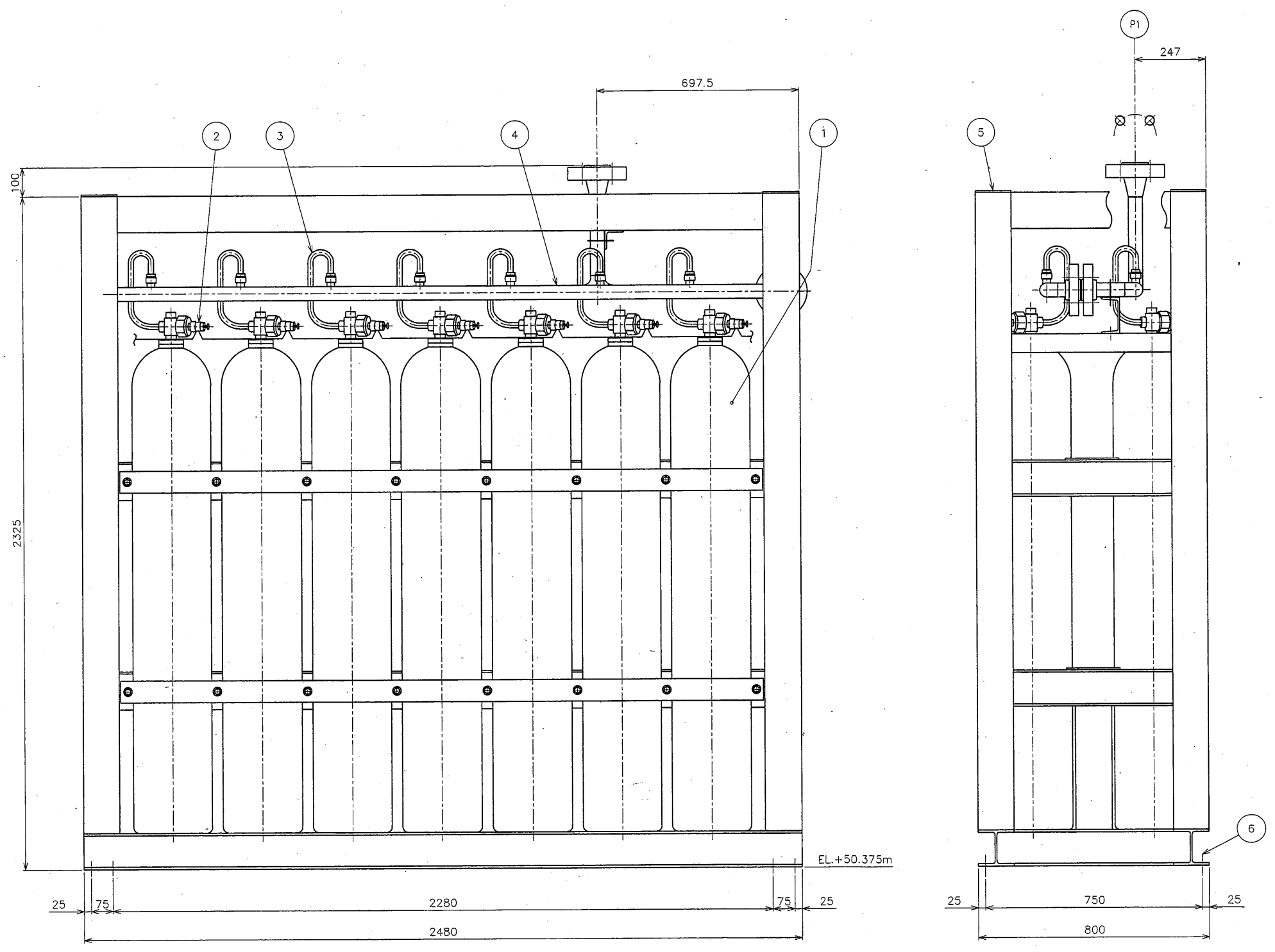
注記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

子番号	子番号	番号	名称	材料	取換	予備	1個	合計	単位	重量	備考
分	分				片	個	個	個		(kg)	
		6	配付ボルト・ナットM16	SS400		8組					
		5	組棒	SS400 STKR400		1組					
		4	集合管	SUS304TP		1組					
		3	連結管	C1220T		14					
		2	容器弁開放装置	CS771		14					
		7	1	窒素ガス貯蔵容器	クオモリブジン鋼	14					

日本原燃株式会社殿
 MOX燃料工場
 防火設備(Q)
 GB消火装置
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-2外形図
 (0198-GU-122)



最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 14.7
	最大	MPa 15.0
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理クラス	-	1
流体の種類	-	窒素
質量	kg	約 3230
積層区分	-	PA
設置場所	-	42B
適用法規	-	高圧ガス保安法
基数	基	1

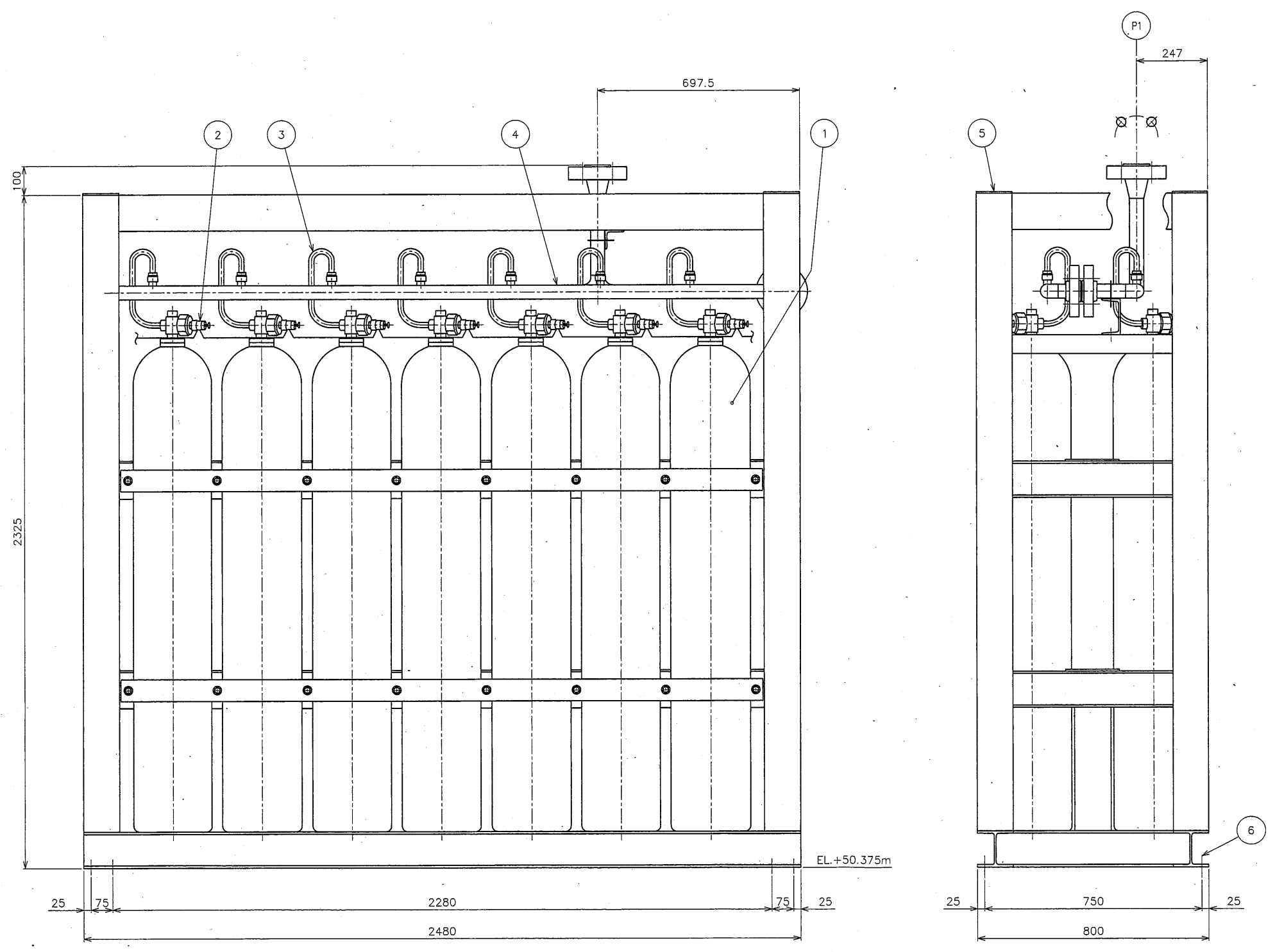
注記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

子番号	子番号	名称	材料	仕様	数量	単位	合計数量	重量(kg)	備考
	6	取付ボルト・ナットM16	SS400		8	組			
	5	組棒	SS400 STKR400		1	組			
	4	集合管	SUS304TP		1	組			
	3	連結管	C1220T		14	本			
	2	容器弁開放装置	C3771		14	本			
8	1	窒素ガス貯蔵容器	クハムリブチン鋼		14	本			

日本原燃株式会社
 MOX燃料工場
 防火設備(Q)
 GB消火装置
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-3外形図
 (0198-GU-123)



最高使用圧力	M P a	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	M P a 14.7
	最大	M P a 15.0
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理度クラス	-	1
流体の種類	-	窒素
質量	kg	約 3230
建屋区分	-	PA
設置場所	-	428
適用法規	-	高圧ガス保安法
基数	-	1

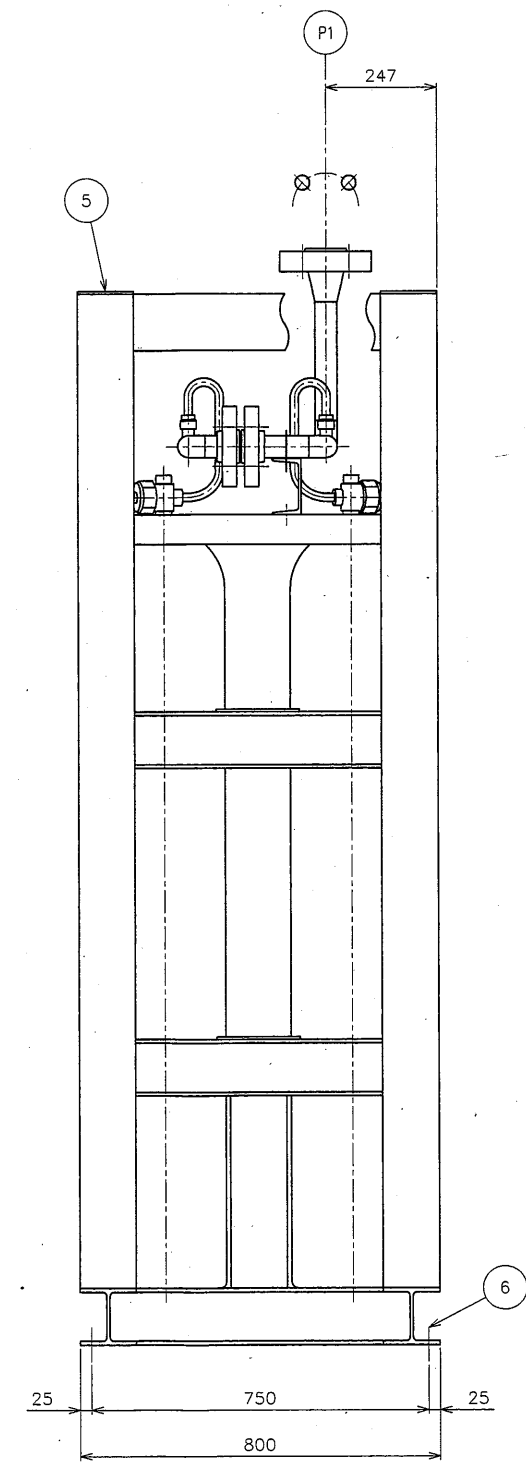
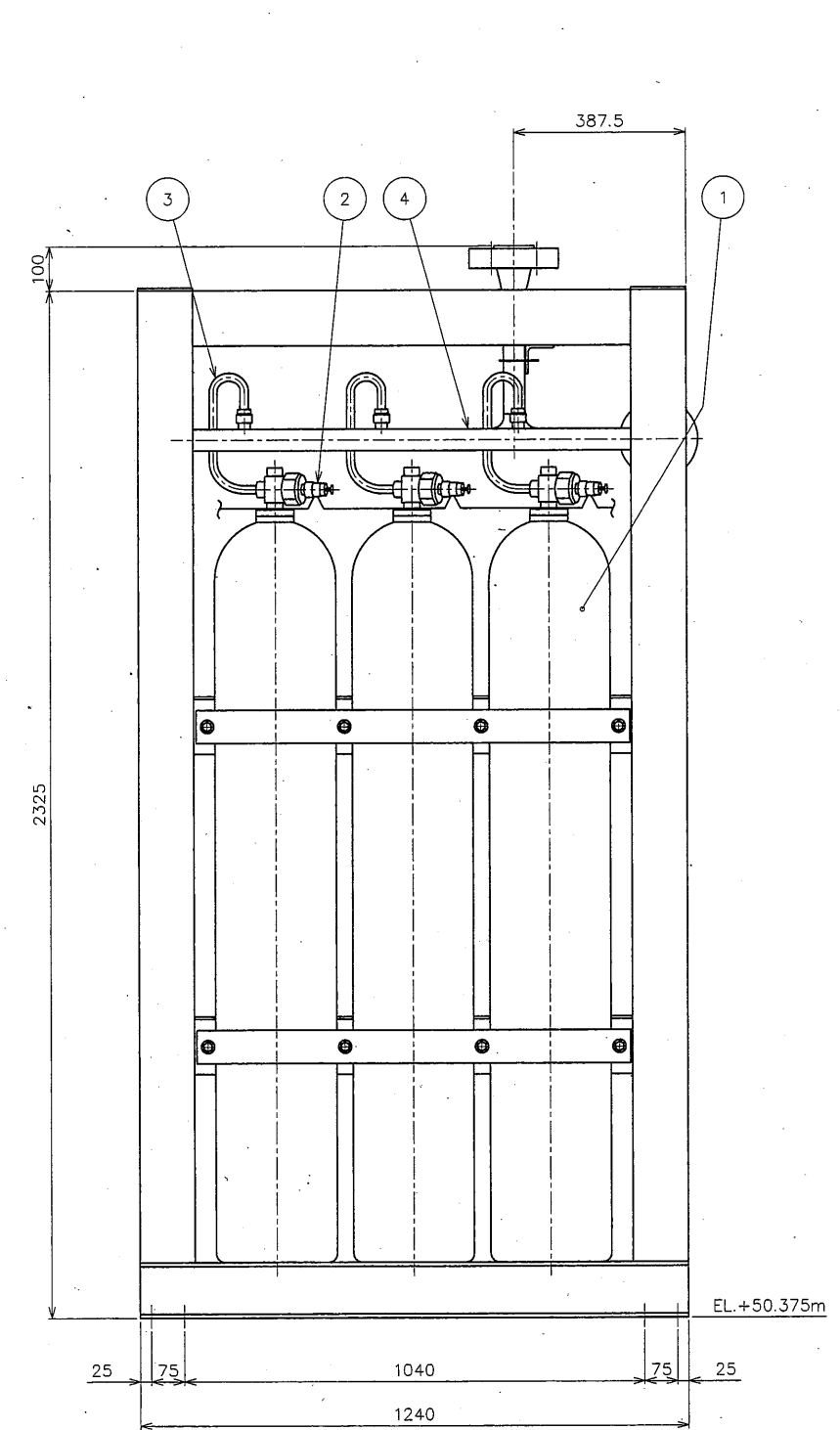
注 記
(1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

部	名	材	材	数	備	注
6	備付ボルト・ナットM16	SS400	8組			
5	組棒	SS400 STKR400	1組			
4	集合管	SUS304TP	1組			
3	連結管	C1220T	14			
2	容器弁開放装置	C3771	14			
1	窒素ガス貯蔵容器	クロムニッケル鋼	14			

日本原燃株式会社殿
MOX燃料工場
防火設備(Q)
GB消火装置
GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-4外形図
(0198-GU-124)



最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常 MPa	14.7
	最大 MPa	15.0
運転温度	通常 ℃	常温
	最大 ℃	40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質重要度クラス		1
流体の種類		窒素
質量	kg	約 1910
設置区分		PA
設置場所		室内
適用法規		高圧ガス保安法
基効		1

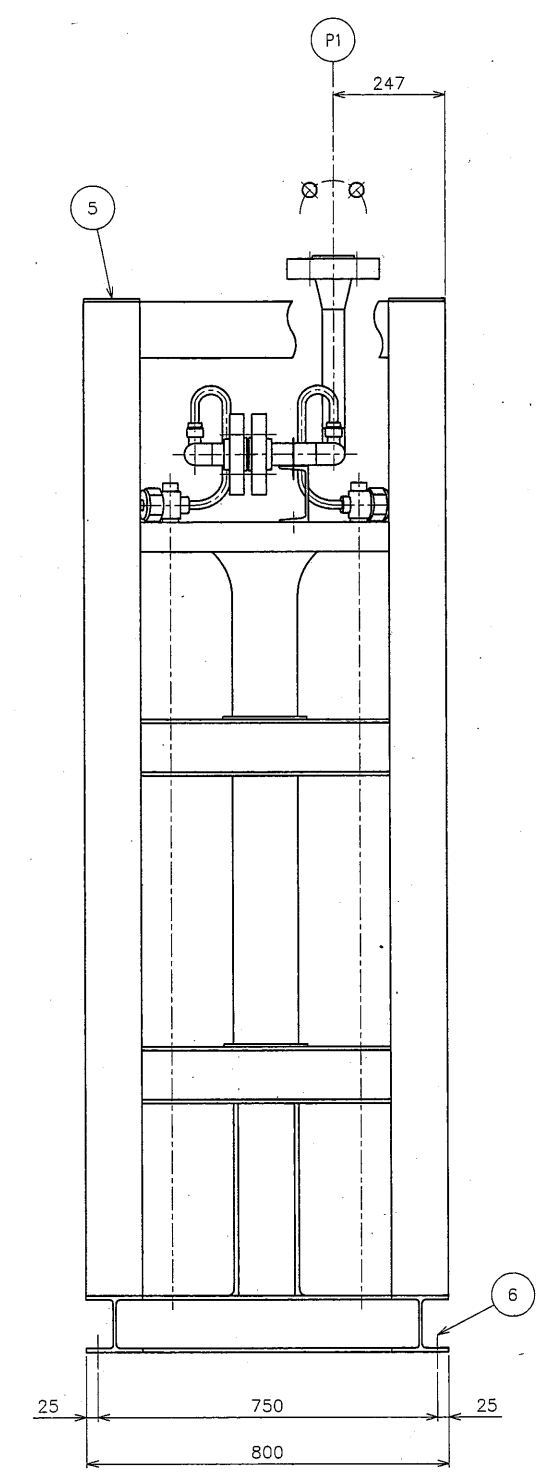
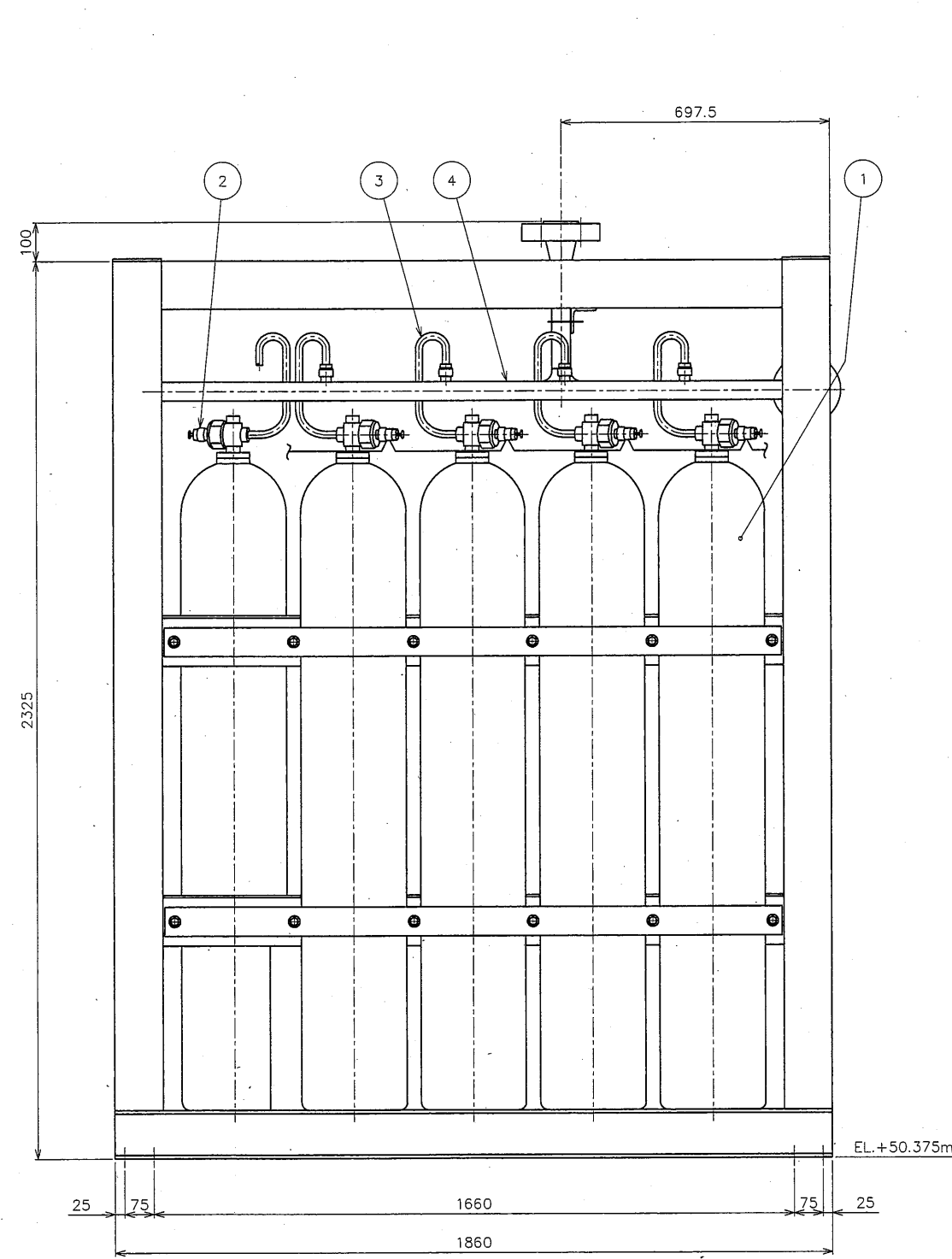
注記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

部品番号	名称	材料	数量	単位	備註
6	副付ボルト・ナットM16	SS400	8組		
5	組棒	SS400-STKR400	1組		
4	集合管	SUS304TP	1組		
3	連結管	C1220T	6		
2	容器弁開放装置	C3771	6		
10	1 窒素ガス貯蔵容器	60Lキリブチン製	6		

日本原燃株式会社
 MOX燃料工場
 防火設備(Q)
 GB消火装置
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-5外形図
 (0198-GU-125)



要目表		
最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 14.7
	最大	MPa 15.0
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理クラス	-	1
流体の種類	-	窒素
質量	kg	約 2450
建屋区分	-	PA
設置場所	-	428
適用法規	-	-
基数	基	1

注記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

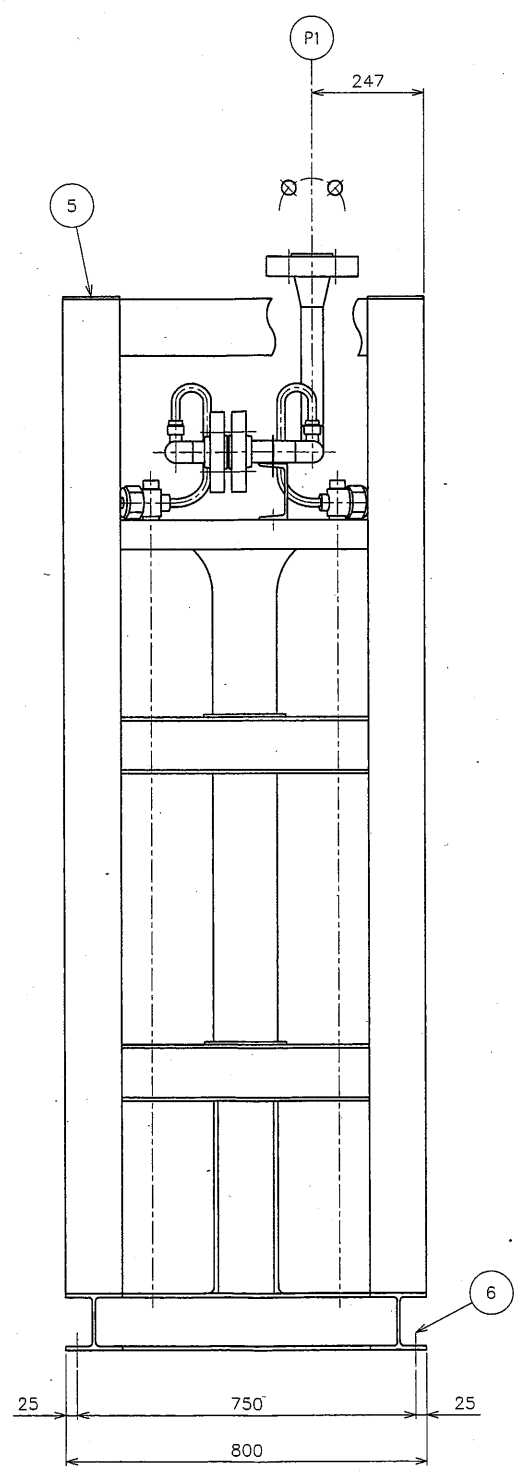
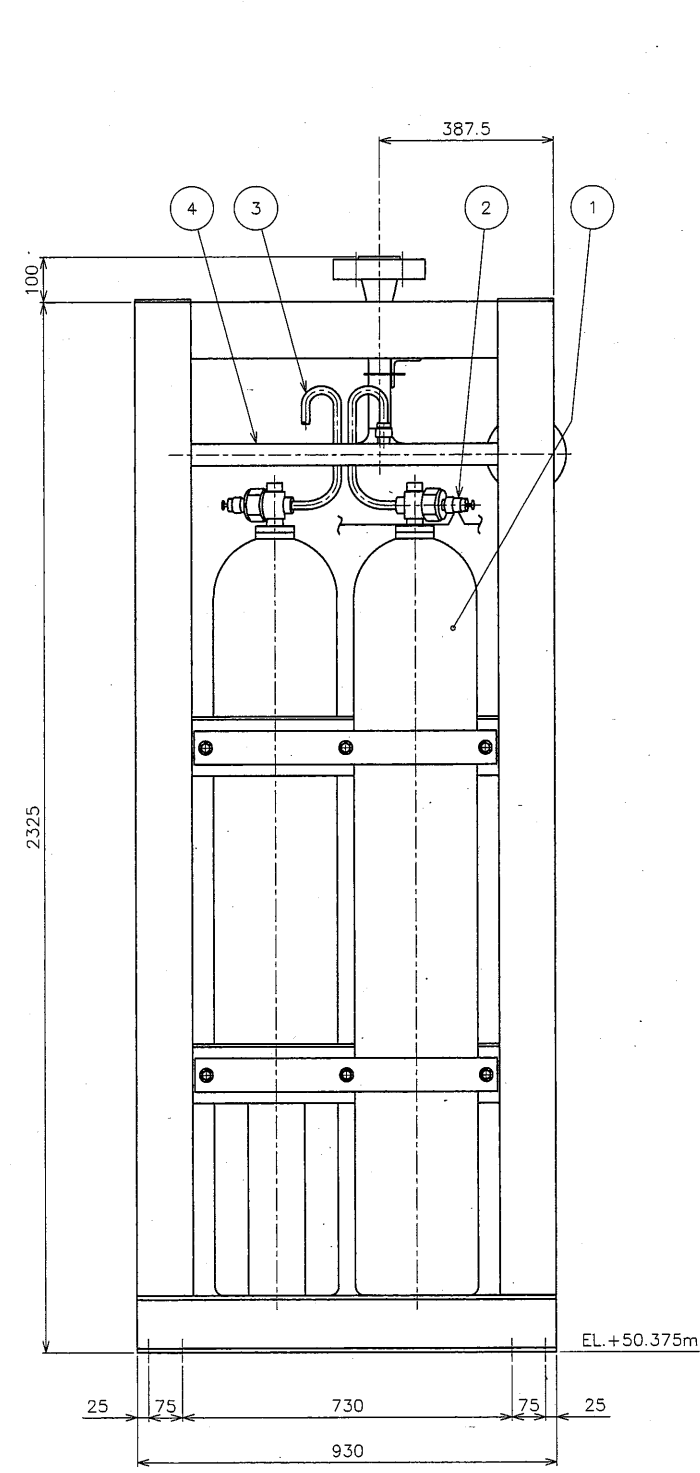
管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500lb-40A RF	SUSF304	

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

材料	規格	数量	単位	重量 (kg)	備考
6	緩付ボルト・ナットM16	SS400	8組		
5	組棒	SS400 STKR400	1組		
4	集合管	SUS304TP	1組		
3	連結管	C1220T	9		
2	容器弁開放装置	C3771	9		
1	窒素ガス貯蔵容器	クローモリブチン鋼	9		

日本原燃株式会社殿

MOX燃料工場
 防火設備 (Q)
 GB消火装置
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3外形図
 (0198-GU-131)



最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 14.7
	最大	MPa 15.0
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理クラス		1
流体の種類		窒素
質量	kg	約 1470
建屋区分		PA
設置場所		釜
適用法規		-
基数		1

注記
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

・消火装置に係る系統図では消火ポンベはイメージ図としての記載になっており、ポンベ本数を明示するものではないため、構造図にて、設置されるポンベ本数を確認する。

品番	品名	材料	数量	単位	重量(kg)	備考
6	器具ボルト・ナットM16	SS400	8	組		
5	組棒	SS400 STKR400	1	組		
4	集合管	SUS304TP	1	組		
3	連結管	C1220T	3			
2	容器弁開放装置	C3771	3			
1	窒素ガス貯蔵容器	クオラムリゾチウム	3			

日本原燃株式会社殿

MOX燃料工場
 防火設備(Q)
 GB消火装置
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4外形図
 (Q198-GU-141)

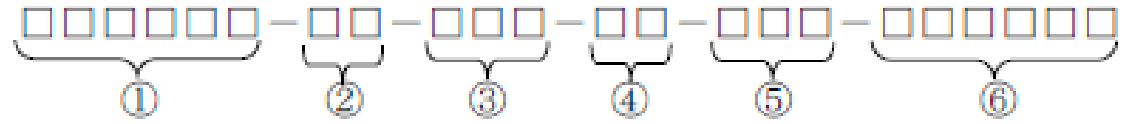
設計図書の記載に係る留意事項

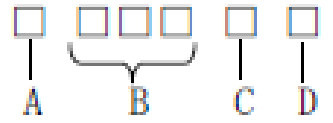
1. 配管番号
2. 機器番号
3. 設計図書の記載に係る留意事項
4. 系統図に用いるポンプ等の凡例
5. 計装関係記号
6. 主配管の名称の付け方の例

1. 配管番号

配管番号は以下のルールに従い、設定している。

なお、設計図書の系統図においては、系統番号は明確であるため、②の流体記号から記載している。



番号	種別	説明
①	系統番号	各設備に系統番号を設定する。PA○○○○
②	流体記号	第 1 表参照
③	配管連番	②の流体ごとに001~999の連番とする。機器，合流点及び分岐点を経るごとに番号を進める。ただし母管については合流点及び合流点で必ずしも番号を進める必要はない。
④	セクション番号	③の配管連番ごとに01~99の連番とし，以下の場合に附番する。 a. 配管の途中で配管クラスが変わるとき。 ただし，建屋・施設間にまたがる配管については，その限りではない。 b. 配管がいくつかのGBまたは装置を経由して元のGB又は装置に戻るとき。 c. 配管途中で配管口径が変わるときは必要に応じ附番してよい。
⑤	配管口径	呼び径，JIS(A)表記とする。ただし“A”は記載不要
⑥	配管クラス	配管クラスは以下の表記とする。  A：配管材質（第 2 表）， B：呼び圧力（第 3 表）， C：配管厚さ及び仕様による区分， D：配管区分（第 4 表）

1. 配管番号

第1表 流体記号

記号	種類	参考
PR	プロセスの流れ (核燃料物質を含む流れ)	<u>Process Fluid</u>
AV	ベント (放射性)	<u>Active Vent</u>
VE	ベント (非放射性)	<u>Non-active Vent</u>
DF	除染液 (供給)	<u>Decontamination Fluid</u>
TW	工業用水	<u>Treated Water</u>
DW	飲料水	<u>Drinking Water</u>
DM	純水	<u>Demineralized Water</u>
CW	冷却水	<u>Cooling Water</u>
HW	温水	<u>Hot Water</u>
SH	過熱水	<u>Super Heated Water</u>
CH	冷水	<u>Chilled Water</u>
FW	消火水	<u>Fire Service Water</u>
SC	凝縮水	<u>Steam Condensation</u>
AS	蒸気	<u>Auxiliary Steam</u>
HF	熱媒 (除 AS, SH)	<u>Heating Fluid</u>
CL	冷媒	<u>Coolant</u>
SA	雑用圧縮空気	<u>Service Air</u>
IA	計装用圧縮空気	<u>Instrumentation Air</u>
OA	制御用空気 (油潤滑)	<u>Oiled Control Air</u>
BA	呼吸用圧縮空気	<u>Breathing Air</u>
GA	空気一般 (エアスニファ、排気 モニタのサンプリング空気)	
FN	N ₂ 消火	
FC	CO ₂ 消火	
VM	真空	<u>Vacuum</u>
WH	水圧系	<u>Water in Hydraulic Circuit</u>
OH	油圧系	<u>Oil in Hydraulic Circuit</u>

記号	種類	参考
FO	燃料油	<u>Fuel Oil</u>
FG	燃料ガス	<u>Fuel Gas</u>
HV	換気空調 (除プロセス換気:AV または VE)	<u>Heating and Ventilation</u>
MA	中放射性廃液	<u>Medium Active Liquid Waste</u>
LA	低放射性廃液	<u>Low Active Liquid Waste</u>
VA	極低放射性廃液	<u>Very Low Active Liquid Waste</u>
VV	極々低放射性廃液	<u>Very Very Low Active Liquid Waste</u>
IW	非放射性廃液	<u>In-active Liquid Waste</u>
RD	雨水	<u>Rain Water Drain</u>
RE	試薬 (ガスを含む) *	<u>Reagent</u>
GW	湧水	<u>Grounding Water</u>
ED	機器ドレン (非放射性)	<u>Non-active Equipment Drain</u>
FD	床ドレン (非放射性)	<u>Non-active Floor Drain</u>
SD	衛生 (生活) 排水	<u>Sanitary Drain</u>
WW	一般排水	<u>General Waste Water</u>
SS	試料採取	<u>Sampling System Piping</u>
PV	気送用空気供給 / 排気	<u>Pneumatic Ventilation</u>
PT	気送	<u>Pneumatic Transport</u>
GP	検出端挿入	<u>Guide Pipe</u> (サーモカップル, 中性 子検出器用等, 含予備挿入管)
FH	消火用ハロゲン化物	<u>Fire Service Halides</u>
WP	予備プロセス 将来設置 / 増設用の 予備的措置	<u>Waiting Pipe</u>
XX	その他 (二重管配管を含む)	

(*) 試薬系の主ラインについては、その化学記号 (HNO₃, N₂ 等) を当該ラインの両端等の主な配管番号の右余白に付記する。

(例) RE-○○○-○○-○○○-○○○○○○ (HNO₃)

1. 配管番号

第2表 配管材質

記号	配管材質	記号	配管材質
G	SGP	Z	ジルコニウム
T	STPG & STPT	C	銅
X	上記以外の炭素鋼&STPA	P	PVC (塩化ビニール)
D	SUS316L	F	鋳鉄
S	SUS304L	B	コンクリート
K	R・SUS316 ULC	J	被覆鋼
L	R・SUS304 ULC	M	強化樹脂
H	SUS316	N	高密度ポリエチレン
R	SUS304	A	アルミニウム
U	ウラナス	E	鉛
V	高Cr高Moステンレス鋼	W	GNCF1
Y	テフロン		

第3表 呼び圧力

記号	呼び圧力	記号	呼び圧力
002	2K	030	30K
005	5K	040	40K
010	10K (含真空)	063	63K
016	16K	106	ANSI 1500 [#]
020	20K	176	ANSI 2500 [#]

第4表 配管区分

記号	区分	定義	備考
A	加工第1種管	加工施設の化学処理施設、核燃料物質の貯蔵施設または放射性廃棄物の廃棄施設に属する管のうち、プルトニウムの放射能濃度が 37kBq/cm ³ 以上の液体（以下、プルトニウム溶液）を内包する管。	第一条の2 第一項
B	加工第2種管	加工施設に属する管のうち、加工第1種管および次項に規定する加工第3種管以外の管。	第一条の2 第四項
C	加工第3種管	加工施設に属する管のうち、次に掲げるもの。 イ プルトニウム溶液の漏えいの拡大防止のために設置されるドリフトレイその他の容器 ロ 六ふっ化ウランの加熱容器 ハ ダクト	第一条の2 第七項
D	放射性流体配管	加工施設に属する管のうち、放射性物質を内包する管をいう。（ただし、上記A～Cを除く。）	
E	非放射性流体配管	加工施設に属する管のうち、上記A～D以外の管をいう。	

（注）該当する溶接の技術基準の条項番号は備考欄に記載してある。

（「加工施設、再処理施設及び特定廃棄物管理施設の溶接の技術基準に関する規則」より）

1. 配管番号

例) PA0198 - FN - 211 - 01 - 50 - R063AE
① ② ③ ④ ⑤ ⑥

① : 「PA0198」 ⇒ 系統番号「燃料加工建屋の工程番号0198（ユーティリティ設備 防消火設備（窒素消火装置）」

② : 「FN」 ⇒ 流体記号「FN：N₂消火」（第1表参照）

③ : 「211」 ⇒ 配管連番「004」

④ : 「01」 ⇒ セクション番号「02」

⑤ : 「50」 ⇒ 配管口径「50A」

⑥ : 「R063AE」

R 063 A E
A B C D

A : “R” ⇒ 配管材質「SUS304」（第2表参照）

B : “063” ⇒ 呼び圧力「63K」（第3表参照）

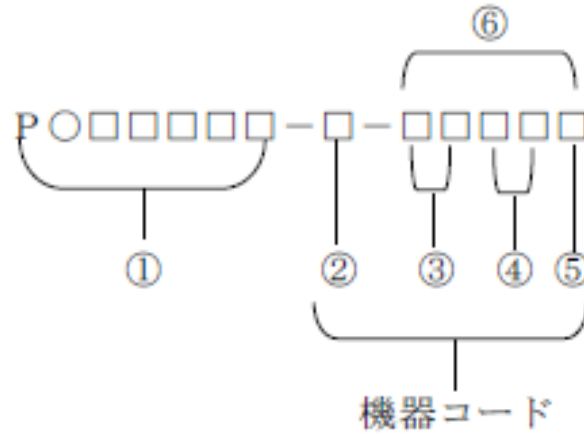
C : “A” ⇒ 配管厚さ及び仕様による区分（配管材質，呼び圧力で複数同様のスペックがある場合に使用する）

D : “E” ⇒ 配管区分「非放射性流体配管」（第4表参照）

2. 機器番号

機器番号は以下のルールに従い，設定する。

なお，設計図書の系統図においては，系統番号は明確であるため，②の流体記号から記載している。



番号	種別	説明
①	系統番号	各設備に系統番号を設定する。
②	識別番号	第5表参照
③	主要機器番号	系統番号ごとに主要機器の番号を設定。並列機器等を考慮して設定する。
④	付属機器番号	主要機器ごとに附属機器の番号を設定。
⑤	追番	分析設備に関して，グローブボックス，分析機種ごとに追番を取る。
⑥	弁・アクセサリ等の番号	弁・アクセサリがある場合に使用する。

2. 機器番号

第5表 機器識別番号

記号	機器	備考
A		
B	グローブボックス, フード, オープンポートボックス	
C	冷却装置・冷凍機	
D	除湿器, 空気分離器, ミスト・セパレータ, 分配器	
E		
F	フィルタ	
G		
H	熱交換器, 加熱装置	
I	—	使用しない
J		
K	圧縮機, 排風機, 送風機	
L		
M	機械装置一般	
N		
O	—	使用しない
P	ポンプ	含真空ポンプ
Q	消火栓	
R		
S	I D 読取装置	
T	秤量装置	
U		
V	槽類, 空調機器全般	C, D, F, H, K, W および X を除く
W	弁・ダンパ等	全形式, 機能(*1)
X	その他	
Y	配管アクセサリ	トラップ, ストレーナ, オリフ イス, クイックコネクタ等の配 管アクセサリ (計装用を除く) および床ドレンファンネル等 を含む。
Z		

(*1)機能区分は弁・ダンパ等の番号によって行う。

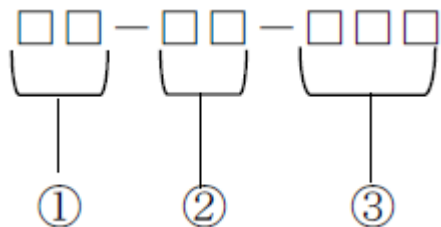
弁・ダンパ等の番号	機能区分
100番台 (または1000番台)	遠隔手動調節弁・遠隔手動調節ダンパ
300番台 (または3000番台)	遠隔オン・オフ弁・遠隔オン・オフダンパ
500番台 (または5000番台)	手動弁 (現場操作弁・現場操作ダンパ, 含逆止弁)
700番台 (または7000番台)	
800番台 (または8000番台)	安全弁, 逃がし弁 (含真空破壊弁)
900番台 (または9000番台)	その他の弁およびダンパ (含自力式調整弁)

なお、遠隔自動調整弁・遠隔自動調整ダンパについては、付属書-3 計装
関係記号表示・番号設定基準によるものとする。

2. 機器番号

消火ガスの貯蔵容器ユニット番号については、以下のとおりとする。

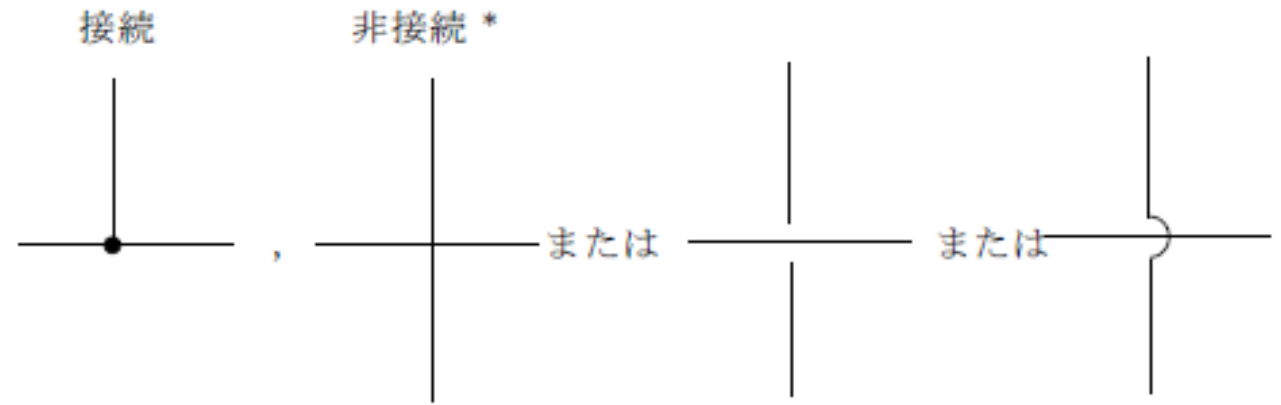
当該図書で設置する建物は明確であるため、設計図書上は②からの記載となる。



番号	種別	説明
①	建屋記号	燃料加工建屋“PA”となる。
②	識別番号	“GU”とする。
③	連番号	当該設備の連番号となる。

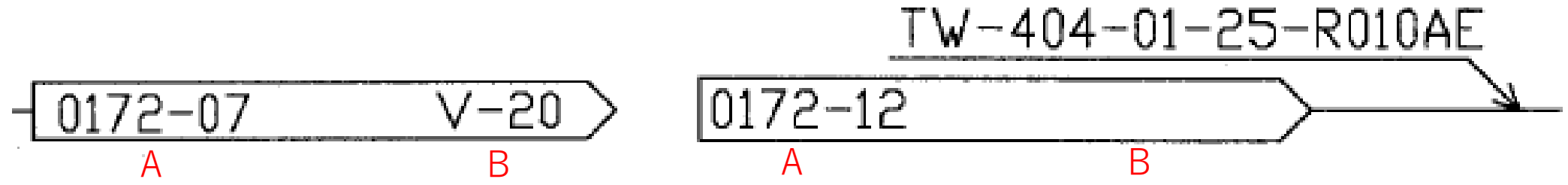
3. 設計図書の記載に係る留意事項

① 配管等の接続有無については以下のとおり記載する。



*いずれかを混用せず用いる。

② 系統図の矢羽根の記載は以下の通り。



A：送り元，送り先の工程番号とその系統番号の系統図のシート番号を示す。「（系統番号） - （系統番号の系統図のシート番号）」
例示の場合は，工程番号0172の系統図の7シート目を指す。


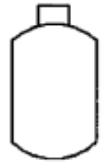






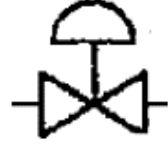

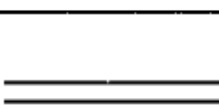

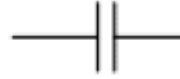





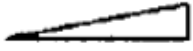
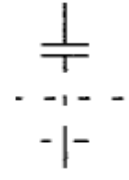

なお，同一シート内で矢羽根で送り元，送り先を示す場合は，系統番号を省略する場合がある。

B：送り元，送り先のタンク等を特定しないと識別が難しい系統に対して機器番号等を示す。

なお，工業用水（TW）等の一般ユーティリティからの送り元の場合は，機器番号を省略する。

また，送り元又は送り先でシートが複数ある場合は，配管番号で識別する。

4. 系統図に用いるポンプ等の凡例

1. 機器							
							
高圧ポンプ	起動用ガス容器	防火ダンパ	グローブボックス, オープンボートボックス, フード				
2. 弁類							
							
二方弁一般	CV弁	逆止弁	安全弁, 逃し弁	遠隔操作(弁)一般	自力式減圧弁		
3. 配管アクセサリ							
							
配管	閉止フランジ	フランジ接続	ネジ込みキャップ	クイックコネクタ	レジュース	溶接キャップ	噴射ヘッド
							
配管勾配	貫通口						
4. 建物関係							
							
セル, 室, 洞道 及び建屋境界							

(別紙2-2-2) -127

5. 計装関係記号
計装関係の記号は以下の通り。

計装品記号表

記号			区分
一般	コンピュータまたは コンピュータ入出力	CRTまたは マルチループコントローラ	
			中央監視室設置計装品
LOC	LOC	LOC	個別制御室設置計装品
			現場盤設置計装品 (計装ラック内設置計装品含む)
			現場設置計装品 (現場圧力計・現場温度計等 現場直付計装品を示す)

例) 差圧指示であれば以下のとおり。



計装品記号中の余白に計器番号を，上部に計器記号，下部に測定または制御対象機器番号，ループ連番および機器識別番号と分けて記入する。
温度等の「高」又は「低」などの機能修飾がある場合は，記号の右上に機能修飾に該当する文字を記載する。
差圧などの変量を計測する計器の場合は，被計測変量の後に続けて用いる。

5. 計装関係記号

計器記号表

	第1記号		第2記号	
	被計測変量	変量修飾	計測機能	機能修飾
A	分析	—	警報	—
B	予備	—	—	—
C	電導度	—	調節	閉
D	密度	差	—	—
E	電圧	—	検出器	—
F	流量	—	—	—
G	寸法	—	グラスサイトフ ローまたはガラス	—
H	手動	—	—	高
I	電流	—	指示	—
J	電力	—	表示灯	—
K	時間	—	—	—
L	液位	—	—	低
M	湿度	境界	—	—
N	振動	—	試料採取点または 測定点	—
O	濁度	—	—	開
P	圧力	—	保護系作動	—
Q	濃度	—	積算	—
R	放射能濃度	—	記録	起動
S	速度	—	接点または指令	停止
T	温度	—	発信	—
U	多種の変量	—	多機能計器	—
V	粘度	—	バルブ・ダンパ等 の調節部	—
W	重量, 力	—	注意報	—
X	不特定の変量	—	その他の機能	—
Y	トルク	—	演算器, 変換器, リレー	—
Z	位置	—	—	—

6. 主配管の名称の付け方の例

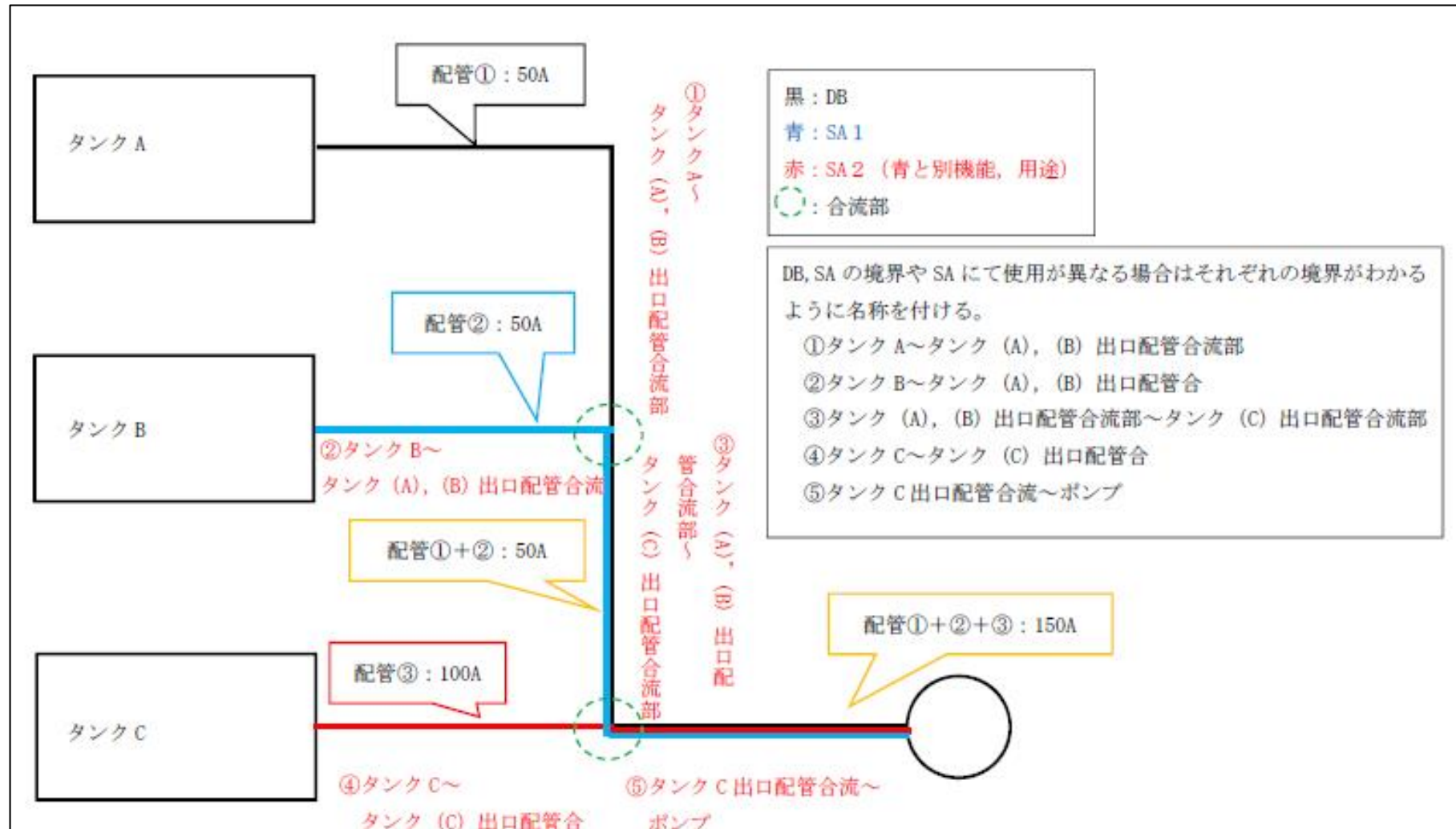
主配管、ダクトは、用途（機能）、使用範囲等を明確にするため、設計基準対象施設のための境界、重大事故等対処設備のための境界、兼用設備の境界等がわかるように色塗り等を行い、主配管の名称を設定する。

[用途、仕様範囲等に係る境界]

- a. 設計基準対象施設のための境界
- b. 重大事故等対処設備のための境界
- c. 重大事故等対処設備として既設の設計基準対象施設を使用するもので、設計基準対象施設としての仕様から変更がない境界
- d. 重大事故等対処設備として既設の設計基準対象施設を使用するもので、設計基準対象施設としての仕様から変更がある境界
- e. 兼用設備の境界
- f. 安全上重要な施設の境界
- g. 耐震重要度分類 S クラスの境界, 1.2Ssの境界
- h. 主配管と非主配管の境界

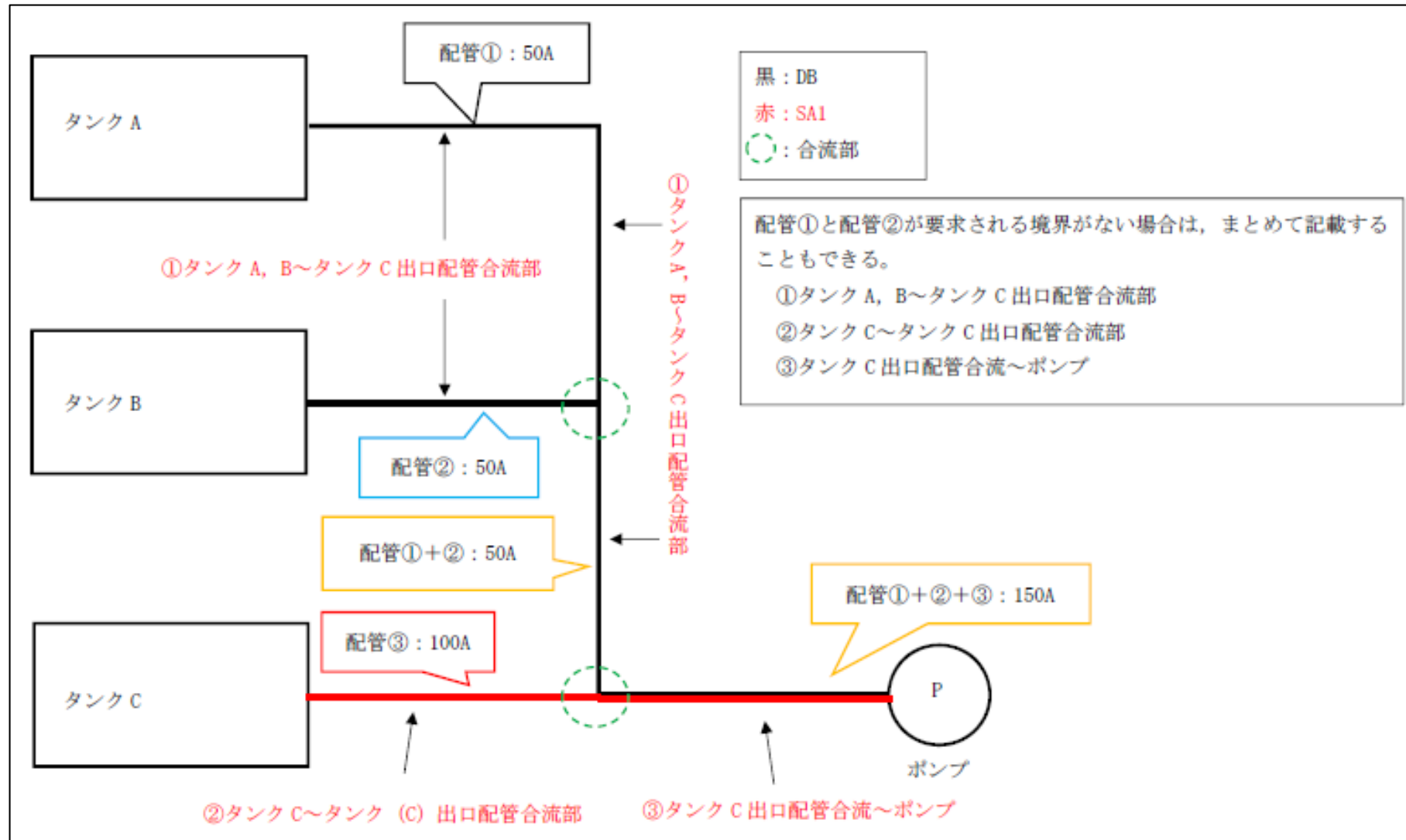
6. 主配管の名称の付け方の例

例1) 主配管等の名称の設定 (それぞれに境界が設定されている場合)



6. 主配管の名称の付け方の例

例2) 主配管等の名称の設定 (使用用途等が同一の場合)



6. 主配管の名称の付け方の例

例3) 主配管等の名称の設定 (使用用途等が同一の場合で機器を跨ぐ場合)

